

bizhub C451

ユーザーズガイド ネットワークファクス機能編



もくじ	1
はじめに	10
登録商標について	10
免責	10
こんな機能があります	11
ページの見かた	15
原稿と用紙の表示について	16
マニュアル体系について	17
印刷物のユーザーズガイド	17
ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	17
第 1 章 ご使用いただく前に	1-1
1.1 ご注意（インターネットファクス）	1-2
使用環境について	1-2
電子メールの送受信について	1-2
1.2 ご注意（SIP ファクス /IP アドレスファクス）	1-3
1.3 インターネットファクスの特長	1-4
1.4 SIP ファクスの特長	1-5
1.5 IP アドレスファクスの特長	1-6
1.6 操作パネルの使いかた	1-7
操作パネル	1-7
ネットワークファクス機能で表示される画面	1-9
1.7 はじめに設定してください	1-11
設定が必要な項目（インターネットファクス）	1-11
設定が必要な項目（SIP ファクス）	1-11
設定が必要な項目（IP アドレスファクス）	1-13
1.8 設定しておく便利な機能	1-14
1.9 ユーザー認証と部門認証について	1-15
ユーザー認証（本体装置認証）の場合	1-15
部門認証の場合	1-16
第 2 章 送信する	2-1
2.1 操作の流れ（インターネットファクス）	2-2
インターネットファクスを送信するには	2-2
2.2 操作の流れ（SIP ファクス）	2-7
SIP ファクスを送信するには	2-7
2.3 操作の流れ（IP アドレスファクス）	2-12
IP アドレスファクスを送信するには	2-12
2.4 原稿をセットする	2-17
ADF に原稿をセットする	2-17
原稿ガラスに原稿をセットする	2-18
原稿ガラスで複数枚の原稿を送るには	2-19
ADF/ 原稿ガラスの両方を使って原稿を送るには	2-21

2.5	送信カラーを設定する (SIP ファクス /IP アドレスファクス)	2-23
	送信カラーを設定するには	2-23
2.6	読み込み条件を設定する	2-25
	読み込み設定をするには	2-25
	原稿画質	2-26
	片面 / 両面	2-27
	解像度	2-28
	濃度	2-29
2.7	宛先を 1 箇所だけ指定する	2-30
	登録宛先から指定する	2-30
	登録宛先を検索する (検索文字キー)	2-31
	登録宛先を検索する (宛先種類)	2-31
	登録宛先を検索する (詳細検索)	2-33
	直接入力で指定する	2-35
	LDAP 検索をする (単検索)	2-37
	LDAP 検索をする (複合検索)	2-39
2.8	複数の宛先を指定する (同報送信)	2-41
	複数の宛先を指定する (登録宛先、直接入力で)	2-42
	複数の宛先を指定する (グループキーで)	2-42
2.9	プログラム宛先で送信する	2-43
	プログラム宛先を指定して送信するには	2-43
2.10	設定状態を確認する	2-45
	設定状態を確認するには	2-45
2.11	原稿読み込み中の動作	2-48
	原稿サイズが検知できないときは	2-48
	メモリーオーバーしたときは	2-48
	原稿の自動回転について	2-48
2.12	送信できないときは	2-49
	リダイヤルについて	2-49
	オートリダイヤル機能	2-50
	手動リダイヤル (実行中リスト)	2-51
2.13	送信を予約する	2-52
2.14	送信を中止する	2-54
	通信中に中止する	2-54
2.15	送信予約ジョブを確認する	2-55
2.16	通信結果を確認する	2-56
	通信結果の確認をするには	2-57
2.17	発信元情報について	2-59
2.18	送信前に読み込み状態を確認する (仕上りプレビュー)	2-60
	プレビュー詳細画面について	2-60
	表示サイズ変更	2-61
	表示画像回転	2-61
	仕上り表示	2-62
	設定変更	2-63
	仕上りプレビューを確認するには	2-63

第3章	受信する	3-1
3.1	受信する（インターネットファクス）	3-2
	自動取得	3-2
	手動取得	3-2
3.2	受信する（SIP ファクス /IP アドレスファクス）	3-3
3.3	受信できないとき	3-4
3.4	メモリー代行受信とは	3-5
3.5	受信時の記録について	3-6
	縮小して記録するとき	3-6
	用紙におさまるように縮小して記録するとき	3-6
	等倍で記録するとき	3-10
	受信時の記録方法	3-11
3.6	受信情報について	3-12
第4章	トラブル処置	4-1
4.1	送信できない（インターネットファクス）	4-2
4.2	送信できない（SIP ファクス /IP アドレスファクス）	4-3
	SIP-FAX アダプター側の確認事項	4-4
	再起動の手順	4-4
4.3	受信できない	4-5
4.4	エラーメッセージが表示された	4-6
	送信系エラーコード	4-6
	受信系エラーコード	4-10
4.5	「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール）	4-11
第5章	仕様	5-1
5.1	仕様（インターネットファクス）	5-2
5.2	仕様（SIP ファクス /IP アドレスファクス）	5-3
第6章	便利な送信	6-1
6.1	設定画面の機能一覧	6-2
	読み込み設定	6-2
	原稿設定	6-3
	通信設定	6-4
6.2	背景色の濃度を調整して送る（下地調整）	6-5
	下地調整とは	6-5
	下地調整をして送信するには	6-5
6.3	文字のエッジを強調して送る（シャープネス）	6-8
	シャープネスとは	6-8
	シャープネスの調整をして送信するには	6-8
6.4	黒い影を消して送る（枠消し）	6-11
	枠消しとは	6-11
	枠消しの設定をして送信する	6-11

6.5	見開き原稿を左右 1 ページずつ分けて送信する（ブック連写）	6-14
	ブック連写とは	6-14
	ブック連写を設定して送信するには	6-15
6.6	原稿を読み込むサイズを指定して送る（読み込みサイズ）	6-19
	読み込みサイズとは	6-19
	読み込みサイズを指定して送信するには	6-19
6.7	ファクス送信と同時にコピーをする（同時印刷）	6-22
	同時印刷とは	6-22
	同時印刷を設定して送信するには	6-22
6.8	読み取ったことを確認する（済みスタンプ）	6-25
	済みスタンプとは	6-25
	済みスタンプを設定して送信するには	6-25
6.9	スキャンしたデータのファイル名を設定して送る（文書名）	6-27
	文書名とは	6-27
	文書名を設定して送信するには	6-27
6.10	サイズの異なる原稿を一度の操作で送る（混載原稿）	6-29
	混載原稿とは	6-29
	混載原稿を設定して送信するには	6-29
6.11	折り目のある原稿を送る（Z 折れ原稿）	6-32
	Z 折れ原稿とは	6-32
	Z 折れ原稿を設定して送信するには	6-32
6.12	長い原稿を送る（長尺原稿）	6-34
	長尺原稿とは	6-34
	長尺原稿を設定して送信するには	6-34
6.13	原稿のとじ位置を指定する（原稿のとじしろ）	6-36
	原稿のとじしろとは	6-36
	原稿のとじしろを指定して送信するには	6-36
6.14	スリットガラスの汚れの影響を軽減して送信する（汚れ軽減モード）	6-39
	汚れ軽減モードとは	6-39
	汚れ軽減モードを設定して送信するには	6-39
6.15	宛先を再確認して送信する（宛先確認表示機能）	6-41
	宛先確認表示機能とは	6-41
	宛先を再確認して送信するには	6-41
6.16	E-mail の件名や本文などを設定して送信する（E-mail 設定）	6-43
	E-mail 設定とは	6-43
	E-mail 設定をして送信するには	6-43
6.17	発信元情報のつけ方を指定する（ファクス発信元設定）	6-47
	ファクス発信元設定とは	6-47
	ファクス発信元設定をするには	6-47
第 7 章	便利な受信	7-1
7.1	強制メモリー受信した文書を取り扱う	7-2
	受信文書をプリントする	7-2
	受信文書を削除する	7-3

7.2	受信時の記録	7-4
	〔受信原稿両面印刷〕が〔ON〕に設定されているときは	7-4
第8章	登録 / 設定する	8-1
8.1	ファクス登録の画面を表示する	8-2
	ファクス / スキャン宛先登録画面を表示するには	8-2
8.2	短縮宛先を登録する	8-4
	短縮宛先に電子メールアドレスを登録する	8-4
	短縮宛先に SIP ファクス番号を登録する	8-7
	短縮宛先に IP アドレスを登録する	8-11
	宛先確認 / 登録画面から短縮宛先に登録する	8-14
	短縮宛先を変更する	8-16
	短縮宛先を削除する	8-18
8.3	グループ宛先を登録する	8-20
	グループ宛先を登録する	8-21
	グループ宛先を変更する	8-24
	グループ宛先を削除する	8-25
8.4	プログラム宛先を登録する	8-26
	プログラム宛先を登録する	8-26
	プログラム宛先を削除する	8-30
8.5	宛先レベルを変更する（宛先レベル設定）	8-32
	宛先レベル設定とは	8-32
	宛先レベルを変更するには	8-32
8.6	E-mail の件名や本文を登録する	8-35
	E-mail の件名を登録する	8-35
	E-mail の件名を変更する	8-37
	E-mail の件名の初期値を設定する	8-39
	E-mail の件名を削除する	8-40
	E-mail の本文を登録する	8-42
	E-mail の本文を変更する	8-44
	E-mail の本文の初期値を設定する	8-46
	E-mail の本文を削除する	8-47
8.7	強制メモリー受信ボックスを設定する	8-49
第9章	設定メニュー	9-1
9.1	設定メニューの操作について	9-2
	ユーザー設定画面を表示するには	9-2
	ユーザー設定画面を終了するには	9-2
	管理者設定画面を表示するには	9-3
	管理者設定画面を終了するには	9-4
9.2	設定メニュー一覧	9-5
	ユーザー設定>画面カスタマイズ設定>ファクス / スキャン設定	9-5
	ユーザー設定>画面カスタマイズ設定>ファクス動作中画面	9-6
	ユーザー設定>画面カスタマイズ設定>検索オプション設定	9-6
	ユーザー設定>ファクス / スキャン設定>ファクス / スキャン初期設定	9-6
	管理者設定>環境設定>パワーセーブ設定	9-6

管理者設定>環境設定>ユーザー操作禁止設定>変更禁止設定> 登録宛先変更	9-7
管理者設定>環境設定>ユーザー操作禁止設定>操作禁止設定> 複数宛先禁止	9-7
管理者設定>環境設定>リセット設定>モードリセット>次ジョブ> 送信後設定解除	9-7
管理者設定>環境設定>スタンプ設定	9-7
管理者設定>管理者 / 本体登録>管理者登録	9-7
管理者設定>管理者 / 本体登録>本体アドレス登録	9-8
管理者設定>ユーザー認証 / 部門管理>参照許可設定	9-8
管理者設定>ネットワーク設定>TCP/IP 設定	9-8
管理者設定>ネットワーク設定>E-mail 設定>E-mail 送信 (SMTP)	9-9
管理者設定>ネットワーク設定>E-mail 設定>E-mail 受信 (POP)	9-10
管理者設定>ネットワーク設定>ネットワークファクス設定> ネットワークファクス機能設定	9-11
管理者設定>ネットワーク設定>ネットワークファクス設定	9-11
管理者設定>ファクス設定>発信元 / ファクス ID 登録	9-12
管理者設定>ファクス設定>発信元 / 受信情報	9-12
管理者設定>ファクス設定>回線パラメーター設定	9-13
管理者設定>ファクス設定>送信 / 受信設定	9-14
管理者設定>ファクス設定>機能設定>機能 ON/OFF 設定	9-15
管理者設定>ファクス設定>機能設定>強制メモリー受信設定	9-15
管理者設定>ファクス設定>レポート出力設定	9-15
管理者設定>ファクス設定>ネットワークファクス設定	9-16
管理者設定>ファクス設定>設定値リスト	9-17
管理者設定>セキュリティ設定>セキュリティ詳細>手動宛先入力	9-17
管理者設定>セキュリティ設定>セキュリティ詳細>FAX 送信禁止	9-17
管理者設定>セキュリティ設定>セキュリティ詳細>個人情報非表示	9-18
管理者設定>セキュリティ設定>セキュリティ詳細>通信履歴表示	9-18
9.3 ファクス / スキャン画面の初期状態を設定する (ファクス / スキャン設定)	9-19
ファクス / スキャン設定をするには	9-20
9.4 ファクス動作中の画面を設定する (ファクス動作中画面)	9-22
ファクス動作中画面設定をするには	9-22
9.5 送信先検索時の英字大文字 / 小文字区別の設定をする (検索オプション設定)	9-24
検索オプション設定をするには	9-24
9.6 ファクス機能の初期設定値を設定する (ファクス / スキャン初期設定)	9-26
ファクス / スキャン初期設定をするには	9-26
9.7 パワーセーブ移行条件を設定する (パワーセーブ移行)	9-28
パワーセーブ移行設定をするには	9-28
9.8 宛先登録の変更禁止を設定する (登録宛先変更)	9-30
登録宛先変更設定をするには	9-30
9.9 複数宛先禁止を設定する (複数宛先禁止)	9-32
複数宛先禁止設定をするには	9-32
9.10 宛先と設定を解除しない設定をする (送信後設定解除)	9-34
宛先と設定を解除しない設定をするには	9-34

9.11	スタンプを印字する設定をする（スタンプ設定）	9-36
	スタンプ設定をするには	9-36
9.12	宛先情報を保護する（参照許可設定）	9-38
	グループ登録をするには	9-38
	宛先レベル設定をするには	9-41
9.13	管理者の電子メールアドレスを登録する（管理者登録）	9-44
	管理者登録をするには	9-44
9.14	本体の E-mail アドレスを登録する（本体アドレス登録）	9-46
	本体アドレス登録をするには	9-46
9.15	TCP/IP を設定する（TCP/IP 設定）	9-48
	TCP/IP 設定をするには	9-48
9.16	E-mail 送信を設定する（E-mail 送信（SMTP））	9-50
	E-mail 送信（SMTP）設定をするには	9-51
9.17	E-mail 受信を設定する（E-mail 受信（POP））	9-53
	E-mail 受信（POP）設定をするには	9-53
9.18	ネットワークファクス機能を有効にする （ネットワークファクス機能設定）	9-55
	ネットワークファクス機能設定をするには	9-55
9.19	SMTP 送受信の設定をする（ネットワークファクス設定）	9-58
	SMTP 送受信の設定をするには	9-58
9.20	発信元名とファクス ID を登録する（発信元 / ファクス ID 登録）	9-61
	発信元 / ファクス ID 登録するには	9-61
9.21	発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報）	9-64
	発信元 / 受信情報設定をするには	9-64
9.22	発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）	9-67
	回線パラメーター設定をするには	9-67
9.23	送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）	9-69
	送信 / 受信設定をするには	9-70
9.24	機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）	9-72
	機能 ON/OFF 設定をするには	9-72
9.25	強制メモリー受信を設定する（強制メモリー受信設定）	9-75
	強制メモリー受信設定をするには	9-75
9.26	レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）	9-78
	レポート出力設定をするには	9-79
9.27	ネットワークファクスの機能を設定する（ネットワークファクス設定）	9-81
	ネットワークファクス設定をするには	9-82
9.28	ファクス番号の直接入力を禁止する（手動宛先入力）	9-85
	手動宛先入力設定をするには	9-85
9.29	ファクス送信機能を禁止する（FAX 送信禁止）	9-87
	FAX 送信禁止設定をするには	9-87
9.30	ファクス番号を表示されないようにする（個人情報非表示）	9-89
	個人情報非表示設定をするには	9-89

9.31	通信履歴を表示されないようにする（通信履歴表示）	9-91
	通信履歴表示設定をするには	9-91
第 10 章	レポート / リストの見かた	10-1
10.1	レポート / リストの種類	10-2
	レポート	10-2
	リスト	10-4
10.2	通信管理レポート	10-5
	通信管理レポートの見かた	10-5
	自動プリント	10-7
	手動プリント	10-7
10.3	送信結果レポート	10-9
	送信結果レポートの見かた	10-9
	手動プリント	10-10
	自動プリント	10-10
10.4	同報送信結果レポート	10-11
10.5	インターネットファクス受信エラーレポート	10-13
10.6	MDN メッセージ印刷	10-14
10.7	DSN メッセージ印刷	10-15
10.8	正常受信メール本文	10-16
10.9	短縮宛先リスト	10-17
	短縮宛先リストの見かた	10-17
	短縮宛先リストをプリントするには	10-18
10.10	グループ宛先リスト	10-20
	グループ宛先リストの見かた	10-20
	グループ宛先リストをプリントするには	10-20
10.11	プログラム宛先リスト	10-23
	プログラム宛先リストの見かた	10-23
	プログラム宛先リストをプリントするには	10-23
10.12	件名 / 本文リスト	10-26
	件名 / 本文リストの見かた	10-26
	件名 / 本文リストをプリントするには	10-26
10.13	設定値リスト	10-29
	FAX 設定リストの見かた	10-29
	設定値リストをプリントするには	10-31
第 11 章	付録	11-1
11.1	メモリーへの蓄積枚数について	11-2
11.2	文字を入力するには	11-3
	キーボードの拡大表示	11-4
	英数字を入力する	11-4
	ひらがなを入力する	11-5
	カタカナを入力する	11-6
	漢字を入力する	11-7

文字コードで入力する	11-9
11.3 入力文字一覧	11-10
11.4 インターネットファクス用語集	11-18
11.5 ファクス用語集	11-19
第 12 章 索引	12-1
12.1 使用別索引	12-2
12.2 項目別索引	12-7

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いを行った場合、死亡や重傷を負う可能性がある行為を示しています。「安全にお使いいただくために」にまとめて記載されていますので、必ずご一読ください
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いを行った場合、軽傷や中程度の傷害および物的損傷を負う可能性がある行為を示しています。「安全にお使いいただくために」にまとめて記載されていますので、必ずご一読ください。

はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドは、ネットワークファクス機能（インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクス）を使用するために必要な機械の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。ぜひご一読ください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「安全にお使いいただくために」をお読みください。

■ 登録商標について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat および PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- 本書に記載されているその他の会社名、商品名は、該当各社の登録商標です。

Copyright

© 2007 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC., All Rights Reserved.

■ 免責

- 本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書を運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このユーザーズガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。

こんな機能があります

ネットワークファクス機能でできることを説明します。

それぞれの機能に、インターネットファクス、SIP ファクス、IP アドレスファクスが対応しているかどうかをアイコンで確認できます。

I-FAX インターネットファクスに対応

SIP FAX SIP ファクスに対応

IP FAX IP アドレスファクスに対応

読み取ったことを確認する

I-FAX **SIP FAX** **IP FAX**

読み取った原稿に済みスタンプを押すことができます。

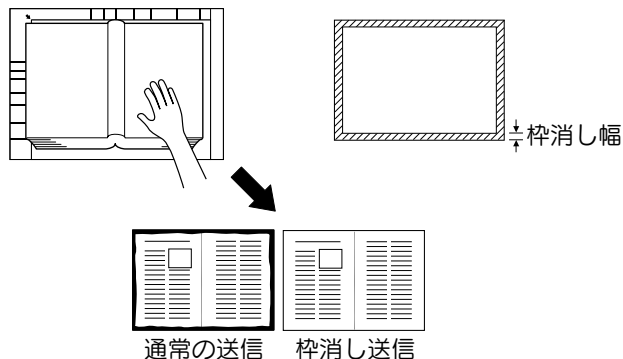


詳しくは、p. 6-25 をごらんください。

黒い影を消して送る

I-FAX **SIP FAX** **IP FAX**

冊子になっている原稿を読み込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信できます。



詳しくは、p. 6-11 をごらんください。

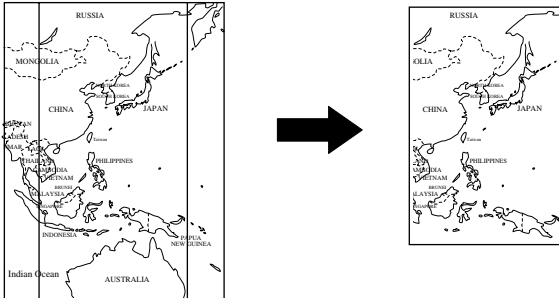
原稿を読み込むサイズを指定して送る

I-FAX SIP FAX IP FAX

読み込むサイズを指定して送信できます。原稿の一部だけを送信したい場合に便利です。



詳しくは、p. 6-19 をごらんください。



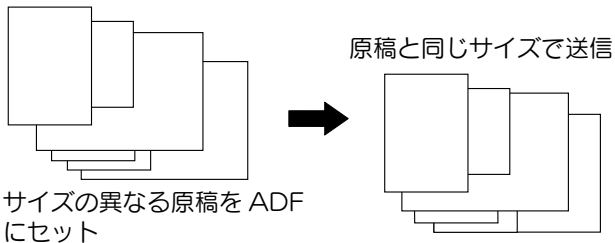
サイズの異なる原稿を一度の操作で送る

I-FAX SIP FAX IP FAX

サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを正しく認識して送信できます。



詳しくは、p. 6-29 をごらんください。



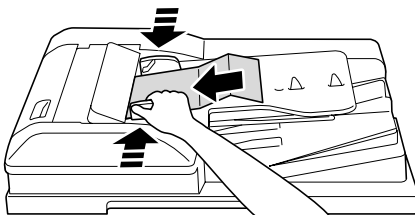
折り目のある原稿を送る

I-FAX SIP FAX IP FAX

折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿を正しいサイズで送信できます。



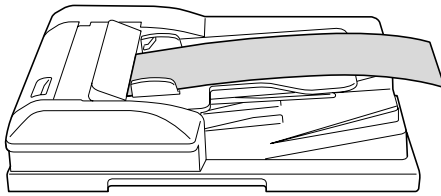
詳しくは、p. 6-32 をごらんください。



長い原稿を送る

I-FAX | SIP FAX | IP FAX

432 mm より長い原稿を送信できます。

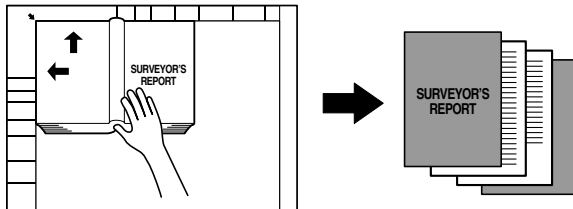


詳しくは、p. 6-34 をごらんください。

見開き原稿を送る

I-FAX | SIP FAX | IP FAX

本やカタログなどを送信する場合に、左右のページを分割し、それぞれ 1 ページとして送信できます。

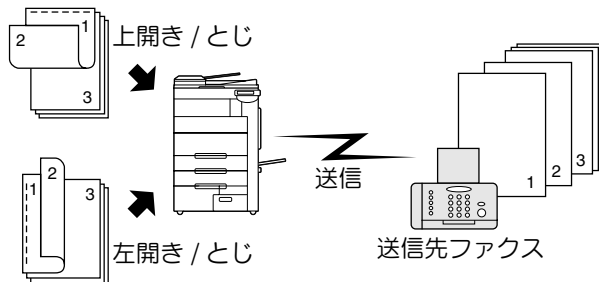


詳しくは、p. 6-14 をごらんください。

両面原稿のとじしろを指定する

I-FAX | SIP FAX | IP FAX

原稿のとじしろを指定し、原稿の裏面の上下関係を補正して送信できます。

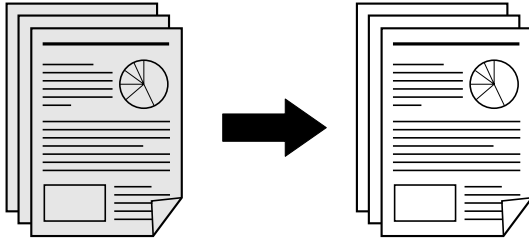


詳しくは、p. 6-36 をごらんください。

背景色の濃度を調整して送る

I-FAX SIP FAX IP FAX

原稿の背景色の濃さを調整して送信できます。

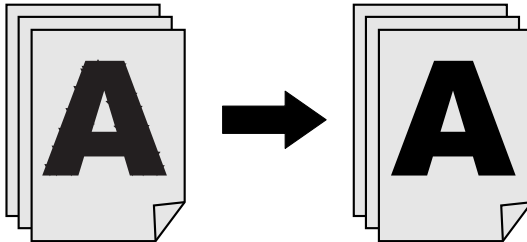


詳しくは、p. 6-5 をごらんください。

文字のエッジを強調して送る

I-FAX SIP FAX IP FAX

ぼやけた文字をはっきりさせたり、なめらかな印象にしたり調整して送信できます。



詳しくは、p. 6-8 をごらんください。

カラーで送る

SIP FAX IP FAX

カラーでファクス送受信ができます。



詳しくは、p. 2-23 をごらんください。

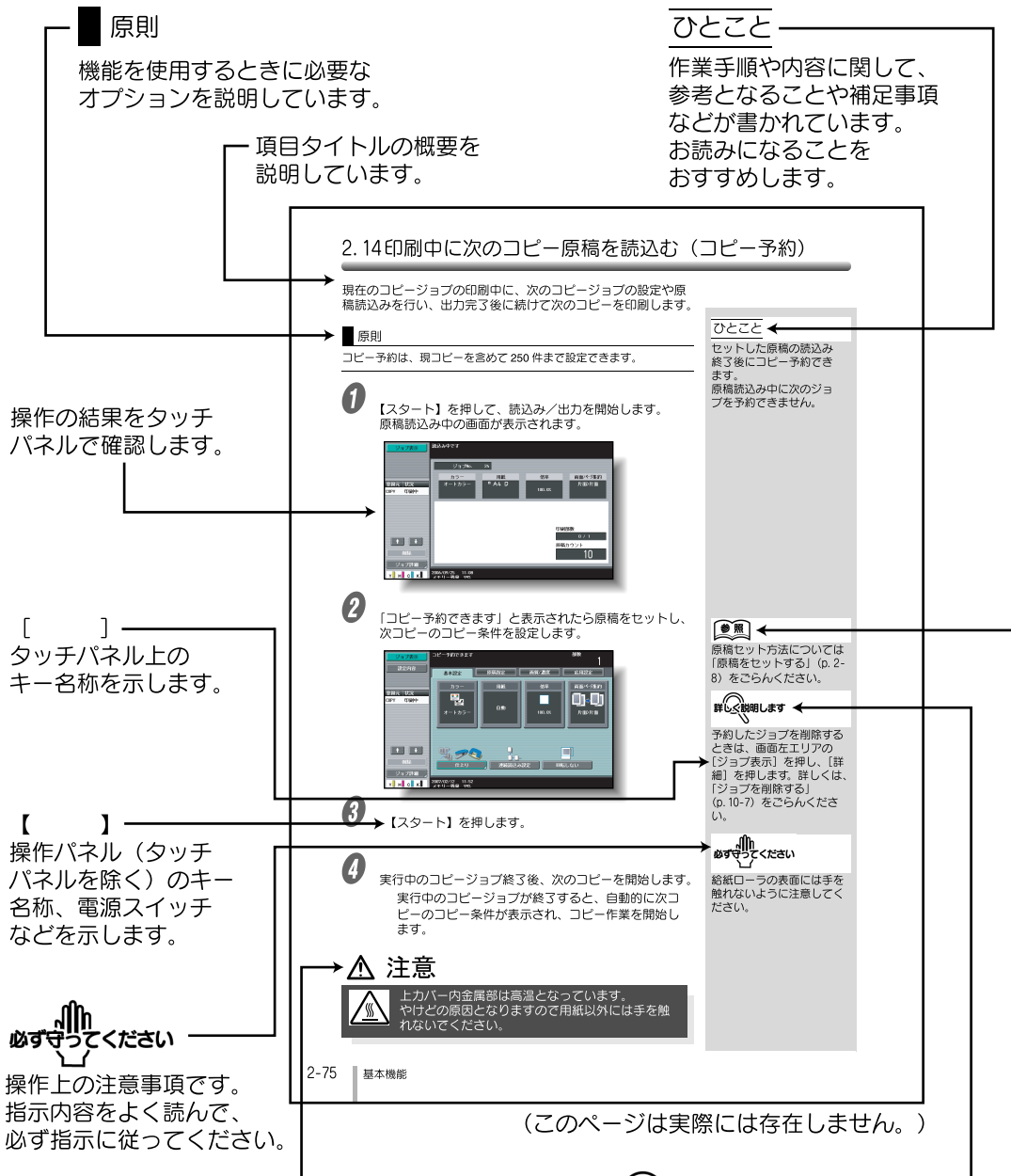
受信文書のプリントを禁止する（強制メモリー受信）

I-FAX SIP FAX IP FAX

受信した文書をメモリーに蓄積し、必要に応じてプリントすることができます。この機能を強制メモリー受信と呼びます。



詳しくは、p. 7-2 をごらんください。



警告、注意

機械を安全に使用していただくための注意事項です。警告は、表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。注意は、表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

詳しく説明します

操作手順や内容に関して、さらに詳しく説明しています。

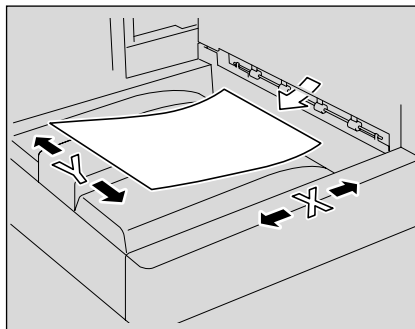
参照

参照先を指示します。必要に応じてごらんください。

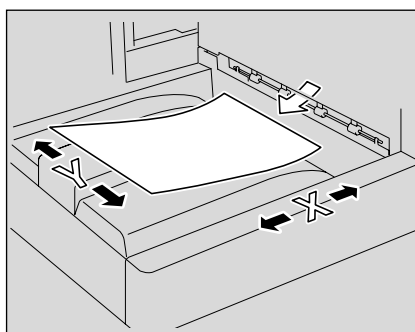
原稿と用紙の表示について

本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。

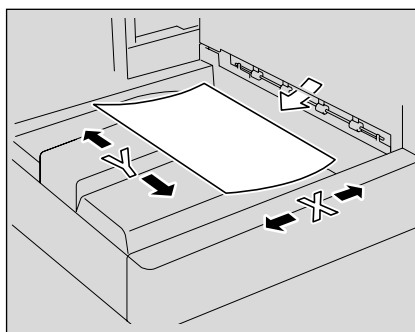
原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。



幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが大きいものを □ と表示します。



幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが小さいものを ▭ と表示します。



マニュアル体系について

本製品のユーザズガイドには、印刷物の冊子でご提供するユーザズガイドと、ユーザズガイド CD に収められた PDF のユーザズガイドがあります。

■ 印刷物のユーザズガイド

●すぐに使える操作ガイド

すぐに本製品をご利用いただけるよう使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。本製品をはじめてお使いになる場合や機能の概要を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

●安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

●ユーザズガイド（拡大表示機能編）

拡大表示機能の操作について記載しています。

拡大表示画面でのコピー機能、ネットワーク／スキャナー機能、ファクス機能の使い方を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

■ ユーザズガイド CD 収録のユーザズガイド

●ユーザズガイド（コピー機能編）

本製品のコピー機能およびメンテナンス方法について記載しています。用紙と原稿について、便利な応用コピーのとりかた、消耗品の交換方法、紙づまりなどのトラブル対処方法を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

●ユーザズガイド（プリンター機能編）

標準装着のプリンターコントローラーで設定できるプリンター機能について記載しています。プリンター機能の使い方を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

●ユーザズガイド（ボックス機能編）

ハードディスクを利用したボックス機能について記載しています。ボックスへのデータ保存、ボックスからのデータ取出し、データ転送方法を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

●ユーザズガイド（ネットワーク／スキャナー機能編）

標準装備のネットワーク機能の設定方法、スキャナー機能の操作について記載しています。ネットワーク機能、Scan to E-Mail、Scan to FTP、Scan to SMB の使い方を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

●ユーザズガイド（PageScope Web Connection 編）

コンピューターのブラウザから本体の設定をリモート操作する PageScope Web Connection について記載しています。PageScope Web Connection の使い方を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（ファクス機能編）

G3 ファクス機能について記載しています。オプションの FAX キットを装着した場合の G3 ファクスの使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザーズガイド（ネットワークファクス機能編）＜本書＞

ネットワークファクス機能について記載しています。インターネットファクス、IP アドレスファクス、SIP ファクスの使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（ファクスドライバー機能編）

コンピューターから直接ファクス送信を行うファクスドライバーの機能について記載しています。

PC-FAX の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

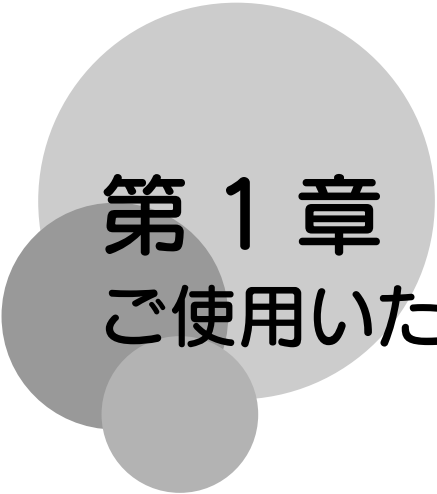
ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザーズガイド（拡張機能編）

オプションのライセンスキットを登録することで有効化して利用できる各機能と、アプリケーションと連携させることで利用できる各機能の概要と使い方について記載しています。各機能を効果的にご使用いただくために、このユーザーズガイドをごらんください。

拡張機能は以下の機種に対応しています。

bizhub C650/C550/C451/C353/C253/C203



第 1 章

ご使用いただく前に

ご使用いただく前に知っておきたいことについて説明します。

1.1	ご注意（インターネットファクス）	1-2
1.2	ご注意（SIP ファクス /IP アドレスファクス）	1-3
1.3	インターネットファクスの特長	1-4
1.4	SIP ファクスの特長	1-5
1.5	IP アドレスファクスの特長	1-6
1.6	操作パネルの使いかた	1-7
1.7	はじめに設定してください	1-11
1.8	設定しておく便利な機能	1-14
1.9	ユーザー認証と部門認証について	1-15

1.1 ご注意（インターネットファクス）

■ 使用環境について

インターネットファクス機能を使用することのできる環境は次のとおりです。

- 本機がネットワークに接続され、電子メールの送受信ができるように設定されていること
- 【設定メニュー / カウンター】の〔管理者設定〕－〔ネットワーク設定〕－〔ネットワークファクス設定〕－〔ネットワークファクス機能設定〕で、インターネットファクス機能が ON に設定されていること

■ 電子メールの送受信について

- ネットワークの状況などにより、送信文書（電子メールの添付ファイル）が破損する場合があります。送信文書が破損していないか、必ず確認してください。
- 送信結果画面（ジョブ表示＞ジョブ詳細＞送信＞履歴リスト）や通信管理レポートの結果欄に「----」と表示されても、インターネット網の途中経路の問題により、受信側に電子メールが到着しない場合があります。送信結果画面や通信管理レポートに表示される「----」は、サーバーまで正常に送信できたことを示すものです。受信確認（MDN）を受信すると送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に「OK」が表示されます。重要な内容を送受信する場合は、G3 ファクスを使用してください。



詳しく説明します

インターネットファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。



〔ネットワークファクス機能設定〕については、「ネットワークファクス機能を有効にする（ネットワークファクス機能設定）」（p. 9-55）をごらんください。



必ず守ってください

【主電源スイッチ】を OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあげないと、正常に機能しないことがあります。

1.2 ご注意（SIP ファクス /IP アドレスファクス）

SIP ファクス /IP アドレスファクス機能を使用するには、本機にオプションの FAX キットを装着する必要があります（ただし、増設回線は使用できません）。

また、SIP ファクス機能を使用するには、SIP サーバー、SIP-FAX アダプタが必要です。

SIP ファクス /IP アドレスファクスは、弊社の対応機種間でのみ動作します。

対応機種以外での動作は保証できません。



詳しく説明します

SIP ファクス /IP アドレスファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。



必ず守ってください

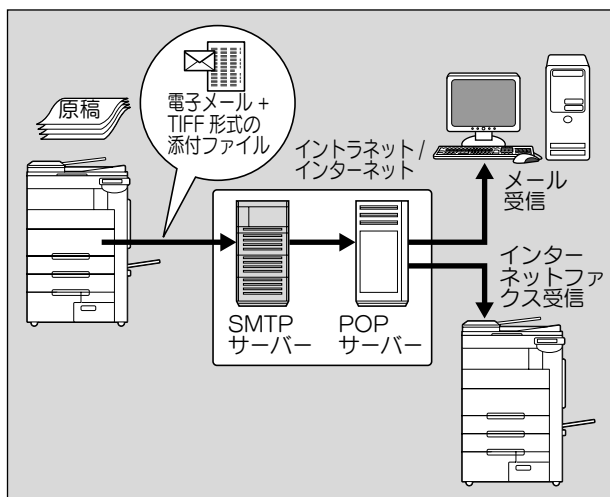
【主電源スイッチ】を OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあげないと、正常に機能しないことがあります。

1.3 インターネットファクスの特長

インターネットファクスは、イントラネット（企業内ネットワーク）やインターネットを経由して、読み取った原稿を電子メールの添付ファイル（TIFF 形式）として送受信します。イントラネット / インターネット経由で通信するため、一般のファクス通信に比べて通信コストを大幅に削減できます。

原則

メールサーバーが必要です。



- 相手先の電子メールアドレスを指定して送信します。
- メールサーバーから電子メールを受信します。

1.4 SIP ファクスの特長

SIP ファクスとは、IP ネットワーク上で通信可能なファクスです。

相手先の SIP ファクス番号を指定して送信します。

SIP ファクスでは、SIP (Session Initiation Protocol) を用いて相手先とセッションを確立し、ピアツーピア通信を行います。

原則

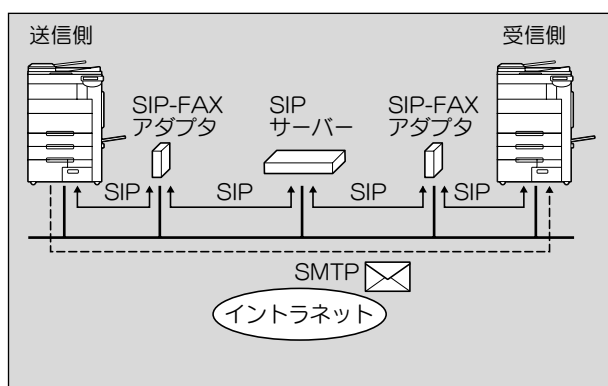
SIP ファクスを使用するには、SIP サーバー、SIP-FAX アダプタが必要です。

送受信プロトコルには SMTP を使用します。

イントラネット内でのみ使用可能です。

インターネットファクスのようにメールサーバーは必要ありません。

カラーでファクス送受信ができます。



送信の流れ

1. 相手先の SIP ファクス番号を指定して送信指示する。
2. SIP サーバー /SIP-FAX アダプタを使用して、アドレス解決 (ファクス番号→IP アドレス) と、相手先とのセッション確立を行う。
3. 文書を送信する。
4. セッションを切断する。

SIP

□ SMTP

□ SIP

1.5 IP アドレスファクスの特長

IP アドレスファクスとは、IP ネットワーク上で通信可能なファクスです。

相手先の IP アドレスまたはホスト名を指定して送信します。

原則

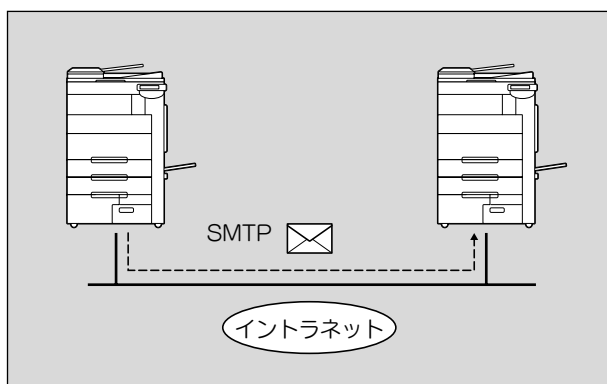
送受信プロトコルには SMTP を使用します。

イントラネット内でのみ使用可能です。

インターネットファクスのようにメールサーバーは必要ありません。

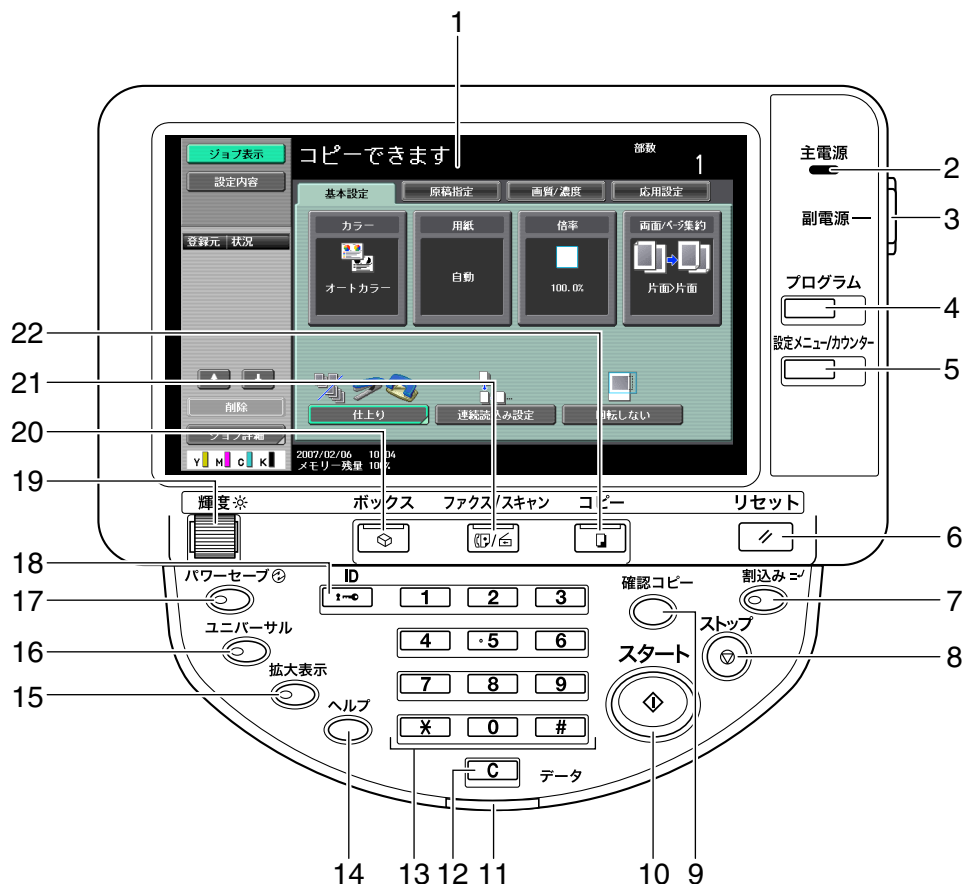
カラーでファクス送受信ができます。

- ・ 相手先の IP アドレスまたはホスト名を指定して送信する



1.6 操作パネルの使いかた

■ 操作パネル



No.	名称	説明
1	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。タッチパネルに直接タッチして各設定を行います。
2	主電源ランプ	【主電源スイッチ】がONのときに緑色に点灯します。
3	【副電源スイッチ】	操作パネルの電源をON/OFFします。OFFのときは節電状態となります。
4	【プログラム】キー	目的のファクス条件を、プログラム宛先に登録したり、登録したプログラム宛先を呼び出して送信できます。(p. 2-43、p. 8-26)
5	【設定メニュー / カウンター】キー	設定メニュー画面、セールスカウンター画面に切り替わります。
6	【リセット】キー	操作パネル、またはタッチパネルで入力した全ての設定（登録した設定は除く）がリセットされます。
7	【割込み】キー	コピー機能の割込み機能に切り替わります。割込み機能中は【割込み】が緑色に点灯し、タッチパネルに「割込み中です。」と表示されます。割込み機能中に【割込み】を押すと割込み機能は解除されます。

No.	名称	説明
8	【ストップ】キー	原稿の読み込みを停止します。
9	【確認コピー】キー	【スタート】を押す前に【確認コピー】を押すと、現在設定している内容の仕上がりイメージをタッチパネル上に表示できます。(p. 2-60)
10	【スタート】キー	各ボックス、ファクス/スキャン、コピーの選択されているモードの動作を開始するときに押します。ファクス/スキャンモードが選択されているときは、通信を開始します。本機が動作を開始できる状態のときは、【スタート】が青色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときは動作を開始できません。
11	データランプ	プリントジョブやファクスの受信中は、青色に点滅します。 プリントジョブやファクスの印刷待ちおよび印刷中は、青色に点灯します。
12	【C】(クリア) キー	テンキーで入力した数値や画面のキーボードで入力した文字が取消されます。
13	テンキー	数字を入力します。電話番号や各種設定値の入力に使用します。
14	【ヘルプ】キー	ヘルプ画面に切り替わります。 本機機能の解説や操作方法を画面上に表示できます。
15	【拡大表示】キー	拡大表示画面に切り替わります。 PageScope Authentication Manager にて認証を行っている場合、拡大表示画面に切り替わりません。 詳しくは、「ユーザーズガイド 拡大表示機能編」をごらんください。
16	【ユニバーサル】キー	ユニバーサル機能の設定画面に切り替わります。 詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
17	【パワーセーブ】キー	パワーセーブ機能に切り替わります。パワーセーブ機能中は【パワーセーブ】が緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。パワーセーブ機能中に【パワーセーブ】を押すとパワーセーブ機能は解除されます。
18	【ID】キー	ユーザー認証および部門管理を設定している場合、ユーザー名とパスワード(ユーザー認証)、部門名とパスワード(部門管理)を入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。
19	輝度調整ダイヤル	タッチパネルの輝度を調整します。
20	【ボックス】キー	ボックス機能に切り替わります。 ボックス機能中は【ボックス】が緑色に点灯します。 詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
21	【ファクス/スキャン】キー	ファクス/スキャン機能に切り替わります。 ファクス/スキャン機能中は【ファクス/スキャン】が緑色に点灯します。 スキャン機能については、「ユーザーズガイド ネットワーク/スキャナー機能編」をごらんください。

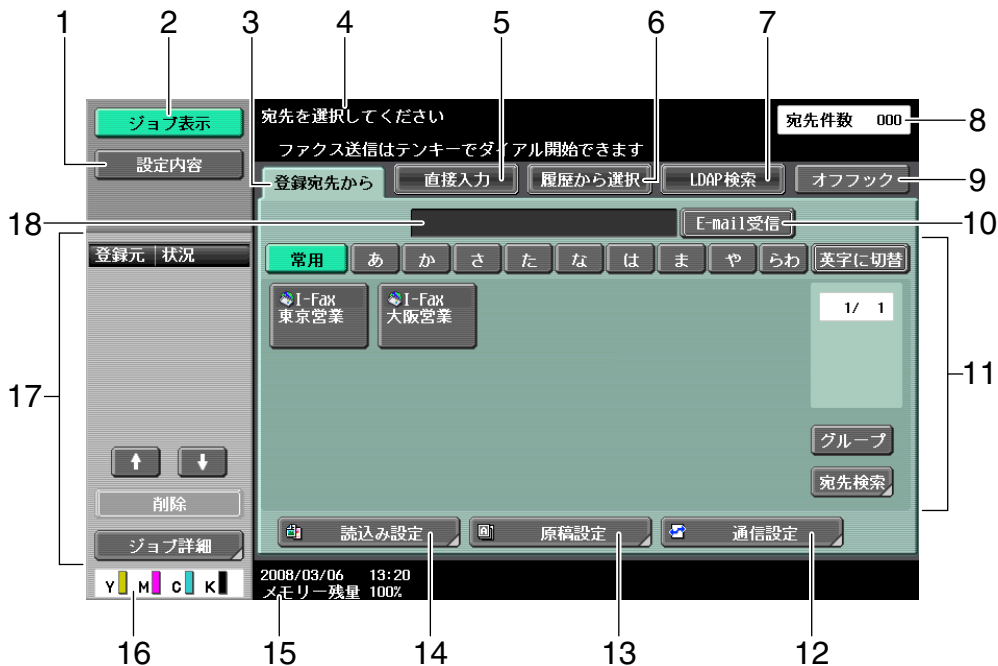
No.	名称	説明
22	【コピー】キー	コピー機能に切換わります。(初期設定ではコピー機能が選択されています。)コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。 詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をご覧ください。



タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。サービスコール画面 (p. 4-11) が表示され操作できなくなったときは、故障の原因になるおそれがありますので、トラブルコードを書き留め、直ちに本体電源プラグを抜いてサービス実施店にご連絡ください。そのとき、書き留めたトラブルコードをお知らせください。

■ ネットワークファクス機能で表示される画面

操作パネルの【ファクス / スキャン】を押すと、ファクス / スキャン画面が表示されます。画面内に表示されたキーを指で軽く押すことにより、表示された宛先や機能を選択できます。



No.	名称	説明
1	〔設定内容〕キー	左エリアに選択中の宛先リストを表示します。
2	〔ジョブ表示〕キー	左エリアに実行中のジョブおよび実行待ちのジョブのリストを表示します。

No.	名称	説明
3	〔登録宛先から〕タブ	登録した宛先を選択する画面を表示します。(p. 2-30、p. 2-42)
4	メッセージ表示エリア	本機の状態やそのときにしなければならない操作手順などを表示します。
5	〔直接入力〕タブ	宛先を直接入力するための画面を表示します。(p. 2-35、p. 2-42)
6	〔履歴から選択〕タブ	インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクスでは使用しません。
7	〔LDAP 検索〕タブ	LDAP サーバーから宛先を検索する画面を表示します。(p. 2-37、p. 2-39)
8	宛先件数	設定した送信先の件数を表示します。
9	〔オフフック〕キー	インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクスでは使用しません。
10	〔E-mail 受信〕キー	インターネットファクス（電子メール）を手動で取得します。(p. 3-2)
11	設定エリア	宛先を設定したり、機能を設定します。
12	〔通信設定〕キー	通信に関する設定をするメニューを表示します。インターネットファクスを使用する場合に、E-mail 設定をします。(p. 6-4)
13	〔原稿設定〕キー	混載原稿や原稿のとじしろなど、原稿に関する設定をするメニューを表示します。(p. 6-3)
14	〔読み込み設定〕キー	原稿画質や解像度など、読み込みに関する設定をするメニューを表示します。(p. 2-25、p. 6-2)
15	メモリー残量	作業中に使用するメモリーの残量を表示します。
16	トナー残量	トナーの残量を表示します。
17	左エリア	ジョブリストや宛先リストなどを表示します。
18	宛先表示部	設定した宛先を表示します。

ひとこと

- ・〔登録宛先〕、〔直接入力〕、〔履歴から選択〕、〔LDAP 検索〕の表示位置は、設定メニューの〔ファクス / スキャン設定〕によって異なります。詳しくは、「ファクス / スキャン画面の初期状態を設定する（ファクス / スキャン設定）」(p. 9-19) をごらんください。
- ・設定メニューの〔宛先 2 度入力機能（送信）〕が〔ON〕に設定されている場合は、〔履歴から選択〕と〔オフフック〕は表示されません。〔宛先 2 度入力機能（送信）〕については、「機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）」(p. 9-72) をごらんください。

1.7 はじめに設定してください

■ 設定が必要な項目（インターネットファクス）

本機の設置が終了したら、インターネットファクス機能を使うために、次の項目を設定します。これらの項目が正しく登録されていないと、ファクス通信できない場合があります。必ず登録してください。

- 管理者 / 本体登録
 - 本体アドレス登録
E-mail アドレス
- ネットワーク設定
 - TCP/IP 設定
 - E-mail 設定
E-mail 送信 (SMTP)
E-mail 受信 (POP)
 - ネットワークファクス設定 > ネットワークファクス機能設定 > インターネットファクス機能 (ON/OFF*)
- ファクス設定
 - 発信元 / ファクス ID 登録
発信元
 - レポート出力設定
ネットワークファクス受信エラーレポート (ON*/OFF)
MDN メッセージ (ON*/OFF)
DSN メッセージ (ON/OFF*)
正常受信メール本文印刷 (ON*/OFF)
 - ネットワークファクス設定
インターネットファクス自機受信能力
インターネットファクス拡張設定

* はお買い上げ時の初期値です。

■ 設定が必要な項目（SIP ファクス）

SIP ファクス機能を使うために、本機で次の項目を設定します。また、SIP-FAX アダプタの設定を行う必要があります。本機の IP アドレス、本機との通信用ポート番号を、SIP-FAX アダプタに設定する必要があります。

詳しく説明します

インターネットファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

設定のしかたについては、「第 9 章 設定メニュー」をごらんください。

詳しく説明します

発信元の設定は、通常の G3 ファクスと共用です。

詳しく説明します

SIP ファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

- ・ 本機の設定については、「第 9 章 設定メニュー」をごらんください。
- ・ SIP-FAX アダプタの設定については、SIP-FAX アダプタの取扱説明書をごらんください。

- ネットワーク設定

- TCP/IP 設定

- ネットワークファクス設定

ネットワークファクス機能設定 > SIP ファクス機能
(ON/OFF*、IP アドレス (SIP-FAX アダプタの IP
アドレス)、ポート番号 (SIP-FAX アダプタとの通信
用ポート番号))

SMTP 送信設定 (接続タイムアウト)

SMTP 受信設定 (使用する */ 使用しない、接続タイ
ムアウト)

SIP ファクス使用時は、SMTP 送信設定 /SMTP 受信
設定のポート番号設定は無効です。SIP ファクス使用
時の SMTP ポート番号は 25 固定です。

- ファクス設定

- 発信元 / ファクス ID 登録

- レポート出力設定 > ネットワークファクス受信エラー
レポート (ON*/OFF)

- ネットワークファクス設定

白黒 2 値圧縮方法 (MMR*/MR/MH))

* はお買い上げ時の初期値です。

詳しく説明します

- ・ SIP ファクス機能は、IP アドレスファクス機能を ON にすると、自動的に OFF に設定されます。
- ・ SIP ファクス機能設定の IP アドレス、ポート番号を変更した場合は、主電源の OFF/ON が必要になります。

詳しく説明します

発信元の設定、ファクス ID は、通常の G3 ファクスと共用です。

必ず守ってください

TCP/IP 設定、SIP-FAX アダプタの IP アドレスとポート番号については、SIP-FAX アダプタの設定と合わせる必要があります。設定を変更する場合は、本機と SIP-FAX アダプタ両方を変更する必要がありますのでご注意ください。

<接続確認>

設定完了後は、以下の手順で SIP-FAX アダプタとの接続確認を行います。

1

【設定メニュー / カウンター】を押し、管理者設定画面を表示します。

2

[ファクス設定]、[ネットワークファクス設定]、[SIP アダプター接続確認] の順に押します。

3

[接続確認実行] を押します。



管理者設定画面の表示については、「管理者設定画面を表示するには」(p. 9-3) をご覧ください。

■ 設定が必要な項目 (IP アドレスファクス)

- ネットワーク設定
 - TCP/IP 設定
 - ネットワークファクス設定
 - ネットワークファクス機能設定 > IP アドレスファクス機能 (ON/OFF*)
 - SMTP 送信設定 (ポート番号、接続タイムアウト)
 - SMTP 受信設定 (使用する */ 使用しない、ポート番号、接続タイムアウト)
- ファクス設定
 - 発信元 / ファクス ID 登録
 - レポート出力設定 > ネットワークファクス受信エラーレポート (ON*/OFF)
 - ネットワークファクス設定
 - 白黒 2 値圧縮方法 (MMR*/MR/MH)

* はお買い上げ時の初期値です。

詳しく説明します

IP アドレスファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

詳しく説明します

IP アドレスファクス機能は、SIP ファクス機能を ON にすると、自動的に OFF に設定されます。

詳しく説明します

発信元の設定、ファクス ID は、通常の G3 ファクスと共用です。

1.8 設定しておくとお利便な機能

よく送信する宛先を短縮宛先やグループ宛先に登録したり、よく使用する送信条件をプログラム宛先に登録しておく、登録されたキーを押すだけで登録内容を読み出すことができます。

- 短縮宛先

よく送信する宛先を短縮宛先に登録しておく、短縮宛先キーを押すだけで、宛先を読み出すことができます。

- グループ宛先

同じ複数の宛先に送信する場合に、短縮宛先に登録した宛先をグループ化して登録しておく、グループ宛先キーを押すだけで、複数の宛先を読み出すことができます。

- プログラム宛先

よく送信する宛先とよく使用する通信機能を、プログラム宛先に登録しておく、プログラムキーを押すだけで登録内容を読み出すことができます。



短縮宛先の登録のしかたについては、「短縮宛先を登録する」(p. 8-4)を参照ください。



グループ宛先の登録のしかたについては、「グループ宛先を登録する」(p. 8-20)を参照ください。



プログラム宛先の登録のしかたについては、「プログラム宛先を登録する」(p. 8-26)を参照ください。

1.9 ユーザー認証と部門認証について

本機の使用にあたって、部門名やユーザー名、パスワードを入力するよう設定されている機器があります。使用できる部門名やユーザー名は管理者に確認してください。

■ ユーザー認証（本体装置認証）の場合

ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] または【ID】を押します。

ジョブ表示

登録元 状況

ジョブ詳細

↑ ↓

削除

ログインするユーザー名とパスワードを入力し
【ログイン】キー、または【ID】キーを押してください

パブリックユーザー

ユーザー名

パスワード

ログイン

2008/05/01 03:53
メモリ残量 100%



ユーザー認証と部門認証については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

ユーザー認証（外部サーバー認証）の場合

ユーザー名、パスワード、認証するサーバーを指定し、[ログイン] または【ID】を押します。

ジョブ表示

登録元 状況

ジョブ詳細

↑ ↓

削除

ログインするユーザー名とパスワードを入力し
【ログイン】キー、または【ID】キーを押してください

パブリックユーザー

ユーザー名

パスワード

サーバー名称

ログイン

2008/05/01 03:59
メモリ残量 100%

■ 部門認証の場合

部門名とパスワードを入力し、【ID】を押します。



ひとこと

- ・ 管理者設定の「認証操作禁止機能」でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、そのユーザーがロックされて使用できなくなります。操作禁止状態の解除については管理者にお問い合わせください。
- ・ PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、ログインについてはサーバーの管理者におたずねください。
- ・ オプションの認証装置 AU-101 を使用して認証を行っている場合のログイン方法は、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。



第 2 章

送信する

ネットワークファクス送信の操作について説明します。

2.1	操作の流れ（インターネットファクス）	2-2
2.2	操作の流れ（SIP ファクス）	2-7
2.3	操作の流れ（IP アドレスファクス）	2-12
2.4	原稿をセットする	2-17
2.5	送信カラーを設定する（SIP ファクス /IP アドレスファクス）	2-23
2.6	読み込み条件を設定する	2-25
2.7	宛先を 1 箇所だけ指定する	2-30
2.8	複数の宛先を指定する（同報送信）	2-41
2.9	プログラム宛先で送信する	2-43
2.10	設定状態を確認する	2-45
2.11	原稿読み込み中の動作	2-48
2.12	送信できないときは	2-49
2.13	送信を予約する	2-52
2.14	送信を中止する	2-54
2.15	送信予約ジョブを確認する	2-55
2.16	通信結果を確認する	2-56
2.17	発信元情報について	2-59
2.18	送信前に読み込み状態を確認する（仕上りプレビュー）	2-60

2.1 操作の流れ（インターネットファクス）

インターネットファクス送信時の操作の流れについて説明します。

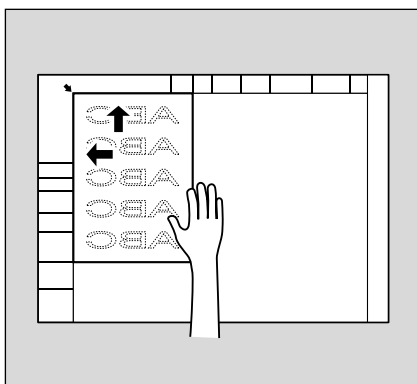
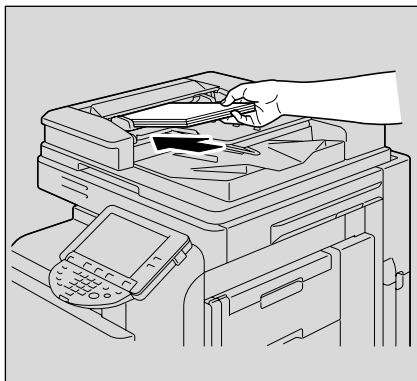
■ インターネットファクスを送信するには

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

原稿をセットします。



詳しく説明します

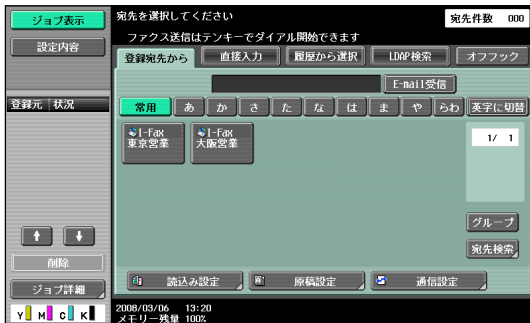
ここでは、片面の原稿を基本的な操作で送信する方法を説明します。本機には、さらに便利にファクス送信をするためのいろいろな機能が用意されています。詳しくは「第 6 章 便利な送信」をごらんください。

参照

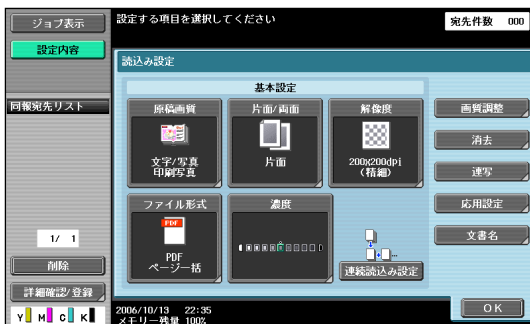
原稿セットについては、「原稿をセットする」(p. 2-17)をごらんください。

3

「読み込み設定」を押し、機能を設定し、「OK」を押します。

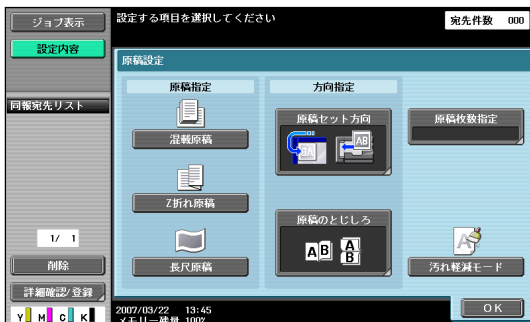


- お買い上げ時は、読み込み設定の機能は次のように設定されています。
 [原稿画質] : 文字 / 写真 (印刷写真)
 [片面 / 両面] : 片面
 [解像度] : 200 × 200 dpi (精細)
 [濃度] : ふつう



4

「原稿設定」を押し、機能を設定し、「OK」を押します



ひとこと

「ファイル形式」は、インターネットファクス機能では使用しません。

参照

- ・ 読み込み設定の基本設定のしかたについては、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) をごらんください。
- ・ [画質調整]、[消去]、[連写]、[応用設定] については、「読み込み設定」(p. 6-2) をごらんください。

参照

原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をごらんください。

5

「通信設定」 を押し、機能を設定し、「閉じる」 を押します



通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をごらんください。

6

相手の電子メールアドレスを指定します。

- ・ 登録宛先
 - ・ 直接入力
 - ・ LDAP 検索
 - ・ グループ宛先
 - ・ プログラム宛先

入力した宛先が、左エリアの同報宛先リストに表示されます。



電子メールアドレスの指定のしかたについては、「宛先を 1 箇所だけ指定する」(p. 2-30)、「複数の宛先を指定する (同報送信)」(p. 2-41) をごらんください。



詳しく説明します

- ・ 選択した宛先をキャンセルするには、キャンセルしたい宛先をもう一度選択します。
- ・ 【リセット】を押すと、入力した番号と選択した設定がすべてクリアされます。
- ・ 設定メニューの〔手動宛先入力〕が〔禁止〕に設定されている場合、または、ユーザー認証設定の〔機能制限〕で〔手動宛先入力〕が〔許可しない〕に設定されている場合は、〔直接入力〕タブおよび〔LDAP 検索〕タブが表示されません。〔手動宛先入力〕の設定については、「ファクス番号の直接入力を禁止する (手動宛先入力)」(p. 9-85) を、ユーザー認証設定については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

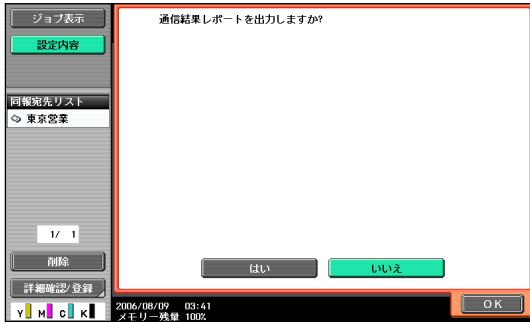
ひとこと

相手の電子メールアドレスを短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先に登録しておく、簡単に相手の電子メールアドレスを指定することができます。短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先の登録については、「第 8 章 登録 / 設定する」をごらんください。

7

【スタート】を押します。

- 送信結果レポート画面を表示するように設定しているときは、次の画面が表示されます。[はい] を押すと、送信結果レポートがプリントされます。



原稿の読み込みが始まり、送信されます。

詳しく説明します

- 宛先確認表示機能が設定されている場合は、宛先確認 / 登録画面が表示されます。宛先が正しいことを確認して「送信」を押します。詳しくは、「宛先を再確認して送信する (宛先確認表示機能)」(p. 6-41) をごらんください。
- 送信を中止する場合は、【ストップ】を押します。
- 送信できない場合については、「送信できない (インターネットファクス)」(p. 4-2) をごらんください。
- 送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます (送信結果レポートをプリントするように設定している場合)。また、送信ごとに送信結果レポートを出力するかどうか選択するよう、送信結果レポート画面を表示するように設定できます。レポートのプリント方法については、「レポートのプリント方法を設定する (レポート出力設定)」(p. 9-78) をごらんください。
- 送信結果レポートについては、「送信結果レポート」(p. 10-9) をごらんください。

詳しく説明します

設定メニューの「E-mail 送信 (SMTP 設定)」で、SMTP サーバー容量が設定されている場合、設定されているサイズを超えると、エラーになり送信できません。詳しくは、「E-mail 送信を設定する (E-mail 送信 (SMTP))」(p. 9-50) をごらんください。

2.2 操作の流れ（SIP ファクス）

SIP ファクス送信時の操作の流れについて説明します。

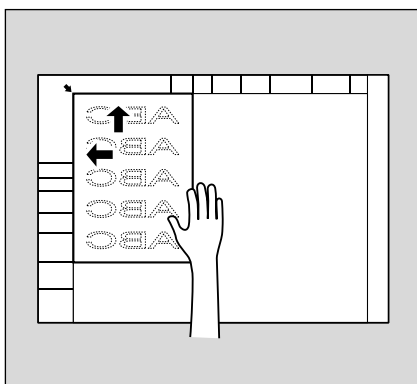
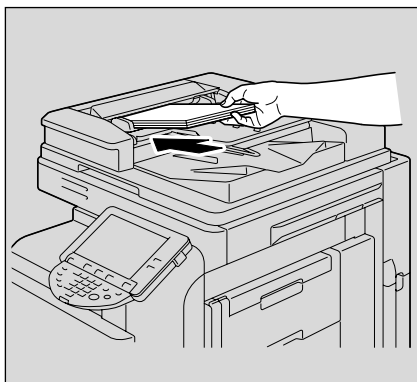
■ SIP ファクスを送信するには

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

原稿をセットします。



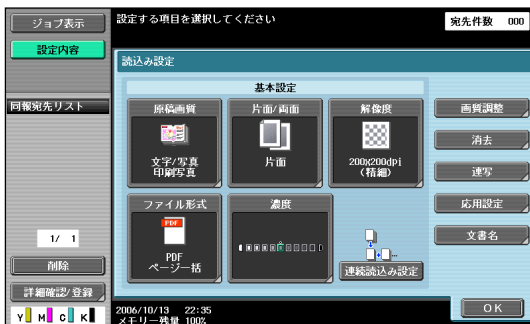
原稿セットについては、「原稿をセットする」(p. 2-17) をご覧ください。

3

「読み込み設定」を押し、機能を設定して、「OK」を押します。

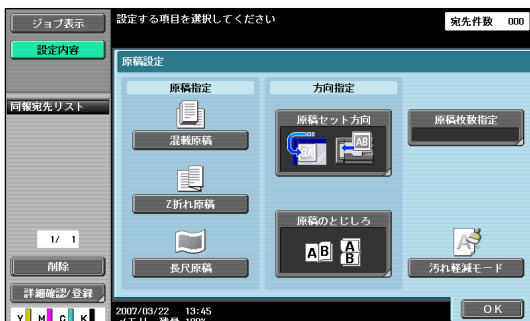


- お買い上げ時は、読み込み設定の機能は次のように設定されています。
 「原稿画質」：文字 / 写真（印刷写真）
 「片面 / 両面」：片面
 「解像度」：200 × 200 dpi（精細）
 「濃度」：ふつう



4

「原稿設定」を押し、機能を設定し、「OK」を押します。



ひとこと

SIP ファクス送信時の「ファイル形式」は、以下のとおりです。

- ・ カラー時：PDF
- ・ モノクロ時：TIFF

参照

- ・ 読み込み設定の基本設定のしかたについては「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) をごらんください。
- ・ 「画質調整」、「消去」、「連写」、「応用設定」については、「読み込み設定」(p. 6-2) をごらんください。

参照

原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をごらんください。

5

「通信設定」を押し、機能を設定し、「閉じる」を押します。



6

相手の SIP ファクス番号を指定します。

- ・登録宛先
 - ・直接入力
 - ・LDAP 検索
 - ・グループ宛先
 - ・プログラム宛先

入力した宛先が、左エリアの同報宛先リストに表示されます。



通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をごらんください。



SIP ファクス番号の指定のしかたについては、「宛先を1箇所だけ指定する」(p. 2-30)、「複数の宛先を指定する(同報送信)」(p. 2-41) をごらんください。



詳しく説明します

- ・選択した宛先をキャンセルするには、キャンセルしたい宛先をもう一度選択します。
- ・【リセット】を押すと、入力した番号と選択した設定がすべてクリアされます。
- ・設定メニューの「手動宛先入力」が「禁止」に設定されている場合、または、ユーザー認証設定の「機能制限」で「手動宛先入力」が「許可しない」に設定されている場合は、「直接入力」タブおよび「LDAP 検索」タブが表示されません。「手動宛先入力」の設定については、「ファクス番号の直接入力を禁止する(手動宛先入力)」(p. 9-85) を、ユーザー認証設定については、「ユーザースガイドコピー機能編」をごらんください。

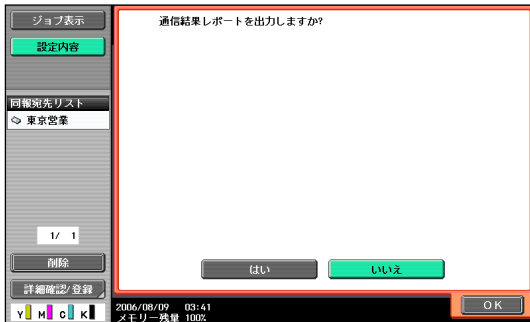
ひとこと

- ・ 直接入力で宛先を指定する場合は、ファクス送信画面で[SIP ファクス送信]を押し、カラーで送信する場合は、[カラー機]を押します。
- ・ SIP ファクスの電話番号と、通常のファクスの電話番号は異なります。お間違えのないよう入力してください。
- ・ 相手の SIP ファクス番号を短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先に登録しておく、簡単に相手の SIP ファクス番号を指定することができます。短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先の登録については、「第 8 章 登録 / 設定する」をごらんください。

7

【スタート】を押します。

- 送信結果レポート画面を表示するように設定しているときは、次の画面が表示されます。[はい] を押すと、送信結果レポートがプリントされます。



原稿の読み込みが始まり、送信されます。

詳しく説明します

- ・宛先確認表示機能が設定されている場合は、宛先確認 / 登録画面が表示されます。宛先が正しいことを確認して「送信」を押します。詳しくは、「宛先を再確認して送信する (宛先確認表示機能)」(p. 6-41) をごらんください。
- ・送信を中止する場合は、【ストップ】を押します。
- ・送信できない場合については、「送信できない (SIP ファクス / IP アドレスファクス)」(p. 4-3) をごらんください。
- ・送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます (送信結果レポートをプリントするように設定している場合)。レポートのプリント方法については、「レポートのプリント方法を設定する (レポート出力設定)」(p. 9-78) をごらんください。
- ・送信結果レポートについては、「送信結果レポート」(p. 10-9) をごらんください。

2.3 操作の流れ (IP アドレスファクス)

IP アドレスファクス送信時の操作の流れについて説明します。

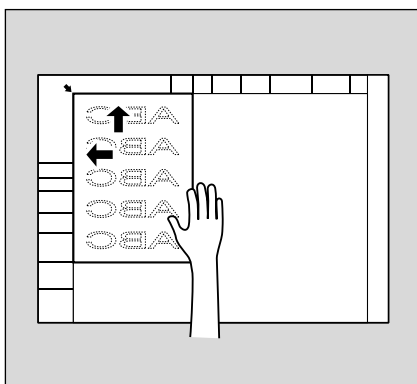
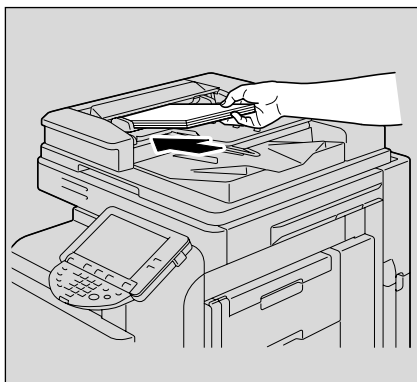
■ IP アドレスファクスを送信するには

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

原稿をセットします。



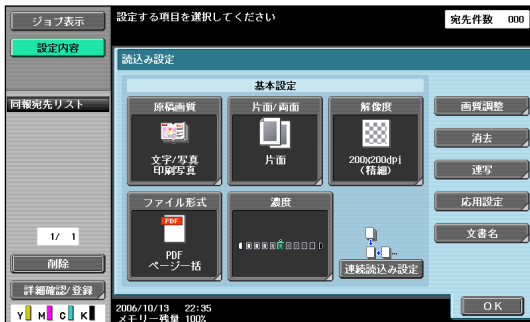
原稿セットについては、「原稿をセットする」(p. 2-17) をご覧ください。

3

「読み込み設定」を押し、機能を設定して、「OK」を押します。

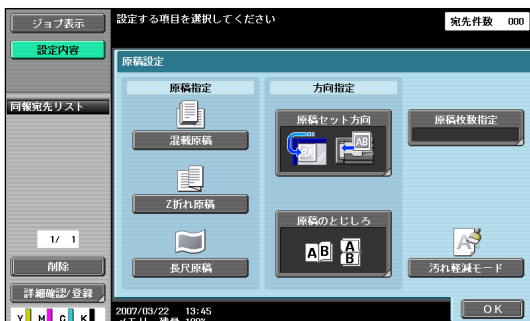


- お買い上げ時は、読み込み設定の機能は次のように設定されています。
 「原稿画質」：文字 / 写真（印刷写真）
 「片面 / 両面」：片面
 「解像度」：200 × 200 dpi（精細）
 「濃度」：ふつう



4

「原稿設定」を押し、機能を設定し、「OK」を押します。



ひとこと

IP アドレスファクス送信時の「ファイル形式」は、以下のとおりです。

- ・ カラー時：PDF
- ・ モノクロ時：TIFF

参照

- ・ 読み込み設定の基本設定のしかたについては、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) をごらんください。
- ・ 「画質調整」、「消去」、「連写」、「応用設定」については、「読み込み設定」(p. 6-2) をごらんください。

参照

原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をごらんください。

5

「通信設定」を押し、機能を設定し、「閉じる」を押します。



通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をごらんください。

6

相手の IP アドレスを指定します。

- ・ 登録宛先
 - ・ 直接入力
 - ・ LDAP 検索
 - ・ グループ宛先
 - ・ プログラム宛先

入力した宛先が、左エリアの同報宛先リストに表示されます。



IP アドレスの指定のしかたについては、「宛先を 1 箇所だけ指定する」(p. 2-30)、「複数の宛先を指定する (同報送信)」(p. 2-41) をごらんください。



- 詳しく説明します**
- ・ 選択した宛先をキャンセルするには、キャンセルしたい宛先をもう一度選択します。
 - ・ 【リセット】を押すと、入力した番号と選択した設定がすべてクリアされます。
 - ・ 設定メニューの〔手動宛先入力〕が〔禁止〕に設定されている場合、または、ユーザー認証設定の〔機能制限〕で〔手動宛先入力〕が〔許可しない〕に設定されている場合は、〔直接入力〕タブおよび〔LDAP 検索〕タブが表示されません。〔手動宛先入力〕の設定については、「ファクス番号の直接入力を禁止する (手動宛先入力)」(p. 9-85) を、ユーザー認証設定については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

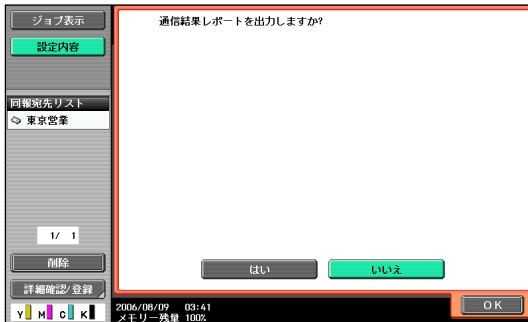
ひとこと

- ・ カラーで送信する場合は、IP アドレスファクス送信の〔カラー機〕を押します。
- ・ 相手の IP アドレスを短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先に登録しておく、簡単に相手の IP アドレスを指定することができます。短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先の登録については、「第 8 章 登録 / 設定する」をごらんください。

7

【スタート】を押します。

- 送信結果レポート画面を表示するように設定しているときは、次の画面が表示されます。[はい] を押すと、送信結果レポートがプリントされます。



原稿の読み込みが始まり、送信されます。

詳しく説明します

- ・宛先確認表示機能が設定されている場合は、宛先確認 / 登録画面が表示されます。宛先が正しいことを確認して「送信」を押します。詳しくは、「宛先を再確認して送信する (宛先確認表示機能)」(p. 6-41) をごらんください。
- ・送信を中止する場合は、【ストップ】を押します。
- ・送信できない場合については、「送信できない (SIP ファクス / IP アドレスファクス)」(p. 4-3) をごらんください。
- ・送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます (送信結果レポートをプリントするように設定している場合)。レポートのプリント方法については、「レポートのプリント方法を設定する (レポート出力設定)」(p. 9-78) をごらんください。
- ・送信結果レポートについては、「送信結果レポート」(p. 10-9) をごらんください。

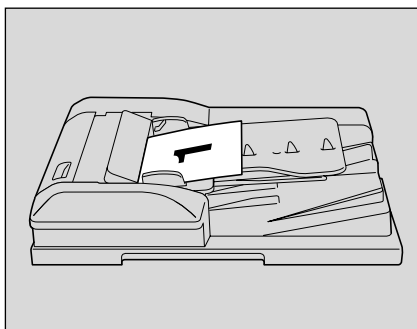
2.4 原稿をセットする

本機では、ADF と原稿ガラスに原稿をセットできます。ADF に原稿をセットすると、自動的に ADF から読み込まれます。

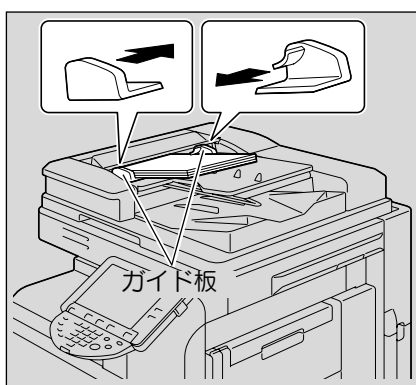
■ ADF に原稿をセットする

ADF を使用すると、複数枚の原稿を自動的に読み込むことができます。また、両面原稿を送信することもできます。

- 1 ADF を閉じます。
- 2 1 ページ目から順に原稿を揃えます。
- 3 送信する面を上にして ADF に原稿を置きます。



- 4 原稿ガイド板を原稿に沿わせます。



詳しく説明します

正しく送信元情報を記録するためには、原稿の先端を ADF に挿入します。

詳しく説明します

混載原稿の場合、原稿ガイド板を原稿の最大幅にして、原稿を奥側に突き当てます。

■ 原稿ガラスに原稿をセットする

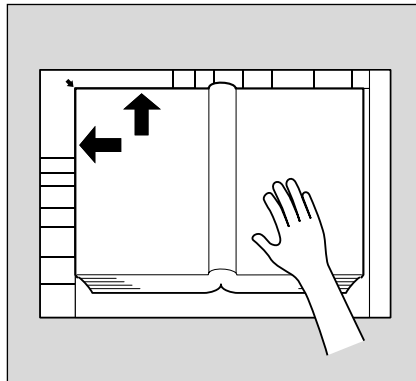
原稿ガラスを使用すると、ADF にセットできない原稿（本などのように厚みのある原稿や薄い原稿など）を送信することができます。

1

ADF を開きます。

2

送信する面を下に向け、左側のスケール板に合わせて原稿を左奥側に突き当てます。

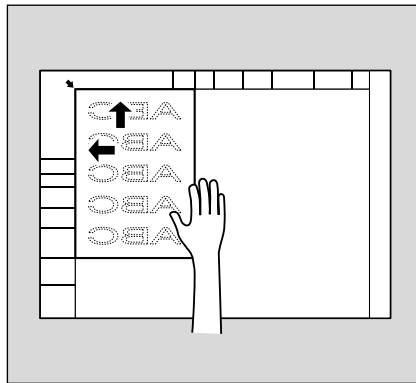
**3**

ADF を静かに閉じます。

■ 原稿ガラスで複数枚の原稿を送るには

ADF にセットできない複数枚の原稿を、原稿ガラスを使って連続して送信することができます。

- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
- 2 宛先を指定します。
- 3 必要に応じて機能を設定します。
- 4 原稿ガラスに原稿をセットし、[読み込み設定]、[連続読み込み設定]、[OK] の順に押し、【スタート】を押します。



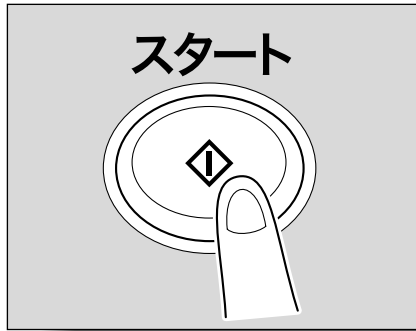
- 5 原稿ガラスに続きの原稿をセットし、【スタート】を押します。
 - 送信したいすべての原稿の読み込みが終わるまで、この操作を繰り返します。
 読み込んだ原稿がメモリーに蓄積されます。
- 6 [読み込み終了] を押します。

ひとこと

[設定変更] を押すと、片面 / 両面設定や枠消しの設定などの変更ができます。

7

【スタート】を押します。
送信が開始されます。



■ ADF/原稿ガラスの両方を使って原稿を送るには

ADF と原稿ガラスの両方を使って原稿を読込んだり、大量の原稿を何回かに分けて ADF にセットして読込むことができます。

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

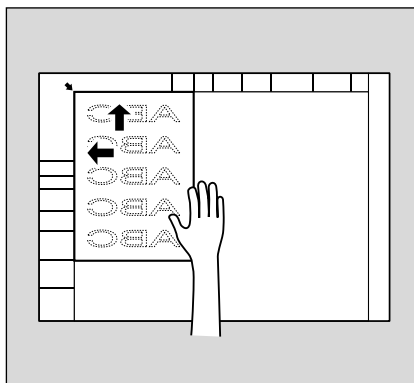
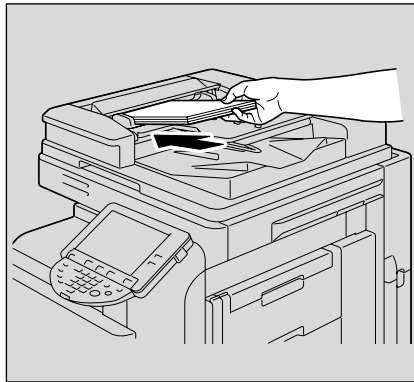
宛先を指定します。

3

必要に応じて機能を設定します。

4

ADF、または原稿ガラスに原稿をセットし、[読み込み設定]、[連続読み込み設定]、[OK] の順に押し、【スタート】を押します。



詳しく説明します

- ・ 原稿ガラスと ADF では、ADF が優先されます。
- ・ ADF への原稿セットについては、「ADF に原稿をセットする」(p. 2-17) を、原稿ガラスへの原稿のセットについては、「原稿ガラスに原稿をセットする」(p. 2-18) をご覧ください。

5

ADF、または原稿ガラスに続きの原稿をセットし、**【スタート】**を押します。

- 送信したいすべての原稿の読み込みが終わるまで、この操作を繰り返します。

読込んだ原稿がメモリーに蓄積されます。

6

【読み込み終了】を押します。

7

【スタート】を押します。

送信が開始されます。



ひとこと

【設定変更】を押すと、片面 / 両面設定や枠消しの設定などの変更ができます。

2.5 送信カラーを設定する（SIP ファクス /IP アドレスファクス）

カラーで送信するか、モノクロで送信するかを設定します。

原則

- ・ SIP ファクス /IP アドレスファクスを使用する場合のみ、カラーで送受信できます。
インターネットファクスでは、カラーで送受信できません。
- ・ 相手機が SIP ファクス /IP アドレスファクスに対応している必要があります。

■ 送信カラーを設定するには

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

【読み込み設定】を押しします。

3

【画質調整】を押しします。



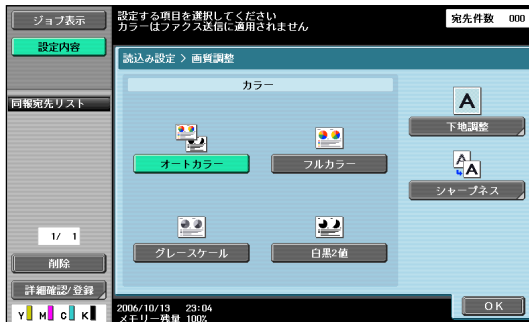
ひとこと

カラー送信する場合、相手先機種を「カラー機」に設定してください。「カラー機」設定については、「直接入力で指定する」(p. 2-35)、「短縮宛先に SIP ファクス番号を登録する」(p. 8-7)、「短縮宛先に IP アドレスを登録する」(p. 8-11) をごらんください。

4

「カラー」から目的のモードを選択します。

- [オートカラー]：原稿の色を自動的に判別し、原稿に合わせてスキャンします。
- [フルカラー]：フルカラーでスキャンします。
- [グレースケール]：白黒写真などのハーフトーンが多いときに選択します。
- [白黒2値]：グレーを含まない完全な白色と黒色の2色だけの原稿のときに選択します。



詳しく説明します

- ・ カラー送信モードの場合は、ファイル形式はPDF固定です。
- ・ グレースケールを選択した場合は、送信画像はモノクロになります。

5

[OK] を押します。

読み込み設定画面に戻ります。

6

[OK] を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

7

必要に応じて、その他の機能を設定します。

2.6 読み込み条件を設定する

ファクス / スキャン画面の「読み込み設定」を押すと、「原稿画質」、「片面 / 両面」、「解像度」、「ファイル形式」、「濃度」が表示され、送信する原稿に合わせて送信条件を設定できます。

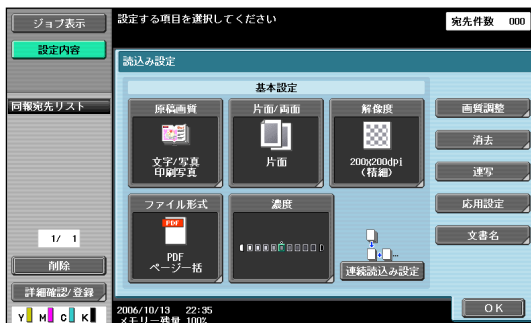
■ 読み込み設定をするには

1

ファクス / スキャン画面の「読み込み設定」を押します。

2

設定したい機能を選択します。



ひとこと

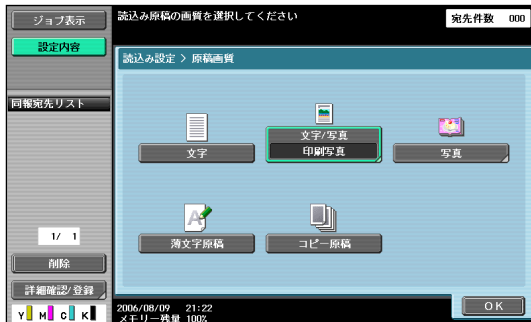
カラー送信する場合、相手先機種を「カラー機」に設定してください。「カラー機」設定については、「直接入力で指定する」(p. 2-35)、「短縮宛先に SIP ファクス番号を登録する」(p. 8-7)、「短縮宛先に IP アドレスを登録する」(p. 8-11) をごらんください。

詳しく説明します

ページ単位で送信条件を設定することはできません。

■ 原稿画質

原稿の内容に応じて原稿画質を設定します。



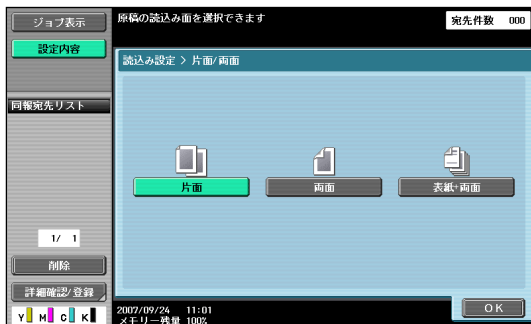
原稿画質には、次の5種類があります。

お買い上げ時は、[文字 / 写真] に設定されています。

- [文字] :
文字だけの原稿を読み込む場合に押します。このモードを選択して写真原稿を読み込むと、写真の中間色が再現されず、黒くなります。
- [文字 / 写真] :
文字と写真（ハーフトーン）が混ざった原稿を読み込む場合に押します。1 ページ中に混ざっていても、複数ページに渡って混ざっていても、どちらの場合もこのモードを選択します。
- [写真] :
写真（ハーフトーン）だけの原稿を読み込む場合に押します。
- [薄文字原稿] :
鉛筆書きなど、薄く書かれた文字の原稿を読み込む場合に押します。
- [コピー原稿] :
複製した（コピーした）画像を原稿として読み込む場合に押します。

■ 片面 / 両面

原稿の状態に応じて ADF での読み込み方法を設定します。



読み込み方法には、次の 3 種類があります。

お買い上げ時は、[片面] に設定されています。

- [片面] : 片面原稿を読み込む場合に押します。
- [両面] : 両面原稿を読み込む場合に押します。
- [表紙 + 両面] : 表紙と両面原稿を読み込む場合に押します。表紙は表面のみを読み込み、2 枚目以降は表裏を読み込みます。

■ 解像度

原稿を読み込む細かさを設定します。



解像度には、次の4種類があります。

お買い上げ時には、[200 × 200 dpi (精細)] に設定されています。

- [200 × 100 dpi (普通)] :
送信時間を短くしたい場合に押します。
- [200 × 200 dpi (精細)] :
通常の原稿を読み込む場合に押します。
- [400 × 400 dpi (高精細)] :
小さな文字や図などがある原稿を読み込む場合に押します。
- [600 × 600 dpi (超高精細)] :
精細な図面や文字などがある特に細かい原稿を読み込む場合に押します。

詳しく説明します

- ・ [300 × 300 dpi] を選択した場合、200 × 200 dpi に変換して送信されます。ただし、SIP ファクス /IP アドレスファクス送信時にコンパクト PDF を選択した場合は、300 × 300 dpi で送信されます。
- ・ より精細に読み込むほど、送信する情報量が増え、通信時間が長くなります。
- ・ [200 × 100 dpi (普通)] を選択した場合、モノクロで送信されます。

■ 濃度

原稿の濃度に応じて濃度を設定します。



濃度は 9 段階に設定できます。

お買い上げ時は「ふつう」に設定されています。

- 「うすく」：
うすく読みみたい場合に押します。
- 「ふつう」：
標準の濃度設定にする場合に使用します。
- 「こく」：
濃く読みみたい場合に押します。

2.7 宛先を 1 箇所だけ指定する

ネットワークファクスで宛先を 1 箇所だけ指定する方法には、次の方法があります。

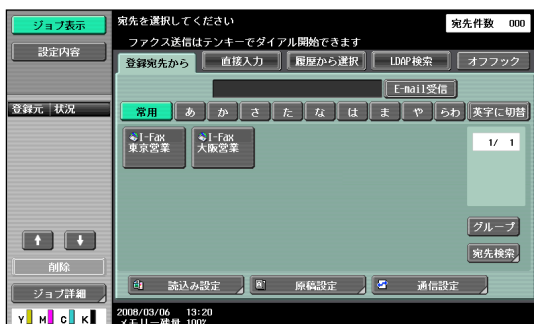
- 登録宛先から指定する
- 直接入力で指定する
- プログラム宛先から指定する

■ 登録宛先から指定する

短縮宛先が登録されている場合は、登録されている検索文字から検索して指定できます。

➡ [登録宛先から] タブに表示される、目的の宛先キーを押します。

- 目的の宛先キーが表示されていない場合、以下の方法で検索できます。
 - ・ 検索文字キーを押す
 - ・ 宛先種類で検索する
 - ・ 詳細を入力して検索する



宛先が指定されます。



- ・ 登録宛先から指定する方法については、「登録宛先から指定する」(p. 2-30) をご覧ください。
- ・ 直接入力で指定する方法については、「直接入力で指定する」(p. 2-35) をご覧ください。
- ・ プログラム宛先から指定する方法については、「プログラム宛先で送信する」(p. 2-43) をご覧ください。



詳しく説明します

- ・ 選択した宛先をキャンセルするには、キャンセルしたい宛先をもう一度選択します。
- ・ 【リセット】を押すと、選択した宛先と設定がクリアされます。



- ・ 宛先の登録については、「短縮宛先を登録する」(p. 8-4) をご覧ください。
- ・ 検索文字キーを押して、登録宛先を検索する方法は、「登録宛先を検索する (検索文字キー)」(p. 2-31) をご覧ください。
- ・ 宛先種類で検索する方法は、「登録宛先を検索する (宛先種類)」(p. 2-31) をご覧ください。
- ・ 詳細を入力して検索する方法は、「登録宛先を検索する (詳細検索)」(p. 2-33) をご覧ください。

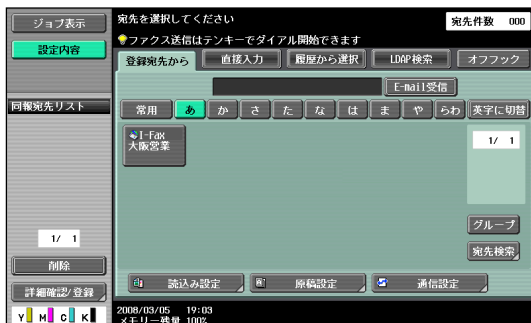
■ 登録宛先を検索する（検索文字キー）

宛先を登録するときに設定した検索文字で、宛先を検索できます。



「登録宛先から」タブに表示される検索文字のキー（[常用]、[あ]～[らわ]）を押します。

- 検索文字をローマ字で登録している場合は、[英字に切替]を押して、[ABC]～[WXYZ]、[etc]を表示させます。



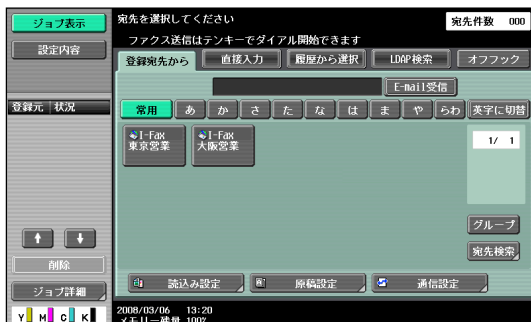
目的の宛先キーが表示されます。

■ 登録宛先を検索する（宛先種類）

宛先の種類（インターネットファクス、ファクス、IP アドレスファクスなど）から、宛先を検索できます。

1

「登録宛先から」タブの「宛先検索」を押します。

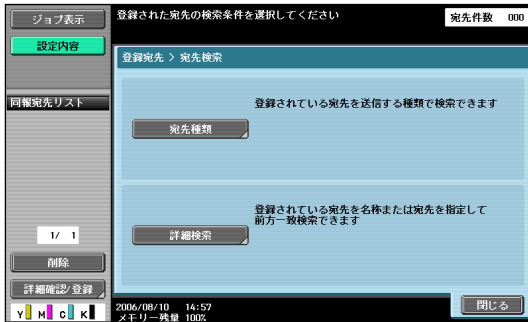


ひとこと

アドレス帳初期表示設定で、検索文字の初期設定の表示を変更することができます。詳しくは「ファクス機能の初期設定値を設定する（ファクス / スキャン初期設定）」(p. 9-26) をご覧ください。

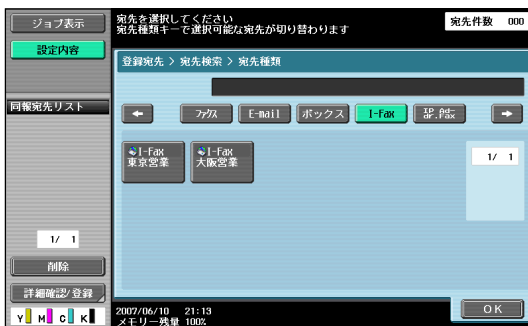
2

「宛先種類」を押します。



3

宛先の種類を選択します。



目的の宛先キーが表示されます。

ひとこと

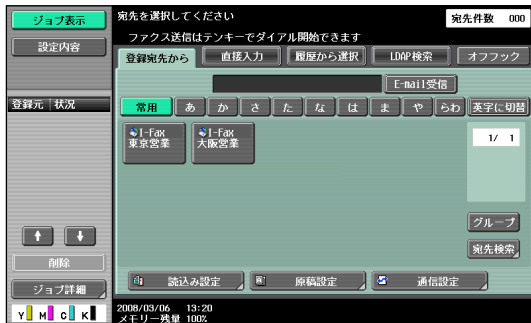
- ・ 目的の宛先種類のキーが表示されていない場合は、[←] または [→] を押します。
- ・ 「登録宛先から」初期表示設定で、「登録宛先から」タブの初期設定の表示を宛先種類に変更することができます。詳しくは、「ファクス機能の初期設定値を設定する（ファクス/スキャン初期設定）」(p. 9-26) をご覧ください。

■ 登録宛先を検索する（詳細検索）

宛先の名称または E-mail 宛先、ファクス番号、IP アドレスの一部から、宛先を検索できます。

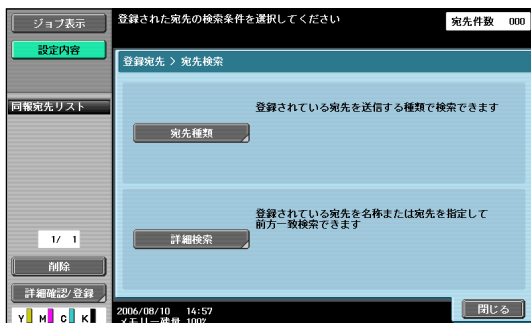
1

「登録宛先から」タブの「宛先検索」を押します。



2

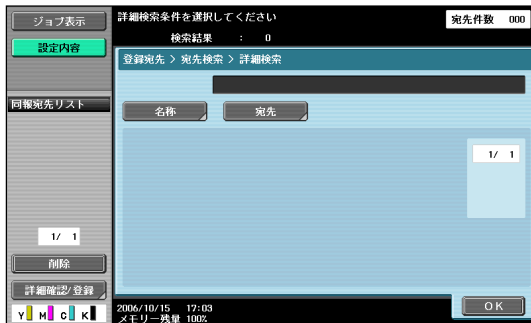
「詳細検索」を押します。



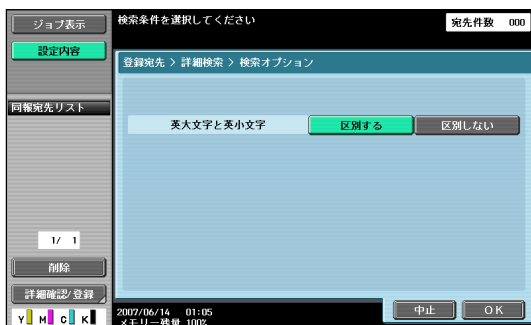
3

〔名称〕または〔宛先〕を押します。

- 画面に表示されたキーボードで、名称または E-mail 宛先、ファクス番号、IP アドレスを入力し、〔OK〕を押します。



- 検索オプション画面が表示された場合は、英大文字と英小文字を区別するかしないかを設定します。



目的の宛先キーが表示されます。

ひとこと

- ・入力した情報に当てはまる宛先が見つからなかった場合は、「検索結果：0」と表示され、画面にキーは表示されません。
- ・設定メニューの「検索オプション設定」の「英大文字と英小文字」が「区別する」に設定されている場合、英字の大文字／小文字を区別して検索されます。「検索オプション設定」については、「送信先検索時の英字大文字／小文字区別の設定をする（検索オプション設定）」(p. 9-24) をごらんください。
- ・設定メニューの「検索オプション設定」の「検索オプション画面」が「表示する」に設定されている場合、検索オプション画面が表示されます。「検索オプション設定」については、「送信先検索時の英字大文字／小文字区別の設定をする（検索オプション設定）」(p. 9-24) をごらんください。

■ 直接入力で指定する

短縮宛先に登録されていない宛先でも、直接入力で指定することができます。

1

ファクス / スキャン画面の「直接入力」を押します。



2

宛先種類を選択します。

- インターネットファクスを送信する場合は、「インターネットファクス」を押します。
- SIP ファクスを送信する場合は、「ファクス」を押します。
- IP アドレスファクスを送信する場合は、「IP アドレスファクス」を押します。



ひとこと

設定メニューの「手動宛先入力」が「禁止」に設定されている場合、または、ユーザー認証設定の「初期機能制限設定」または「機能制限」で「手動宛先入力」が「許可しない」に設定されている場合は、「直接入力」タブが表示されません。「手動宛先入力」の設定については、「ファクス番号の直接入力を禁止する（手動宛先入力）」(p. 9-85) を、ユーザー認証設定については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

ひとこと

ネットワークファクス機能で SIP ファクス機能を ON にしている場合は、IP アドレスファクス機能は使用できません。また、IP アドレスファクス機能を ON にしている場合は、SIP ファクス機能は使用できません。どちらの場合も、使用できない機能のキーは画面に表示されません。

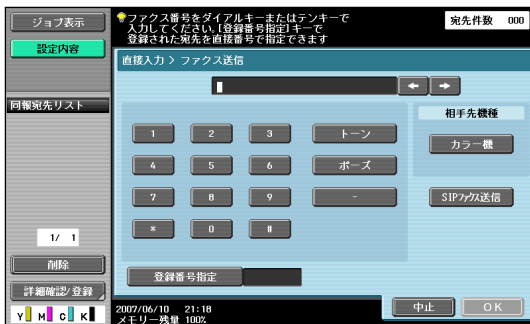
3

宛先を入力し、[OK] を押します。

- インターネットファクスの場合は、送信先の電子メールアドレスを画面のキーボードで入力します。
- [相手機受信能力] を押して、相手先の受信能力にあわせ、圧縮形式、用紙サイズ、解像度を選択します。お買い上げ時は、相手機受信能力の機能は次のように設定されています。
圧縮形式：MH
用紙サイズ：A4
解像度：200 × 200 dpi（精細） / 200 × 100 dpi（普通）



- SIP ファクスの場合は、送信先のファクス番号をテンキーまたは画面のキーボードで入力し、[SIP ファクス送信] を押します。
- 相手機がカラー機で、カラー文書を送信したい場合、[カラー機] を押します。



- IP アドレスファクスの場合は、[IP アドレス] を押し、テンキーまたは画面のキーボードで、IP アドレスまたはホスト名を入力して、[OK] を押します。ポート番号を変更する場合は、【C】を押して、番号をクリアし、目的のポート番号をテンキーで入力します。

詳しく説明します

【C】を押すと入力したアドレスまたは番号がすべてクリアされます。

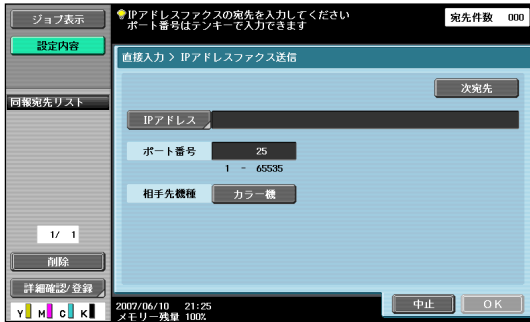
詳しく説明します

設定メニューの「宛先 2 度入力機能（送信）」が [ON] に設定されている場合は、直接入力画面の [OK] を押した後、もう一度直接入力画面が表示されます。送信先のファクス番号を入力し、【スタート】または [送信] を押すと送信が開始されます。

ひとこと

SIP ファクスの電話番号と、通常のファクスの電話番号は異なります。お間違えないように入力してください。

- 相手機がカラー機で、カラー文書を送信したい場合、[カラー機] を押します。



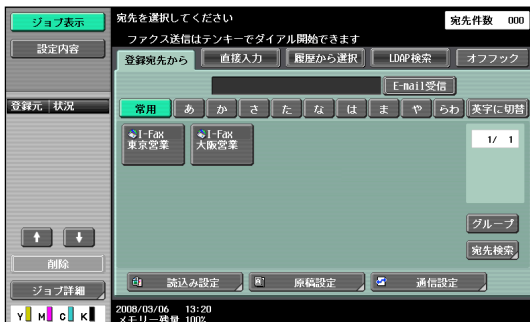
宛先が指定されます。

■ LDAP 検索をする（単検索）

検索するキーワードを入力し、指定した LDAP サーバー内で目的の宛先を検索できます。

1

ファクス / スキャン画面の [LDAP 検索] を押します。



ひとこと

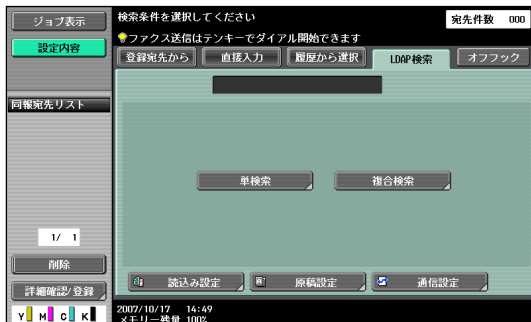
設定メニューの「手動宛先入力」が「禁止」に設定されている場合、または、ユーザー認証設定の「機能制限」で「手動宛先入力」が「許可しない」に設定されている場合は、[LDAP 検索] タブが表示されません。「手動宛先入力」の設定については、「ファクス番号の直接入力を禁止する（手動宛先入力）」(p. 9-85) を、ユーザー認証設定については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

参照

LDAP サーバーの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク / スキャナー機能編」をごらんください。

2

「単検索」を押します。



ひとこと

- ・LDAP サーバーが複数登録されている場合は、サーバー選択画面が表示されます。一覧から目的のサーバーを選択し、「OK」を押します。
- ・サーバーに接続時の認証が設定されている場合は、ログインのための画面が表示されます。

3

検索するキーワードを入力し、「検索開始」を押します。



指定した LDAP サーバー内で該当するアドレスが検索されます。

4

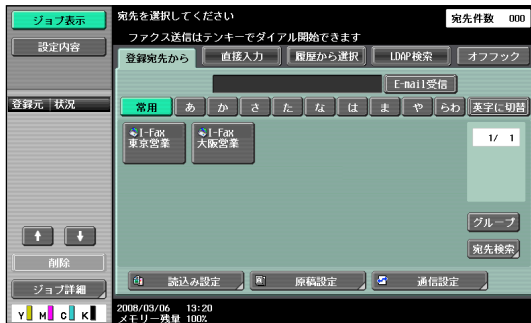
一覧から目的のアドレスを選択し、「OK」を押します。
宛先が指定されます。

■ LDAP 検索をする（複合検索）

複数の検索条件を設定し、指定した LDAP サーバー内で目的の宛先を検索できます。

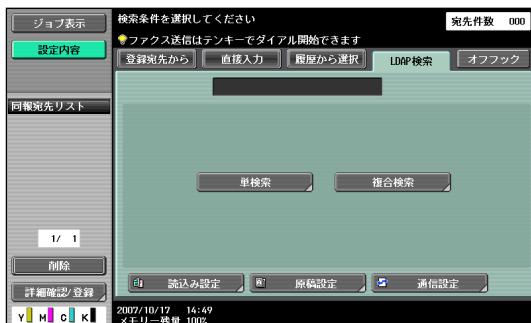
1

ファクス / スキャン画面の「LDAP 検索」を押します。



2

「複合検索」を押します。



ひとこと

設定メニューの「手動宛先入力」が「禁止」に設定されている場合、または、ユーザー認証設定の「機能制限」で「手動宛先入力」が「許可しない」に設定されている場合は、「LDAP 検索」タブが表示されません。「手動宛先入力」の設定については、「ファクス番号の直接入力を禁止する（手動宛先入力）」(p. 9-85)を、ユーザー認証設定については、「ユーザーズガイドコピー機能編」をごらんください。

参照

LDAP サーバーの設定については、「ユーザーズガイドネットワーク/スキャナー機能編」をごらんください。

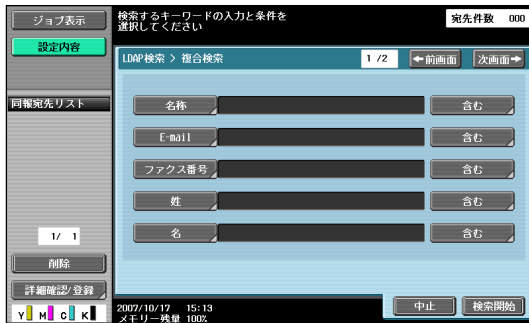
ひとこと

- ・ LDAP サーバーが複数登録されている場合は、サーバー選択画面が表示されます。一覧から目的のサーバーを選択し、「OK」を押します。
- ・ サーバーに接続時の認証が設定されている場合は、ログインのための画面が表示されます。

3

複数の検索条件を設定し、[検索開始] を押します。

- [名称]、[E-mail]、[ファクス番号]、[姓]、[名]、[都市名]、[会社名]、[組織名] を押して表示されるキーボードで条件を入力し、[OK] を押します。
- [含む] を押し、表示される画面でキーワードの検索条件を選択します。



指定した LDAP サーバー内で該当するアドレスが検索されます。

4

一覧から目的のアドレスを選択し、[OK] を押します。
宛先が指定されます。

2.8 複数の宛先を指定する（同報送信）

一度の操作で複数の宛先に原稿を送信することができます。この機能を同報送信と呼びます。

インターネットファクスのみの同報送信	短縮 500 件、直接入力 5 件の計 505 件。
インターネットファクス / G3 ファクスの混在同報送信	短縮 500 件、直接入力 105 件（インターネットファクス宛先 5 件、G3 ファクス宛先 100 件）の計 605 件。
SIP ファクスのみの同報送信	短縮 500 件、直接入力 100 件の計 600 件。
IP アドレスファクスのみの同報送信	短縮 500 件、直接入力 5 件の計 505 件。
SIP ファクス / G3 ファクスの混在同報送信	短縮 500 件、直接入力 100 件の計 600 件。
IP アドレスファクス / G3 ファクスの混在同報送信	短縮 500 件、直接入力 105 件（IP アドレスファクス宛先 5 件、G3 ファクス宛先 100 件）の計 605 件。
インターネットファクス / SIP ファクス / G3 ファクスの混在同報の場合	短縮 500 件、直接入力 105 件（SIP ファクス / G3 ファクス宛先 100 件、インターネットファクス宛先 5 件）の計 605 件。
インターネットファクス / IP アドレスファクス / G3 ファクスの混在同報の場合	短縮 500 件、直接入力 105 件（G3 ファクス宛先 100 件、インターネットファクス / IP アドレスファクス宛先 5 件）の計 605 件。

複数の宛先を指定するには次の方法があります。

- 登録宛先から指定する
- 直接入力で指定する
- グループキーで指定する
- プログラム宛先から指定する

上記の指定方法を組み合わせて指定することもできます。



詳しく説明します

インターネットファクスの同報送信時は、MDN/DSN 要求は送信しません。



参照

- ・登録宛先、直接入力から指定する方法については、「複数の宛先を指定する（登録宛先、直接入力で）」（p. 2-42）をご覧ください。
- ・グループキーで指定する方法については、「複数の宛先を指定する（グループキーで）」（p. 2-42）をご覧ください。
- ・プログラム宛先で指定する方法については、「プログラム宛先で送信する」（p. 2-43）をご覧ください。

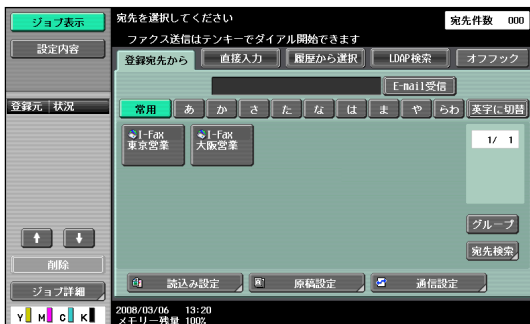
■ 複数の宛先を指定する（登録宛先、直接入力 で）

- 「宛先を 1 箇所だけ指定する」(p. 2-30) を参照して、送信したい宛先を必要なだけ指定します。
- 登録宛先を複数選択する場合は、必要な宛先を続けて押します。
 - 直接入力で複数宛先を指定する場合は、宛先を入力後「次宛先」を押して、次の宛先を入力します。
- 複数の宛先が指定されます。

■ 複数の宛先を指定する（グループキーで）

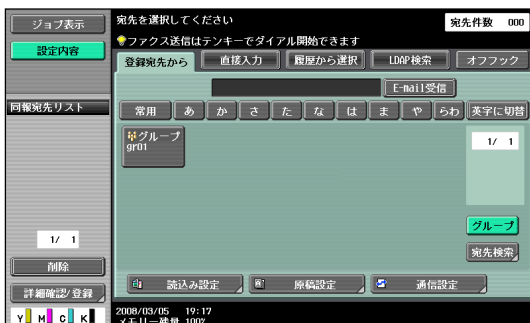
1

「登録宛先から」タブの「グループ」を押します。



2

目的のグループキーを押します。



複数の宛先が指定されます。

ひとこと

- ・ 選択した登録宛先をキャンセルするには、キャンセルしたい宛先をもう一度選択します。
- ・ 【リセット】を押すと、選択した宛先と設定がクリアされます。
- ・ SIP ファクスの電話番号と、通常のファクスの電話番号は異なります。お間違えのないように入力してください。

ひとこと

- ・ グループキー表示を解除したい場合は、[常用] を押します。
- ・ 「登録宛先から」初期表示設定で、[登録宛先から] タブの初期設定の表示を宛先種類に変更することができます。グループキーは宛先種類のひとつとして表示されます。詳しくは、「ファクス / スキャン画面の初期状態を設定する（ファクス / スキャン設定）」(p. 9-19) をごらんください。



グループキーを登録する方法については、「グループ宛先を登録する」(p. 8-20)) をごらんください。

2.9 プログラム宛先で送信する

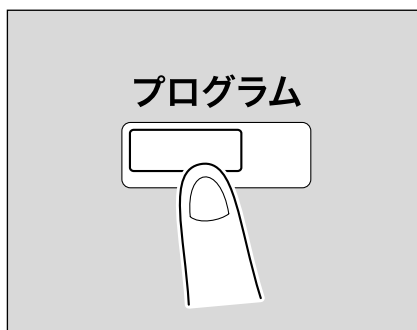
プログラム宛先が登録されている場合は、登録されているプログラムキーを指定して送信できます。

送信時の設定（原稿画質や原稿指定など）をプログラムキーに登録しておくことで、そのキーを押すだけで、機能をその都度設定せずに送信することができます。

1つのプログラムキーにグループキーを登録しておき一度に送信もできます。

■ プログラム宛先を指定して送信するには

- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 【プログラム】を押します。



- 4 [ページ一覧] を押します。



原稿セットについては、「原稿をセットする」(p. 2-17) をご覧ください。

5

目的のプログラム宛先が登録されているページのキーを押し、[OK] を押します。

- [↑]、[↓] を押すと、更にページキーが表示されます。



6

目的のプログラムキーを押し、[OK] を押します。

- [↑]、[↓] を押すと、更にプログラムキーが表示されます。



設定および宛先が呼び出されます。

7

【スタート】を押します。

原稿の読み込みが始まり、送信されます。

ひとこと

プログラム宛先は 1 件のみ指定できます。

2.10 設定状態を確認する

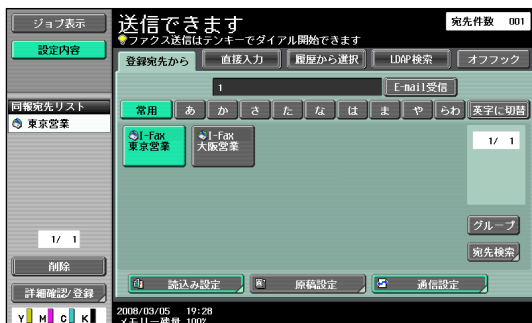
左エリアの同報宛先リストで、指定した宛先を確認したり、設定内容画面で設定の詳細を確認できます。

■ 設定状態を確認するには

左エリアの同報宛先リストで、指定した宛先を確認できます。宛先や設定の詳細を確認したい場合は、以下の手順で確認します。

1 左エリアの「設定内容」を押します。

2 「詳細確認 / 登録」を押します。



3 確認したい項目のキーを押し、設定内容を確認します。ネットワークファクス送信で確認できる設定は次の5種類があります。



ひとこと

- ・ 7 件以上の宛先が指定されている場合、左エリアの同報宛先リストに「↑」、「↓」が表示されます。
- ・ 左エリアの宛先を選択し、「削除」を押すと、選択した宛先が削除されます。

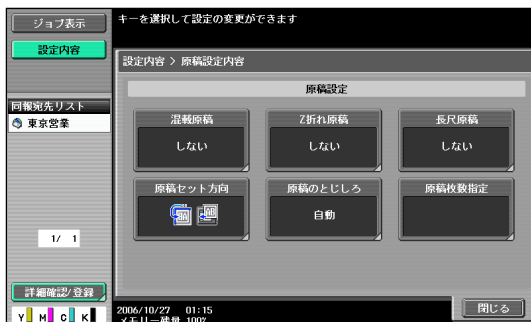
- [宛先確認 / 登録]：宛先の確認ができます。詳細を確認したい宛先をリストから選択し、[宛先詳細]を押して宛先の詳細を確認します。



- [読み込み設定内容]：読み込み設定の確認ができます。画面上の各設定を押すと、対応する読み込み設定画面が表示され、設定を変更できます。



- [原稿設定内容]：原稿設定の確認ができます。画面上の各設定を押すと、対応する原稿設定画面が表示され、設定を変更できます。



ひとこと

- ・ [削除] を押すと、選択した宛先が削除されます。
- ・ [宛先登録] を押すと、直接入力宛先を登録できます。詳しくは「短縮宛先に SIP ファクス番号を登録する」(p. 8-7) をご覧ください。

ひとこと

次の画面を表示したい場合は [次画面→]、前の画面を表示したい場合は [←前画面] を押します。



読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) および「読み込み設定」(p. 6-2) をご覧ください。



原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をご覧ください。

- [通信設定内容]：ファクス発信元設定の確認ができます。画面上の[ファクス発信元設定]を押すと、通信設定画面が表示され、設定を変更できます。



- [E-mail 設定内容]：E-mail 設定の確認ができます。



4

確認が終了したら、ファクス / スキャン画面に戻るまで [閉じる] を押します。

ひとこと

- ・ 次の画面を表示したい場合は [次画面→]、前の画面を表示したい場合は [←前画面] を押します。
- ・ インターネットファクス、SIP ファクス、IP アドレスファクスでは、[ファクス発信元設定] 以外の設定は使用しません。



ファクス発信元設定については、「通信設定」(p. 6-4) をごらんください。



E-mail 設定については、「通信設定」(p. 6-4) をごらんください。

ひとこと

読み込み設定、原稿設定を変更した場合は、読み込み設定画面、原稿設定画面へ移動します。設定内容画面には戻りません。

2.11 原稿読み込み中の動作

■ 原稿サイズが検知できないときは

原稿サイズが検知できない場合は、読み込みサイズの画面が表示されます。原稿サイズを設定してください。

1

原稿サイズのキーを押し、[OK] を押します。



2

[閉じる] を押し、[OK] を押します。

ファクス / スキャン画面が表示されます。

3

【スタート】を押します。

ファクスが送信されます。

■ メモリーオーバーしたときは

メモリー送信の場合、原稿のページ数が多い場合や、原稿の画質が細密なために情報量が多い場合はメモリーオーバーすることがあります。



メモリーオーバー時の処置については、「エラーメッセージが表示された」(p. 4-6) をごらんください。

■ 原稿の自動回転について

A4 や 8-1/2 × 11 の原稿は  にセットすると、自動的に  に回転して送信されます。

A4 や 8-1/2 × 11 を  にセットし、それよりも長い原稿と一緒に送信する場合、A4 や 8-1/2 × 11 は  に回転せずに送信されます。

その場合は、混載原稿を設定することで回転して送信できます。

混載原稿については、「サイズの異なる原稿を一度の操作で送る(混載原稿)」(p. 6-29) をごらんください。

ひとこと

自動回転を行いたくない場合は、サービス実施店までお問い合わせください。

2.12 送信できないときは

SIP ファクス /IP アドレスファクスを使用する場合、相手機がビジー状態などで送信できないときは、リダイヤル機能をつかってもう一度送信することができます。

本機のリダイヤル機能は、オートリダイヤルと手動リダイヤルがあります。

■ 原則

オートリダイヤル、実行中リストの手動リダイヤルとも、宛先を変更することはできません。

リダイヤルを行っても、回線異常などで送信できない場合は、「送信できない（SIP ファクス /IP アドレスファクス）」（p. 4-3）をごらんください。

インターネットファクスでは、電子メール再送機能はありません。送信できない場合は、「送信できない（インターネットファクス）」（p. 4-2）をごらんください。

■ リダイヤルについて

同じ宛先にもう一度ダイヤルすることをリダイヤルと呼びます。

相手機がビジー状態などで送信できない場合は、一定時間が経過してから再度ダイヤルされます。リダイヤルされるまでの間、送信ジョブはリダイヤル待機の予約ジョブとして扱われます。

■ オートリダイヤル機能

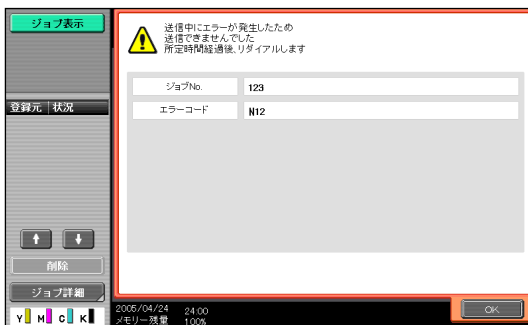
相手機がビジー状態などで送信ができなかった場合は、回線パラメーター設定で設定されているオートリダイヤル回数にしたがって自動的にオートリダイヤルされます。

リダイヤル確認画面

回線異常などで送信できないときは、リダイヤルを確認する画面が表示されます。

1

〔OK〕を押します。



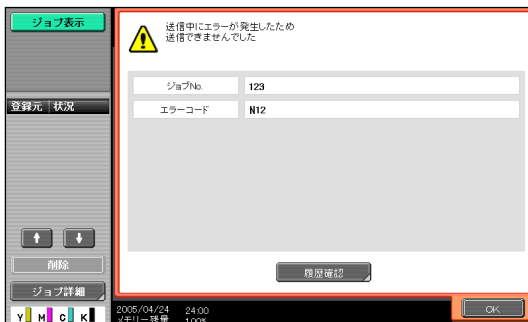
設定時間経過後、リダイヤルが開始されます。

リダイヤルしても、なお送信できない場合は、ジョブが正常終了しなかった事を確認する画面が表示されます。

2

〔OK〕を押します。

○ 実行結果を確認する場合は、〔履歴確認〕を押します。



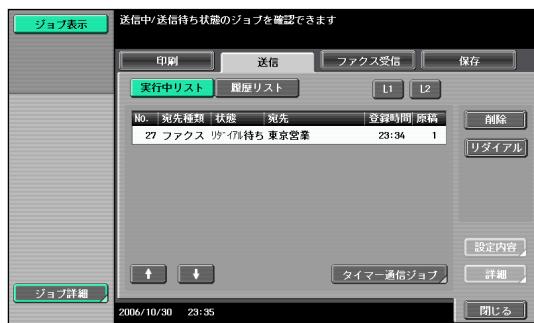
詳しく説明します

オートリダイヤル回数はあらかじめ3分おきに3回リダイヤルするように設定されています。オートリダイヤル回数の設定については、「発信 / 着信方法を設定する (回線パラメーター設定)」(p. 9-67) をご覧ください。

■ 手動リダイアル（実行中リスト）

リダイアル待ちのジョブを、手動でリダイアルします。

- 1 [ジョブ表示] を押し、[ジョブ詳細] を押します。
- 2 [送信] を押します。
- 3 状態が [リダイアル待ち] のジョブを選択し、[リダイアル] を押します。



リダイアル画面が表示されます。

- 4 [実行] を押します。
選択ジョブのリダイアルが実行されます。

2.13 送信を予約する

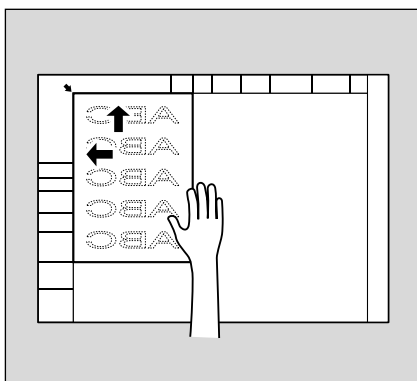
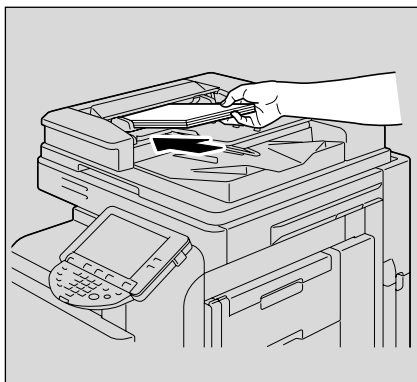
通信中やプリント中に、次の送信を予約することができます。
この機能を送信予約と呼びます。

1

「ファクス / スキャン予約」を押します。

2

原稿をセットします。



詳しく説明します

「送信中画面表示」または「印刷中画面表示」が「する」に設定されていないと、「ファクス / スキャン予約」が表示されません。

送信中画面表示設定については、「ファクス動作中の画面を設定する（ファクス動作中画面）」（p. 9-22）を

ごらんください。
印刷中画面表示設定については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

参照

原稿セットについては、「原稿をセットする」（p. 2-17）をごらんください。

ひとこと

送信予約を解除したい場合は、「ジョブ表示」を押し、「削除」を押してください。

3

必要に応じて機能を設定します。

4

宛先を指定します。

5

【スタート】を押します。



- ・読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) および「読み込み設定」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をご覧ください。
- ・通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をご覧ください。

2.14 送信を中止する

■ 通信中に中止する

通信中のジョブ（予約ジョブも含む）の場合は、次の操作で送信を中止できます。

- 1 [ジョブ表示] を押します。
- 2 [ジョブ詳細] を押します。
- 3 [送信] を押します。
- 4 [実行中リスト] が選択されていることを確認します。
- 5 中止したいジョブを選択して、[削除] を押します。
- 6 [はい] を押し、[OK] を押します。



ジョブが削除されます。

- 7 ファクス / スキャン画面に戻るまで [閉じる] を押します。

ひとこと

本機では、蓄積されている送信指示を予約ジョブと呼びます。

2.15 送信予約ジョブを確認する

メモリーに蓄積されている送信予約状態を、画面に表示されるジョブリストで確認することができます。

- 1 [ジョブ表示] を押します。
- 2 [ジョブ詳細] を押します。
- 3 [送信] タブを押します。
- 4 [実行中リスト] を押します。
- 5 確認が終了したら、ファクス / スキャン画面に戻るまで [閉じる] を押します。

詳しく説明します

- ・ リストの次の画面または前の画面を表示したい場合は、[↑] または [↓] を押します。
- ・ ジョブを選択して [設定内容] または [詳細] を押すとジョブの詳細内容を確認できます。

2.16 通信結果を確認する

ジョブリストで通信結果を確認することができます。
履歴リスト画面では以下の項目を確認できます。

送信履歴リスト

項目	説明
宛先種類	宛先種別（ファクス、E-Mail、ファイルFTP、ファイルSMB、TWAIN、その他）が表示されます。
宛先	相手のファクス番号、電子メールアドレス、ボックス名などが表示されます。
登録時間	送信を指示した日時が表示されます。送信当日は時間と分で、その他の日は月日で表示されます。
原稿	送信した枚数が表示されます。
実行結果	送信の結果（正常終了、ユーザ消去、エラー消去など）が表示されます。

ファクス受信履歴リスト

項目	説明
登録元	ユーザー認証中はユーザー名、部門管理中は部門名が表示されます。それ以外の場合は、COPY、PRINT、FAX-RXなどの登録元が表示されます。
文書名	受信または保存した文書名が表示されます。
登録時間	受信した日時が表示されます。受信当日は時間と分で、その他の日は月日で表示されます。
原稿	受信した枚数が表示されます。
実行結果	受信の結果（正常終了、ユーザ消去、エラー消去など）が表示されます。

■ 通信結果の確認をするには

- 1 [ジョブ表示] を押します。
- 2 [ジョブ詳細] を押します。
- 3 [送信] または [ファクス受信] を押します。



- 4 [履歴リスト] を押します。



5

通信結果を確認します。

○ 送信履歴リスト

送信したジョブの履歴を確認できます
宛先ごとの履歴(=Mail以外)を確認するには、「通信リスト」キーを押してください

印刷 送信 ファクス受信 保存

実行中リスト 履歴リスト

No.	宛先種類	宛先	登録時間	座席	実行結果
13	ファクス	東京営業	03:05	1	正常終了
11	ファクス	福岡営業	03:03	1	正常終了
9	ファクス	大阪営業	03:00	1	ユーザ消去
7	ファクス	東京営業	02:59	1	正常終了
5	ファクス	fukuioka.Sales#	02:58	1	正常終了
3	ファクス	hamamatsu.Sale	02:56	1	正常終了
1	ファクス	東京営業	01:34	1	ユーザ消去

↑ ↓ 消去ジョブ 終了ジョブ 全ジョブ 詳細

2006/10/14 03:06 閉じる

○ ファクス受信履歴リスト

ファクス受信したジョブの履歴を確認できます

印刷 送信 ファクス受信 保存

実行中リスト 履歴リスト

No.	登録元	文書名	登録時間	座席	実行結果
11	FAX-RX	RCHBT_C4510612	15:40	1	正常終了
10	FAX-RX	RCHBT_C4510612	15:39	1	正常終了
9	FAX-RX	RCHBT_C4510612	15:39	1	エラー消去
8	FAX-RX	RCHBT_C4510612	15:39	1	正常終了
5	FAX-RX	RCHBT_C4510612	14:28	1	正常終了
3	FAX-RX	RCHBT_C4510612	12/16	1	正常終了
1	FAX-RX	RCHBT_C4510612	12/16	1	エラー消去

↑ ↓ 消去ジョブ 終了ジョブ 全ジョブ 詳細

2006/12/17 16:47 閉じる

6

確認が終了したら、「閉じる」を押します。

ファクス/スキャン画面に戻ります。

詳しく説明します

- ・「通信リスト」を押すと、スキャン送信リスト、ファクス送信リスト、ファクス受信リストの形式で通信結果を確認できます。
- ・「レポート指定」のいずれかのキーを押し、「出力件数」を選択して、「スタート」を押すと、選択したレポートのプリントができます。
- ・「詳細」を押すと、ジョブの詳細情報を確認できます。
- ・同報送信の場合は、宛先に「- (同報)」と表示されます。リストからジョブを選択して「詳細」を押すと、ジョブの詳細情報を確認できます。

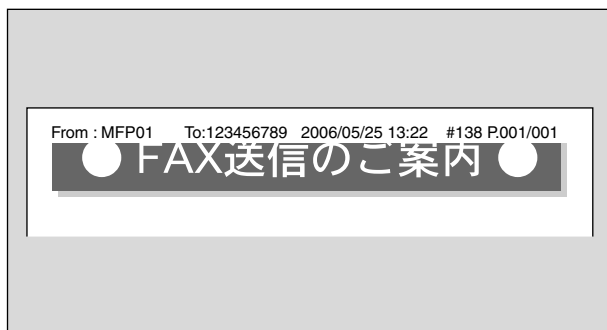
2.17 発信元情報について

送信した原稿は、受信側で次のように記録されます。

原則

インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクスでは、**〔原稿外〕**は使用できません。**〔原稿外〕**に設定されていても、発信元情報は原稿内に付加されます。

発信元情報が**〔原稿内〕**に設定されているとき



発信元情報が**〔原稿外〕**に設定されているとき



発信元情報が**〔OFF〕**に設定されているとき



詳しく説明します

- ・ 発信元情報のFROM 欄には、設定メニューの**〔発信元 / ファクス ID 登録〕**で設定した、発信元名およびファクス ID が表示されます。発信元情報は、通常のファクス機能と共用します。
- ・ カラーモードの場合は、発信元情報の背景（下地）は白ではなく、送信原稿そのものになります。

参照

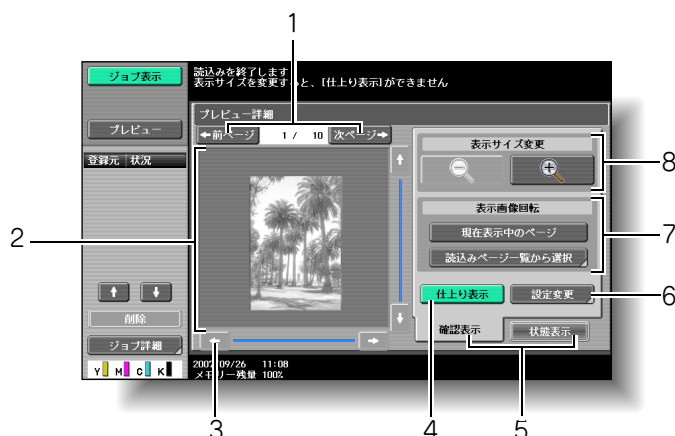
発信元情報の付けかたの設定については、「**〔発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報）〕**」（p. 9-64）をごらんください。

2.18 送信前に読み込み状態を確認する（仕上りプレビュー）

仕上りプレビューとは、読み込んだ原稿を送信する前に、読み込み状態を操作パネル上でプレビュー画像として確認できる機能です。

■ プレビュー詳細画面について

プレビュー詳細画面では、向きを誤って読み込んだ原稿を回転させたり、読み込む前に行った設定を変更したりすることができます。



No	名称	説明
1	[←前ページ] / [次ページ→]	表示中のページの前ページおよび次ページへ表示を切換えます。
2	—	プレビュー画像が表示されます。 [仕上り表示] を押すと、プレビュー画像に仕上り状態が反映されます。
3	スクロールバー	プレビュー画像が拡大表示の場合、画像を上下左右にスクロールします。
4	[仕上り表示]	仕上り状態をプレビュー画像に反映します。もう一度押すと、プレビュー画像の仕上り表示が解除されます。 詳しくは、「仕上り表示」(p. 2-62) をご覧ください。
5	[状態表示] / [確認表示]	プレビュー詳細画面の状態表示と確認表示の切換えを行います。 画像の回転や設定変更は[確認表示]で行います。[状態表示]で読み込みを終了します。
6	[設定変更]	読み込んだ原稿の設定を変更できます。 詳しくは、「設定変更」(p. 2-63) をご覧ください。
7	表示画像回転	プレビュー画像を 180 度回転します。 詳しくは、「表示画像回転」(p. 2-61) をご覧ください。

No	名称	説明
8	表示サイズ変更	プレビュー画像を拡大／縮小します。 詳しくは、「表示サイズ変更」（p. 2-61） をごらんください。

■ 表示サイズ変更

表示サイズ変更では、プレビュー画像を拡大して表示し、細部の確認ができます。[+] / [-] を押すことで、全体表示／2倍／4倍／8倍の大きさに倍率を変更できます。拡大した画像は、画像の右側と下側のスクロールバーで表示箇所を移動させて確認します。



■ 表示画像回転

表示画像回転では、プレビュー画像を 180 度回転して、原稿の向きの誤りを補正できます。

[現在表示中のページ] を押すと、表示されているページを 180 度回転します。



ひとこと

表示サイズを変更すると、仕上り状態を表示できません。

「読み込みページ一覧から選択」を押すと、読み込みページ一覧画面が表示されます。読み込みページは最大 8 ページまで表示され、[↑] / [↓] を押すとページを切替えることができます。

「奇数ページ」を押すと、読み込みページ中の奇数ページを回転します。「偶数ページ」を押すと、読み込みページ中の偶数ページを回転します。「全ページ」を押すと、読み込みページの全ページを回転します。読み込みページを直接選択すると、選択した読み込みページが回転します。



■ 仕上り表示

「仕上り表示」を押すと、出力する原稿の仕上り設定内容をプレビュー画像にアイコンや文字列で表示し、仕上りの状態を確認できます。「仕上り表示」をもう一度押すと、プレビュー画像の仕上り表示が解除されます。初期設定では、「仕上り表示」が選択されています。



■ 設定変更

原稿を読み込む前に行った設定のうち、以下の内容を変更できます。

変更した内容は追加して読み込んだ原稿で反映されます。



ひとこと

設定変更画面は、設定により表示されるキーが異なります。

項目	説明
原稿	片面または両面を選択できます。「表紙 + 両面」が設定されている場合は、「表紙 + 両面」も表示されます。
原稿サイズ	混載原稿が設定されているときに選択できます。
枠消し	枠消しを設定できます。(p. 6-11)

■ 仕上りプレビューを確認するには

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示させます。

2

原稿をセットします。

3

読み込み設定、原稿設定、通信設定をします。

4

宛先を指定します。

5

【確認コピー】を押します。
原稿セット方向画面が表示されます。

6

原稿セット方向を選択します。

< 原稿ガラスにセットした場合 >



< ADF にセットした場合 >



7

【スタート】を押します。

原稿の読み込みが開始され、プレビュー詳細画面（状態表示）が表示されます。

8

プレビュー画像を確認します。

- 設定を変更する場合は、[確認表示] を押します。
手順 9 へ進みます。
- 送信を開始する場合は、手順 10 へ進みます。
- さらに原稿を読み込む場合は、原稿をセットし、[読み込み終了] を解除させてから【スタート】を押します。



9

設定を変更して、[状態表示] を押します。



確認表示画面について詳しくは、「プレビュー詳細画面について」(p. 2-60) をご覧ください。

10

[読み込み終了] を選択し、【スタート】を押します。
送信が開始されます。



第 3 章

受信する

受信の操作について説明します。

3.1	受信する（インターネットファクス）	3-2
3.2	受信する（SIP ファクス /IP アドレスファクス）	3-3
3.3	受信できないとき	3-4
3.4	メモリー代行受信とは	3-5
3.5	受信時の記録について	3-6
3.6	受信情報について	3-12

3.1 受信する（インターネットファクス）

電子メールの受信には、自動取得と手動取得の2つの方法があります。本機が電子メールを受信すると、メール本文と添付ファイルが自動的に印刷されます。

設定メニューで、「強制メモリ受信設定」を有効にしている場合は、「強制メモリ受信ボックス」に保存されます。保存文書は、必要に応じて印刷することができます。

■ 自動取得

POP サーバーに対し、一定の間隔で電子メールの取得が自動的に行われます。

■ 手動取得

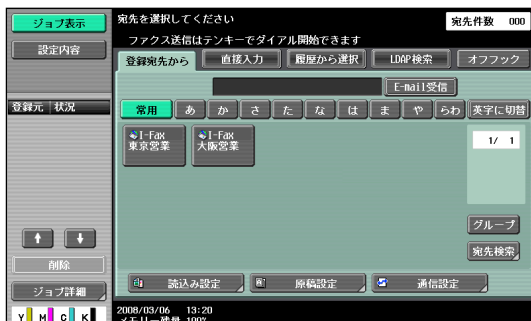
POP サーバーから手動で電子メールの取得を行うこともできます。

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

「E-mail 受信」を押します。



詳しくは、「強制メモリ受信した文書を取り扱う」(p. 7-2) をご覧ください。



詳しく説明します

添付ファイルの最大ページ数は 3,000 ページ、本文は最大 20KByte まで受信できます。



詳しく説明します

電子メールを取得する間隔を 1 ～ 60 分の範囲で変更できます。設定方法については、「E-mail 受信を設定する (E-mail 受信 (POP))」(p. 9-53) をご覧ください。お買い上げ時は 15 分に設定されています。

3.2 受信する (SIP ファクス /IP アドレスファクス)

本機が SIP ファクス /IP アドレスファクスを受信すると、自動的に印刷されます。

設定メニューで、[強制メモリー受信設定] を有効にしている場合は、「強制メモリー受信ボックス」に保存されます。保存文書は、必要に応じて印刷することができます。



詳しくは、「強制メモリー受信した文書を取り扱う」(p. 7-2) をご覧ください。

3.3 受信できないとき

受信できない場合は、エラーメッセージが表示されます。「受信できない」(p. 4-5)を参照して処置をしてください。エラーメッセージの表示は、【ストップ】を押すと消えます。



詳しく説明します

メモリーが一杯で受信できない場合があります。用紙トレイに用紙がセットされていることを確認してください。

3.4 メモリー代行受信とは

用紙づまりなどで受信した文書をプリントできない場合は、プリントできる状態になるまで受信文書がメモリーに蓄積されます。この機能をメモリー代行受信といいます。

- 紙づまりなどのトラブル処置が終了すると、蓄積されていた受信文書のプリントが開始されます。
- メモリーが一杯で代行受信できない場合があります。

3.5 受信時の記録について

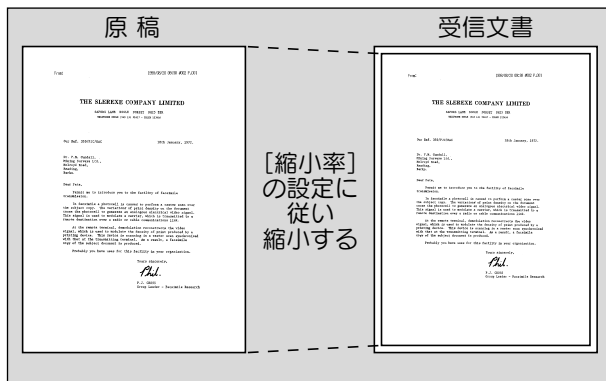
受信文書を記録する場合は、受信した文書の用紙サイズと、用紙トレイにセットされている用紙サイズを比較し、設定された縮小率で縮小して記録する、用紙におさまるように縮小して記録するのいずれかで記録されます。なお、等倍で記録するように設定している場合は、受信した文書の用紙サイズにかかわらず、等倍で記録されます。

原則

- ・ カラーモードで受信する場合は、常に等倍で記録されます。
- ・ カラーモードで受信する場合は、ページ分割記録は使用できません。

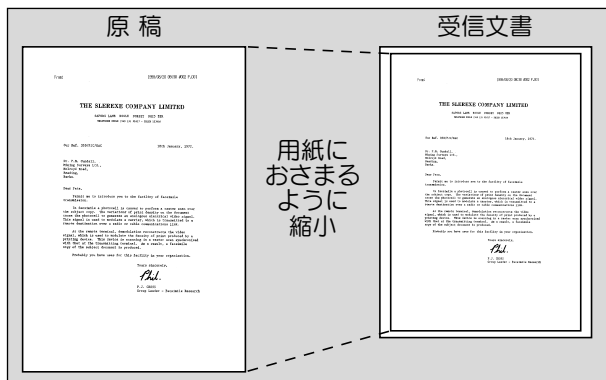
■ 縮小して記録するとき

定形サイズの文書を受信した場合は、そのサイズの用紙に設定された縮小率で縮小して記録されます。（初期値は 96%）



■ 用紙におさまるように縮小して記録するとき

定形サイズより長い文書を受信した場合は、受信文書の幅と長さから最適な用紙サイズを決定し、そのサイズの用紙に記録されます。最適な用紙サイズが用紙トレイにセットされていない場合は、近いサイズの用紙に縮小して記録されます。



カラーモードは、SIP ファクス / IP アドレスファクスでのみ使用できます。



縮小率については、「送信 / 受信方法を設定する（送信 / 受信設定）」(p. 9-69) をご覧ください。

最適な用紙サイズの決定と、用紙選択の基準は次のとおりです。

Step 1:

最適な用紙を選択する

- 受信文書の幅と長さから、最適な用紙サイズを次の原則で決定されます。

受信原稿の幅	受信情報の記録位置	受信文書の長さ			
A4 幅	[OFF] または [原稿内]	0 ～ 154	155 ～ 314	315 ～ 386	387 ～
	[原稿外]	0 ～ 146	147 ～ 306	307 ～ 378	379 ～
選択される用紙サイズ		A5 	A4 	B4 	A3 
B4 幅	[OFF] または [原稿内]	0 ～ 195	196 ～ 395	396 ～	
	[原稿外]	0 ～ 186	187 ～ 386	387 ～	
選択される用紙サイズ		B5 	B4 	A3 	
A3 幅	[OFF] または [原稿内]	0 ～ 226	227 ～		
	[原稿外]	0 ～ 217	218 ～		
選択される用紙サイズ		A4 	A3 		

Step 2:

実際にプリントする用紙を選択する

- Step 1 で決定した最適な用紙サイズが、本機にセットされているかがチェックされます。
 - 最適な用紙がセットされている：
 - 記録が開始されます
 - 最適な用紙がセットされていない、または該当する用紙トレイの [ATS 許可] (自動トレイ切換え機能) が [許可しない] になっている：
 - 次に最適な用紙を表の上から順にチェックされます。
 - このとき、設定メニューの [ページ分割記録] が [ON] に設定されている場合は、ページ分割をして記録するように用紙がチェックされます。



[ATS 許可] については、「ユーザズガイド コピー機能編」をごらんください。



[ページ分割記録] は、モノクロモードで受信した場合のみ使用できます。

- [ページ分割記録] が [OFF] のとき：
上段から順に記録紙が選択されます。

最適記録用紙	A5	A4	B5	B4	A4	A3
記録紙選択 順序 (上段から 下段)	A5	A4	B5	B4	A4	A3
	A5	A4	B5	A3	A4	B4
	A4	B4	B4	A4	B4	A4
	A4	A3	A4	A4	A3	
	B5		A4			
	B5		A3			
	B4					
	A3					

- [ページ分割記録] が [ON] のとき：
上段から順に記録紙が選択されます。

最適記録用紙	A5	A4	B5	B4	A4	A3
記録紙選択 順序 (上段から 下段)	A5	A4	B5	B4	A4	A3
	A5	B4	B5	B5	A4	A4
	A4	A3	B4	B5	B4	A4
	A4		A4	A3	A3	
	B5		A4	A4		
	B5		A3	A4		
	B4					
	A3					

- * B5 、B5 、A4 、A4 の場合にはページを分割して記録されます。



[ページ分割記録] が [OFF] のときでも長尺原稿または高解像度で受信した場合は、ページ分割記録される場合があります。



[ページ分割記録] が [ON] のときでも受信文書の画像幅より選択された記録紙の幅が短い場合には用紙幅に合わせて縮小されます。

原則

- ・ 実際にプリントする用紙が、Step 1 で決定された用紙より小さい場合は、縮小してプリントされます。
 - ・ [ページ分割記録] が [OFF] の場合は、実際にプリントする用紙の方向と、Step 1 で決定された用紙の方向が一致しない場合は、自動的に 90 度回転してプリントされます。
 - ・ 異なるサイズが混在した文書をプリントする場合は、1 ページごとにこれらの処理が行われます。
-
- ・ Step 1、Step 2 で決定された用紙サイズが、複数の用紙トレイにセットされている場合は、[給紙トレイ自動選択] で設定された設定に従い、用紙トレイが選択されます。
 - ・ 必要な用紙サイズが手差しトレイのみにセットされている場合は、手差しトレイから給紙してプリントされます。ただし手差しトレイが、[給紙トレイ自動選択] で「自動選択トレイ」に設定されていない場合は、手差しトレイからは給紙されません。
 - ・ [ページ分割記録] が [ON] の場合、設定メニューの [送信 / 受信設定] が次のように設定されているときはページ分割されません。
 - [給紙トレイ固定] でトレイが設定されている
 - [縮小率] が [等倍] のとき
 - [記録用紙優先選択] が [サイズ固定] または [サイズ優先] のとき
 - [受信原稿両面印刷] が [ON] のとき
 - ・ プリントできる用紙がセットされていない場合は、用紙をセットするようにメッセージが表示されます。
 - [記録用紙優先選択] が [サイズ優先] に設定されているとき、最適な用紙サイズとして A4、B4、A3 のいずれか 1 種類が選択されます。そのサイズがない場合は、通常用の紙選択を行い記録されます。
 - [記録用紙優先選択] が [サイズ固定] に設定されているとき、最適な用紙サイズとして A4、B4、A3 のいずれか 1 種類が選択されます。そのサイズがない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。
 - [給紙トレイ固定] が [自動] 以外に設定されているとき、[給紙トレイ固定] で指定されている用紙トレイ（手差しトレイを除く）の用紙に記録されます。受信文書よりサイズが小さい場合は、縮小して記録されます。設定されている用紙トレイに用紙がない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。
 - [記録用紙優先選択] が [自動] 以外に、[給紙トレイ固定] も [自動] 以外に設定されているとき、[給紙トレイ固定] の設定が優先されます。



[ページ分割記録] については、「送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）」（p. 9-69）をごらんください。



[給紙トレイ自動選択] については、「ユーザズガイド コピー機能編」をごらんください。

ひとこと

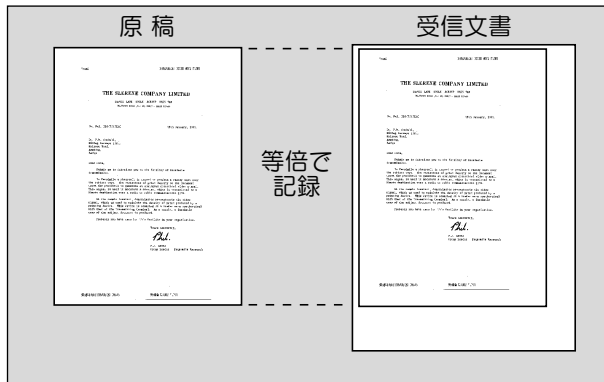
カラーモードで受信する場合は、[ページ分割記録] は使用できません。また、[給紙トレイ固定] は [自動]、[記録用紙優先選択] は [自動選択] に固定されます。



[給紙トレイ固定]、[縮小率]、[記録用紙優先選択]、[受信原稿両面印刷] については、「送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）」（p. 9-69）をごらんください。

■ 等倍で記録するとき

設定メニューで「縮小率」が「等倍」に設定されている場合は、同じサイズの下紙に等倍で記録されます。同じサイズの下紙がセットされていない場合は、大きなサイズの下紙に記録されます。

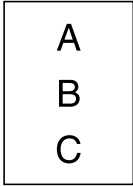
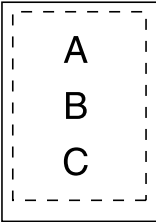
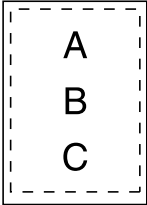
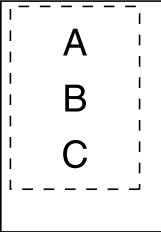
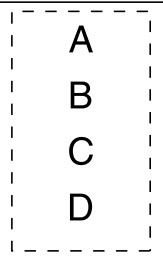
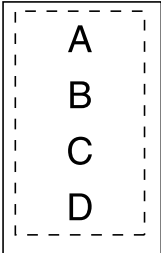
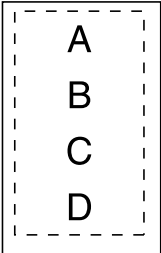
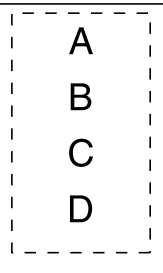
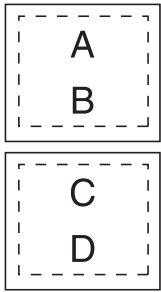
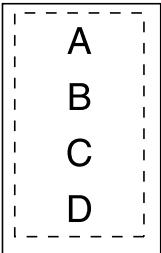


詳しく説明します

- ・ ページ分割をすることはできません。
- ・ A3 サイズより大きな画像は記録できません。
- ・ 最適なサイズの下紙がない場合は、下紙が補給されるまでメッセージが表示されます。

■ 受信時の記録方法

受信文書用の用紙サイズと実際に記録される文書の関係は次のとおりです。

受信した用紙のサイズ		[縮小率] の設定		[給紙トレイ固定] でトレイを指定
		等倍	96 ~ 87 %	
定形サイズ (A3 ~ A5)		 大きめの用紙に等倍で記録	 同じサイズの用紙に縮小して記録	 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録
長尺文書 (定形サイズより長め)	ページ分割記録 OFF	 大きめの用紙に等倍で記録	 最適なサイズの用紙に縮小して記録	 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録
	ページ分割記録 ON	 大きめの用紙に等倍で記録	 用紙によっては分割して記録	 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録

ひとこと

[受信原稿両面印刷] が [ON] の場合、用紙の両面に記録することができます。詳しくは、「送信や受信方法を設定する (送信 / 受信設定)」(p. 9-69) をご覧ください。

詳しく説明します

カラーモードの場合は、常に定形サイズの用紙に等倍で記録されます。また、長尺印刷はできません。

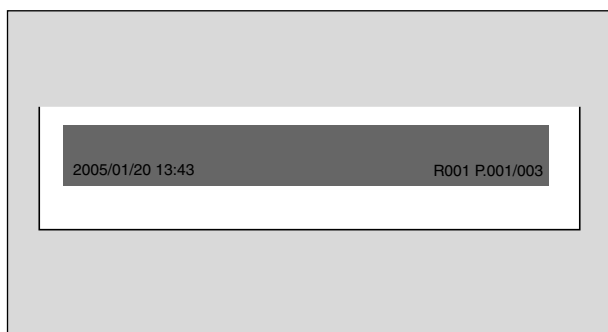
3.6 受信情報について

設定メニューの「発信元 / 受信情報」で、「受信情報」が「原稿内」、
「原稿外」に設定されている場合は、受信文書に受信情報
（日付、時刻、受信番号、ページ番号）が記録されます。

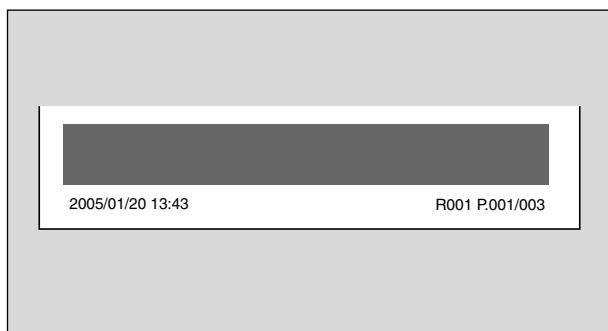
原則

SIP ファクス / IP アドレスファクスのカラーモードでは、「原稿外」は
使用できません。「原稿外」に設定されていても、受信情報は原稿内に
付加されます。

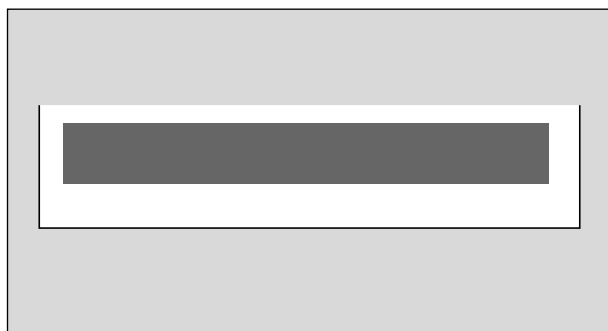
受信情報が「原稿内」に設定されているとき



受信情報が「原稿外」に設定されているとき



受信情報が「OFF」に設定されているとき



詳しく説明します

「受信情報」の設定は、通常
のファクス機能と共用しま
す。

参照

「受信情報」の設定につい
ては、「発信元 / 受信情報の付
けかたを設定する（発信元
/ 受信情報）」(p. 9-64) を
ご覧ください。



第 4 章

トラブル処置

トラブルが発生した場合の処置について説明します。

4.1	送信できない（インターネットファクス）	4-2
4.2	送信できない（SIP ファクス /IP アドレスファクス）	4-3
4.3	受信できない	4-5
4.4	エラーメッセージが表示された	4-6
4.5	「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール）	4-11

4.1 送信できない（インターネットファクス）

電子メールを送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。



- ・送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます。詳しくは、「送信結果レポート」(p. 10-9) をごらんください。(送信結果レポートをプリントするように設定している場合)
- ・Nxx 形式のエラーコードが表示された場合は、「エラーメッセージが表示された」(p. 4-6) をごらんください。
- ・原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

チェックポイント	処置
送信しようとしている電子メール容量が SMTP サーバー容量を超えていませんか？	SMTP サーバー容量が設定されている場合、設定されているサイズを超えると、エラーとなり送信できません。 SMTP サーバー容量の設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク/スキャナー機能編」をごらんください。
送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認してもう一度送信してください。 送信の手順については、p. 2-2 をごらんください。
ネットワークの設定や接続は正しいですか？	ネットワークの設定や接続を確認してください。ネットワークの設定については「ユーザーズガイド ネットワーク/スキャナー機能編」をごらんください。
本体メールアドレスは設定されていますか？	本体メールアドレスを設定してください。 本体メールアドレスの設定については、p. 9-46 をごらんください。



送信結果画面（ジョブ表示>ジョブ詳細>送信>履歴リスト）や通信管理レポートの結果欄に「----」と表示されても、インターネット網の途中経路の問題により、受信側に電子メールが到着しない場合があります。送信結果画面や通信管理レポートに表示される「----」は、サーバーまで正常に送信できたことを示すものです。受信確認（MDN）を受信すると送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に「OK」が表示されます。重要な内容を送受信する場合は、G3 ファクスを使用してください。

4.2 送信できない (SIP ファクス /IP アドレスファクス)

送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。



- ・送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます。詳しくは、「送信結果レポート」(p. 10-9) をごらんください。(送信結果レポートをプリントするように設定している場合)
- ・Nxx 形式のエラーコードが表示された場合は、「エラーメッセージが表示された」(p. 4-6) をごらんください。
- ・原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

チェックポイント	処置
送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認して、もう一度送信してください。 送信の手順については、p. 2-7 または p. 2-12 をごらんください。
相手のファクス番号は正しいですか？ 短縮宛先やプログラム宛先は、正しく登録されていますか？	短縮宛先やプログラム宛先を使用している場合は、ファクス番号の登録に誤りがある場合があります。 短縮宛先リストをプリントするなどして、正しく登録されているかを確認してください。 誤りがある場合は修正してください。
ネットワークの設定は正しいですか？	設定メニューの「TCP/IP 設定」を確認して、誤りがある場合は修正してください。 また、「SIP ファクス機能」にある SIP-FAX アダプターの IP アドレスと、SIP-FAX アダプターとの通信用ポート番号が正しいかどうか確認してください。
ネットワークケーブルの接続は正しいですか？	ネットワークケーブルの接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
受信側にトラブルはありませんか？	受信側のファクスの電源が切れている、用紙がないなどのトラブルはありませんか？ 受信側に電話をかけて確認してください。

N00 ～ N06 のエラーコードが頻発する場合は、SIP-FAX アダプター側にトラブルが発生している可能性があります。

以下の手順にしたがって、確認および再起動を行ってください。

■ SIP-FAX アダプター側の確認事項

- 1 ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？
- 2 ハブなどを経由している場合、使用中のポートの通信ランプは点滅していますか？
- 3 SIP-FAX アダプターの LED 表示は正常ですか？
- 4 SIP サーバーは利用可能な状態ですか？

■ 再起動の手順

- 1 SIP-FAX アダプターの電源を OFF にして、約 10 秒待ちます。
- 2 SIP-FAX アダプターの電源を ON にして、約 1 分待ちます。
- 3 本機の主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にします。
- 4 SIP-FAX アダプターとの接続確認を行います（管理者設定＞ファクス設定＞ネットワークファクス設定＞SIP アダプター接続確認）。
- 5 約 5 分待ってから、送信テストを行います。

4.3 受信できない

受信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に受信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。



- ・ サポートしていないファイル形式を受信した場合等は、ネットワークファクス受信エラーレポートが印刷されます。ネットワークファクス受信エラーレポートについては、「インターネットファクス受信エラーレポート」(p. 10-13) をごらんください。
- ・ Nxx 形式のエラーコードが表示された場合は、「エラーメッセージが表示された」(p. 4-6) をごらんください。
- ・ 原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

トラブルの内容	チェックポイント	処置
受信できない	用紙はセットされていますか？	用紙補給アイコンが点灯している場合は、用紙がなくなり、メモリーに受信原稿が蓄積されています。用紙を補給してください。 用紙補給の操作については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
	紙がつまっていますか？	紙づまりが発生している場合は、メモリーに受信原稿が蓄積されています。 つまっている用紙を取り除いてください。 紙づまりの処置については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
	トナーが切れていませんか？	トナーがなくなると、受信できません。 すぐにトナーカートリッジを交換してください。 トナーカートリッジの交換操作については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
	ネットワークケーブルの接続は正しいですか？	ネットワークケーブルの接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	メモリー不足、ハードディスクの容量不足ではありませんか？	メモリー残量、ハードディスクの残量を確認してください。 残量が不足している状態の場合は、受信できない、または受信しても印刷できない場合があります。
プリントされない	強制メモリー受信が設定されていませんか？	強制メモリー受信が設定されている場合は、次の手順で受信文書をプリントします。 1. 【ボックス】を押します。 2. [文書利用] を押します。 3. [システム] を押します。 4. [強制メモリー受信ボックス] を押し、[OK] を押します。 5. パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して [OK] を押します。 6. プリントしたい文書を選択し、[印刷] を押します。 または、[強制メモリー受信設定] を [しない] に設定します。

4.4 エラーメッセージが表示された

本機にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、次のエラーメッセージが表示されます。次の表を参照して処置をしてください。

処置をしても正常に通信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

■ 送信系エラーコード

コード	分類	エラー内容	リダイヤル有無	処置
N00	接続エラー	宛先エラー	無	- 宛先に誤りがないか確認してください。 - 相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N01	相手ビジー	相手機ビジー	有	- 相手機の状態を確認してください。 - しばらく待ってからもう一度送信してください。
N02	サーバー	サーバーエラー	無	SIP サーバーが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N03	サーバー	グローバルエラー	無	- SIP サーバーが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 - 相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N04	LAN 接続	接続タイムアウト	無	- 宛先に誤りがないか確認してください。 - ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。
N05	プロトコル	プロトコルエラー	無	本機または SIP-FAX アダプターの設定を確認してください。
N06	プロトコル	ステータスコードエラー	無	- SIP サーバーが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 - 相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。

コード	分類	エラー内容	リダイヤル有無	処置
N10	接続エラー	相手機接続エラー	無	・ 相手の状態を確認してください。 ・ 本機のネットワーク設定を確認してください。 ・ ネットワークが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 ・ SIP サーバーの設定が正しいかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N11	接続エラー	相手機接続拒否	無	受信が拒否されています。相手の状態を確認してください。
N12	接続エラー	回線切断	有	ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。
N13	接続エラー	ネットワーク応答なし	無	・ 相手の状態を確認してください。 ・ 本機のネットワーク設定を確認してください。 ・ ネットワークが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 ・ SIP サーバーの設定が正しいかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N14	プロトコルエラー	メール配信エラー	無	相手の状態を確認して、もう一度送信してください。
N15	プロトコルエラー	相手機接続リセット	有	相手の状態を確認して、もう一度送信してください。
N16	プロトコルエラー	自機ネットワークビジー	有	相手の状態を確認して、もう一度送信してください。
N17	プロトコルエラー	通信タイムアウト	無	相手の状態を確認して、もう一度送信してください。

コード	分類	エラー内容	リダイアル有無	処置
N18	その他エラー	その他エラー	無	- 各設定が正しいかを確認してください。 - ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。 - 主電源を OFF/ON した後、もう一度送信してください。
N20	メモリーエラー	メモリーオーバーフロー	無	メモリーがいっぱいです。 - 他の処理中のジョブがないことを確認してください。 - 送信枚数を減らしたり、読み込み解像度を下げて、もう一度送信してください。
N21	HDD エラー	HDD エラー	無	HDD がいっぱいです。 - 不要なファイルを削除してください。 - 送信枚数を減らしたり、読み込み解像度を下げて、もう一度送信してください。
N22	変換エラー	変換エラー	無	主電源を OFF/ON した後、もう一度送信してください。
N25	メモリーオーバフロー	メモリーオーバフロー	無	メモリーがいっぱいです。 - 他の処理中のジョブがないことを確認してください。 - 送信枚数を減らしたり、読み込み解像度を下げて、もう一度送信してください。
N30	シーケンスエラー	LAN 切断中に上位から送信起動要求が来た	無	- 送信ジョブを削除し、主電源を OFF/ON してください。 - 宛先に誤りがないか、ケーブル抜け等のネットワーク異常が発生していないかを確認し、もう一度送信してください。
N31	シーケンスエラー	SDK 初期化未完了で上位から送信起動要求が来た	無	しばらく待ってから、もう一度送信してください。

コード	分類	エラー内容	リダイヤル有無	処置
N32	シーケンスエラー	SDK 初期化未完了で上位から接続確認要求が来た	無	・ SIP-FAX アダプターとの接続を確認してください。 ・ 本機や SIP-FAX アダプターの設定を確認し、しばらく待ってからもう一度送信してください。
N33	設定不良	アダプター設定不良	無	・ SIP-FAX アダプターとの接続や設定を確認して下さい。
N34	シーケンスエラー	切断応答待ち中に送信起動要求が来た	無	・ 本機や SIP-FAX アダプターとの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度送信して下さい。

■ 受信系エラーコード

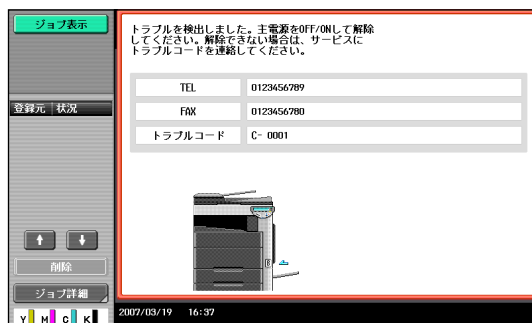
コード	分類	エラー内容	処置
N50	SMTP 受信	SMTP 受信エラー	着信の呼接続後、60 分間 SMTP 受信が始まらない場合、本エラーとなります。 送信側に再送を依頼してください。
N51	デコード	受信長オーバー	送信側に、送信原稿長を短くして再送するよう依頼してください。
N52	デコード	受信頁オーバー	送信側に、送信原稿枚数を少なくして再送するよう依頼してください。
N53	デコード	ファイル・エラー	送信側に、以下の正しいファイル形式で再送するよう依頼してください。 インターネットファクス： TIFF SIP ファクス /IP アドレスファクス： PDF または TIFF
N54	デコード	デコード・エラー	不正な形式のデータを受信しました。送信側に正しい形式での再送を依頼してください。

4.5 「サービスに連絡してください」と表示されたら (サービスコール)

お客様では処置できないトラブルが起こったとき、「サービスに連絡してください」というメッセージが画面上に表示されます。(サービスコール画面)

サービスコール画面中央には、通常、お客様のサービス実施店の電話番号とファクス番号が表示されます。

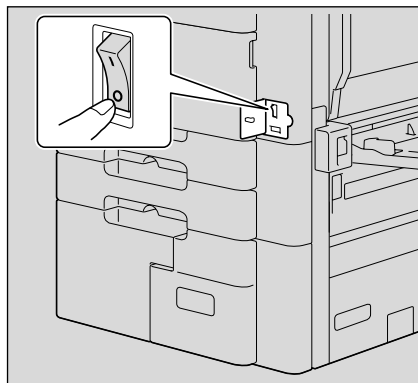
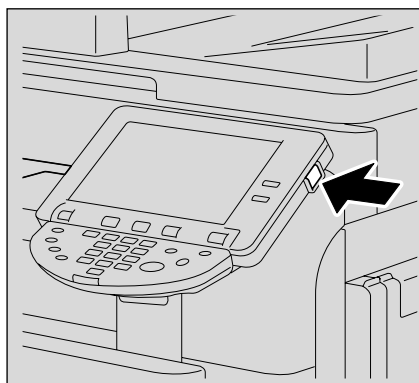
ここでは、サービス実施店に電話でトラブルを知らせる手順を説明します。

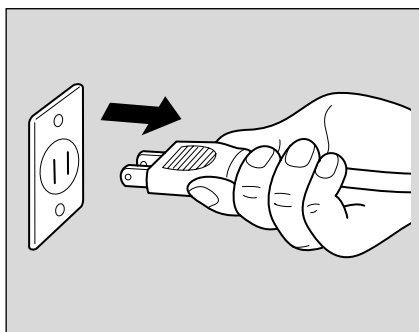


⚠ 注意

思わぬ事故になる恐れがありますので、サービスコール画面が表示され通信できなくなった場合は、次の処置をしてください。

1. トラブルコード番号を書き留めます。
2. 【副電源スイッチ】、【主電源スイッチ】を OFF にします。
3. 電源プラグをコンセントから抜きます。
4. サービス実施店に連絡し、トラブルコード番号をお知らせください。







第 5 章

仕様

ファクス機能の仕様について説明します。

5.1	仕様（インターネットファクス）	5-2
5.2	仕様（SIP ファクス /IP アドレスファクス）	5-3

5.1 仕様（インターネットファクス）

インターネットファクスに関する仕様は次のとおりです。製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

項目		仕様
画像メモリー容量		1024 MB（標準）
蓄積枚数		10000 枚（A4 サイズ 700 文字程度 of 原稿を、解像度「精細」で蓄積した場合）
解像度		超高精細： 600 dpi × 600 dpi 高精細： 400 dpi × 400 dpi 精細： 200 dpi × 200 dpi 普通： 200 dpi × 100 dpi
送信モード（ファイル形式）		モノクロ（TIFF）
送信符号化方式		TIFF-S（MH）、TIFF-F（MH/MR/MMR）
最大読み取りサイズ		原稿ガラス：420 × 297 mm（A3 サイズ） ADF：297 mm × 1000 mm
最大記録サイズ		420 × 297 mm（A3 サイズ） 1000 mm を超える原稿は受信できません。 セットされている用紙サイズより長い原稿を受信した場合は、ページ分割設定にしたがって印字されます。
送信エラー時の処理	電子メール再送	なし
	送信エラーレポート	SMTP サーバーに送れない場合、送信エラーレポート印刷する / しないを設定可能
		MDN/DSN 応答受信時、プリントする / しないを設定可能
		MDN/DSN 応答受信時、送信結果を送信管理レポートに記載
		MDN/DSN 応答監視時間を 0 ～ 99h の範囲で設定可能
電子メール受信	電子メール取得間隔	1 ～ 60 分設定可能
	POP 手動受信	可能
	BOX 指定受信	不可（強制メモリー受信のみ可）
	受信原稿サイズ	受信原稿幅：A4/B4/A3
	受信符号化方式	TIFF-S（MH）、TIFF-F（MH/MR/MMR）
リスト / レポート	DSN メッセージ印刷	可能
	MDN メッセージ印刷	可能
	正常受信メールの本文印刷	可能
	インターネットファクス通信管理レポート	ファクスの通信管理レポートと共用で、最大 700 件。
	インターネットファクス受信エラーレポート	可能

5.2 仕様（SIP ファクス /IP アドレスファクス）

SIP ファクス /IP アドレスファクスに関する主な製品仕様は次のとおりです。製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

項目	仕様
画像メモリー容量	1024 MB（標準）
蓄積枚数	10000 枚（A4 サイズ 700 文字程度 of 原稿を、解像度「精細」で蓄積した場合）
SIP サーバー （UNIVERGE 認証対応）	UNIVERGE SV7000
解像度	超高精細： 600 × 600dpi（カラー / モノクロ） 高精細： 400 × 400dpi（カラー / モノクロ） 精細 200 × 200dpi（カラー / モノクロ） 普通 200 × 100dpi（カラー / モノクロ）
送信モード（ファイル形式）	カラー（PDF/JPEG）、モノクロ（TIFF、JPG）
符号化方式	MH / MR / MMR（TIFF ファイル時）
最大読み取りサイズ	原稿ガラス：420 × 297 mm（A3 サイズ） ADF：297 mm × 1000 mm
最大記録サイズ	420 × 297 mm（A3 サイズ） モノクロモードでは、1000 mm を超える原稿は受信できません。 カラーモードでは、432 mm を超える原稿は受信できません。 セットされている用紙サイズより長い原稿を受信した場合は、ページ分割設定にしたがって印字されます。（モノクロモードで受信した場合のみ）

第 6 章

便利な送信

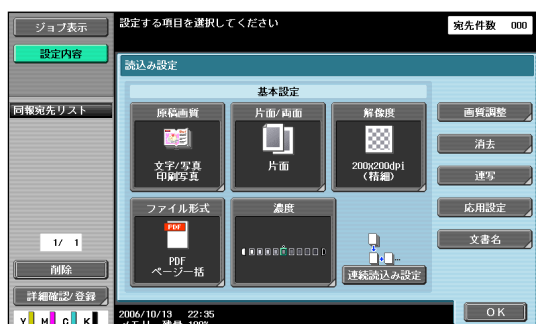
読み込み設定、原稿設定、通信設定のメニューを使った、便利なファクス送信について説明します。

6.1	設定画面の機能一覧	6-2
6.2	背景色の濃度を調整して送る（下地調整）	6-5
6.3	文字のエッジを強調して送る（シャープネス）	6-8
6.4	黒い影を消して送る（枠消し）	6-11
6.5	見開き原稿を左右 1 ページずつ分けて送信する（ブック連写）	6-14
6.6	原稿を読み込むサイズを指定して送る（読み込みサイズ）	6-19
6.7	ファクス送信と同時にコピーをする（同時印刷）	6-22
6.8	読み取ったことを確認する（済みスタンプ）	6-25
6.9	スキャンしたデータのファイル名を設定して送る（文書名）	6-27
6.10	サイズの異なる原稿を一度の操作で送る（混載原稿）	6-29
6.11	折り目のある原稿を送る（Z 折れ原稿）	6-32
6.12	長い原稿を送る（長尺原稿）	6-34
6.13	原稿のとじ位置を指定する（原稿のとじしろ）	6-36
6.14	スリットガラスの汚れの影響を軽減して送信する（汚れ軽減モード）	6-39
6.15	宛先を再確認して送信する（宛先確認表示機能）	6-41
6.16	E-mail の件名や本文などを設定して送信する（E-mail 設定）	6-43
6.17	発信元情報のつけ方を指定する（ファクス発信元設定）	6-47

6.1 設定画面の機能一覧

読み込み設定、原稿設定、通信設定の画面には、次の機能が表示されます。

■ 読み込み設定



- ・「基本設定」については、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) をごらんください。
- ・「連続読み設定」については、「原稿ガラスで複数枚の原稿を送るには」(p. 2-19) をごらんください。

画面表示		説明
基本設定		[原稿画質]、[片面 / 両面]、[解像度]、[濃度]、[連続読み設定] を設定します。→ p. 2-25、p. 2-19
[画質調整]	カラー	カラーで送信する場合に、設定します。→ p. 2-23
	[下地調整]	原稿の背景色の濃さを調整して送信する機能です。→ p. 6-5
	[シャープネス]	文字のエッジを強調して送る機能です。→ p. 6-8
[消去]	[枠消し]	冊子になっている原稿を読み込むときに、上下左右に写る黒い影を消して送信する機能です。→ p. 6-11
[連写]	[ブック連写]	本やカタログなどを読み込むときに、左右のページが分割され、それぞれ 1 ページとして送信する機能です。→ p. 6-14
[応用設定]	[読み込みサイズ]	読み込むサイズを指定して送信する機能です。原稿の一部だけを送信したい場合に便利です。→ p. 6-19
	[ファイリングナンバー]	ファクス送信と同時に、ボックスに日付 / 時刻やファイリング番号などを付加した文書を保存できます。相手先で受信した文書にも日付 / 時刻やファイリング番号などが付加されます。詳しくは、「ユーザズガイド ボックス機能編」をごらんください。

ひとこと

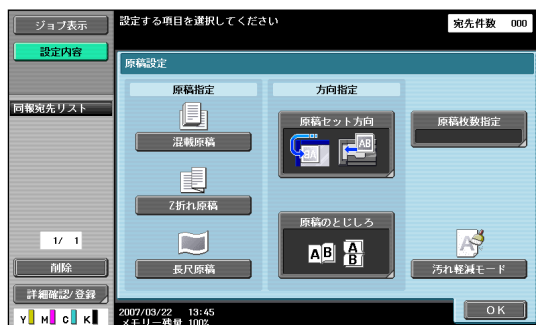
SIP ファクス / IP アドレスファクスを使用する場合のみ、カラーで送信できます。

ひとこと

ファイリングナンバー機能、スタンプ / ページ印字機能を使用するには、設定メニューの「ファクス送信設定」を「解除しない」にします。詳しくは、「スタンプを印字する設定をする (スタンプ設定)」(p. 9-36) をごらんください。

画面表示		説明
[応用設定]	[スタンプ / ページ印字]	読込んだ文書のすべてのページに、読込んだ日付と時刻、ページ番号、定型句を付加し、ファクス送信します。 詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク/スキャナー機能編」をごらんください。
	[同時印刷]	ファクス送信と同時にコピーをする機能です。→ p. 6-22
	[済みスタンプ]	読み取った原稿に済みスタンプを押すことができます。 → p. 6-25
[文書名]	インターネットファクス送信時、スキャンしたデータのファイル名を設定する機能です。→ p. 6-27	

■ 原稿設定



画面表示		説明
[原稿指定]	[混載原稿]	サイズの異なる原稿をセットし、一度の操作で原稿サイズを検知して送信する機能です。→ p. 6-29
	[Z 折れ原稿]	折り目が付いているために原稿サイズを正しく検知できない原稿を送信する機能です。→ p. 6-32
	[長尺原稿]	432 mm より長い長尺原稿を送信する機能です。→ p. 6-34
[方向指定]	[原稿のとししろ]	両面原稿を ADF で読み込む場合に、原稿のとししろを指定し、原稿の裏面の上下関係を補正する機能です。→ p. 6-36
[汚れ軽減モード]		ADF から原稿を読み込む場合に、スリットガラスの汚れが読み込みデータに及ぼす影響を軽減させる機能です。→ p. 6-39

ひとこと

インターネットファクス、SIP ファクス、IP アドレスファクス使用時、同報で送信する場合は、ヘッダー / フッター設定の「部数管理番号」の設定を行っても、番号が印字されません。

ひとこと

以下のキーは、ネットワークファクス機能では使用しません。

- ・「方向指定」の「原稿セット方向」
- ・「原稿枚数指定」

■ 通信設定



ひとこと

以下のキーは、ネットワークファクス機能では使用しません。

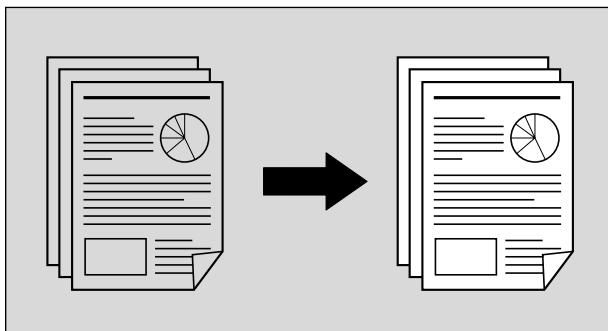
- ・ [回線設定]
- ・ [URL 通知先設定]
- ・ [送受信方法設定]

画面表示	説明
[E-mail 設定]	インターネットファクス送信時、E-mail の件名や本文などを設定する機能です。→ p. 6-43
[ファクス発信元設定]	ファクス送信の際に、ジョブごとに発信元情報のつけ方を指定できます。→ p. 6-47

6.2 背景色の濃度を調整して送る（下地調整）

■ 下地調整とは

下地調整とは、送信データの背景色の濃さを調整する機能です。原稿の背景に色がついている場合、色を読み込んで送信データの下地が黒くなることがあります。このような場合に、送信データの背景色の濃さを調整して送信できます。



■ 原則

原稿ガラス、ADF ともに使用できます。

■ 下地調整をして送信するには

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

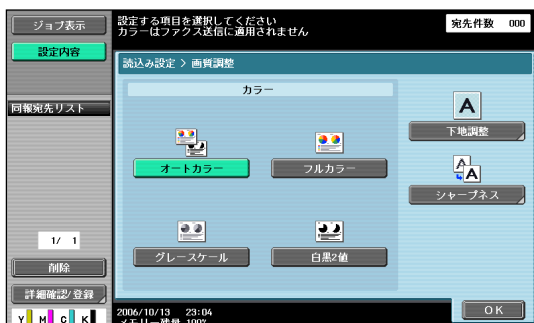
原稿をセットします。

3

【読み込み設定】、【画質調整】の順に押します。

4

【下地調整】を押します。



原稿のセットについては、「原稿をセットする」(p. 2-17) をご覧ください。

5

原稿の背景色を濃くしたいときは、[こく] を、薄くしたいときは [うすく] を押します。



6

[OK] を押します。
画質調整画面に戻ります。

7

[OK] を押します。
読み込み設定画面に戻ります。

8

[OK] を押します。
ファクス / スキャン画面に戻ります。

9

必要に応じて、その他の機能を設定します。

10

宛先を指定します。

詳しく説明します

[自動] を選択すると、原稿一枚毎に下地調整を決定するための予備動作を行うので、読み込み速度が低下します。

参照

- ・読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) または「読み込み設定」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をご覧ください。
- ・通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をご覧ください。

参照

宛先の指定については「宛先を1箇所だけ指定する」(p. 2-30)、「複数の宛先を指定する(同報送信)」(p. 2-41) をご覧ください。

11

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

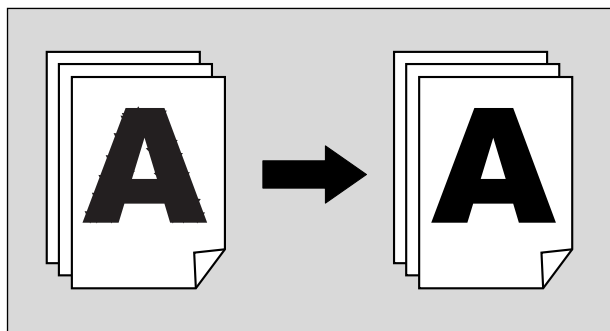


- ・送信を中止する場合は「送信を中止する」(p. 2-54)をごらんください。
- ・送信できない場合は「トラブル処置」(p. 4-1)をごらんください。

6.3 文字のエッジを強調して送る（シャープネス）

■ シャープネスとは

シャープネスとは、エッジ部分の強さを調整する機能です。文字がぼやけた原稿の場合に、シャープネスで「+」にすると、はっきりした文字に調整できます。また、「-」にすると、なめらかな印象に調整できます。



■ 原則

原稿ガラス、ADF ともに使用できます。
SIP ファクス / IP アドレスファクスのカラーモードでは使用できません。

■ シャープネスの調整をして送信するには

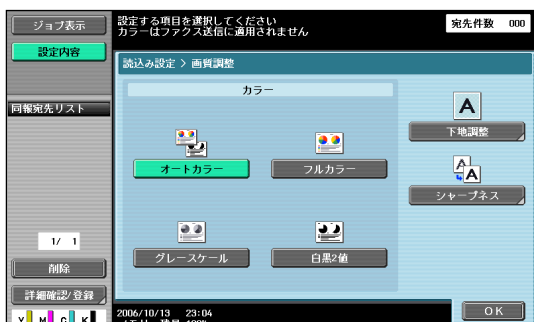
- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 [読み込み設定]、[画質調整] の順に押します。



原稿のセットについては、「原稿をセットする」(p. 2-17) をご覧ください。

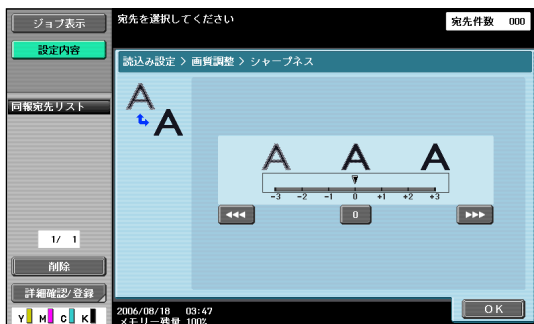
4

「シャープネス」を押します。



5

エッジ部分をはっきりさせたいときは、+ 側に、なめらかにしたいときは-側に [<<<] または [>>>] を押します。



6

[OK] を押します。

画質調整画面に戻ります。

7

[OK] を押します。

読み込み設定画面に戻ります。

8

[OK] を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

9

必要に応じて、その他の機能を設定します。

 参照

- ・ 読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」（p. 2-25）または「読み込み設定」（p. 6-2）をごらんください。
- ・ 原稿設定については、「原稿設定」（p. 6-3）をごらんください。
- ・ 通信設定については、「通信設定」（p. 6-4）をごらんください。

10

宛先を指定します。

 参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-30）、「複数の宛先を指定する（同報送信）」（p. 2-41）をごらんください。

11

【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

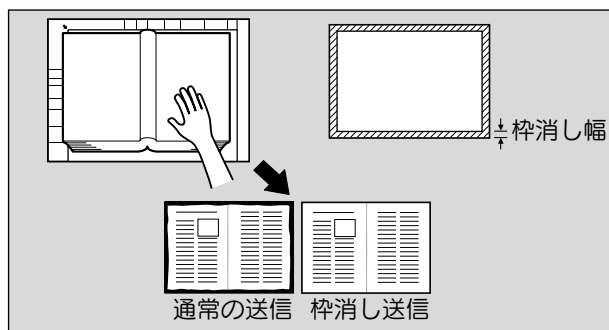
 参照

- ・ 送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-54）をごらんください。
- ・ 送信できない場合は「トラブル処置」（p. 4-1）をごらんください。

6.4 黒い影を消して送る（枠消し）

■ 枠消しとは

ADFを開いたまま原稿を読み取ったり、冊子になっている原稿を読み込むときなどに、原稿のまわりに黒い影が付いて送信されることがあります。枠消しとは、冊子になっている原稿を読み込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信する機能です。



■ 原則

- ・ 原稿ガラス、ADF ともに使用できます。
- ・ 枠消し量は、0.1 ～ 50 mm の範囲で、0.1 mm きざみで設定できます。
- ・ お買い上げ時の初期値枠消し量：5.0 mm
- ・ 以下の機能とは併用できません。
長尺原稿

■ 枠消しの設定をして送信する

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

原稿をセットします。

3

【読み込み設定】、【消去】の順に押します。



原稿のセットについては、「原稿をセットする」(p. 2-17) をご覧ください。

4

「枠消し」を押します。



5

「枠：上」、「枠：左」、「枠：右」、「枠：下」、「枠全体」を選択し、テンキーまたは「[-]」、「[+]」を押して、それに枠消し量を設定します。



ひとこと

- ・ 特定の位置の枠消しをしない場合は、目的の枠のキーを押し、「消去しない」を押します。「消去しない」を解除したい場合は、テンキーまたは「[+]」キーを押して枠消し量を設定すると解除されます。
- ・ 枠消しの設定を解除する場合は、「しない」を押します。

6

「OK」を押します。
消去画面に戻ります。

7

「閉じる」を押します。
読み込み設定画面に戻ります。

8

「OK」を押します。
ファクス / スキャン画面に戻ります。

9

必要に応じて、その他の機能を設定します。



- ・読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) または「読み込み設定」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をご覧ください。
- ・通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をご覧ください。

10

宛先を指定します。



宛先の指定については「宛先を1箇所だけ指定する」(p. 2-30)、「複数の宛先を指定する（同報送信）」(p. 2-41) をご覧ください。

11

【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。



- ・送信を中止する場合は「送信を中止する」(p. 2-54) をご覧ください。
- ・送信できない場合は「トラブル処置」(p. 4-1) をご覧ください。

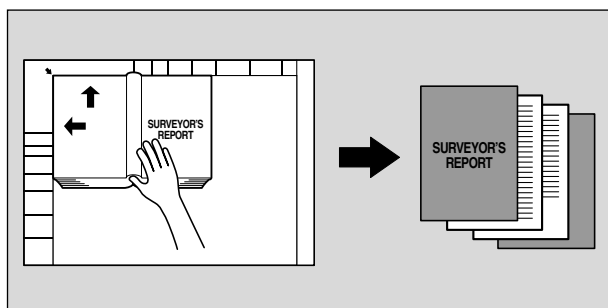
6.5 見開き原稿を左右 1 ページずつ分けて送信する (ブック連写)

■ ブック連写とは

本やカタログなどをファクス送信する場合に、左右のページが分割され、それぞれ 1 ページとして送信できます。

ブック連写には以下の種類があります。

機能名	説明
[見開き]	見開き原稿が 1 ページ分として送信されます。
[分割]	見開き原稿がページ順に左右 1 ページずつ分割して送信されます。
[表カバー]	表カバー + ページ順の分割ページの順で送信されます。
[表 + 裏カバー]	表カバー + ページ順の分割ページ + 裏カバーの順で送信されます。



■ 原則

- ・ 原稿は原稿ガラス上にセットします。
- ・ 以下の機能とは併用できません。
混載原稿、Z 折れ原稿、長尺原稿、原稿のとじしろ、仕上りプレビュー

■ ブック連写を設定して送信するには

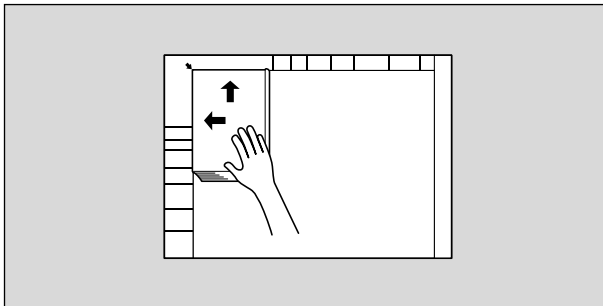
1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

原稿ガラス上に最初のページからセットします。

- 表紙を付ける場合は、最初に表力バーをセットします。

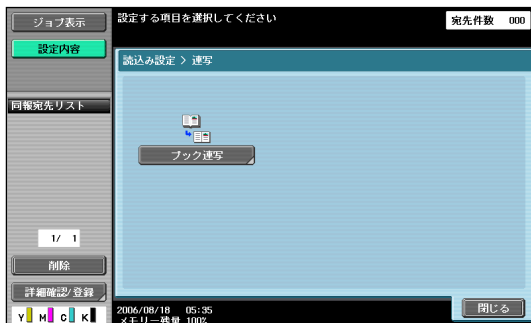


3

〔読み込み設定〕、〔連写〕の順に押します。

4

〔ブック連写〕を押します。



原稿のセットについては、「原稿をセットする」(p. 2-17) をご覧ください。



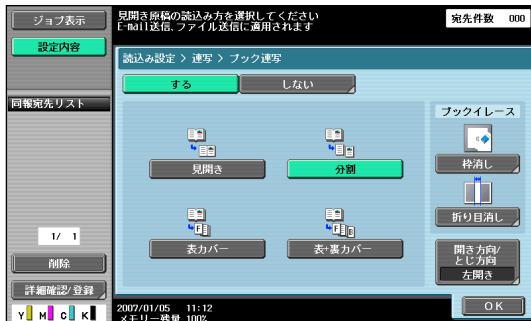
必ず守ってください

表紙を付けて送信する場合、原稿の読み込みは、表力バー、裏力バー、見開き本文原稿の順に行います。

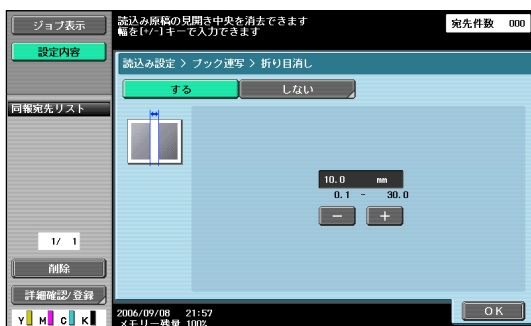
5

目的の仕上がり設定を選択し、[OK] を押します。

- [分割] [表カバー]、[表 + 裏カバー] のいずれかを選択すると、[開き方向 / とじ方向] が表示されます。原稿のとじ方向に合わせて選択し、[OK] を押します。
- 必要に応じて、「ブックイレース」を設定します。イレース方法を選択し、消去幅をテンキーまたは [-] [+] で設定して、[OK] を押します。



<折り目消し画面>



6

[OK] を押します。

連写画面に戻ります

7

[閉じる] を押します。

読み込み設定画面に戻ります。

8

[OK] を押します。

ファクス / スキャン画面へ戻ります。

ひとこと

ブック連写機能を解除するときは「しない」を押します。

詳しく説明します

「ブックイレース」を設定すると、周囲や中央部にできる黒い影を消すことができます。「ブックイレース」は組合わせて使用できます。

詳しく説明します

範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または消去幅の入力を間違えた場合は、【C】を押して入力なおしてください。

参照

「[枠消し]」については、「黒い影を消して送る（枠消し）」(p. 6-11) をご覧ください。

9

必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

- ・読み設定については、「読み条件を設定する」(p. 2-25) または「読み設定」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をご覧ください。
- ・通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をご覧ください。

10

宛先を指定します。

- [見開き]、[分割] を設定した場合は、手順 11 へ進みます。
- [表力バー]、[表 + 裏力バー] を設定した場合は、手順 12 へ進みます。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」(p. 2-30)、「複数の宛先を指定する（同報送信）」(p. 2-41) をご覧ください。

11

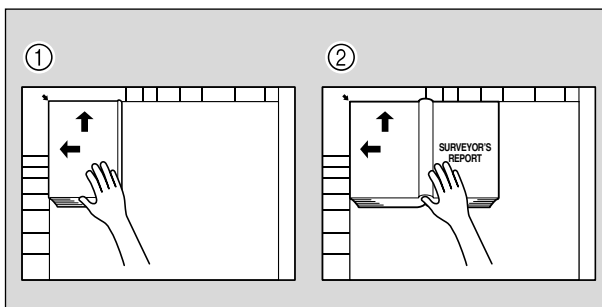
【スタート】を押します。

原稿が読み込まれます。

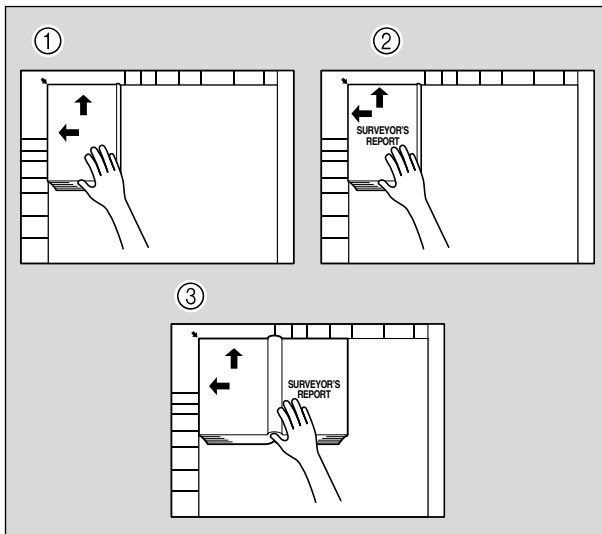
12

全ての原稿を読み、[読み終了]を押します。

- [表力バー] を選択した場合は、表力バーを読み込んだあと、見開き本文原稿をページ順に読み込みます。



- [表 + 裏カバー] を選択した場合は、表カバーを読込んだあと、裏カバーを読み、最後に見開き本文原稿をページ順に読み込みます。



13

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。



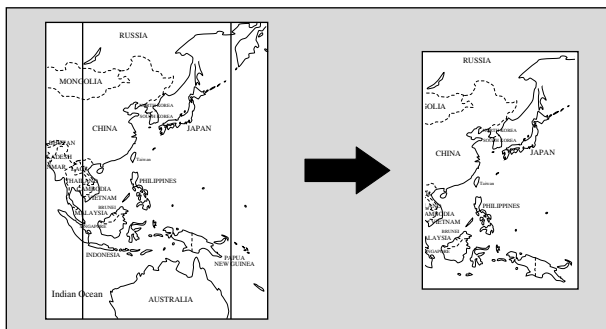
- ・ 送信を中止する場合は「送信を中止する」(p. 2-54) をご覧ください。
- ・ 送信できない場合は「トラブル処置」(p. 4-1) をご覧ください。

6.6 原稿を読み込むサイズを指定して送る（読み込みサイズ）

■ 読み込みサイズとは

読み込みサイズとは、原稿を読み込むサイズを指定して送信する機能です。

受信側の用紙幅が送信原稿より小さい場合、通常は縮小して記録されます。縮小したくない場合に、原稿サイズを受信側の用紙サイズに指定すると、原寸で送信することができます。



■ 原則

- ・ 原稿を ADF にセットした場合と、原稿ガラスにセットした場合は、原稿の読み込み位置が異なります。
- ・ 読み込みサイズと混載原稿を同時に指定した場合は、読み込みサイズで指定したサイズが適用されます。

■ 読み込みサイズを指定して送信するには

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

原稿をセットします。

3

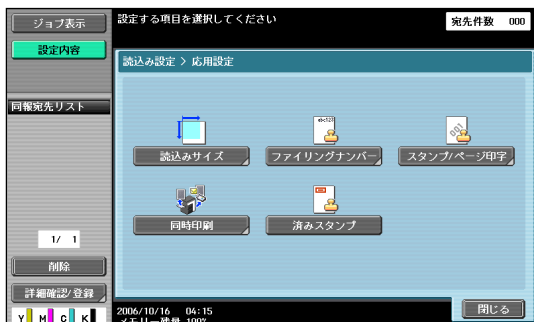
〔読み込み設定〕、〔応用設定〕の順に押します。



原稿のセットについては、「原稿をセットする」(p. 2-17) をご覧ください。

4

「読み込みサイズ」を押します。



5

原稿の状態に合わせ、指定する原稿サイズのキーを押します。



詳しく説明します

- ・ 定型サイズ画面の次の画面または前の画面を表示したい場合は、[↑] または [↓] を押します。
- ・ 以下の定型サイズは、ファクス送信に適用されません。
A5 □、A6 □、
5-1/2 × 8-1/2 □/□、
7-1/4 × 10-1/2 □/□、
8K □、16K □/□、
8 × 13 □、はがき □/□

6

「OK」を押します。

応用設定画面に戻ります。

7

「閉じる」を押します。

読み込み設定画面に戻ります。

8

「OK」を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

9

必要に応じて、その他の機能を設定します。

 参照

- ・読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) または「読み込み設定」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をご覧ください。
- ・通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をご覧ください。

10

宛先を指定します。

 参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」(p. 2-30)、「複数の宛先を指定する（同報送信）」(p. 2-41) をご覧ください。

11

【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

 参照

- ・送信を中止する場合は「送信を中止する」(p. 2-54) をご覧ください。
- ・送信できない場合は「トラブル処置」(p. 4-1) をご覧ください。

6.7 ファクス送信と同時にコピーをする（同時印刷）

■ 同時印刷とは

ファクス送信と同時にコピーをする機能です。部数を増やしてコピーをしたり、両面プリント、ステープルとじができます。

■ 原則

ステープル機能を利用する場合は、オプションのフィニッシャーが必要です。

ひとこと

ユーザー認証設定の「初期機能制限設定」または「機能制限」で「送信文書印字」が「許可しない」に設定されている場合は、同時印刷機能は使用できません。

■ 同時印刷を設定して送信するには

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

原稿をセットします。

3

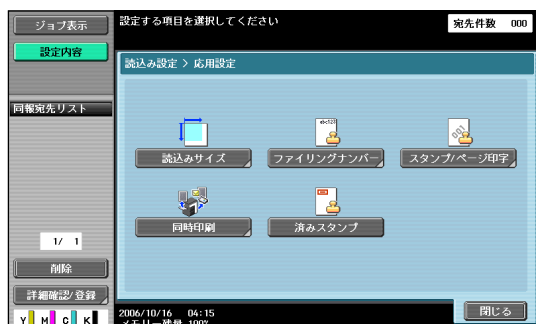
「読み込み設定」、「応用設定」の順に押します。

4

「同時印刷」を押します。



原稿のセットについては、「原稿をセットする」(p. 2-17) をご覧ください。



5

目的の仕上がり設定を選択し、[OK] を押します。

- 部数を設定する場合は、テンキーで目的の部数を入力します。
- 片面 / 両面印刷を設定する場合は、[片面] または [両面] を押します。
- ステープルとじを設定する場合は、[コーナー] または [2点] を押し、ステープルとじを解除する場合は、[なし] を押します。



6

[閉じる] を押します。

読み込み設定画面に戻ります。

7

[OK] を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

8

必要に応じて、その他の機能を設定します。

9

宛先を指定します。

ひとこと

【C】を押すと、部数は 1 部に戻ります。

参照

- ・ 読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) または「読み込み設定」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・ 原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をご覧ください。
- ・ 通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をご覧ください。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」(p. 2-30)、「複数の宛先を指定する（同報送信）」(p. 2-41) をご覧ください。

10

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。同時にコピーされます。

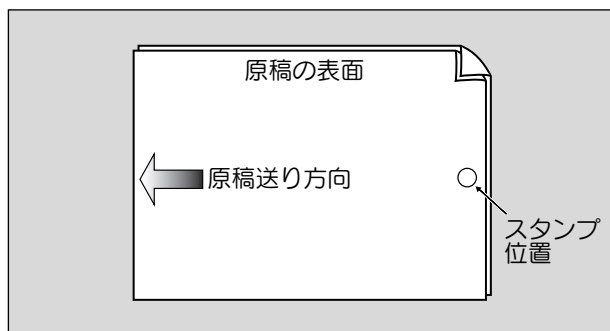


- ・送信を中止する場合は「送信を中止する」(p. 2-54) をごらんください。
- ・送信できない場合は「トラブル処置」(p. 4-1) をごらんください。

6.8 読み取ったことを確認する（済みスタンプ）

■ 済みスタンプとは

ADF を使用して送信する場合に、読み取った原稿に済みスタンプを付け、1 枚ずつ読み取ったかどうかを確認できます。済みスタンプは、直径 4 mm のピンク色の⊕印で、原稿の表面の後端に下図のようにして付けられます。なお、両面を送信する場合は、表面に済みスタンプが付けられます。



■ 原則

- ・ 済みスタンプ機能を利用する場合は、オプションのファクス済みスタンプユニットが必要です。
- ・ スタンプのインクは消耗品です。スタンプが薄くなった場合は、サービス実施店にお問い合わせください。
- ・ 混載原稿を選択している場合は、上記の位置に済みスタンプが押されない場合があります。
- ・ 済みスタンプを設定していても、原稿が多重送りの場合などは、済みスタンプは付きません。再度送信してください。
- ・ 実際に、原稿が正しく送られたかどうかについては、送信結果レポートや設定確認画面の送信結果で確認してください。

■ 済みスタンプを設定して送信するには

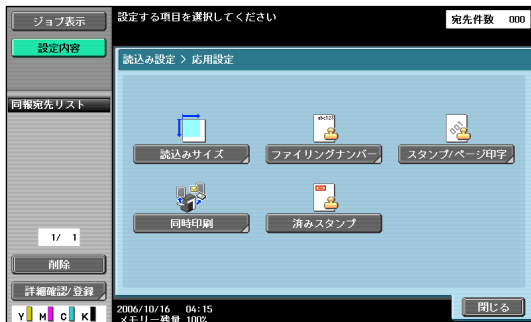
- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 [読み込み設定]、[応用設定] の順に押します。



原稿のセットについては、「原稿をセットする」(p. 2-17) をごらんください。

4

〔済みスタンプ〕を押します。



5

〔閉じる〕を押します。

読み込み設定画面に戻ります。

6

〔OK〕を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

7

必要に応じて、その他の機能を設定します。

8

宛先を指定します。

9

〔スタート〕を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

設定を解除するときは、もう一度〔済みスタンプ〕を押します。

参照

- ・読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) または「読み込み設定」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をご覧ください。
- ・通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をご覧ください。

参照

宛先の指定については「宛先を1箇所だけ指定する」(p. 2-30)、「複数の宛先を指定する(同報送信)」(p. 2-41) をご覧ください。

参照

- ・送信を中止する場合は「送信を中止する」(p. 2-54) をご覧ください。
- ・送信できない場合は「トラブル処置」(p. 4-1) をご覧ください。

6.9 スキャンしたデータのファイル名を設定して送る (文書名)

■ 文書名とは

文書名とは、インターネットファクス送信時、スキャンしたデータのファイル名を設定する機能です。

文書名を設定しない場合は以下の法則に基づき、自動的に名称が付けられます。

「SKMBT_C45106102315230」を例に説明します。

項目	説明
S	インターネットファクス送信時に読込んだデータには「S」がつけられます。
KMBT_C451	データを読込んだデバイス（機器）の名称です。出荷時の設定は「KMBT_C451」となっています。この名称は設定メニューの「本体アドレス登録」の「装置名」で変更できます。半角 10 文字以内で設定します。
06102315230	読込みを行った年（西暦の下 2 桁）、月日、時間、分を続けて表示します。最後の 1 桁は分の中で続けて読込みした場合に連番が付きます。

■ 文書名を設定して送信するには

- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 インターネットファクスの宛先を指定します。
- 4 「読込み設定」、[文書名] の順に押します。

ひとこと

文書名を変更すると、[通信設定] > [E-mail 設定] の [文書名] も同様に変更されます。



設定メニューの「本体アドレス登録」については、「本体の E-mail アドレスを登録する（本体アドレス登録）」（p. 9-46）をごらんください。



原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-17）をごらんください。



宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-30）、「複数の宛先を指定する（同報送信）」（p. 2-41）をごらんください。

5

目的の文書名に変更します。



6

【OK】を押します。

読み込み設定画面に戻ります。

7

【OK】を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

8

必要に応じて、その他の機能を設定します。

9

【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。



- ・読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) または「読み込み設定」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をご覧ください。
- ・通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をご覧ください。

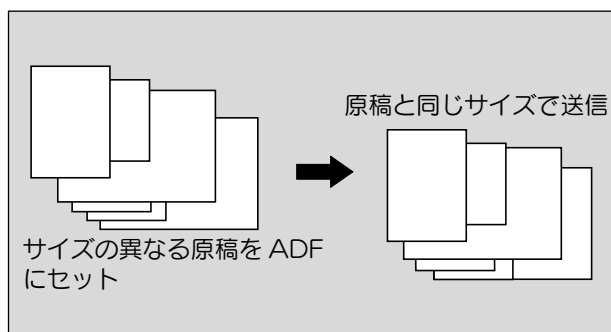


- ・送信を中止する場合は「送信を中止する」(p. 2-54) をご覧ください。
- ・送信できない場合は「トラブル処置」(p. 4-1) をご覧ください。

6.10 サイズの異なる原稿を一度の操作で送る（混載原稿）

■ 混載原稿とは

混載原稿とは、サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを検知して送信する機能です。



■ 原則

- ・ 読み込みサイズと混載原稿を同時に指定した場合は、読み込みサイズで指定したサイズが適用されます
- ・ 以下の機能とは併用できません。
Z 折れ原稿、長尺原稿、原稿のとりしろ

■ 混載原稿を設定して送信するには

1

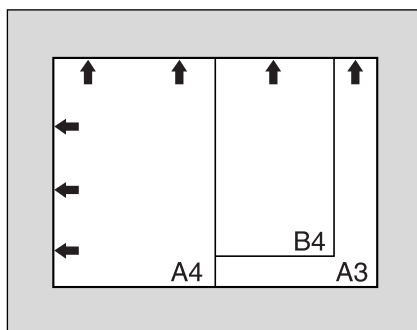
【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

ガイド板を最も大きな原稿のサイズに合わせます。

3

原稿を図のように送信する面を上向きにして揃えます。



詳しく説明します

混載できる原稿サイズの組み合わせは、セットする原稿の最大幅（ガイド板の開き幅）により異なります。

参照

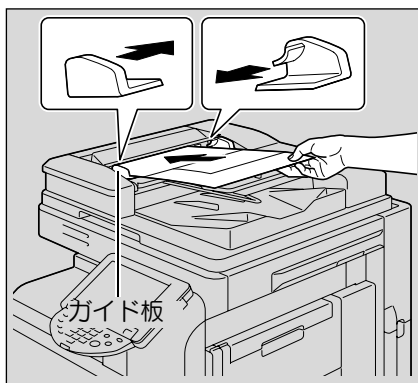
ADF に混載できる原稿サイズの組み合わせについては、「ユーザズガイド コピー機能編」をごらんください。

4

原稿の送信する面を上向きにし、原稿給紙トレイへセットします。

ガイド板を原稿に沿わせます。

- 原稿は、ADF に対して左側と奥側を基準にしてセットします。

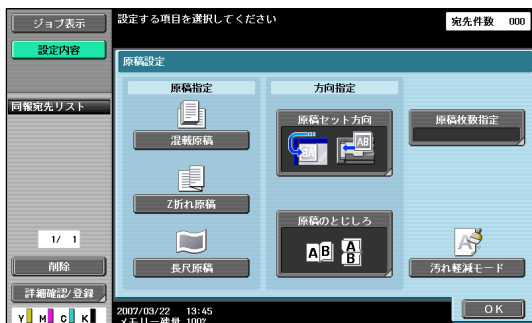


5

〔原稿設定〕を押します。

6

〔混載原稿〕を押します。



7

〔OK〕を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

ひとこと

設定を解除するときは、もう一度〔混載原稿〕を押します。

8

必要に応じて、その他の機能を設定します。



- ・読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) または「読み込み設定」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をご覧ください。
- ・通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をご覧ください。

9

宛先を指定します。



宛先の指定については「宛先を1箇所だけ指定する」(p. 2-30)、「複数の宛先を指定する（同報送信）」(p. 2-41) をご覧ください。

10

【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

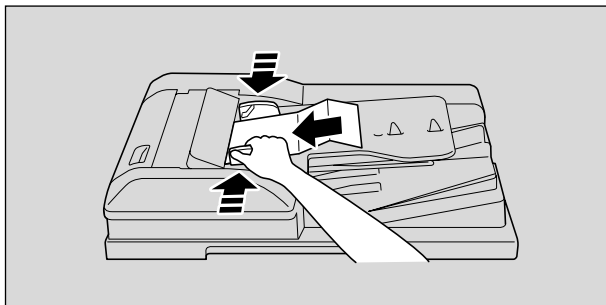


- ・送信を中止する場合は「送信を中止する」(p. 2-54) をご覧ください。
- ・送信できない場合は「トラブル処置」(p. 4-1) をご覧ください。

6.11 折り目のある原稿を送る（Z 折れ原稿）

■ Z 折れ原稿とは

折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿を送信する機能です。



■ 原則

- ・ ADF を使用します。原稿ガラスを使用して Z 折原稿の送信をすることはできません。
- ・ 2 枚目以降の原稿は、1 枚目の原稿と同じサイズで送信されます。原稿サイズがページごとに異なる場合は、Z 折れ原稿を設定せず、[混載原稿]を指定してください。
- ・ 以下の機能とは併用できません。
混載原稿、長尺原稿、連続読み込み設定

■ Z 折れ原稿を設定して送信するには

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

原稿をセットします。

3

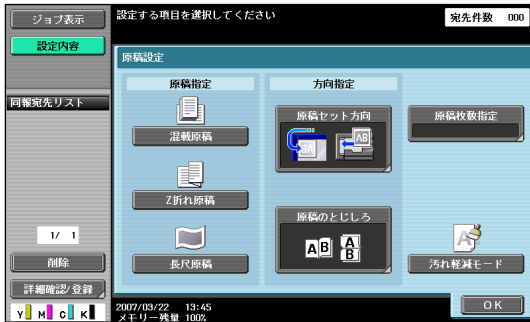
[原稿設定] を押します。



原稿のセットについては、「原稿をセットする」(p. 2-17) をご覧ください。

4

〔Z 折れ原稿〕を押します。



5

〔OK〕を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

6

必要に応じて、その他の機能を設定します。

7

宛先を指定します。

8

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

設定を解除するときは、もう一度〔Z 折れ原稿〕を押します。

参照

- ・ 読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) または 「読み込み設定」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・ 原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をご覧ください。
- ・ 通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をご覧ください。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」(p. 2-30)、「複数の宛先を指定する (同報送信)」(p. 2-41) をご覧ください。

参照

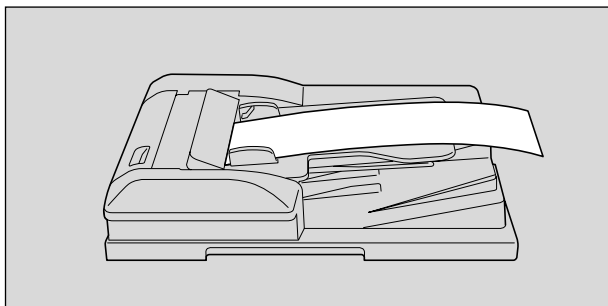
- ・ 送信を中止する場合は「送信を中止する」(p. 2-54) をご覧ください。
- ・ 送信できない場合は「トラブル処置」(p. 4-1) をご覧ください。

6.12 長い原稿を送る（長尺原稿）

■ 長尺原稿とは

432 mm より長い原稿を送信する機能です。

長尺原稿を指定することにより、1000 mm までの長さの原稿を送信することができます。



■ 原則

- ・ ADF を使用します。原稿ガラスを使用して長尺原稿の送信をすることはできません。
- ・ 長尺原稿は複数枚の原稿に対応していません。長尺原稿を送信するときは、ADF に 1 枚ずつセットして使用してください。
- ・ 以下の機能とは併用できません。
両面、枠消し、混載原稿、原稿のとりしろ、連続読み込み設定、仕上りプレビュー

■ 長尺原稿を設定して送信するには

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

原稿をセットします。

3

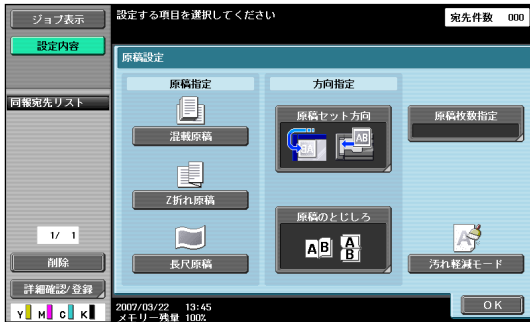
【原稿設定】を押します。



原稿のセットについては、「原稿をセットする」(p. 2-17) をごらんください。

4

「長尺原稿」を押します。



5

「OK」を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

6

必要に応じて、その他の機能を設定します。

7

宛先を指定します。

8

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

設定を解除するときは、もう一度「長尺原稿」を押します。

参照

- ・ 読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) または 「読み込み設定」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・ 原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をご覧ください。
- ・ 通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をご覧ください。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」(p. 2-30)、「複数の宛先を指定する (同報送信)」(p. 2-41) をご覧ください。

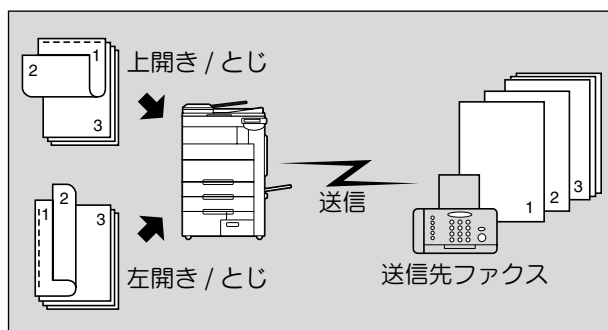
参照

- ・ 送信を中止する場合は「送信を中止する」(p. 2-54) をご覧ください。
- ・ 送信できない場合は「トラブル処置」(p. 4-1) をご覧ください。

6.13 原稿のと同じ位置を指定する（原稿のと同じしろ）

■ 原稿のと同じしろとは

ADF を使って両面原稿を送信する場合に原稿のと同じしろを設定する機能です。両面原稿のと同じしろには、原稿の上開きと、原稿の左開きがあり、原稿の裏面の上下関係が異なります。



■ 原則

- ・ ADF を使用します。原稿ガラスを使用して原稿のと同じしろ機能を使用することはできません。
- ・ 以下の機能とは併用できません。
混載原稿、長尺原稿、連続読み込み設定

■ 原稿のと同じしろを指定して送信するには

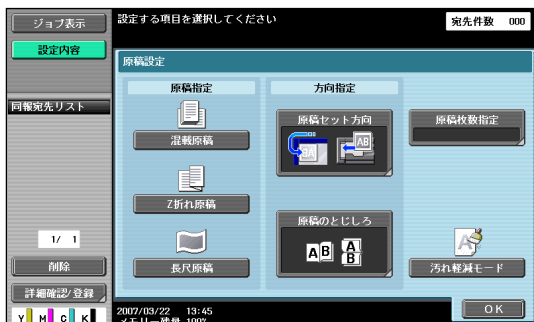
- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 [原稿設定] を押します。



原稿のセットについては、「原稿をセットする」(p. 2-17) をごらんください。

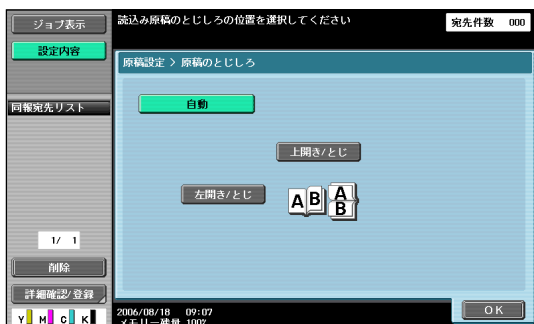
4

「原稿のと同じしろ」を押します。



5

「上開き / とじ」、「左開き / とじ」、「自動」のいずれかを押し、両面原稿のと同じしろを選択します。



6

「OK」を押します。

原稿設定画面に戻ります。

7

「OK」を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

8

必要に応じて、その他の機能を設定します。



- ・ 読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) または「読み込み設定」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・ 原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をご覧ください。
- ・ 通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をご覧ください。

9

宛先を指定します。

10

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。



宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」(p. 2-30)、「複数の宛先を指定する（同報送信）」(p. 2-41) をごらんください。



- ・送信を中止する場合は「送信を中止する」(p. 2-54) をごらんください。
- ・送信できない場合は「トラブル処置」(p. 4-1) をごらんください。

6.14 スリットガラスの汚れの影響を軽減して送信する (汚れ軽減モード)

6

必要に応じて、その他の機能を設定します。

 参照

- ・読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」（p. 2-25）または「読み込み設定」（p. 6-2）をご覧ください。
- ・原稿設定については、「原稿設定」（p. 6-3）をご覧ください。
- ・通信設定については、「通信設定」（p. 6-4）をご覧ください。

7

宛先を指定します。

 参照

宛先の指定については「宛先を1箇所だけ指定する」（p. 2-30）、「複数の宛先を指定する（同報送信）」（p. 2-41）をご覧ください。

8

【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

 参照

- ・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-54）をご覧ください。
- ・送信できない場合は「トラブル処置」（p. 4-1）をご覧ください。

6.15 宛先を再確認して送信する（宛先確認表示機能）

■ 宛先確認表示機能とは

宛先指定が完了してスタートキーを押した後、宛先の一覧画面が件数とともに表示されます。宛先を再確認してから送信するので、宛先間違いによる誤送信を防止することができます。

■ 宛先を再確認して送信するには

- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 必要に応じて、「読み込み設定」、「原稿設定」、「通信設定」を設定します。
- 4 宛先を指定します。



宛先確認表示機能を使用するには、「宛先確認表示機能」を「ON」に設定しておく必要があります。詳しくは、「機能のON/OFFを設定する（機能ON/OFF設定）」（p. 9-72）をご覧ください。



原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-17）をご覧ください。



- ・読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」（p. 2-25）または「読み込み設定」（p. 6-2）をご覧ください。
- ・原稿設定については、「原稿設定」（p. 6-3）をご覧ください。
- ・通信設定については、「通信設定」（p. 6-4）をご覧ください。



宛先の指定については「宛先を1箇所だけ指定する」（p. 2-30）、「複数の宛先を指定する（同報送信）」（p. 2-41）をご覧ください。

5

【スタート】を押します。

宛先確認 / 登録画面が表示されます。



6

指定した宛先が正しいことを確認して、[送信] または【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。



- ・送信を中止する場合は「送信を中止する」(p. 2-54)をごらんください。
- ・送信できない場合は「トラブル処置」(p. 4-1)をごらんください。

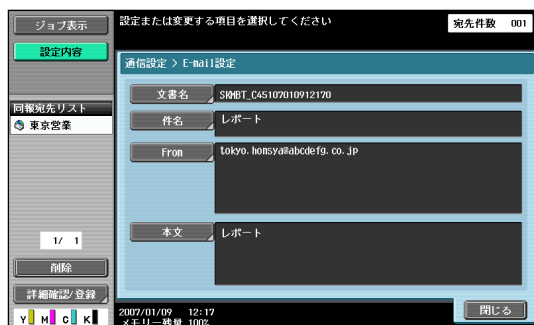
6.16 E-mail の件名や本文などを設定して送信する (E-mail 設定)

■ E-mail 設定とは

E-mail 設定とは、インターネットファクス送信時、E-mail の件名、本文、添付ファイルの文書名を設定する機能です。

■ E-mail 設定をして送信するには

- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 インターネットファクスの宛先を指定します。
- 4 [通信設定] を押します。
- 5 [E-mail 設定] を押します。
- 6 [文書名] を押します。



原稿のセットについては、「原稿をセットする」(p. 2-17) をごらんください。



宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」(p. 2-30)、「複数の宛先を指定する (同報送信)」(p. 2-41) をごらんください。

7

文書名を設定し、[OK] を押します。



8

[件名] を押します。

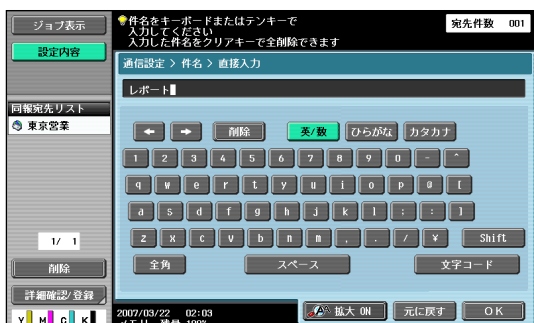
9

件名を設定します。

- 目的の件名が登録されている場合、リストから件名を選択し、[OK] を押します。



- 件名を直接入力する場合は、[直接入力] を押し、件名を入力して、[OK] を押します。



ひとこと

- ・ 文書名を設定しない場合は、自動的に名称が付けられます。文書名については、「スキャンしたデータのファイル名を設定して送る (文書名)」(p. 6-27) をご覧ください。
- ・ 文書名を変更すると、[読み込み設定] > [文書名] も同様に変更されます。



件名は設定メニューで登録できます。設定メニューの [件名] については、「E-mail の件名や本文を登録する」(p. 8-35) をご覧ください。

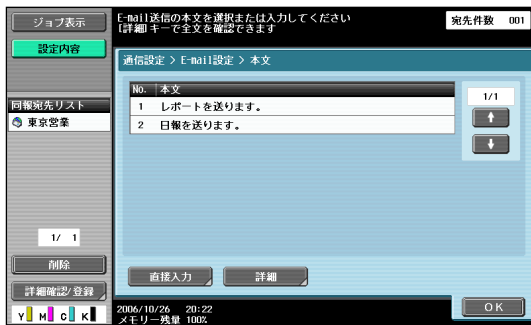
10

[本文] を押します。

11

本文を設定します。

- 目的の本文が登録されている場合、リストから本文を選択し、[OK] を押します。



- 本文を直接入力する場合は、[直接入力] を押し、本文を入力して、[OK] を押します。



12

[閉じる] を押します。

通信設定画面に戻ります。

13

[閉じる] を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

ひとこと

From アドレスは、[From] の設定に関わらず、設定メニュー「管理者登録」の [E-mail アドレス] が使用されます。[管理者登録] については、「本体の E-mail アドレスを登録する (本体アドレス登録)」(p. 9-46) をごらんください。

ひとこと

[詳細] を押すと、本文の全文が表示されます。



本文は設定メニューで登録できます。設定メニューの [本文] については、「E-mail の件名や本文を登録する」(p. 8-35) をごらんください。

14

必要に応じて、その他の機能を設定します。

15

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。



- ・ 読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) または「読み込み設定」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・ 原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をご覧ください。
- ・ 通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をご覧ください。



- ・ 送信を中止する場合は「送信を中止する」(p. 2-54) をご覧ください。
- ・ 送信できない場合は「トラブル処置」(p. 4-1) をご覧ください。

6.17 発信元情報のつけ方を指定する（ファクス発信元設定）

■ ファクス発信元設定とは

ファクス送信のときに、ジョブごとに発信元情報をつけるかどうかを指定できます。

発信元情報として原稿に付加する内容は、設定メニューの「発信元 / ファクス ID 登録」で登録します。

発信元情報のつけ方は、設定メニューの「発信元 / 受信情報」で設定します。



- ・「発信元 / ファクス ID 登録」については「発信元名とファクス ID を登録する（発信元 / ファクス ID 登録）」（p. 9-61）を、
- ・「発信元 / 受信情報」については「発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報）」（p. 9-64）をごらんください。
- ・発信元情報の記録位置については、「発信元情報について」（p. 2-59）をごらんください。

■ ファクス発信元設定をするには

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

原稿をセットします。

3

「通信設定」を押しします。

4

「ファクス発信元設定」を押しします。

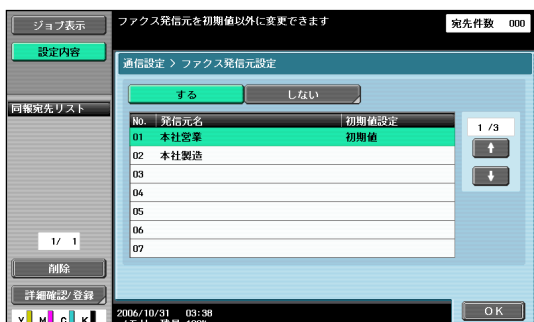


原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-17）をごらんください。



5

発信元情報をつけるかどうかを指定します。



6

発信元名を変更する場合は、リストから目的の発信元名を選択します。

7

〔OK〕を押します。

通信設定画面に戻ります。

8

〔閉じる〕を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

9

必要に応じて、その他の機能を設定します。

10

宛先を指定します。

詳しく説明します

設定メニューの「発信元情報」が「OFF」に設定されている場合、ファクス発信元設定画面から「ファクス発信元設定」を「する」に変更すると、発信元情報は原稿外に付加されます。

参照

- ・ 読み込み設定については、「読み込み条件を設定する」(p. 2-25) または 「読み込み設定」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・ 原稿設定については、「原稿設定」(p. 6-3) をご覧ください。
- ・ 通信設定については、「通信設定」(p. 6-4) をご覧ください。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」(p. 2-30)、「複数の宛先を指定する (同報送信)」(p. 2-41) をご覧ください。

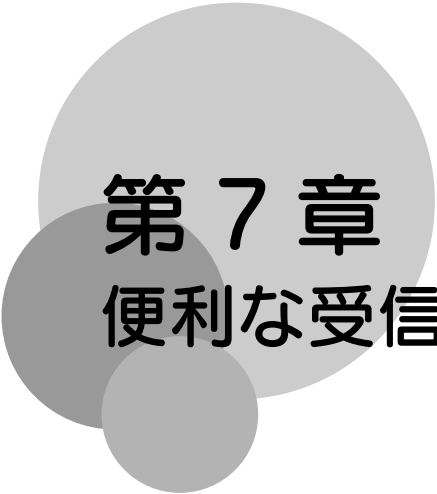
11

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。



- ・ 送信を中止する場合は「送信を中止する」(p. 2-54) をごらんください。
- ・ 送信できない場合は「トラブル処置」(p. 4-1) をごらんください。



第 7 章

便利な受信

便利なファクス受信について説明します。

7.1	強制メモリー受信した文書を取り扱う	7-2
7.2	受信時の記録	7-4

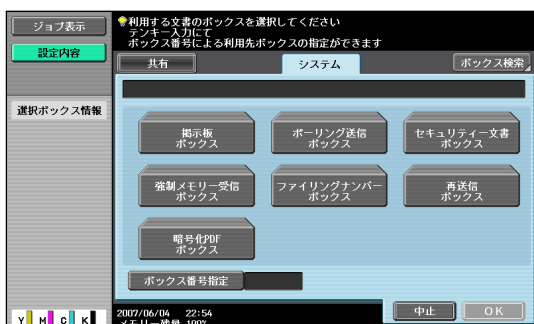
7.1 強制メモリー受信した文書を取り扱う

受信した文書をメモリーに蓄積し、必要に応じてプリントすることができます。この機能を強制メモリー受信と呼びます。ここでは、強制メモリー受信が設定されている場合に、受信文書をプリントする手順、受信文書を削除する手順について説明します。

■ 受信文書をプリントする

メモリーに蓄積されている受信文書をプリントしたい場合は、次の手順で操作します。

- 1 【ボックス】を押し、ボックス画面を表示します。
- 2 [文書利用] を押します。
- 3 [システム] を押します。
- 4 [強制メモリー受信ボックス] を押し、[OK] を押します。



- 5 パスワードを入力し、[OK] を押します。
- 6 プリントしたい受信文書を選択し、[印刷] を押します。
指定した受信文書がプリントされます。



強制メモリー受信の設定については「強制メモリー受信を設定する（強制メモリー受信設定）」(p. 9-75)をごらんください。

ひとこと

- ・ [中止] を押すと、操作が中止されます。
- ・ 【C】を押すと、入力した内容が全て削除されます。

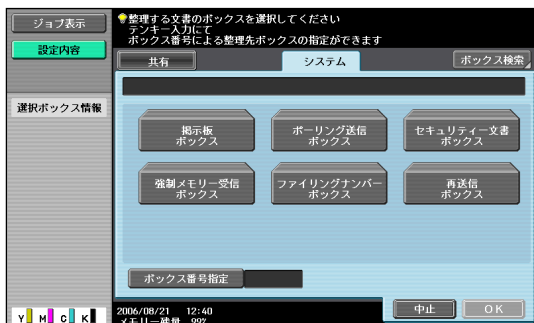
ひとこと

- ・ 次の画面または前の画面を表示したい場合は、[↑] または [↓] を押します。
- ・ [中止] を押すと、操作が中止されます。

■ 受信文書を削除する

メモリーに蓄積されている受信文書を削除したい場合は、次の手順で操作します。

- 1 [文書整理] を押します。
- 2 [システム] を押します。
- 3 [強制メモリー受信ボックス] を押し、[OK] を押し
ます。



- 4 パスワードを入力し、[OK] を押します。
- 5 削除したい受信文書を選択し、[削除] を押します。
- 6 表示された確認画面で [はい] を押し、[OK] を押し
ます。
指定した受信文書が削除されます。

ひとこと

- ・ [中止] を押すと、操作が中止されます。
- ・ 【C】を押すと、入力した内容が全て削除されます。

ひとこと

- ・ 次の画面または前の画面を表示したい場合は、[↑] または [↓] を押します。
- ・ [中止] を押すと、操作が中止されます。

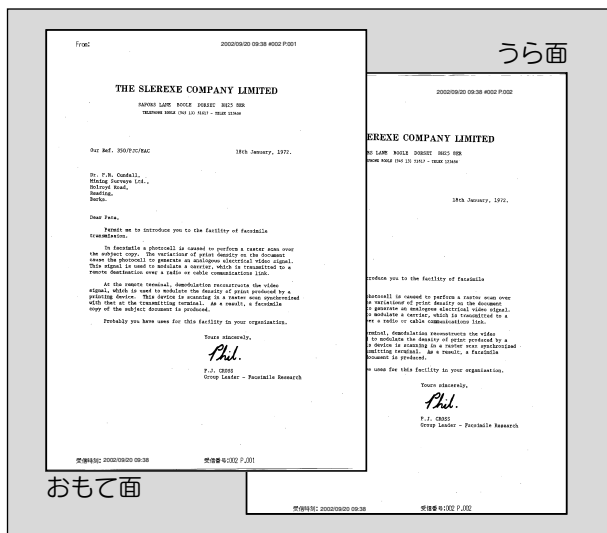
詳しく説明します

削除を中止する場合は、[いいえ] を押し、[OK] を押します。

7.2 受信時の記録

■ [受信原稿両面印刷] が [ON] に設定されているときは

設定メニューの [受信原稿両面印刷] が [ON] に設定されている場合は、用紙の両面に記録されます。



詳しくは、「送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）」(p. 9-69) をご覧ください。



第 8 章

登録 / 設定する

短縮宛先やプログラム宛先などの登録方法を説明しています。

8.1	ファクス登録の画面を表示する	8-2
8.2	短縮宛先を登録する	8-4
8.3	グループ宛先を登録する	8-20
8.4	プログラム宛先を登録する	8-26
8.5	宛先レベルを変更する（宛先レベル設定）	8-32
8.6	E-mail の件名や本文を登録する	8-35
8.7	強制メモリー受信ボックスを設定する	8-49

8.1 ファクス登録の画面を表示する

■ ファクス/スキャン宛先登録画面を表示するには

ファクス/スキャン宛先登録画面を表示する場合は、次の手順で操作します。



詳しく説明します

ファクス登録は、PageScope Web Connection でも行うことができます。

PageScope Web Connection は、デバイスに内蔵されている HTTP サーバーが提供するデバイス管理ユーティリティです。

ネットワークに接続しているコンピュータで Web ブラウザを起動し、PageScope Web Connection にアクセスして本機の設定を変更できます。

設定を変更するために本機のそばに行かなくても、手元のコンピュータから手軽に操作できる上、漢字の入力もスムーズなので便利です。

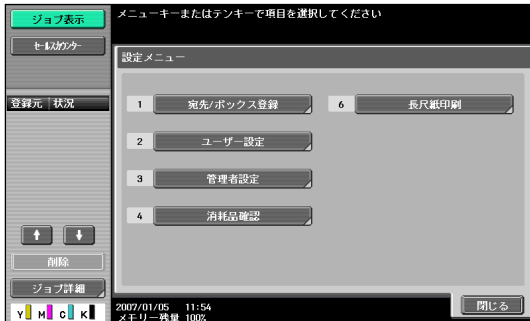
設定項目の中には PageScope Web Connection でしか設定できない項目もあるため、詳しくは「ユーザーズガイド PageScope Web Connection 機能編」をごらんください。

1

【設定メニュー / カウンター】を押し、設定メニュー画面を表示します。

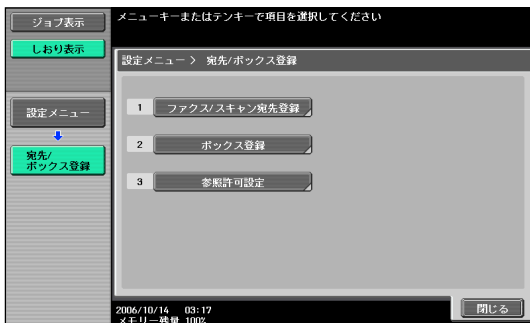
2

〔宛先 / ボックス登録〕を押しします。



3

〔ファクス / スキャン宛先登録〕を押しします。



ファクス / スキャン宛先登録画面が表示されます。

ひとこと

- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。〔宛先 / ボックス登録〕の場合は、テンキーで「1」を入力します。
- ・ 設定メニューの〔登録宛先変更〕で〔禁止〕に設定している場合、〔宛先 / ボックス登録〕の登録 / 変更はできません。〔宛先 / ボックス登録〕の登録 / 変更を行う場合は、管理者にお問い合わせください。

8.2 短縮宛先を登録する

頻繁に送信する宛先のファクス番号や電子メールアドレス、登録されているボックスを短縮宛先に登録できます。登録された短縮宛先はファクス / スキャン画面の「登録宛先から」タブから使用できます。

- 短縮宛先はスキャナーなど、本機の他の機能の短縮宛先を合わせ、2000 か所 (0001 ~ 2000) まで登録できます。
- 短縮宛先を登録するときに、検索文字を登録しておくと、検索文字を利用して宛先を指定することができます。

ここでは、短縮宛先を登録する操作、一度登録した短縮宛先を変更する操作、登録した宛先を削除する操作について説明しています。

原則

登録名と宛先を設定しないと登録できません。

■ 短縮宛先に電子メールアドレスを登録する

短縮宛先に電子メールアドレスを登録する場合は、次の手順で操作します。

1

ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

詳しく説明します

- ・ 短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先は、PageScope Web Connection を使って登録することもできます。
- ・ PageScope Web Connection を使うと、ネットワークに接続しているパソコン上から本機の設定変更や宛先登録ができます。
- PageScope Web Connection の使い方については、「ユーザズガイド PageScope Web Connection 機能編」をご覧ください。
- ・ 登録した内容は、短縮宛先リストで確認できます。

参照

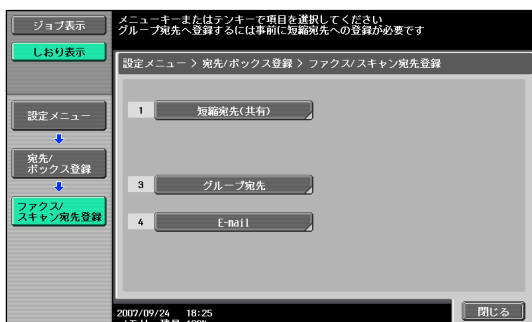
短縮宛先リストについては、「短縮宛先リスト」(p. 10-17) をご覧ください。

参照

ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をご覧ください。

2

[短縮宛先（共有）] を押します。

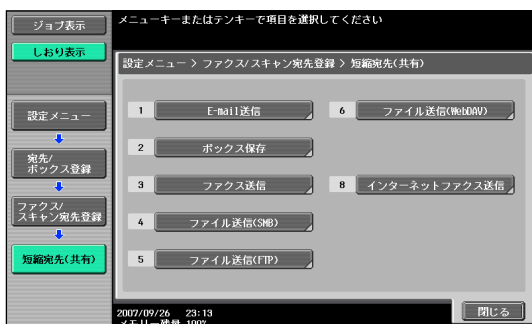


詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[短縮宛先（共有）] の場合は、テンキーで【1】を入力します。

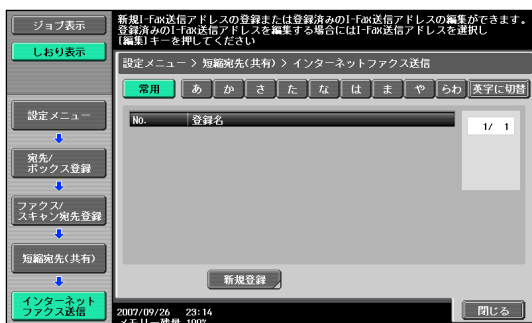
3

[インターネットファクス送信] を押します。



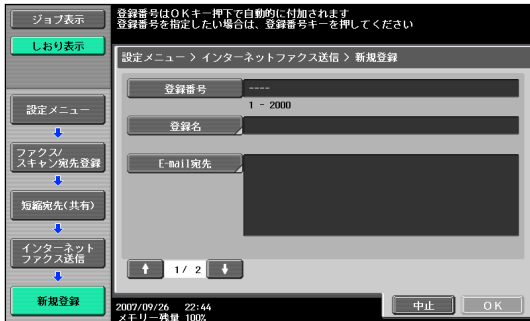
4

[新規登録] を押します。



5

〔登録名〕 を押し、短縮宛先の名前を入力し、〔OK〕 を押します。



6

〔E-mail 宛先〕 を押し、電子メールアドレスを入力し、〔OK〕 を押します。

7

〔↑〕 または 〔↓〕 を押します。

8

〔相手機受信能力〕 を押し、相手機の受信能力を設定し、〔OK〕 を押します。



9

登録名に日本語を設定した場合は、〔検索文字〕 を押し、検索文字を登録します。

詳しく説明します

名前は、半角で 24 文字（全角では 12 文字）まで登録できます。

参照

文字入力の操作については、「文字を入力するには」(p. 11-3) をごらんください。

ひとこと

- ・〔登録番号〕 を押してテンキーで数字を入力すると、登録番号を変更できます。すでに登録されている番号を入力した場合は、警告メッセージが表示され、登録できません。
- ・登録番号を設定しない場合は、自動的に付加されます。

詳しく説明します

- ・〔常用〕 ～ 〔etc〕 の中から登録したい検索文字の検索キーを押します。
- ・よく使う宛先の場合は、検索文字を指定し、さらに〔常用〕を選択しておく、〔登録宛先から〕タブに最初に表示させることができます。
- ・登録名の先頭文字にアルファベットを登録した場合は、自動的に検索文字が設定されます。
- ・登録名の先頭文字に、かな、カタカナ、漢字、数字を登録した場合は検索文字を設定してください。設定しない場合は、〔etc〕 に登録されます。

参照

文字入力の操作については、「文字を入力するには」(p. 11-3) をごらんください。

10

〔アイコン〕を押し、目的のアイコンを選択し、〔OK〕を押しします。

11

〔OK〕を押しします。

宛先が登録され、一覧に表示されます。

12

〔閉じる〕を押しします。

○ 短縮宛先の登録を続けるときは、手順 4 に戻ります。

13

ファクス / スキャン画面に戻るまで、〔閉じる〕を押しします。

■ 短縮宛先に SIP ファクス番号を登録する

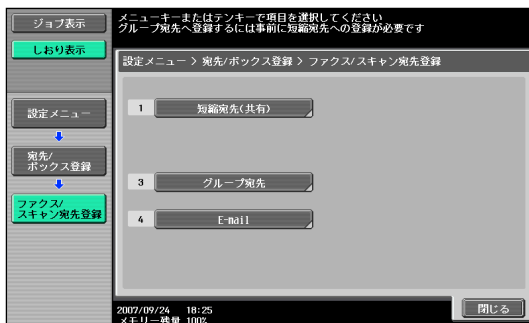
短縮宛先に SIP ファクス番号を登録する場合は、次の手順で操作します。

1

ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

2

〔短縮宛先（共有）〕を押しします。



詳しく説明します

アイコンは、オプション機能のイメージパネル機能で使います。イメージパネル機能は、i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に使用できます。

ひとこと

登録を中止する場合は、〔中止〕を押しします。

参照

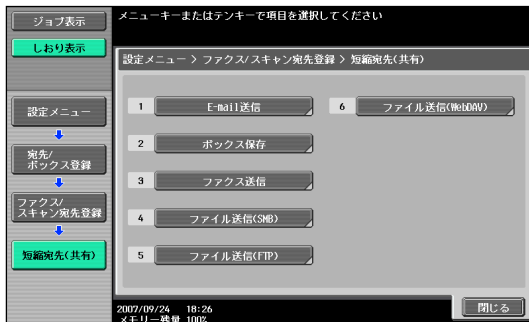
ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をごらんください。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。〔短縮宛先（共有）〕の場合は、テンキーで【1】を入力します。

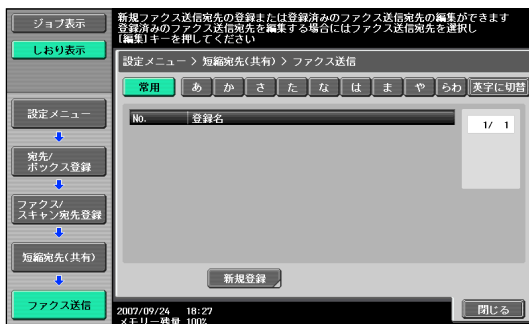
3

「ファクス送信」を押します。



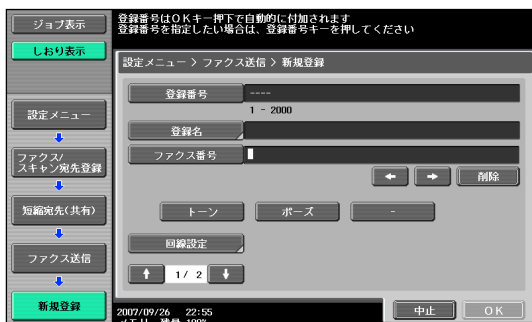
4

「新規登録」を押します。



5

〔登録名〕を押し、短縮宛先の名前を入力し、〔OK〕を押しします。



詳しく説明します

名前は、半角で 24 文字（全角では 12 文字）まで登録できます。



文字入力の操作については、「文字を入力するには」(p. 11-3) をごらんください。

ひとこと

- ・〔登録番号〕を押してテンキーで数字を入力すると、登録番号を変更できます。すでに登録されている番号を入力した場合は、警告メッセージが表示され、登録できません。
- ・登録番号を設定しない場合は、自動的に付加されます。

詳しく説明します

- ・〔常用〕～〔etc〕の中から登録したい検索文字の検索キーを押します。
- ・よく使う宛先の場合は、検索文字を指定し、さらに〔常用〕を選択しておくと、〔登録宛先から〕タブに最初に表示させることができます。
- ・登録名の先頭文字にアルファベットを登録した場合は、自動的に検索文字が設定されます。

6

「[ファクス番号]」を押し、テンキーで宛先のファクス番号を入力します。

- [→]：カーソルが右に移動します。
- [←]：カーソルが左に移動します。
- [削除]：カーソルの前の文字が1文字ずつ削除されます。

7

「[↓]」を押し、次のページを表示します。

- 「SIP ファクス送信」：「[する]」を押しします。
- 「相手先機種」：相手先機種に応じて、「[カラー機]」または「[モノクロ機]」を選択します。



8

登録名に日本語を設定した場合は、「[検索文字]」を押し、検索文字を登録します。

9

「[アイコン]」を押し、目的のアイコンを選択し、「[OK]」を押しします。

ひとこと

SIP ファクスの電話番号と、通常のファクスの電話番号は異なります。お間違えのないよう入力してください。

詳しく説明します

- ・ 38 桁まで入力できます。
- ・ 誤って入力した場合は、「[削除]」を押し、1文字ずつ削除するか、「[C]」を押してすべて削除して訂正します。
- ・ 次のページまたは前のページを表示したい場合は、「[↓]」または「[↑]」を押します。
- ・ 「SIP ファクス送信」が「[する]」のときは、「[トーン]」、「[ポーズ]」、「[-]」、「[回線設定]」は使用できません。

詳しく説明します

登録名の先頭文字に、かな、カタカナ、漢字、数字を登録した場合は検索文字を設定してください。設定しない場合は、「etc」に登録されます。

詳しく説明します

アイコンは、オプション機能のイメージパネル機能で使えます。イメージパネル機能は、i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に使用できます。

10

[OK] を押します。

宛先が登録され、一覧に表示されます。

11

[閉じる] を押します。

○ 短縮宛先の登録を続けるときは、手順 4 に戻ります。

12

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

■ 短縮宛先に IP アドレスを登録する

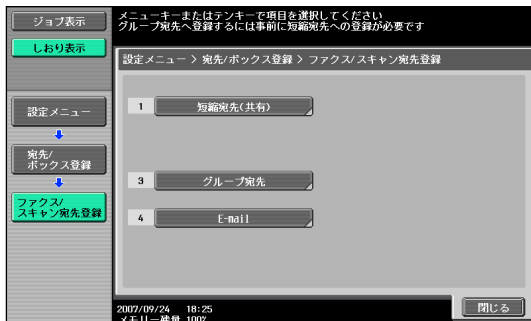
短縮宛先に IP アドレスを登録する場合は、次の手順で操作します。

1

ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

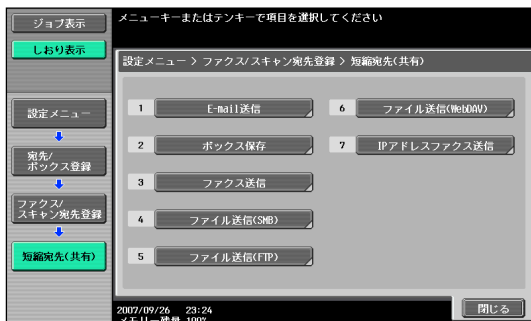
2

[短縮宛先 (共有)] を押します。



3

[IP アドレスファクス送信] を押します。



ひとこと

登録を中止する場合は、[中止] を押します。

詳しく説明します

設定メニューの「宛先 2 度入力機能 (登録)」が [ON] に設定されている場合は、[OK] を押した後、もう一度宛先を入力する画面が表示されます。送信先のファクス番号を入力し、[OK] を押すと登録されます。

参照

ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をごらんください。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[短縮宛先 (共有)] の場合は、テンキーで【1】を入力します。

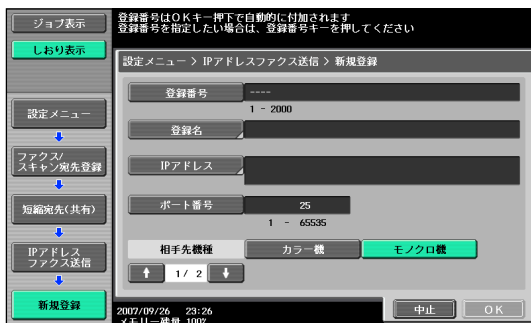
4

〔新規登録〕を押します。



5

〔登録名〕を押し、短縮宛先の名前を入力し、〔OK〕を押します。



詳しく説明します

名前は、半角で 24 文字（全角では 12 文字）まで登録できます。

参照

文字入力の操作については、「文字を入力するには」（p. 11-3）をご覧ください。

ひとこと

- ・〔登録番号〕を押してテンキーで数字を入力すると、登録番号を変更できます。すでに登録されている番号を入力した場合は、警告メッセージが表示され、登録できません。
- ・登録番号を設定しない場合は、自動的に付加されます。

詳しく説明します

- ・〔常用〕～〔etc〕の中から登録したい検索文字の検索キーを押します。
- ・よく使う宛先の場合は、検索文字を指定し、さらに〔常用〕を選択しておく、〔登録宛先から〕タブに最初に表示させることができます。
- ・登録名の先頭文字にアルファベットを登録した場合は、自動的に検索文字が設定されます。

6

[IP アドレス] を押し、IP アドレスを入力し、[OK] を押します。

7

[C] を押し、テンキーで「ポート番号」を入力します。

8

「相手先機種」を、相手先機種に応じて、[カラー機] または [モノクロ機] を選択します。

9

[↑] または [↓] を押します。

10

登録名に日本語を設定した場合は、[検索文字] を押し、検索文字を登録します。



11

[アイコン] を押し、目的のアイコンを選択し、[OK] を押します。

12

[OK] を押します。
宛先が登録され、一覧に表示されます。

13

[閉じる] を押します。
○ 短縮宛先の登録を続けるときは、手順 4 に戻ります。

14

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。



文字入力操作については、「文字を入力するには」(p. 11-3) をご覧ください。



詳しく説明します

登録名の先頭文字に、かな、カタカナ、漢字、数字を登録した場合は検索文字を設定してください。設定しない場合は、[etc] に登録されます。



詳しく説明します

アイコンは、オプション機能のイメージパネル機能で使います。イメージパネル機能は、i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に使用できます。

ひとこと

登録を中止する場合は、[中止] を押します。

■ 宛先確認 / 登録画面から短縮宛先に登録する

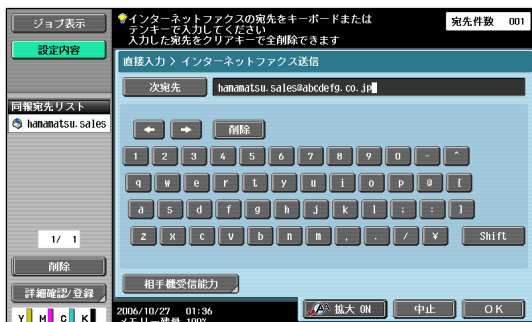
直接入力で指定した宛先を短縮宛先に登録できます。

1

直接入力で宛先を指定します。

2

左エリアの「設定内容」を押し、「詳細確認 / 登録」を押しします。



3

「宛先確認 / 登録」を押します。



4

宛先確認 / 登録画面のリストから、登録したい宛先を選択し、「宛先登録」を押します。



直接入力での宛先の指定については、「直接入力で指定する」(p. 2-35) をご覧ください。

5

短縮宛先の名前を入力し、[OK] を押します。



6

登録名に日本語を設定した場合は、検索文字を登録し、[OK] を押します。



7

登録内容を確認して、[はい] を押し、[OK] を押します。



宛先が登録されます。

8

ファクス/スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

詳しく説明します

名前は、半角で 24 文字 (全角では 12 文字) まで登録できます。

参照

文字入力の操作については、「文字を入力するには」(p. 11-3) をご覧ください。

詳しく説明します

- ・[常用] ~ [etc] の中から登録したい検索文字の検索キーを押します。
- ・よく使う宛先の場合は、検索文字を指定し、さらに[常用]を選択しておく、と、[登録宛先から]タブに最初に表示させることができます。
- ・登録名の先頭文字にアルファベットを登録した場合は、自動的に検索文字が設定されます。

ひとこと

- ・[登録名] を押すと、登録名を変更できます。変更後、検索文字画面も表示されます。
- ・[検索文字] を押すと、検索文字を変更できます。

ひとこと

直接入力からの宛先登録の場合はファクス/スキャン画面の「直接入力」タブに戻ります。

■ 短縮宛先を変更する

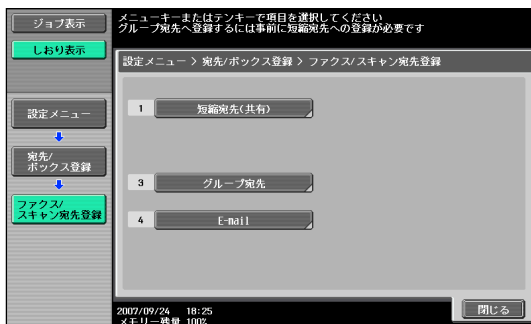
短縮宛先を変更する場合は、次の手順で操作します。

1

ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

2

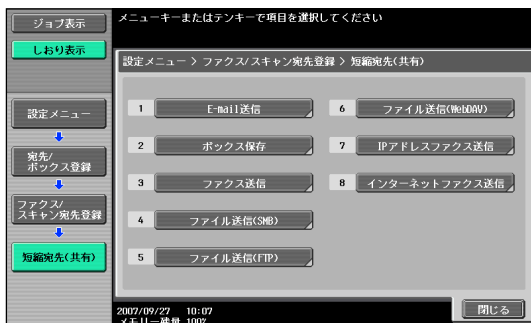
〔短縮宛先（共有）〕を押します。



3

変更したい宛先種類を押します。

- インターネットファクスの短縮宛先を変更する場合は、〔インターネットファクス送信〕を押します。
- SIP ファクスの短縮宛先を変更する場合は、〔ファクス送信〕を押します。
- IP アドレスファクス送信の短縮宛先を変更する場合は、〔IP アドレスファクス送信〕を押します。



4

変更したい短縮宛先を選択し、〔編集〕を押します。



ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をご覧ください。



詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。〔短縮宛先（共有）〕の場合は、テンキーで【1】を入力します。

ひとこと

ネットワークファクス機能で SIP ファクス機能を ON にしている場合は、IP アドレスファクス機能は使用できません。また、IP アドレスファクス機能を ON にしている場合は、SIP ファクス機能は使用できません。どちらの場合も、使用できない機能のキーは画面に表示されません。

5

変更したい項目を選択し、表示された画面で内容を変更して〔OK〕を押します。

6

変更した内容を確認し、〔OK〕を押します。

7

〔閉じる〕を押します。

○ 変更を続ける場合は、手順 4 に戻ります。

8

ファクス / スキャン画面に戻るまで、〔閉じる〕を押します。

 詳しく説明します

登録済みの SIP ファクス送信の短縮宛先を変更する場合、「SIP ファクス送信」〔する〕 / 〔しない〕と「相手先機種」〔カラー機〕 / 〔モノクロ機〕の変更はできません。

 参照

それぞれの設定項目の詳細については、「短縮宛先に電子メールアドレスを登録する」(p. 8-4)、「短縮宛先に SIP ファクス番号を登録する」(p. 8-7)、「短縮宛先に IP アドレスを登録する」(p. 8-11) をごらんください。

 詳しく説明します

変更を中止する場合は、〔中止〕を押します。

■ 短縮宛先を削除する

短縮宛先を削除する場合は、次の手順で操作します。

原則

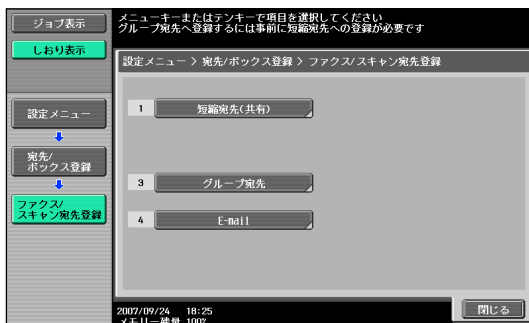
短縮宛先を削除すると、削除した短縮宛先を使用しているグループ宛先およびプログラム宛先からも削除されます。

1

ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

2

〔短縮宛先（共有）〕を押します。



ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をごらんください。



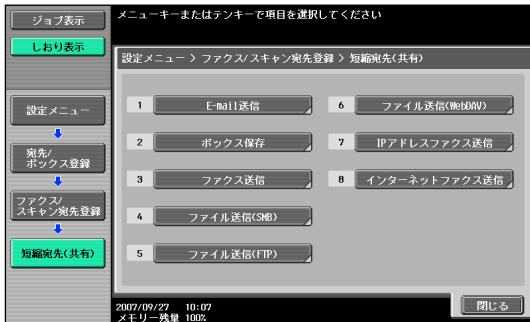
詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。〔短縮宛先（共有）〕の場合は、テンキーで【1】を入力します。

3

変更したい宛先種類を押します。

- インターネットファクスの短縮宛先を変更する場合は、[インターネットファクス送信] を押します。
- SIP ファクスの短縮宛先を変更する場合は、[ファクス送信] を押します。
- IP アドレスファクス送信の短縮宛先を変更する場合は、[IP アドレスファクス送信] を押します。



4

削除したい短縮宛先を選択し、[削除] を押します。

5

表示された確認メッセージの画面で、[はい] を押し、[OK] を押します。

6

[閉じる] を押します。

- 削除を続ける場合は、手順 4 に戻ります。

7

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

ひとこと

ネットワークファクス機能で SIP ファクス機能を ON にしている場合は、IP アドレスファクス機能は使用できません。また、IP アドレスファクス機能を ON にしている場合は、SIP ファクス機能は使用できません。

詳しく説明します

削除を中止する場合は、[いいえ] を押し、[OK] を押します。

8.3 グループ宛先を登録する

複数の短縮宛先をグループ化して、グループ宛先に登録することができます。同じ内容を同報することが多い場合に便利です。

- グループ宛先は、スキャナー機能で使用するグループとあわせて、100 グループ (01 ~ 99、00) まで登録できます。
- ひとつのグループ宛先には短縮宛先を 500 か所まで登録できます。
- グループ宛先に登録できる宛先は短縮宛先です。宛先を短縮宛先に登録してからグループ宛先登録の操作をしてください。
- 各グループにグループ名を登録できます。

ここでは、グループ宛先に宛先とグループ名を登録する操作、一度登録したグループ宛先を変更する操作、登録したグループ宛先を削除する操作について説明しています。

原則

登録名と宛先を設定しないと登録できません。

詳しく説明します

- ・ 短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先は、PageScope Web Connection を使って登録することもできます。
 - ・ PageScope Web Connection を使うと、ネットワークに接続しているパソコン上から本機の設定変更や宛先登録ができます。
- PageScope Web Connection の使い方については、「ユーザーズガイド PageScope Web Connection 機能編」をご覧ください。
- ・ 登録した内容は、グループ宛先リストで確認できます。

参照

- ・ グループ宛先リストについては、「グループ宛先リスト」(p. 10-20) をご覧ください。
- ・ 短縮宛先の登録については、「短縮宛先を登録する」(p. 8-4) をご覧ください。

■ グループ宛先を登録する

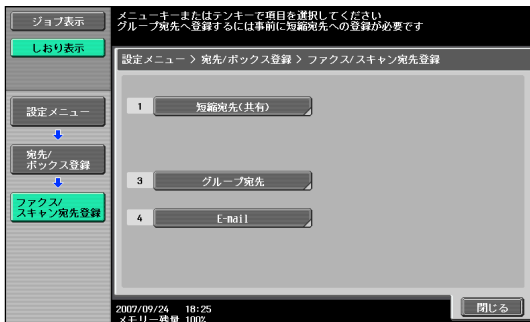
グループ宛先を登録する場合は、次の手順で操作します。

1

ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

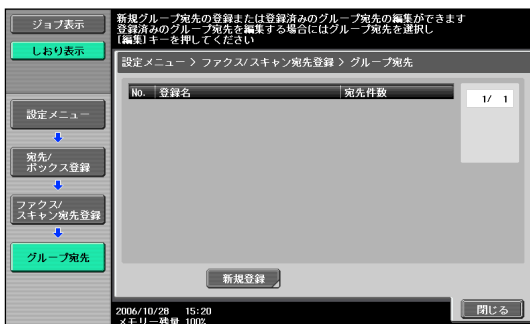
2

「グループ宛先」を押します。



3

「新規登録」を押します。



ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をごらんください。

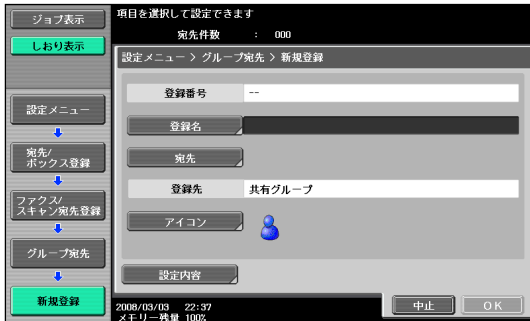


詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[グループ宛先]の場合は、テンキーで【3】を入力します。

4

[登録名] を押し、グループ宛先の名前を入力して、[OK] を押します。



詳しく説明します

名前は、半角で 24 文字 (全角では 12 文字) まで登録できます。

参照

文字入力の操作については、「文字を入力するには」(p. 11-3) をご覧ください。

5

[宛先] を押します。

6

グループ宛先に登録する短縮宛先を選択します。



詳しく説明します

ひとつのグループ宛先に登録できる短縮宛先は、500 箇所までです。

- [名前から検索]：検索文字の検索キーを押して、短縮宛先を表示させる場合、選択します。
- [番号から検索]：登録順につけられる番号が 100 ごとに表示されます。登録する短縮宛先があてはまる番号のキーを押し、短縮宛先を表示させます。[→] または [←] を押すと、表示する番号のキーをスクロールできます。

7

[アイコン] を押し、目的のアイコンを選択し、[OK] を押します。

詳しく説明します

アイコンは、オプション機能のイメージパネル機能で使います。イメージパネル機能は、i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に使用できます。

8

[OK] を押します。

9

[閉じる] を押します。

○ グループ宛先の登録を続ける場合は、手順 3 に戻ります。

10

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

ひとこと

登録を中止する場合は、[中止] を押します。

■ グループ宛先を変更する

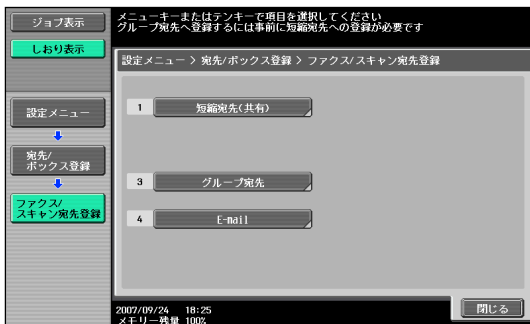
グループ宛先を変更する場合は、次の手順で操作します。

1

ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

2

「グループ宛先」を押します。



3

変更したいグループ宛先を選択し、「編集」を押します。

4

変更したい項目を選択し、表示された画面で内容を変更して「OK」または「閉じる」を押します。

5

変更した内容を確認し、「OK」を押します。

6

「閉じる」を押します。

○ 変更を続ける場合は、手順 3 に戻ります。

7

ファクス / スキャン画面に戻るまで、「閉じる」を押します。



ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をご覧ください。



詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[グループ宛先]の場合は、テンキーで【3】を入力します。

ひとこと

- ・ 次のページまたは前のページを表示したい場合は、[↓] または [↑] を押します。
- ・ グループ宛先を選択して「設定内容」を押すと、グループ宛先に登録された短縮宛先を確認できます。



それぞれの設定項目の詳細については、「グループ宛先を登録する」(p. 8-21) をご覧ください。



詳しく説明します

変更を中止する場合は、「中止」を押します。

■ グループ宛先を削除する

グループ宛先を削除する場合は、次の手順で操作します。

原則

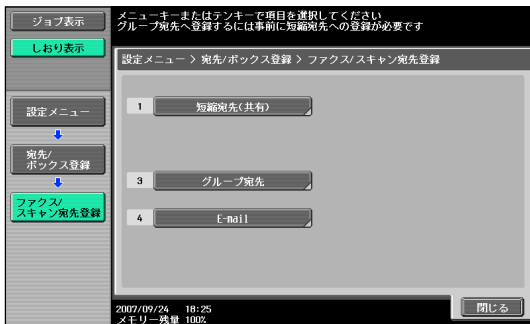
グループ宛先を削除すると、削除したグループ宛先を使用しているプログラム宛先からも削除されます。

1

ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

2

「グループ宛先」を押します。



3

削除したいグループ宛先を選択し、「削除」を押します。

4

表示された確認メッセージの画面で、「はい」を押し、「OK」を押します。

5

「閉じる」を押します。

○ 削除を続ける場合は、手順 3 に戻ります。

6

ファクス / スキャン画面に戻るまで、「閉じる」を押します。



ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をごらんください。



設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[グループ宛先]の場合は、テンキーで【3】を入力します。

ひとこと

- ・ 次のページまたは前のページを表示したい場合は、[↓] または [↑] を押します。
- ・ グループ宛先を選択して「設定内容」を押すと、グループ宛先に登録された短縮宛先を確認できます。



削除を中止する場合は、「いいえ」を押し、「OK」を押します。

8.4 プログラム宛先を登録する

頻繁に送信する宛先と読み設定、原稿設定、通信設定を組み合わせ、プログラム宛先に登録できます。プログラム宛先にこれらを登録しておくと、プログラムキーを押すだけで、登録されている宛先と読み設定、原稿設定、通信設定の機能呼び出して設定して送信できます。

- プログラム宛先は、スキャナーなど、本機の他の機能のプログラム宛先を合わせ、400 個（001 ～ 400）まで登録できます。
- プログラム宛先には、プログラム名を登録できます。

ここでは、プログラム宛先を登録する操作、プログラム宛先を変更する操作、プログラム宛先を削除する操作について説明しています。

原則

登録名を設定しないと登録できません。

■ プログラム宛先を登録する

プログラム宛先を登録する場合は、次の手順で操作します。

- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
- 2 必要に応じて、読み設定、原稿設定、通信設定をします。
- 3 【プログラム】を押します。

ひとこと

- ・ 短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先は、PageScope Web Connection を使って登録することもできます。
- ・ PageScope Web Connection を使うと、ネットワークに接続しているパソコン上から本機の設定変更や宛先登録ができます。
- ・ PageScope Web Connection の使い方については、「ユーザーズガイド PageScope Web Connection 機能編」をご覧ください。

ひとこと

プログラム宛先の変更も、同様の手順で行います。



- ・ 読み設定については、「読み条件を設定する」（p. 2-25）または「読み設定」（p. 6-2）をご覧ください。
- ・ 原稿設定については、「原稿設定」（p. 6-3）をご覧ください。
- ・ 通信設定については、「通信設定」（p. 6-4）をご覧ください。

4

[ページ一覧] を押します。



5

プログラム宛先を登録したいページのキーを選択し、[OK] を押します。



6

登録されていないキーを押して、[プログラム登録] を押します。



詳しく説明します

- ・プログラム宛先の登録をページごとにグループ分けできます。[ページ一覧] を押して、プログラム宛先の表示をページ単位で指定できます。
- ・ページ一覧画面で、ページキーを選択して [ページ名変更] を押すと、表示するページ名を変更できます。

ひとこと

ページ一覧の次の一覧または前の一覧を表示したい場合は、[↓] または [↑] を押します。

ひとこと

ページ内の次のプログラム宛先または前のプログラム宛先を表示したい場合は、[↓] または [↑] を押します。

7

「登録名」を押し、プログラム宛先の名前を入力して、
「OK」を押しします。



詳しく説明します

名前は、半角で 24 文字
(全角では 12 文字) まで登録
できます。



文字入力の操作については、
「文字を入力するには」
(p. 11-3) をご覧ください。

8

「宛先」を押しします。

9

「登録宛先から」または「直接入力」を押し、宛先を
入力します。

- 「登録宛先から」を押した場合、すでに登録されて
いる短縮宛先またはグループ宛先から宛先を選択し
て設定します。手順 10 へ進みます。
- 「直接入力」を押した場合は、ファクス番号を入力
します。手順 13 へ進みます。

10

プログラム宛先に登録する宛先のカテゴリーを選択し
ます。



11

プログラム宛先に登録する宛先を選択し、[OK] を押します。



- [名前から選択]：検索文字の検索キーを押して、短縮宛先を表示させる場合、選択します。
- [番号から検索]：登録順につけられる番号が 100 ごとに表示されます。登録する短縮宛先があてはまる番号のキーを押し、短縮宛先を表示させます。[→] または [←] を押すと、表示する番号のキーをスクロールできます。

12

[閉じる] を押します。手順 16 へ進みます。

13

プログラム宛先に登録する宛先のカテゴリーを選択します。

14

宛先を入力し、[OK] を押します。

15

[閉じる] を押します。

16

[OK] を押します。
プログラム宛先が登録されます。

17

[OK] を押します。
○ プログラム宛先の登録を続ける場合は、手順 4 に戻ります。
ファクス / スキャン画面に戻ります。

ひとこと

短縮宛先を複数押すことはできません。複数の宛先を指定したい場合は、グループ宛先を登録してください。グループ宛先の登録の仕方については、「グループ宛先を登録する」(p. 8-21) をご覧ください。

詳しく説明します

SIP ファクス番号設定時、設定メニューの「宛先 2 度入力機能（登録）」が [ON] に設定されている場合は、[OK] を押した後、もう一度宛先を入力する画面が表示されます。送信先のファクス番号を入力し、[OK] を押すと登録されます。

ひとこと

登録を中止する場合は、[中止] を押します。

■ プログラム宛先を削除する

プログラム宛先を削除する場合は、次の手順で操作します。

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

【プログラム】を押しします。

3

【ページ一覧】を押しします。



4

削除したいプログラム宛先のあるページのキーを選択し、[OK] を押しします。



詳しく説明します

- ・【ページ一覧】を押しして、プログラム宛先の表示をページ単位で指定できます。
- ・ページ一覧画面で、ページキーを選択して【ページ名変更】を押すと、表示するページ名を変更できます。

ひとこと

ページ一覧の次の一覧または前の一覧を表示したい場合は、[↓] または [↑] を押しします。

5

プログラム宛先を削除したいキーを押して、[削除] を押します。



ひとこと

- ・ ページ内の次のプログラム宛先または前のプログラム宛先を表示したい場合は、[↓] または [↑] を押します。
- ・ プログラム宛先を選択して [設定内容] を押すと、プログラム宛先の設定内容を確認できます。

6

表示された確認メッセージの画面で、[はい] を押し、[OK] を押します。

7

【リセット】を押します。

○ 削除を続ける場合は、手順 4 に戻ります。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

ひとこと

削除を中止する場合は、[いいえ] を押し、[OK] を押します。

8.5 宛先レベルを変更する（宛先レベル設定）

■ 宛先レベル設定とは

情報のセキュリティのため、特定の宛先情報を特定の人だけに閲覧できるように設定する機能です。ユーザー認証と連動して使用し、設定したユーザーレベルと一致した宛先レベルの情報だけを閲覧できます。

〔宛先 / ボックス登録〕での〔宛先レベル設定〕は、〔ユーザー認証 / 部門管理〕の〔宛先レベル設定〕で許可したレベルの範囲内で、レベルの変更ができます。



レベル設定は「レベル0（低）」～「レベル5（高）」までありますが、レベル3まで許可されたユーザーの場合は、レベル0、レベル1、レベル2、レベル3のいずれかだけに変更できます。



- ・ユーザー認証については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
- ・〔ユーザー認証 / 部門管理〕の〔宛先レベル設定〕については、「宛先情報を保護する（参照許可設定）」（p. 9-38）をごらんください。

■ 宛先レベルを変更するには

1

【設定メニュー / カウンター】を押し、設定メニュー画面を表示します。

2

〔宛先 / ボックス登録〕を押します。

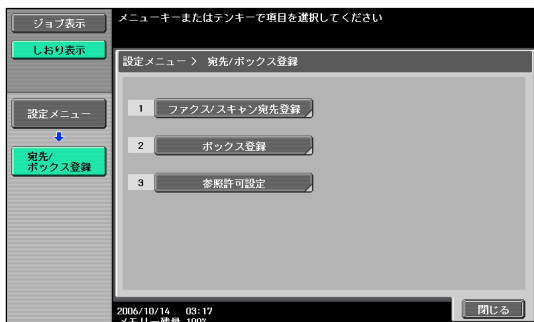


ひとこと

- ・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。〔宛先 / ボックス登録〕の場合は、テンキーで【1】を入力します。
- ・設定メニューの〔登録宛先変更〕で〔禁止〕に設定している場合、〔宛先 / ボックス登録〕の登録 / 変更はできません。〔宛先 / ボックス登録〕の登録 / 変更を行う場合は、管理者にお問い合わせください。

3

「参照許可設定」を押します。

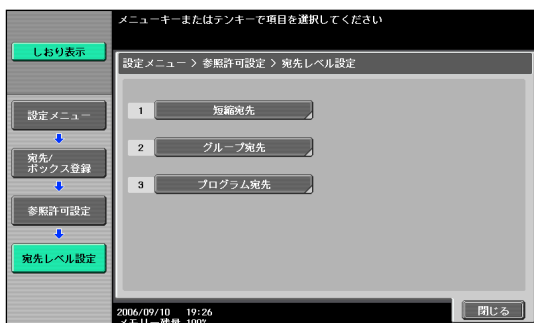


4

「宛先レベル設定」を押します。

5

レベル変更したい宛先キーを押します。



6

レベル変更したい宛先をリストから選択し、「参照許可レベル設定」を押します。



ひとこと

短縮宛先画面では、検索文字の検索キーを押して、短縮宛先を表示できます。

7

レベルを変更し、[OK] を押します。



宛先レベルが変更されます。

8

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

ひとこと

設定を中止する場合は、[中止] を押します。

8.6 E-mail の件名や本文を登録する

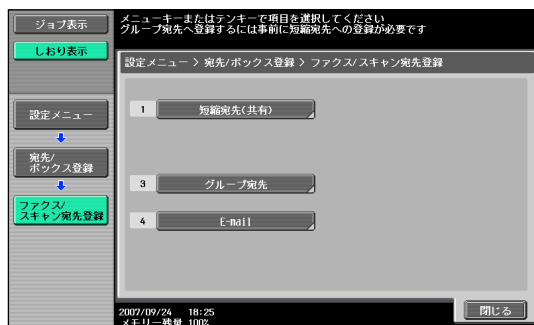
E-mail の件名や本文を登録できます。ここでは、E-mail の件名と本文について、それぞれ、登録する操作、変更する操作、削除する操作、初期値を設定する操作について説明します。

■ E-mail の件名を登録する

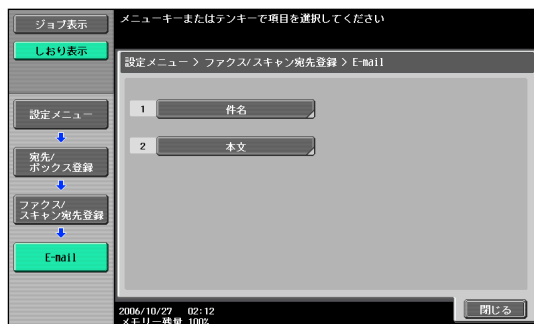
E-mail の件名を登録する場合は、次の手順で操作します。

1 ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

2 [E-mail] を押します。



3 [件名] を押します。



詳しく説明します

E-mail の件名は 10 件まで、本文は 10 件まで登録できます。

参照

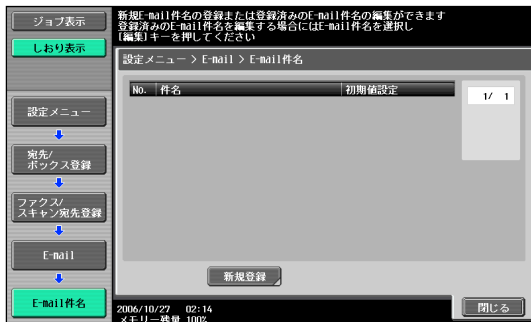
ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をごらんください。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[E-mail] の場合は、テンキーで【4】を入力します。

4

〔新規登録〕を押します。



5

〔件名〕を押します。



6

表示された画面で、件名を入力し、〔OK〕を押します。

7

〔OK〕を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

8

〔閉じる〕を押します。

○ 件名の登録を続けるときは、手順 4 に戻ります。

9

ファクス / スキャン画面に戻るまで、〔閉じる〕を押します。



E-mail の件名は全角 32 文字（半角 64 文字）まで入力できます。



文字入力の操作については、「文字を入力するには」(p. 11-3) をご覧ください。



登録を中止する場合は、〔中止〕を押します。

■ E-mail の件名を変更する

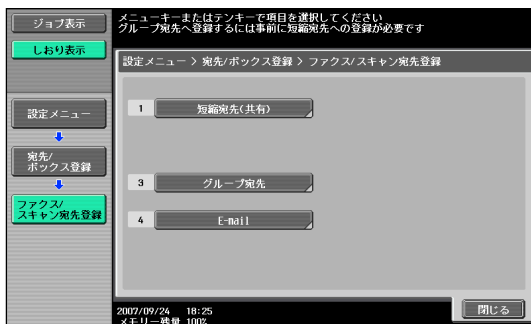
E-mail の件名を変更する場合は、次の手順で操作します。

1

ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

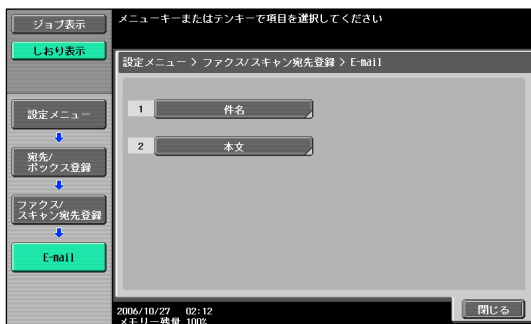
2

[E-mail] を押します。



3

[件名] を押します。



ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をごらんください。



詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[E-mail] の場合は、テンキーで【4】を入力します。

4

変更したい件名を選択し、[編集] を押します。



5

[件名] を押します。



6

表示された画面で、件名を変更し、[OK] を押します。

7

[OK] を押します。
件名が変更されます。

8

[閉じる] を押します。
○ 件名の変更を続けるときは、手順 4 に戻ります。

9

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

ひとこと

- ・ ページ一覧の次の一覧または前の一覧を表示したい場合は、[↓] または [↑] を押します。
- ・ 件名を選択して [設定内容] を押すと、設定状態を確認できます。

参照

文字入力の操作については、「文字を入力するには」(p. 11-3) をご覧ください。

詳しく説明します

変更を中止する場合は、[中止] を押します。

■ E-mail の件名の初期値を設定する

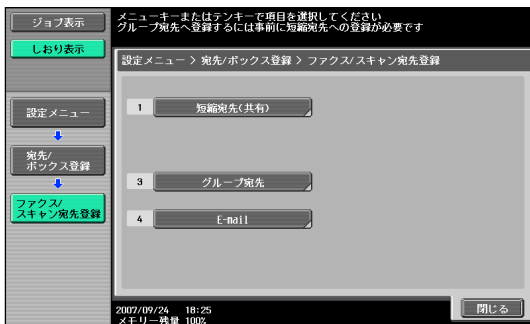
ここで初期値に設定した件名が、インターネットファクス送信で使用されます。E-mail の件名の初期値を設定する場合は、次の手順で操作します。

1

ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

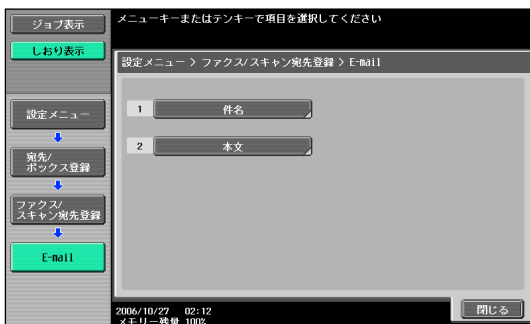
2

[E-mail] を押します。



3

[件名] を押します。



ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をごらんください。



詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[E-mail] の場合は、テンキーで【4】を入力します。

4

初期値に設定したい件名を選択し、[初期値設定] を押します。



選択した件名が、初期値として設定されます。

5

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

■ E-mail の件名を削除する

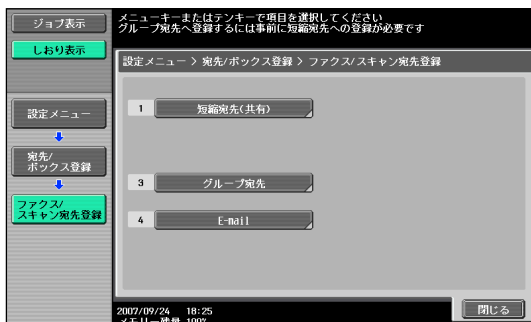
E-mail の件名を削除する場合は、次の手順で操作します。

1

ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

2

[E-mail] を押します。



ひとこと

- ・ ページ一覧の次の一覧または前の一覧を表示したい場合は、[↓] または [↑] を押します。
- ・ 件名を選択して [設定内容] を押すと、設定状態を確認できます。



ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をごらんください。

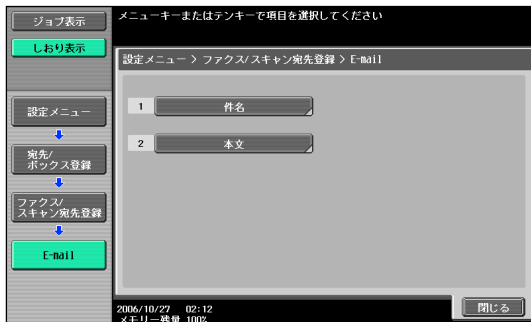


詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[E-mail] の場合は、テンキーで【4】を入力します。

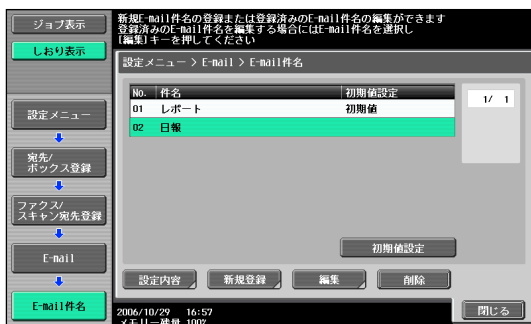
3

「[件名]」を押します。



4

削除したい件名を選択し、「削除」を押します。



ひとこと

- ・ ページ一覧の次の一覧または前の一覧を表示したい場合は、「[↓]」または「[↑]」を押します。
- ・ 件名を選択して「設定内容」を押すと、設定状態を確認できます。

5

表示された確認メッセージの画面で、「[はい]」を押し、「[OK]」を押します。

選択した件名が、削除されます。

6

「[閉じる]」を押します。

○ 削除を続ける場合は、手順 4 に戻ります。

7

ファクス / スキャン画面に戻るまで、「[閉じる]」を押します。

ひとこと

削除を中止する場合は、「[いいえ]」を押し、「[OK]」を押します。

■ E-mail の本文を登録する

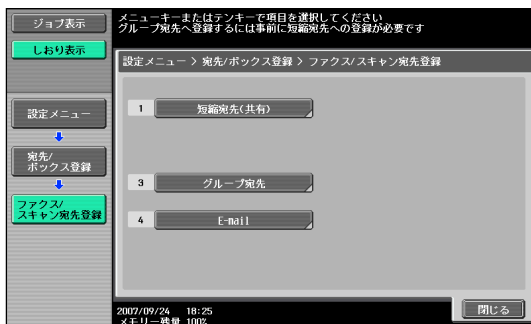
E-mail の本文を登録する場合は、次の手順で操作します。

1

ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

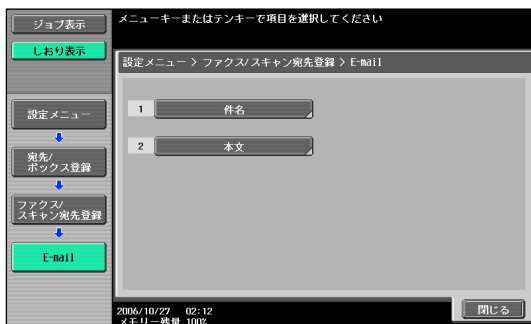
2

[E-mail] を押します。



3

[本文] を押します。



ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をごらんください。

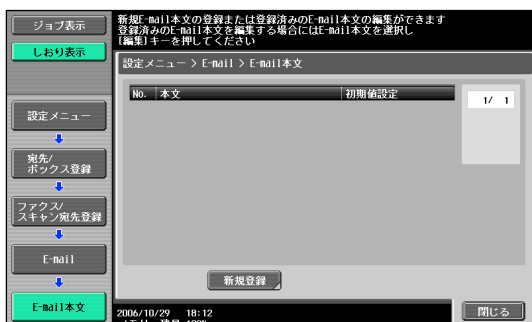


詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[E-mail] の場合は、テンキーで【4】を入力します。

4

〔新規登録〕を押します。



5

〔本文〕を押します。



6

表示された画面で、本文を入力し、〔OK〕を押します。

 詳しく説明します

E-mail の本文は全角 128 文字（半角 256 文字）まで入力できます。

 参照

文字入力の操作については、「文字を入力するには」(p. 11-3) をご覧ください。

 詳しく説明します

登録を中止する場合は、〔中止〕を押します。

7

〔OK〕を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

8

〔閉じる〕を押します。

○ 本文の登録を続けるときは、手順 4 に戻ります。

9

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

■ E-mail の本文を変更する

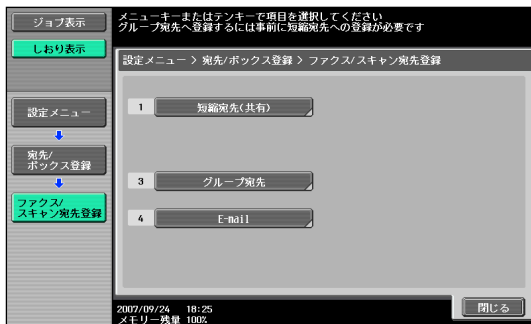
E-mail の本文を変更する場合は、次の手順で操作します。

1

ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

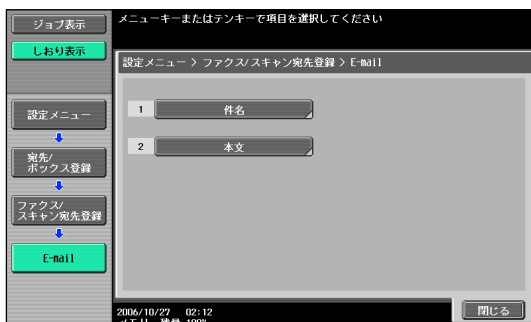
2

[E-mail] を押します。



3

[本文] を押します。



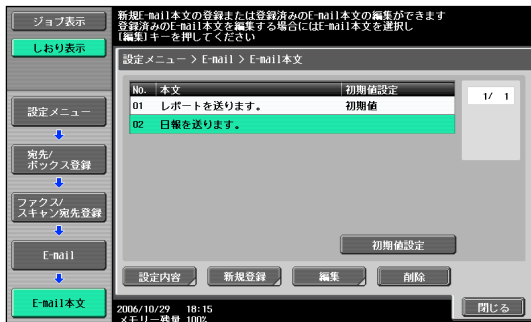
ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をごらんください。



設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[E-mail] の場合は、テンキーで【4】を入力します。

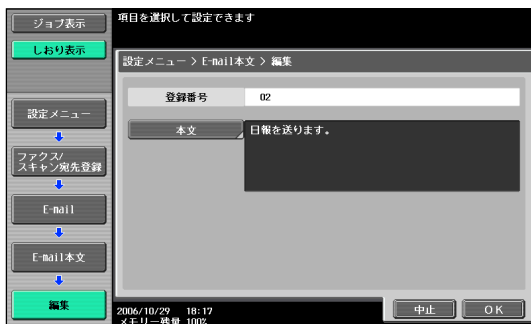
4

変更したい本文を選択し、[編集] を押します。



5

[本文] を押します。



6

表示された画面で、本文を変更し、[OK] を押します。

7

[OK] を押します。
本文が変更されます。

8

[閉じる] を押します。
○ 本文の変更を続けるときは、手順 4 に戻ります。

9

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

ひとこと

- ・ ページ一覧の次の一覧または前の一覧を表示したい場合は、[↓] または [↑] を押します。
- ・ 本文を選択して [設定内容] を押すと、設定状態を確認できます。



文字入力については、「文字を入力するには」(p. 11-3) をご覧ください。



詳しく説明します

変更を中止する場合は、[中止] を押します。

■ E-mail の本文の初期値を設定する

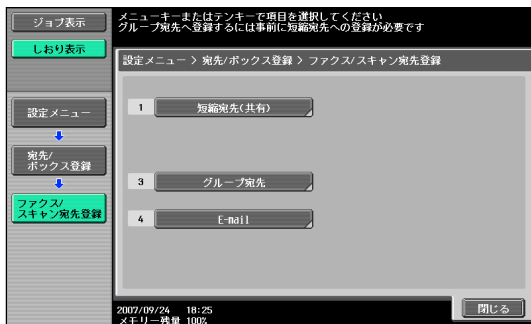
ここで初期値に設定した本文が、インターネットファクス送信で使用されます。E-mail の本文の初期値を設定する場合は、次の手順で操作します。

1

ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

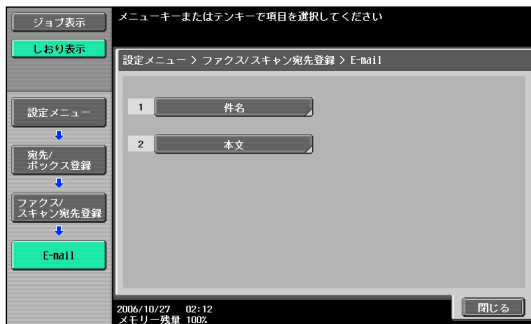
2

[E-mail] を押します。



3

[本文] を押します。



ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をごらんください。

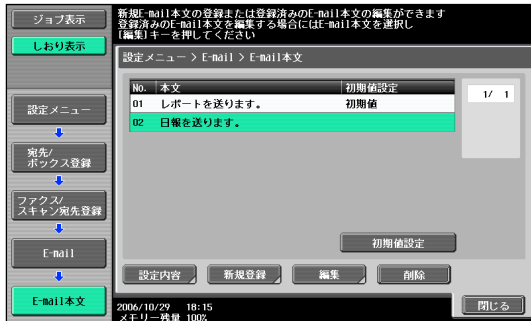


詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[E-mail] の場合は、テンキーで【4】を入力します。

4

初期値に設定したい本文を選択し、[初期値設定] を押します。



選択した本文が、初期値として設定されます。

5

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

■ E-mail の本文を削除する

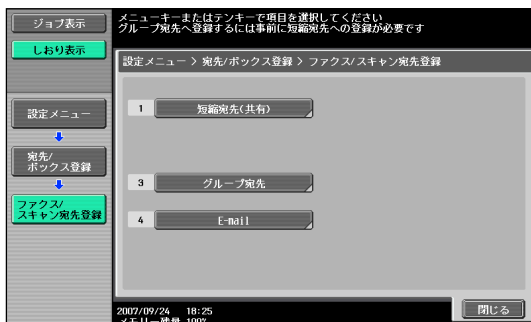
E-mail の本文を削除する場合は、次の手順で操作します。

1

ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

2

[E-mail] を押します。



ひとこと

- ・ ページ一覧の次の一覧または前の一覧を表示したい場合は、[↓] または [↑] を押します。
- ・ 本文を選択して「設定内容」を押すと、設定状態を確認できます。



ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」(p. 8-2) をごらんください。

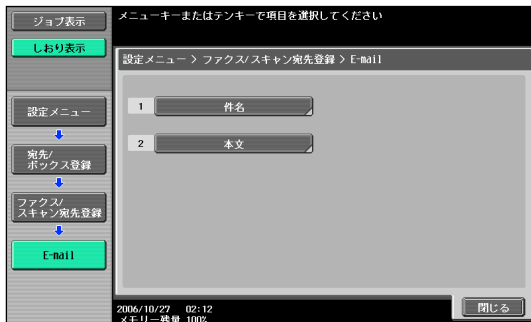


詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[E-mail] の場合は、テンキーで【4】を入力します。

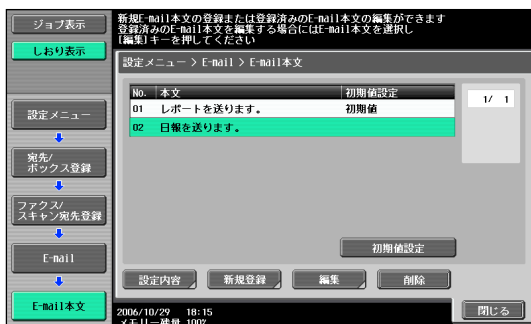
3

[本文] を押します。



4

削除したい本文を選択し、[削除] を押します。



ひとこと

- ・ ページ一覧の次の一覧または前の一覧を表示したい場合は、[↓] または [↑] を押します。
- ・ 本文を選択して [設定内容] を押すと、設定状態を確認できます。

5

表示された確認メッセージの画面で、[はい] を押し、[OK] を押します。

選択した本文が、削除されます。

6

[閉じる] を押します。

○ 削除を続ける場合は、手順 4 に戻ります。

7

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

ひとこと

削除を中止する場合は、[いいえ] を押し、[OK] を押します。

8.7 強制メモリー受信ボックスを設定する

設定メニューで、「強制メモリー受信設定」が有効になっている場合は、受信文書は強制メモリー受信ボックスに保存されます。



強制メモリー受信での受信文書のプリント方法については、「強制メモリー受信した文書を取り扱う」(p. 7-2)をごらんください。

第 9 章

設定メニュー

設定メニューのファクス設定の操作、画面切り替えの操作について説明します。

9.1	設定メニューの操作について	9-2
9.2	設定メニュー一覧	9-5
9.3	ファクス / スキャン画面の初期状態を設定する（ファクス / スキャン設定）	9-19
9.4	ファクス動作中の画面を設定する（ファクス動作中画面）	9-22
9.5	送信先検索時の英字大文字 / 小文字区別の設定をする（検索オプション設定）	9-24
9.6	ファクス機能の初期設定値を設定する（ファクス / スキャン初期設定） ...	9-26
9.7	パワーセーブ移行条件を設定する（パワーセーブ移行）	9-28
9.8	宛先登録の変更禁止を設定する（登録宛先変更）	9-30
9.9	複数宛先禁止を設定する（複数宛先禁止）	9-32
9.10	宛先と設定を解除しない設定をする（送信後設定解除）	9-34
9.11	スタンプを印字する設定をする（スタンプ設定）	9-36
9.12	宛先情報を保護する（参照許可設定）	9-38
9.13	管理者の電子メールアドレスを登録する（管理者登録）	9-44
9.14	本体の E-mail アドレスを登録する（本体アドレス登録）	9-46
9.15	TCP/IP を設定する（TCP/IP 設定）	9-48
9.16	E-mail 送信を設定する（E-mail 送信（SMTP））	9-50
9.17	E-mail 受信を設定する（E-mail 受信（POP））	9-53
9.18	ネットワークファクス機能を有効にする（ネットワークファクス機能設定） ...	9-55
9.19	SMTP 送受信の設定をする（ネットワークファクス設定）	9-58
9.20	発信元名とファクス ID を登録する（発信元 / ファクス ID 登録）	9-61
9.21	発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報）	9-64
9.22	発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）	9-67
9.23	送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）	9-69
9.24	機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）	9-72
9.25	強制メモリー受信を設定する（強制メモリー受信設定）	9-75
9.26	レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）	9-78
9.27	ネットワークファクスの機能を設定する（ネットワークファクス設定） ...	9-81
9.28	ファクス番号の直接入力を禁止する（手動宛先入力）	9-85
9.29	ファクス送信機能を禁止する（FAX 送信禁止）	9-87
9.30	ファクス番号を表示されないようにする（個人情報非表示）	9-89
9.31	通信履歴を表示されないようにする（通信履歴表示）	9-91

9.1 設定メニューの操作について

設定メニューには、本機の管理にかかわる設定が用意されています。混乱をきたさないために、本機を管理する管理者をお決めいただくことをおすすめします。

ここでは、設定メニューのうち、[ユーザー設定] および[管理者設定] について、画面を表示する方法、終了する方法を説明します。

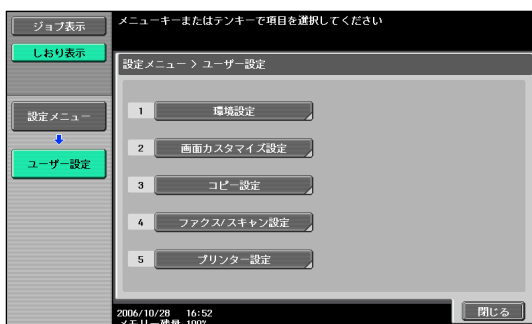
■ ユーザー設定画面を表示するには

- 1 【設定メニュー / カウンター】を押し、設定メニュー画面を表示します。
- 2 [ユーザー設定] を押します。



■ ユーザー設定画面を終了するには

- ➔ ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。



ひとこと

設定メニューは、PageScope Web Connection でも設定することができます。

PageScope Web Connection は、デバイスに内蔵されている HTTP サーバーが提供するデバイス管理ユーティリティです。

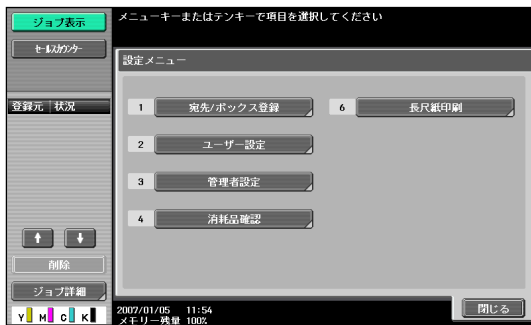
ネットワークに接続しているコンピュータで Web ブラウザを起動し、PageScope Web Connection にアクセスして本機の設定を変更できます。

設定を変更するために本機のそばに行かなくても、手元のコンピュータから手軽に操作できる上、漢字の入力もスムーズなので便利です。

設定項目の中には PageScope Web Connection でしか設定できない項目もあるため、詳しくは「ユーザーズガイド PageScope Web Connection 機能編」をごらんください。

■ 管理者設定画面を表示するには

- 1 【設定メニュー / カウンター】を押し、設定メニュー画面を表示します。
- 2 「管理者設定」を押します。



- 3 管理者のパスワードを入力し、「OK」を押します。

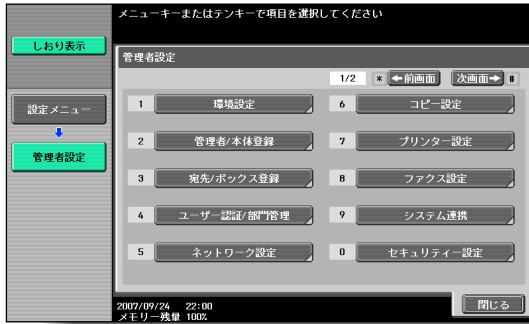


ひとこと

管理者のパスワードは、「セキュリティ設定」で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

■ 管理者設定画面を終了するには

➔ ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。



9.2 設定メニュー一覧

ネットワークファクス機能に関連したユーティリティ操作には、次の設定項目があります。

I は、インターネットファクスの場合に表示されます。

SIP は、SIP ファクスの場合に表示されます。

IP は、IP アドレスファクスの場合に表示されます。

* はお買い上げ時の初期値です。

■ ユーザー設定＞画面カスタマイズ設定＞ファクス / スキャン設定

ファクス / スキャン画面の初期状態を設定します。(p. 9-19)

項目	説明	設定できる値
I SIP IP 基本画面表示	ファクス / スキャン画面の宛先欄表示の初期値を設定します。	LDAP 検索 / 履歴から選択 / 登録宛先から * / 直接入力
I SIP IP プログラム初期表示	ファクス / スキャンプログラム呼出し画面のページ表示の初期値を設定します。	一時プログラム / PAGE1 * ~ PAGE34
I SIP IP アドレス帳初期表示	「登録宛先から」タブが検索文字の場合の表示の初期値を設定します。	常用 (よく使う宛先) * / あ ~ etc
I SIP IP ショートカットキー 1	ファクス / スキャン画面下部、メモリ残量表示の右側に、よく使用するキーを表示するかどうかの設定をします。	使用する / 使用しない* [使用する] に設定した場合は、以下の設定をします。 原稿画質 * / 文字 / 写真 / 写真 / 片面 / 両面 / 解像度 / ファイル形式 / シャープネス / 濃度 / 画質調整 / 下地調整 / 枠消し / ブック連写 / 応用設定 / 読み込みサイズ / ファイリングナンバー / スタンプ / ページ印字 / 日付 / 時刻 / 同時印刷 / ページ番号 / スタンプ / ヘッダー / フッター / 原稿セット方向 / 原稿のと同じしろ / 原稿枚数指定 / 回線設定 / 送受信方法設定 / パスワード送信 / タイマー通信 / Fコード送信 / URL 通知先設定 / ポーリング送信 / ポーリング受信 / E-mail 設定 / ファクス発信元設定
I SIP IP ショートカットキー 2		
I SIP IP 「登録宛先から」初期表示	「登録宛先から」タブの表示の初期値を設定します。	検索文字 * / 宛先種類

■ ユーザー設定＞画面カスタマイズ設定＞ファクス動作中画面

送信中、受信中のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。(p. 9-22)

項目	説明	設定できる値
I SIP IP	送信中画面表示 「送信中です」のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。	する / しない*
I SIP IP	受信画面表示 「受信中です」のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。	する / しない*

■ ユーザー設定＞画面カスタマイズ設定＞検索オプション設定

宛先検索時に英字の大文字／小文字を区別して検索するかどうか、区別設定画面を表示するかどうかを設定します。(p. 9-24)

項目	説明	設定できる値
英大文字と英小文字	宛先検索で大文字、小文字を区別するかどうか設定します。	区別する* / 区別しない
検索オプション画面	「英大文字と英小文字」の設定を宛先検索の詳細検索で表示するかどうか設定します。	表示する / 表示しない*

■ ユーザー設定＞ファクス/スキャン設定＞ファクス/スキャン初期設定

ファクス/スキャン機能の初期設定値を設定します。(p. 9-26)

項目	説明	設定できる値
I SIP IP	ファクス/スキャン初期設定 ファクス/スキャン機能初期値を設定します。	現在の設定値 / 出荷時の設定値*

■ 管理者設定＞環境設定＞パワーセーブ設定

パワーセーブ状態への移行について設定します。(p. 9-28)

項目	説明	設定できる値
I SIP IP	パワーセーブ移行 パワーセーブ中に受信した場合、プリント完了後、一定時間後パワーセーブ状態にするか（通常）、即時パワーセーブ状態にするか（即時）を設定します。	通常 / 即時*

■ 管理者設定＞環境設定＞ユーザー操作禁止設定＞変更禁止設定＞登録宛先変更

ファクスの登録宛先の変更を禁止するかしないかを設定します。(p. 9-30)

項目	説明	設定できる値
☐ I ☐ SIP ☐ IP	登録宛先変更 ファクスの登録宛先の変更を禁止するかしないかを設定します。	許可* / 禁止

■ 管理者設定＞環境設定＞ユーザー操作禁止設定＞操作禁止設定＞複数宛先禁止

複数宛先の送信を禁止するかしないかを設定します。(p. 9-32)

項目	説明	設定できる値
☐ I ☐ SIP ☐ IP	複数宛先禁止 複数宛先の送信を禁止するかしないかを設定します。	する / しない*

■ 管理者設定＞環境設定＞リセット設定＞モードリセット＞次ジョブ＞送信後設定解除

送信後、次の送信も同じ設定にするか解除するかを設定できます。(p. 9-34)

項目	説明	設定できる値
☐ I ☐ SIP ☐ IP	送信後設定解除 送信後、次の送信も同じ設定にするか解除するかを設定できます。	全て解除* / 宛先のみ解除 / ユーザーに確認

■ 管理者設定＞環境設定＞スタンプ設定

原稿を読込んだあと、スタンプをするかどうかを設定します。(p. 9-36)

項目	説明	設定できる値
☐ I ☐ SIP ☐ IP	ファクス送信設定 原稿を読込んだあと、スタンプをするかどうかを設定します。	解除する* / 解除しない

■ 管理者設定＞管理者 / 本体登録＞管理者登録

管理者の電子メールアドレス、内線番号を入力します。電子メールアドレスは、SIP ファクス / IP アドレスファクスの From アドレスとして使用します。(p. 9-46)

項目	説明	設定できる値
☐ I	管理者登録 本機の管理者を登録します。	管理者名 / E-mail アドレス / 内線番号

■ 管理者設定＞管理者 / 本体登録＞本体アドレス登録

インターネットファクスで使用する本機の電子メールアドレスを設定します。インターネットファクス送信のときは、相手先受信時に「E-mail アドレス」が From アドレスに、「装置名」が件名の一部になります（「Message from (装置名)」）。(p. 9-46)

項目		説明	設定できる値
	本体アドレス登録	本機の E-Mail アドレスと名称を登録します。	装置名 / E-Mail アドレス

■ 管理者設定＞ユーザー認証 / 部門管理＞参照許可設定

宛先情報を保護する宛先レベルの設定をします。(p. 9-38)

項目		説明	設定できる値
	グループ登録	宛先レベル設定で使用するグループを登録します。	1 ～ 20
	宛先レベル設定	短縮宛先	レベル 0 * ～レベル 5 参照許可グループ
		グループ宛先	
		プログラム宛先	

■ 管理者設定＞ネットワーク設定＞TCP/IP 設定

本機をネットワーク環境で使用するために設定します。(p. 9-48)

詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナー機能編」をごらんください。

項目		説明	設定できる値
	TCP/IP 設定	TCP/IP を設定します。	使用する * / 使用しない [使用する] を設定した場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。

■ 管理者設定＞ネットワーク設定＞E-mail 設定＞E-mail 送信 (SMTP)

E-mail 送信 (SMTP) を設定します。(p. 9-50)

E-mail 送信 (SMTP) の他の設定項目は、インターネットファクスでは使用しません。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク／スキャナー機能編」をごらんください。

項目		説明	設定できる値
I	E-mail 送信 (SMTP)	E-mail 送信 (SMTP) 機能を使用するかしないかを設定します。	使用する * / 使用しない
	E-mail 送信設定	E-mail 送信を使用するかどうかを設定します。	使用する * / 使用しない
	SMTP サーバーアドレス	SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を設定します。	-
	接続タイムアウト	接続タイムアウトを設定します。	30 ～ 300 (60 秒 *)
	サーバー容量	SMTP サーバーが受信できる電子メール 1 通あたりの最大容量を設定します。	1 ～ 100Mbyte / 無制限 *
	ポート番号	ポート番号を設定します。	1 ～ 65535 (25 *)
	SSL 設定	インターネットファクス送信時に SSL を使用するかどうかを設定します。SSL を使用すると通信内容が暗号化されます。	SMTP over SSL / Start TLS / 使用しない * [SMTP over SSL] または [Start TLS] にした場合、「ポート番号 (SSL)」(1 ～ 65535 (465 *)) を設定します。
	SMTP 認証	SMTP 認証を行うかどうかおよび POP Before SMTP の設定をします。	使用する / 使用しない * [使用する] にした場合、以下の設定をします。 SMTP 認証の設定 POP before SMTP 認証：使用する / 使用しない * POP before SMTP 時間：0 ～ 60 (5 秒 *)

■ 管理者設定＞ネットワーク設定＞E-mail 設定＞E-mail 受信 (POP)

E-mail 受信 (POP) を設定します。(p. 9-53)

E-mail 受信 (POP) の他の設定項目は、インターネットファクスでは使用しません。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク／スキャナー機能編」をごらんください。

項目		説明	設定できる値
I	E-mail 受信 (POP)	E-mail 受信を使用するかどうかを設定します。	使用する * / 使用しない
	POP サーバーアドレス	POP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を設定します。	-
	接続タイムアウト	接続タイムアウトを設定します。	接続タイムアウト : 30 ~ 300 (30 秒*)
	ポート番号	ポート番号を設定します。	1 ~ 65535 (110*)
	ログイン名	POP サーバーへのログイン名を設定します。	-
	パスワード	POP サーバーへログインするためのパスワードを設定します。	-
	APOP 認証	APOP 認証を設定します。	ON / OFF *
	自動到着チェック	電子メールの自動取得を行うかどうかを設定します。自動取得を行う場合は、ポーリング間隔を指定します。	する / しない* ポーリング間隔 : 1 ~ 60 (15 分*)

■ 管理者設定>ネットワーク設定>ネットワークファクス設定>ネットワークファクス機能設定

ネットワークファクスに関する項目を設定します。(p. 9-55)

項目			説明	設定できる値
ネットワークファクス機能設定		IP アドレスファクス機能	IP アドレスファクスを利用する場合に [ON] に設定します。	ON / OFF *
		SIP ファクス機能	SIP ファクスを利用する場合に [ON] に設定します。	ON / OFF * [ON] の場合は、SIP-FAX アダプタの IP アドレスとポート番号を設定
		インターネットファクス機能	インターネットファクスを利用する場合に [ON] に設定します。	ON / OFF *

■ 管理者設定>ネットワーク設定>ネットワークファクス設定

SIP ファクス /IP アドレスファクスの SMTP 送受信に関する項目を設定します。(p. 9-58)

項目			説明	設定できる値
 	SMTP 送信設定	ポート番号	SMTP 送信時のポート番号を設定します。	1 ~ 65535 (25*) ポート番号の設定は、IP アドレスファクス使用時のみ有効です。SIP ファクス使用時は、この設定は無効で、ポート番号は 25 固定です。
		接続タイムアウト	SMTP 送信時の接続タイムアウト時間を設定します。	30 ~ 300 秒 (60 秒*)
 	SMTP 受信設定		SMTP 受信機能を、使用するかどうかを設定します。	使用する */ 使用しない
		ポート番号	SMTP 受信時のポート番号を設定します。	1 ~ 65535 (25*) ポート番号の設定は、IP アドレスファクス使用時のみ有効です。SIP ファクス使用時は、この設定は無効で、ポート番号は 25 固定です。
		接続タイムアウト	SMTP 受信時の接続タイムアウト時間を設定します。	5 ~ 1000 秒 (300 秒*)

■ 管理者設定＞ファクス設定＞発信元 / ファクス ID 登録

発信元名とファクス ID を登録します。(p. 9-61)

項目		説明	設定できる値
☐ I ☐ SIP ☐ IP	発信元	相手の受信文書に発信元情報として印字するための自局名称を複数登録できます。	全角 15 文字（半角 30 文字）以内
	ファクス ID	登録したファクス ID が相手側の受信文書に発信元情報として印字されます。通常はマシンのファクス番号を入力します。 SIP ファクス /IP アドレスファクスの場合も、G3 ファクスとして登録したファクス ID が、発信元情報として相手に通知されます。	0～9、+、スペース、*、# を使って 20 文字以内

■ 管理者設定＞ファクス設定＞発信元 / 受信情報

発信元情報と受信情報の付けかたを設定します。(p. 9-64)

項目		説明	設定できる値
☐ I ☐ SIP ☐ IP	発信元情報	発信元情報を印字する位置を設定します。 インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクスでは、[原稿外] は使用できません。 [原稿外] に設定されていても、発信元情報は原稿内に付加されます。	原稿内 / 原稿外 * / OFF
	受信情報	受信日付、受信時刻と受信番号を受信文書に印字するかを設定します。 SIP ファクス /IP アドレスファクスのカラーモードでは、[原稿外] は使用できません。 [原稿外] に設定されていても、受信情報は原稿内に付加されます。	原稿内 / 原稿外 / OFF *

■ 管理者設定＞ファクス設定＞回線パラメーター設定

SIP ファクス /IP アドレスファクス使用時は、オートリダイヤル回数、オートリダイヤル間隔を設定します。(p. 9-67)

これらは通常のファクス機能と共用します。回線パラメーター設定の他の項目については、「ユーザズガイド ファクス機能編」をごらんください。

項目		説明	設定できる値
SIP IP	オートリダイヤル回数	相手が話し中などで応答できない場合にリダイヤルする回数を設定します。	0 ～ 7 回 (3 回*)
	オートリダイヤル間隔	リダイヤルの間隔を設定します。	1 ～ 15 分 (3 分*)

■ 管理者設定＞ファクス設定＞送信 / 受信設定

受信に関する項目を設定します。(p. 9-69)

項目		説明	設定できる値
	受信原稿両面印刷	[ON] に設定すると、受信原稿が 用紙の両面にプリントされます。	ON / OFF *
	インチ系用紙優先選択	[ON] に設定すると受信原稿の記 録用紙にインチ系用紙を優先的に 選択します。	ON / OFF *
	記録用紙優先選択	サイズ優先を設定した場合： 優先サイズに記録されます。優先 サイズが設定されていない場合 は、もっとも近いサイズに記録さ れます。 サイズ固定を設定した場合： 設定したサイズだけに記録されま す。	自動選択* / サイズ固定 / サ イズ優先 カラーモードでの受信時は、 [自動選択] に固定されま す。
	記録用紙サイズ* ¹	受信文書出力する用紙サイズを 設定します。 初期設定は [インチ系用紙優先選 択] の設定によって異なります。	A3 / B4 / A4* / 8 ¹ / ₂ × 11 / 8 ¹ / ₂ × 14 / 11 × 17
	給紙トレイ固定* ²	受信文書の出力に使用する用紙ト レイを固定したい場合に用紙トレ イを設定します。	自動* / トレイ 1 / トレイ 2 / トレイ 3 / トレイ 4 カラーモードでの受信時は、 [自動] に固定されます。
	縮小率* ³	受信原稿の出力倍率を設定しま す。	87 ~ 96%* / 等倍
	ページ分割記録* ⁴	[ON] に設定すると定形サイズよ り長い原稿を受信した場合に、 ページ分割して記録されます。	ON / OFF *
	受信印刷部数	受信した文書をプリントする部数 を設定します。	1* ~ 10

*¹ [記録用紙サイズ] の設定を有効にするには、[給紙トレイ固定] を [自動] に設定してください。

*² トレイの種類は、装着しているオプションにより異なります。

*³ カラーモードで受信する場合は、常に等倍で記録されます。

*⁴ カラーモードで受信する場合は、ページ分割記録は使用できません。

■ 管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞機能 ON/OFF 設定

送受信に関する機能の ON/OFF を設定します。(p. 9-72)

機能設定の他の項目については、「ユーザズガイド ファクス機能編」をごらんください。

項目			説明	設定できる値
	機能 ON/OFF 設定	宛先確認表示機能	ファクス送信時に、指定した宛先一覧を表示するかどうかを設定します。	ON / OFF *
	宛先 2 度入力機能（送信）		直接入力でファクス宛先を指定する場合、確認のため宛先をもう一度入力する画面が表示されます。2 回入力することで、宛先間違いを防ぐことができます。	ON / OFF *
	宛先 2 度入力機能（登録）		短縮宛先登録でファクス宛先を指定する場合、確認のため宛先をもう一度入力する画面が表示されます。2 回入力することで、宛先の登録間違いを防ぐことができます。	ON / OFF *

■ 管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞強制メモリー受信設定

強制メモリー受信機能を使用するかどうかを設定します。(p. 9-75)

項目			説明	設定できる値
	強制メモリー受信設定		強制メモリー受信機能を使用するかどうかを設定します。 有効に設定する場合は、プリント時に使用するパスワード（8 桁以内）を設定します。 強制メモリー受信とは、受信した文書をすぐにプリントせず、いったんメモリーに蓄積し、指示をしてからプリントする機能です。	（パスワードを 8 桁以内で設定） / しない*

■ 管理者設定＞ファクス設定＞レポート出力設定

レポートのプリント方法を設定します。(p. 9-78)

項目			説明	設定できる値
	通信管理レポート		レポートをプリントするかどうか、また、いつプリントするかを設定します。 [毎日] に設定した場合は、毎日の定時にプリントされます。 [100/ 毎日] に設定した場合は、前回出力時から 100 通信完了時に最新の 100 通信分がプリントされます。また毎日の定時にもプリントされます。	ON * / OFF [ON] に設定した場合は、以下の設定をします。 出力設定：毎日 / 100 通信 毎 * / 100 / 毎日 [毎日] または [100 / 毎日] に設定した場合は、以下の設定をします。 出力時刻設定：00:00 ~ 23:59 (9:00 *)

項目		説明	設定できる値
☐ I ☐ SIP ☐ IP	送信結果レポート	レポートをプリントするかどうか、また、いつプリントするかを設定します。	常時 / エラー時のみ * / OFF
	順次通信結果レポート		ON * / OFF
☐ SIP ☐ IP	同報結果レポート出力	同報送信結果レポートのプリント方法を設定します。	全宛先一括 * / 1 宛先毎
☐ I ☐ SIP ☐ IP	送信結果レポート画面	送信結果レポートの選択画面を表示するかどうかを設定します。 [表示する] に設定すると、送信のたびに表示されます。	表示する / 表示しない *
☐ I ☐ SIP ☐ IP	ネットワークファクス受信エラーレポート	ネットワークファクス受信エラーレポートをプリントするかどうかを設定します。	ON * / OFF
☐ I	MDN メッセージ	MDN メッセージを自動的にプリントするかどうかを設定します。	ON * / OFF
☐ I	DSN メッセージ	DSN メッセージを自動的にプリントするかどうかを設定します。	ON / OFF *
☐ I	正常受信メール本文印刷	受信した電子メールの本文を自動的にプリントするかどうかを設定します。	ON * / OFF

■ 管理者設定>ファクス設定>ネットワークファクス設定

ネットワークファクスの機能を設定します。(p. 9-81)

項目		説明	設定できる値
☐ I ☐ SIP ☐ IP	白黒 2 値圧縮方法	モノクロ送信モード時の白黒 2 値圧縮方法を設定します。	MMR * /MR/MH
☐ SIP	SIP アダプター接続確認	SIP-FAX アダプタとの接続が正常かどうかを確認できます。	-

項目		説明	設定できる値
I	インターネットファクス自機受信能力	圧縮形式	圧縮形式に関する受信能力を設定します。
		用紙サイズ	用紙サイズに関する受信能力を設定します。
		解像度	解像度に関する受信能力を設定します。 200 × 100dpi (普通) / 200 × 200dpi (精細) / 400 × 400dpi (高精細) / 600 × 600dpi (超高精細) ([インターネットファクス拡張設定] > 「最高解像度」で [400 × 400dpi (高精細)] が設定されている場合は、[600 × 600dpi (超高精細)] は非表示)
I	インターネットファクス拡張設定	MDN 要求	MDN 要求をするかどうかを設定します。
		DSN 要求	DSN 要求をするかどうかを設定します。
		MDN 応答	MDN 応答をするかどうかを設定します。
		MDN/DSN 応答監視時間	MDN/DSN の応答監視をするかどうかを設定します。
		最高解像度	最高解像度を選択します。 600 × 600dpi (超高精細) * / 400 × 400dpi (高精細)

■ 管理者設定>ファクス設定>設定値リスト

本機で設定したファクスの設定値リストをプリントできます。(p. 10-29)

■ 管理者設定>セキュリティ設定>セキュリティ詳細>手動宛先入力

宛先の直接入力を許可するかどうかを設定します。(p. 9-85)

項目	説明	設定できる値
手動宛先入力	宛先の直接入力および LDAP 検索を許可するかどうかを設定します。	許可* / 禁止

■ 管理者設定>セキュリティ設定>セキュリティ詳細>FAX 送信禁止

ファクス送信を禁止するかどうかを設定します。(p. 9-87)

項目	説明	設定できる値
FAX 送信禁止	ファクス送信を禁止するかどうかを設定します。	ON / OFF *

■ 管理者設定＞セキュリティ設定＞セキュリティ詳細＞個人情報非表示

ジョブ表示画面の履歴リストの宛先を表示するかしないかを設定します。(p. 9-89)

項目	説明	設定できる値
個人情報非表示	ジョブ表示画面の履歴リストの宛先を表示するかしないかを設定します。	ON / OFF *

■ 管理者設定＞セキュリティ設定＞セキュリティ詳細＞通信履歴表示

通信履歴を表示するかしないかの設定をします。(p. 9-91)

項目	説明	設定できる値
通信履歴表示	通信履歴を表示するかしないかの設定をします。	ON * / OFF

9.3 ファクス / スキャン画面の初期状態を設定する (ファクス / スキャン設定)

ファクス / スキャン画面の初期状態を設定します。ここで選択した項目が初期値として表示されます。

- 基本画面表示:LDAP 検索 / 履歴から選択 / 登録宛先から
* / 直接入力
 - ファクス / スキャン画面の宛先欄表示の初期値を設定します。
- プログラム初期表示:一時プログラム / PAGE1 * ~ PAGE34
 - ファクス / スキャンプログラム呼出し画面のページ表示の初期値を設定します。
- アドレス帳初期表示:常用(よく使う宛先) * / あ~ etc
 - [登録宛先から] タブが検索文字の場合の表示の初期値を設定します。
- ショートカットキー 1、ショートカットキー 2:使用する / 使用しない*
 - ファクス / スキャン画面下部、メモリー残量表示の右側に、よく使用するキーを表示するかどうかの設定をします。
[使用する] に設定した場合は、以下の設定をします。
原稿画質 * / 文字 / 写真 / 写真 / 片面 / 両面 / 解像度 / ファイル形式 / シャープネス / 濃度 / 画質調整 / 下地調整 / 枠消し / ブック連写 / 応用設定 / 読み込みサイズ / ファイリングナンバー / スタンプ / ページ印字 / 日付 / 時刻 / 同時印刷 / ページ番号 / スタンプ / ヘッダー / フッター / 原稿セット方向 / 原稿のとじしろ / 原稿枚数指定 / 回線設定 / 送受信方法設定 / パスワード送信 / タイマー通信 / F コード送信 / URL 通知先設定 / ポーリング送信 / ポーリング受信 / E-mail 設定 / ファクス発信元設定
- 「登録宛先から」初期表示:検索文字 * / 宛先種類
 - [登録宛先から] タブの表示の初期値を設定します。

* はお買い上げ時の初期値です。

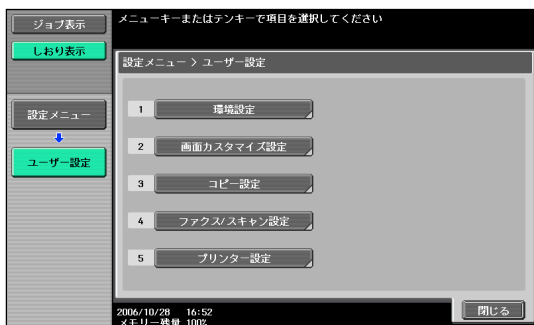
■ ファクス / スキャン設定をするには

1

「ユーザー設定画面を表示するには」(p. 9-2) を参照し、ユーザー設定画面を表示します。

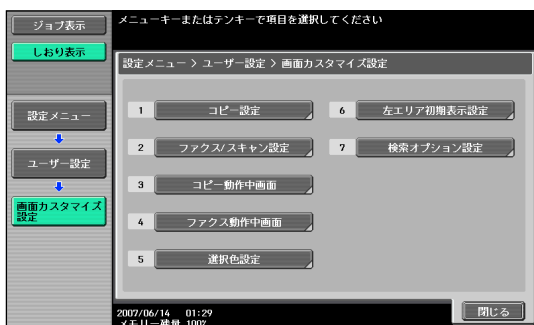
2

「画面カスタマイズ設定」を押します。



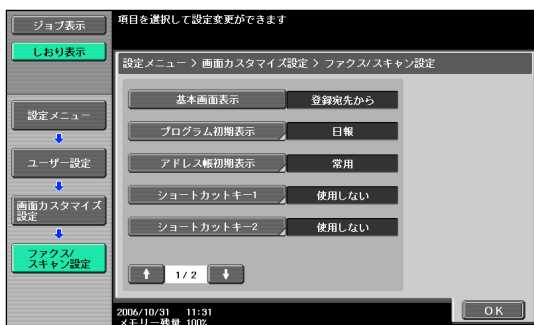
3

「ファクス / スキャン設定」を押します。



4

設定したい項目を選択します。

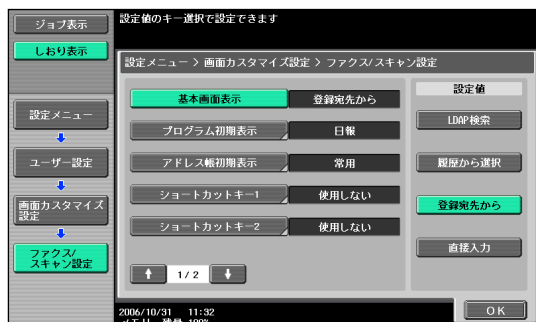


詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[画面カスタマイズ設定]の場合は、テンキーで【2】を入力します。

5

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。



6

[OK] を押します。
設定が変更されます。

7

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

ひとこと

ショートカットキーは2種類設定できます。オプションのイメージコントローラ IC-409 を装着しているとき、設定できるショートカットキーは1種類です。

9.4 ファクス動作中の画面を設定する（ファクス動作中画面）

送信中、受信中のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。

- 送信中画面表示：する / しない*
 - 「送信中です」のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。
- 受信画面表示：する / しない*
 - 「受信中です」のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

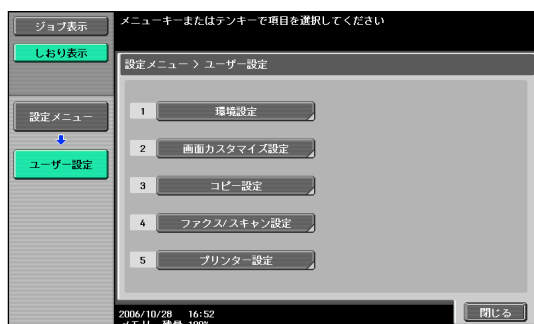
■ ファクス動作中画面設定をするには

1

「ユーザー設定画面を表示するには」(p. 9-2) を参照し、ユーザー設定画面を表示します。

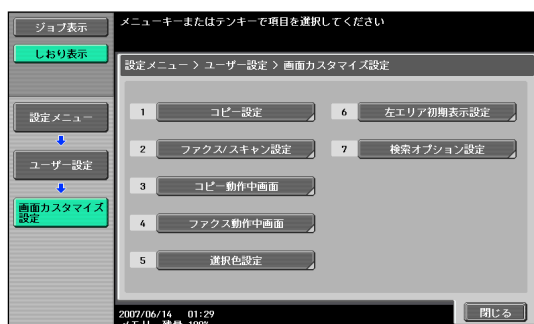
2

「画面カスタマイズ設定」を押します。



3

「ファクス動作中画面」を押します。

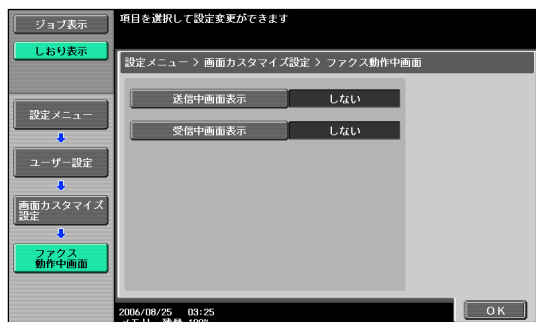


詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[画面カスタマイズ設定] の場合は、テンキーで【2】を入力します。

4

〔送信中画面表示〕または〔受信中画面表示〕を選択します。



5

〔する〕または〔しない〕のキーを押します。



6

〔OK〕を押します。
設定が変更されます。

7

ファクス/スキャン画面に戻るまで、〔閉じる〕を押します。

9.5 送信先検索時の英字大文字／小文字区別の設定をする（検索オプション設定）

宛先検索時に英字の大文字／小文字を区別して検索するかどうか、区別設定画面を表示するかどうかを設定します。

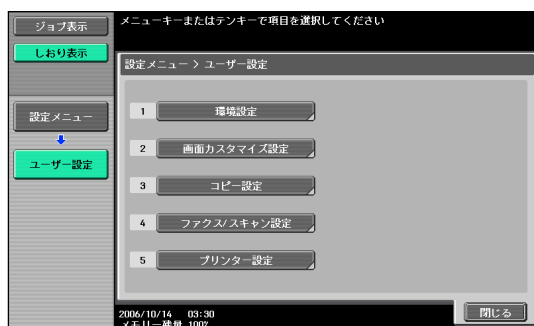
- 英大文字と英小文字：区別する* / 区別しない
 - 宛先検索で大文字、小文字を区別するかどうか設定します。
- 検索オプション画面：表示する / 表示しない*
 - 「英大文字と英小文字」の設定を宛先検索の詳細検索で表示するかどうか設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

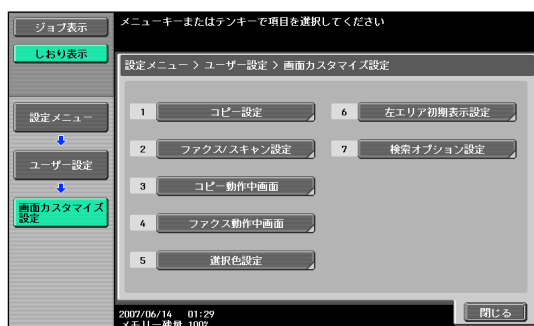
■ 検索オプション設定をするには

1 「ユーザー設定画面を表示するには」(p. 9-2) を参照し、ユーザー設定画面を表示します。

2 「画面カスタマイズ設定」を押します。



3 「検索オプション設定」を押します。

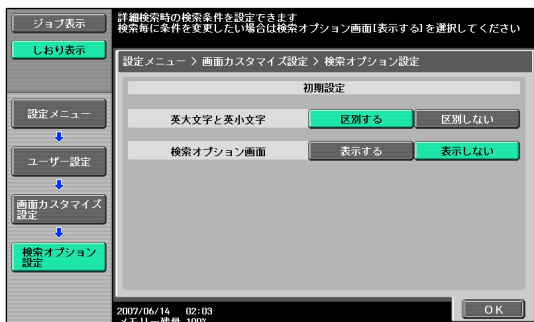


詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[画面カスタマイズ設定]の場合は、テンキーで【2】を入力します。

4

検索オプションの設定をします。



5

[OK] を押します。

設定が変更されます。

6

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

9.6 ファクス機能の初期設定値を設定する（ファクス / スキャン初期設定）

ファクス / スキャン機能の初期設定値を設定できます。

主電源を ON にしたとき、または【リセット】を押したときに選択されるファクス / スキャン機能を設定できます。

- ファクス / スキャン初期設定：現在の設定値 / 出荷時の設定値*
 - [現在の設定値]
設定メニュー画面に入る前にタッチパネル上で設定された各項目がファクス / スキャン機能の初期設定として登録されます。
 - [出荷時の設定値]
工場出荷時の設定値がファクス / スキャン機能の初期設定に登録されます。

* はお買い上げ時の初期値です。

原則

本設定を行うには、ファクスの基本画面を表示した状態で設定メニューに入ります。

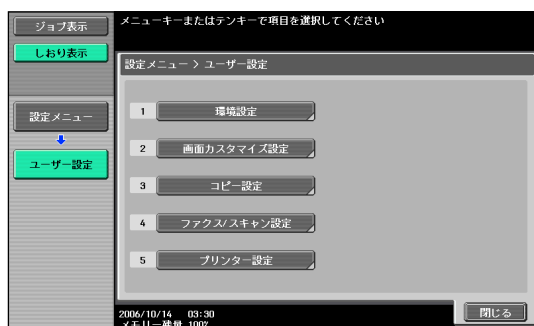
■ ファクス / スキャン初期設定をするには

1

「ユーザー設定画面を表示するには」(p. 9-2) を参照し、ユーザー設定画面を表示します。

2

[ファクス / スキャン設定] を押します。

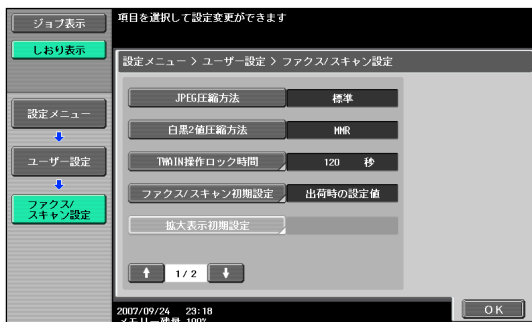


詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。
[ファクス / スキャン設定] の場合は、テンキーで【4】を入力します。

3

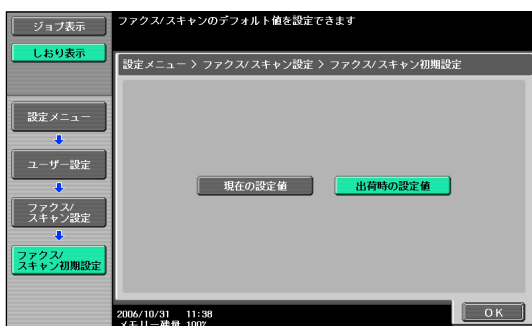
「ファクス / スキャン初期設定」を押します。



4

「現在の設定値」または「出荷時の設定値」を押し、
「OK」を押します。

設定が変更されます。



5

「OK」を押します。

6

ファクス / スキャン画面に戻るまで、「閉じる」を押します。

9.7 パワーセーブ移行条件を設定する（パワーセーブ移行）

パワーセーブ状態への移行について設定します。

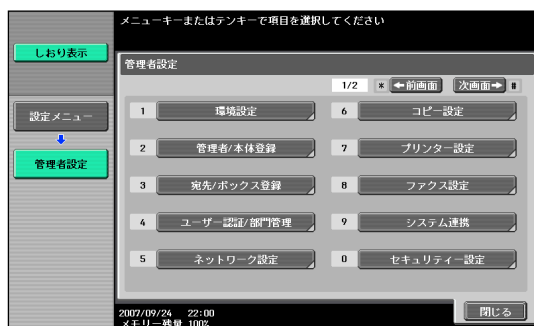
- パワーセーブ移行：通常 / 即時*
- パワーセーブ中に受信した場合、プリント完了後、一定時間後パワーセーブ状態にするか（通常）、即時パワーセーブ状態にするか（即時）を設定します。

* はお買い上げ時の初期値です。

■ パワーセーブ移行設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

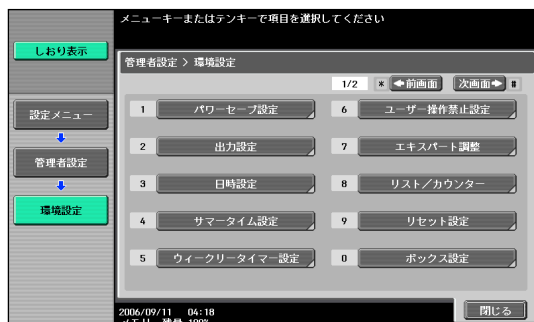
2 「環境設定」を押します。



詳しく説明します

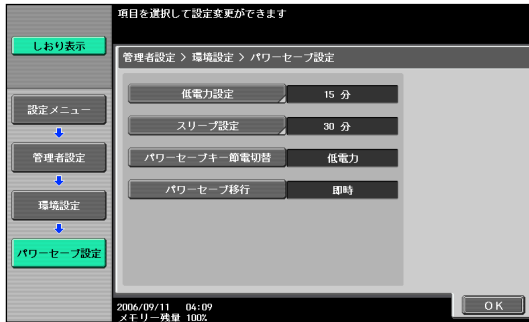
- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[環境設定] の場合は、テンキーで【1】を入力します。

3 「[パワーセーブ設定]」を押します。



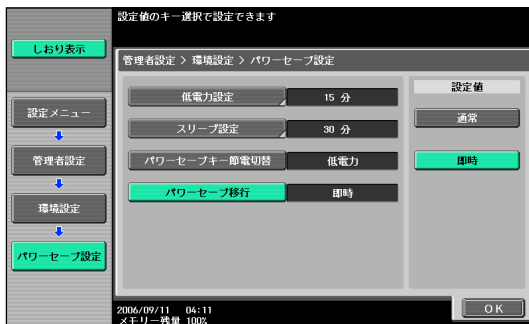
4

「[パワーセーブ移行]」を押します。



5

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。



6

「[OK]」を押します。

設定が変更されます。

7

ファクス / スキャン画面に戻るまで、「[閉じる]」を押します。

9.8 宛先登録の変更禁止を設定する（登録宛先変更）

ファクスの登録宛先の変更を禁止するかしないかを設定します。

- 登録宛先変更：許可* / 禁止

*はお買い上げ時の初期値です。

■ 登録宛先変更設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

「環境設定」を押します。



3

「ユーザー操作禁止設定」を押します。

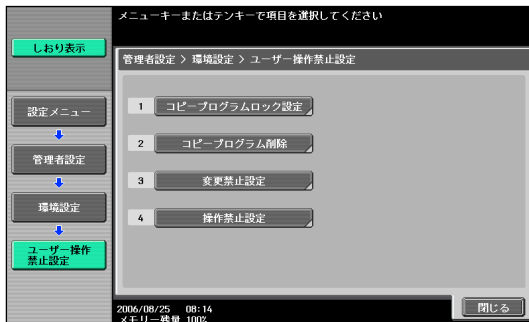


詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[環境設定] の場合は、テンキーで【1】を入力します。

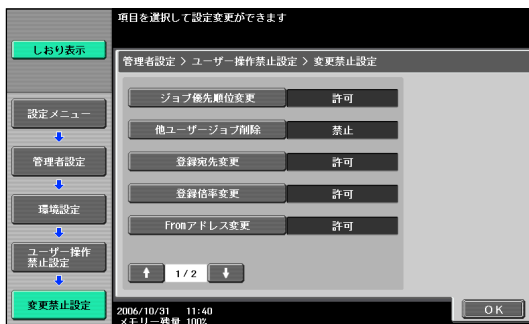
4

「変更禁止設定」を押します。



5

「登録宛先変更」を押して「禁止」を押します。



6

「OK」を押します。

設定が変更されます。

7

ファクス/スキャン画面に戻るまで、「閉じる」を押します。

9.9 複数宛先禁止を設定する（複数宛先禁止）

複数宛先の送信を禁止するかしないかを設定します。

- 複数宛先禁止：する / しない*

* はお買い上げ時の初期値です。

■ 複数宛先禁止設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

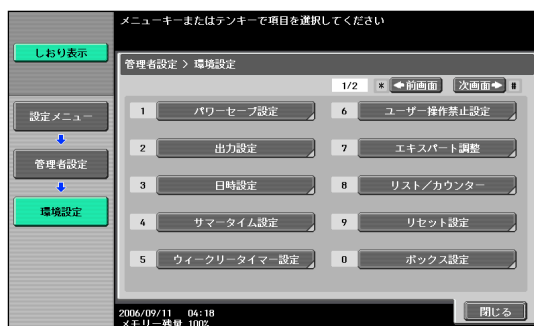
2

「環境設定」を押します。



3

「ユーザー操作禁止設定」を押します。

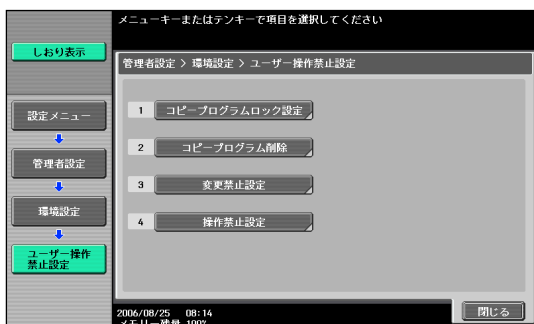


詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[環境設定] の場合は、テンキーで【1】を入力します。

4

〔操作禁止設定〕を押します。



5

〔複数宛先禁止〕を押して〔する〕を押します。



6

〔OK〕を押します。

設定が変更されます。

7

ファクス/スキャン画面に戻るまで、〔閉じる〕を押します。

9.10 宛先と設定を解除しない設定をする（送信後設定解除）

送信後、次の送信も同じ設定にするか解除するかを設定できます。

- 送信後設定解除：全て解除* / 宛先のみ解除 / ユーザーに確認
 - [宛先のみ解除]：設定は保持し、宛先のみが解除されます。
 - [ユーザーに確認]：宛先と設定を保持するかの確認画面が表示されます。

*はお買い上げ時の初期値です。

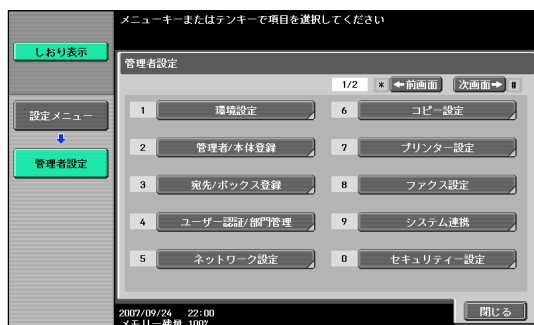
■ 宛先と設定を解除しない設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

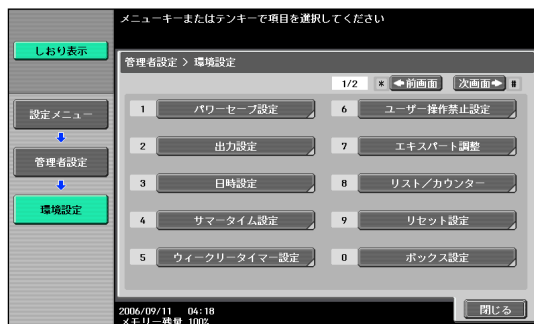
2

「環境設定」を押します。



3

「リセット設定」を押します。

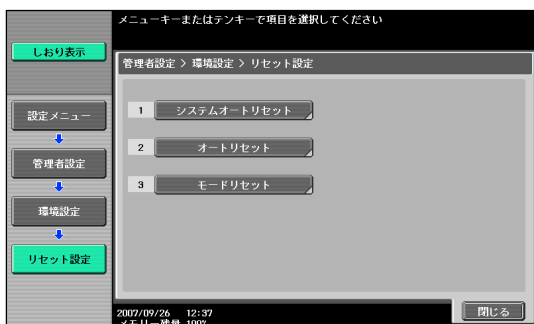


詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[環境設定]の場合は、テンキーで【1】を入力します。

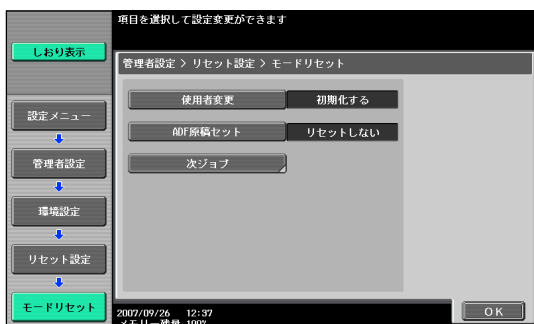
4

「モードリセット」を押します。



5

「次ジョブ」を押します。



6

「送信後設定解除」を押して「宛先のみ解除」または「ユーザーに確認」を押します。



7

「OK」を押します。
設定が変更されます。

8

ファクス / スキャン画面に戻るまで、「閉じる」を押します。

9.11 スタンプを印字する設定をする（スタンプ設定）

ファイリングナンバー機能、スタンプ / ページ印字機能を、ファクス送信時に使用する場合に設定します。

- ファクス送信設定：解除する* / 解除しない
 - 解除する：ファクス送信原稿はスタンプの設定が適用されずに送信されます。
 - 解除しない：ファクス送信原稿にもスタンプの設定が適用されて送信されます。

*はお買い上げ時の初期値です。

■ スタンプ設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

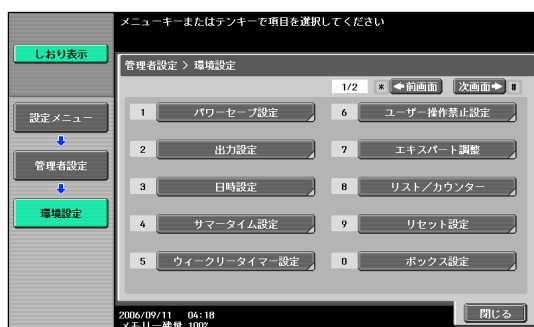
2

「環境設定」を押します。



3

「次画面→」を押します。



ファイリングナンバー機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」を、スタンプ / ページ印字機能については、「ユーザーズガイド ネットワーク / スキャナー機能編」をごらんください。

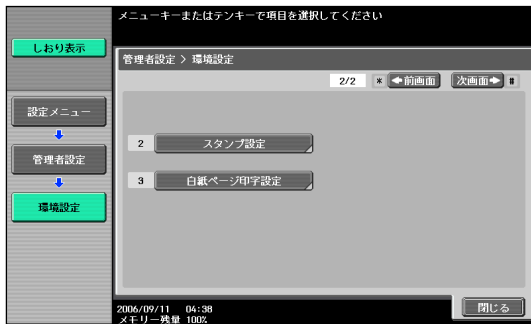


詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[環境設定] の場合は、テンキーで【1】を入力します。

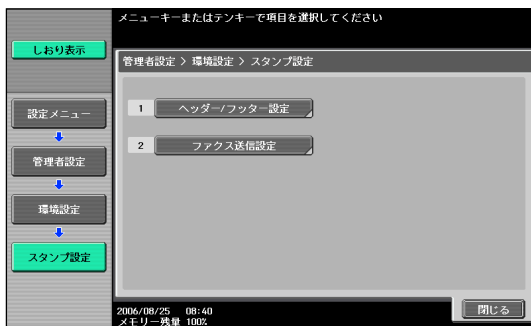
4

「スタンプ設定」を押します。



5

「ファクス送信設定」を押します。



6

「解除しない」を押します。



7

「OK」を押します。

設定が変更されます。

8

ファクス/スキャン画面に戻るまで、「閉じる」を押します。

9.12 宛先情報を保護する（参照許可設定）

宛先情報を保護する宛先レベルの設定をします。

- グループ登録：1 ～ 20
 - 宛先レベル設定で使用するグループを登録します。
- 宛先レベル設定：レベル 0 * ～レベル 5、参照許可グループ
 - 短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先の宛先レベルを設定します。

* はお買い上げ時の初期値です。

■ グループ登録をするには

宛先レベル設定で使用するグループを登録します。

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

「ユーザー認証 / 部門管理」を押します。

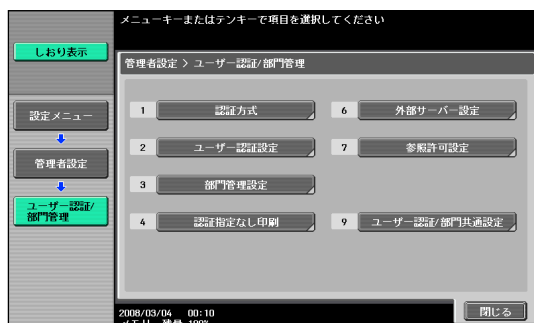


詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。
「ユーザー認証 / 部門管理」の場合は、テンキーで【4】を入力します。

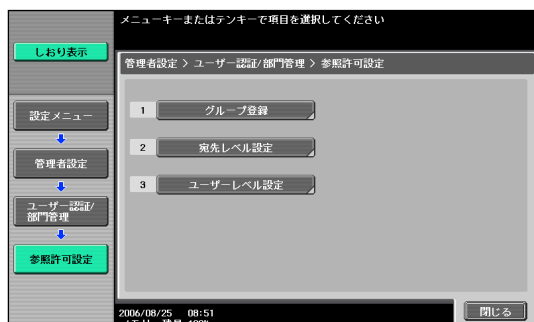
3

「参照許可設定」を押します。



4

「グループ登録」を押します。



5

登録されていないグループキーを押します。

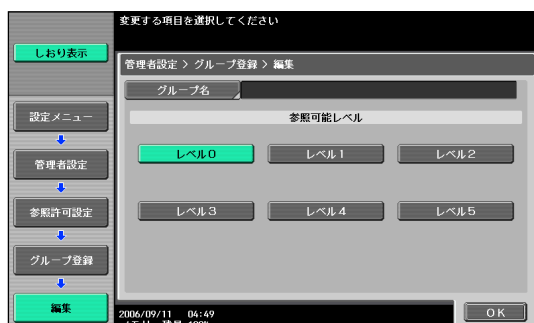


6

「編集」を押します

7

「グループ名」を押します。



ひとこと

登録されているグループキーを押し、「詳細」を押すと、グループキーの詳細を確認できます。

8

グループ名を入力し、[OK] を押します。



9

「参照可能レベル」を選択します。

10

[OK] を押します。

グループが登録されます。

11

[OK] を押します。

○ 登録を続けるときは、手順 5 に戻ります。

12

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

■ 宛先レベル設定をするには

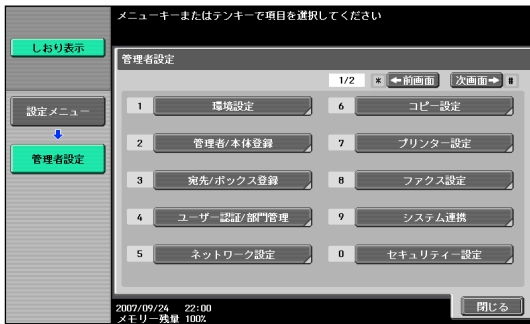
短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先の宛先レベルを設定します。

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

「ユーザー認証 / 部門管理」を押します。

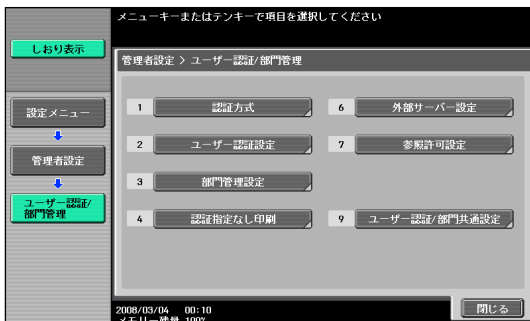


詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。
「ユーザー認証 / 部門管理」の場合は、テンキーで【4】を入力します。

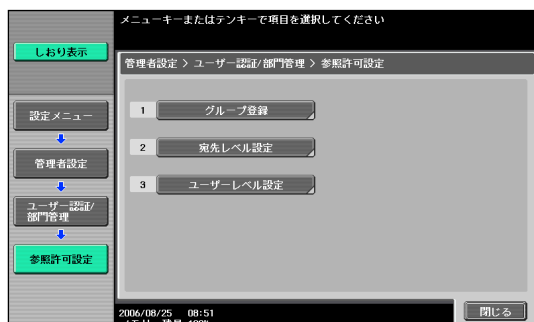
3

「参照許可設定」を押します。



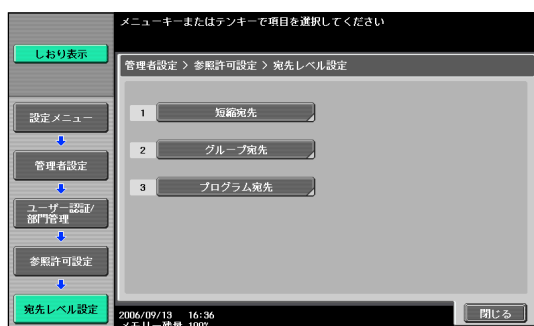
4

「宛先レベル設定」を押します。



5

宛先レベル設定をしたい宛先の種類を選択します。



6

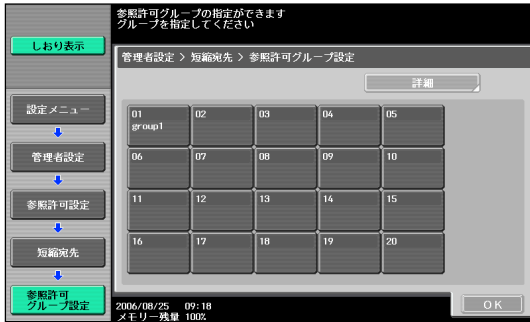
宛先レベル設定をしたい宛先をリストから選択します。



7

宛先レベルを設定します。

- [グループ登録] で登録した宛先レベルをグループとして設定する場合は、[参照許可グループ設定] を押し、グループキーを押して、[OK] を押しします。



- 宛先レベルを設定する場合は、[参照許可レベル設定] を押し、レベルキーを押して、[OK] を押しします。



宛先レベルが設定されます。

8

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押しします。

9.13 管理者の電子メールアドレスを登録する（管理者登録）

管理者名、管理者の電子メールアドレス、内線番号を入力します。電子メールアドレスは、SIP ファクス /IP アドレスファクスの From アドレスとして使用します。

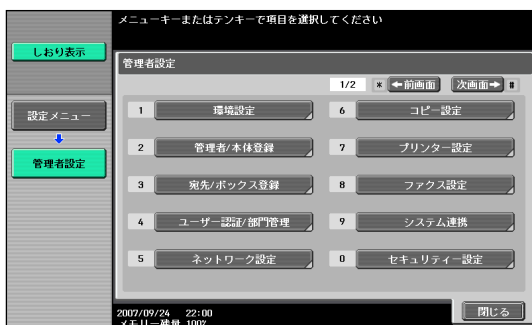
■ 管理者登録をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

「管理者 / 本体登録」を押します。



詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[管理者 / 本体登録] の場合は、テンキーで【2】を入力します。

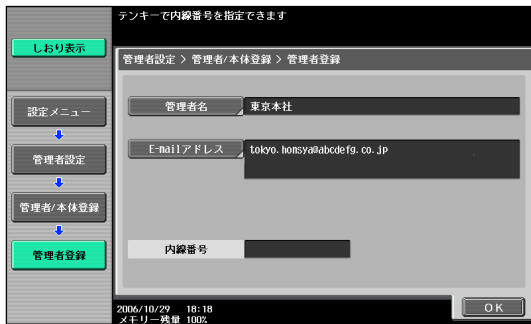
3

「管理者登録」を押します。



4

必要な項目を設定し、[OK] を押します。



設定が変更されます。

5

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

9.14 本体の E-mail アドレスを登録する（本体アドレス登録）

インターネットファクスで使用する本機の電子メールアドレスを設定します。インターネットファクス送信のときは、相手先受信時に「E-mail アドレス」が From アドレスに、「装置名」が件名の一部になります（「Message from（装置名）」）。

■ 本体アドレス登録をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

「管理者 / 本体登録」を押します。



詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[管理者 / 本体登録] の場合は、テンキーで【2】を入力します。

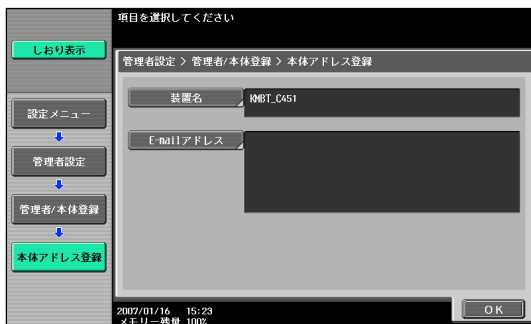
3

「本体アドレス登録」を押します。



4

必要な項目を設定し、[OK] を押します。



設定が変更されます。

5

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

9.15 TCP/IP を設定する (TCP/IP 設定)

本機をネットワーク環境で使用するために設定します。

- TCP/IP 設定：使用する * / 使用しない

* はお買い上げ時の初期値です。



- ・ 詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク／スキャナー機能編」をごらんください。
- ・ SIP-FAX アダプタの設定については、SIP-FAX アダプタの取扱説明書をごらんください。



必ず守ってください

SIP ファックスを使用する場合は、TCP/IP 設定を SIP-FAX アダプタの設定と合わせる必要があります。設定を変更する場合は、本機と SIP-FAX アダプタ両方で変更する必要がありますのでご注意ください。



詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。
[ネットワーク設定] の場合は、テンキーで【5】を入力します。

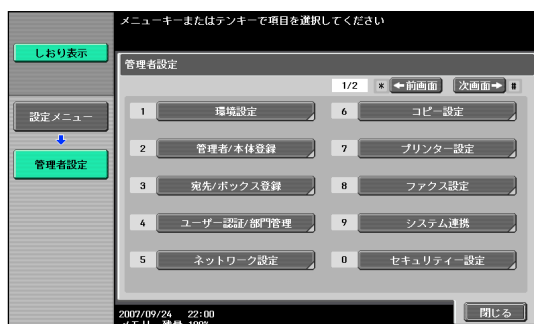
■ TCP/IP 設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」(p. 9-3) を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

[ネットワーク設定] を押します。



3

[TCP/IP 設定] を押します。



4

「[使用する]」を押して、「[IP 設定]」を押します。

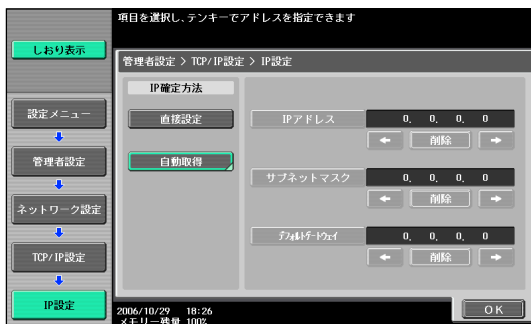


詳しく説明します

詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク/スキャナー機能編」をごらんください。

5

必要な項目を設定し、「[OK]」を押します。



本機を再起動するメッセージが表示されます。

6

本機の主電源を OFF/ON して再起動します。

詳しく説明します

本機の主電源を OFF して、10 秒以上待ってから、電源を ON してください。

9.16 E-mail 送信を設定する (E-mail 送信 (SMTP))

E-mail 送信 (SMTP) を設定します。

- E-mail 送信 (SMTP) : 使用する * / 使用しない
 - E-mail 送信 (SMTP) を使用するかどうかを設定します。
- E-mail 送信
 - 使用する * / 使用しない
- SMTP サーバーアドレス : SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
- 接続タイムアウト : 30 ~ 300 (60 秒 *)
 - 接続タイムアウトを設定します。
- サーバー容量 : 1 ~ 100Mbyte / 無制限 *
 - SMTP サーバーが受信できる電子メール 1 通あたりの最大容量を設定します。
- ポート番号 : 1 ~ 65535 (25 *)
 - ポート番号を設定します。
- SSL 設定 : SMTP over SSL / Start TLS / 使用しない *
 - インターネットファクス送信時に SSL を使用するかどうかを設定します。SSL を使用すると通信内容が暗号化されます。
[SMTP over SSL] または [Start TLS] にした場合、[ポート番号 (SSL)] (1 ~ 65535 (465 *)) を設定します。
- SMTP 認証 : 使用する / 使用しない *
 - SMTP 認証を行うかどうかおよび POP Before SMTP の設定をします。
[使用する] にした場合、以下の設定をします。
SMTP 認証の設定
POP before SMTP 認証 : 使用する / 使用しない *
POP before SMTP 時間 : 0 ~ 60 (5 秒 *)

* はお買い上げ時の初期値です。

ひとこと

・ E-mail 送信 (SMTP) の他の設定項目は、インターネットファクスでは使用しません。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク/スキャナー機能編」をごらんください。
・ インターネットファクスは、「バイナリ分割」が [使用する] に設定されていても、分割送信しません。

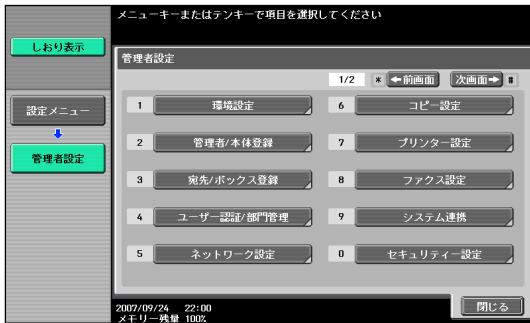
■ E-mail 送信 (SMTP) 設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」(p. 9-3)を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

「ネットワーク設定」を押します。



3

「E-mail 設定」を押します。



4

「E-mail 送信 (SMTP)」を押します。



詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。
[ネットワーク設定] の場合は、テンキーで【5】を入力します。

5

必要な項目を設定します。



ひとこと

次の画面を表示したい場合は「次画面→」、前の画面を表示したい場合は「←前画面」を押します。

6

「OK」を押します。

設定が変更されます。

7

ファクス/スキャン画面に戻るまで、「閉じる」を押します。

9.17 E-mail 受信を設定する (E-mail 受信 (POP))

E-mail 受信 (POP) を設定します。

- E-mail 受信 (POP) : 使用する * / 使用しない
 - E-mail 受信を使用するかどうかを設定します。
- POPサーバーアドレス: POPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を設定します。
- 接続タイムアウト: 30 ~ 300 (30 秒 *)
 - 接続タイムアウトを設定します。
- ポート番号: 1 ~ 65535 (110 *)
 - ポート番号を設定します。
- ログイン名: POPサーバーへのログイン名を設定します。
- パスワード: POPサーバーへログインするためのパスワードを設定します。
- APOP 認証: ON / OFF *
 - APOP 認証を設定します。
- 自動到着チェック: する / しない *
[する] にした場合、以下の設定をします。
ポーリング間隔: 1 ~ 60 (15 分 *)
 - 電子メールの自動取得を行うかどうかを設定します。

* はお買い上げ時の初期値です。

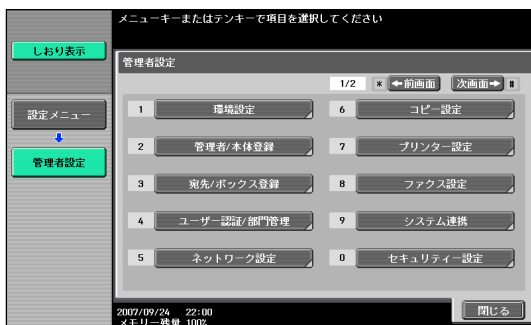
■ E-mail 受信 (POP) 設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」(p. 9-3) を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

[ネットワーク設定] を押します。



詳しく説明します

E-mail 受信 (POP) の他の設定項目は、インターネットファクスでは使用しません。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク / スキャナー機能編」をご覧ください。

詳しく説明します

[自動到着チェック] は、[インターネットファクス機能] が [ON] の場合のみ動作します。

詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。
[ネットワーク設定] の場合は、テンキーで【5】を入力します。

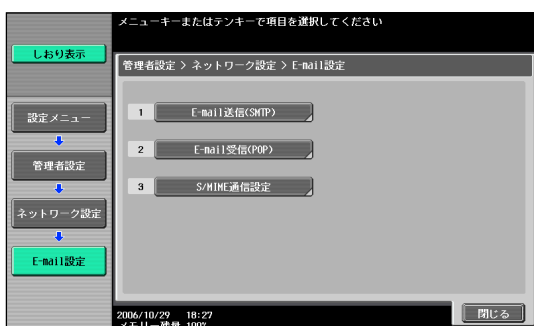
3

[E-mail 設定] を押します。



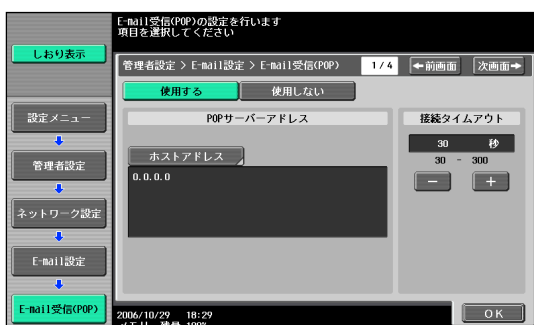
4

[E-mail 受信 (POP)] を押します。



5

必要な項目を設定します。



6

[OK] を押します。

設定が変更されます。

7

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

ひとこと

次の画面を表示したい場合は [次画面→]、前の画面を表示したい場合は [←前画面] を押します。

9.18 ネットワークファクス機能を有効にする（ネットワークファクス機能設定）

インターネットファクス機能、SIP ファクス機能または IP アドレスファクス機能を利用する場合に設定します。

- IP アドレスファクス機能：ON/OFF *
 - IP アドレスファクス機能を利用する場合に ON にします。
- SIP ファクス機能：ON/OFF *
 - SIP ファクス機能を利用する場合に ON にします。
ON にした場合は、SIP-FAX アダプタの IP アドレスとポート番号を設定します。
- インターネットファクス機能：ON/OFF *
 - インターネットファクス機能を利用する場合に ON にします。

* はお買い上げ時の初期値です。

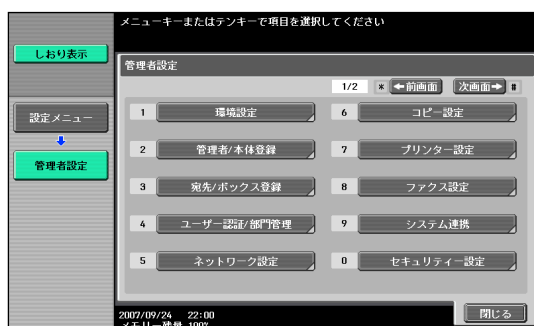
■ ネットワークファクス機能設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

「ネットワーク設定」を押します。



詳しく説明します

IP アドレスファクス機能および SIP ファクス機能を利用するには、オプションのファクスキットが必要になります。
オプションのファクスキットについては、最寄りのサービス実施店へお問い合わせください。

詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。
[ネットワーク設定] の場合は、テンキーで【5】を入力します。

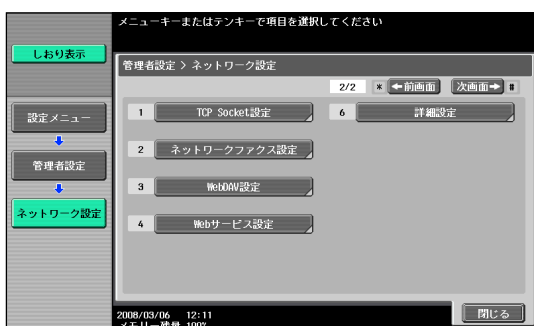
3

[次画面→] を押します。



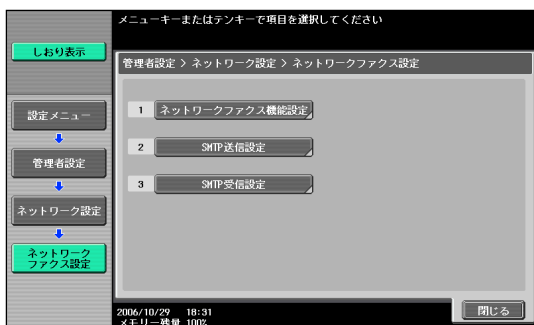
4

[ネットワークファクス設定] を押します。



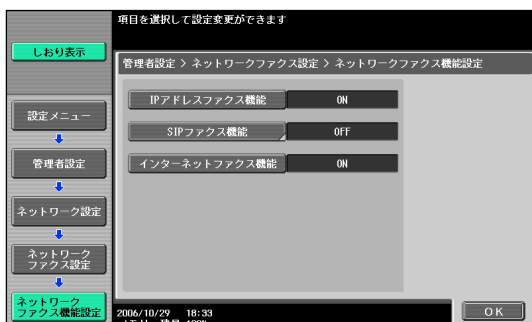
5

[ネットワークファクス機能設定] を押します。



6

設定したい項目を選択して〔ON〕を選択します。

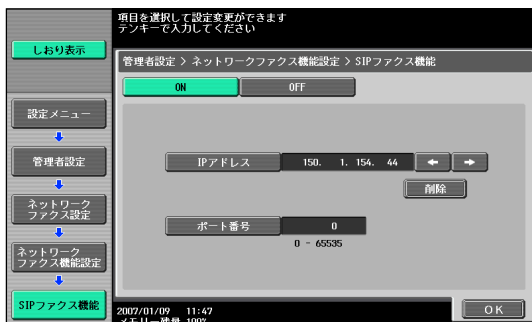


詳しく説明します

オプションの設定によって表示されない項目があります。

7

SIPファクス機能をONにした場合は、SIP-FAXアダプタのIPアドレスとポート番号を設定して、〔OK〕を押し、本機を再起動します。



9.19 SMTP 送受信の設定をする（ネットワークファクス設定）

SIP ファクス /IP アドレスファクスの SMTP 送受信に関する項目を設定します。

- SMTP 送信設定
 - ポート番号：SMTP 送信時のポート番号を設定します。：1～65535（25*）
 - 接続タイムアウト：SMTP 送信時の接続タイムアウト時間を設定します。：30～300（60 秒*）
- SMTP 受信設定：使用する* / 使用しない
 - SMTP 受信機能を、使用するかどうかを設定します。
[使用する] にした場合、以下の設定をします。
- ポート番号：1～65535（25*）
 - SMTP 受信時のポート番号を設定します。
- 接続タイムアウト：5～1000 秒（300 秒*）
 - SMTP 受信時の接続タイムアウト時間を設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

■ SMTP 送受信の設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

「ネットワーク設定」を押します。



詳しく説明します

ポート番号の設定は、IP アドレスファクス使用時のみ有効です。SIP ファクス使用時は、この設定は無効で、ポート番号は 25 固定です。

詳しく説明します

ポート番号の設定は、IP アドレスファクス使用時のみ有効です。SIP ファクス使用時は、この設定は無効で、ポート番号は 25 固定です。

詳しく説明します

ネットワークファクス機能設定については、「ネットワークファクス機能を有効にする（ネットワークファクス機能設定）」（p. 9-55）をごらんください。

詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。
[ネットワーク設定] の場合は、テンキーで【5】を入力します。

3

「次画面→」を押します。



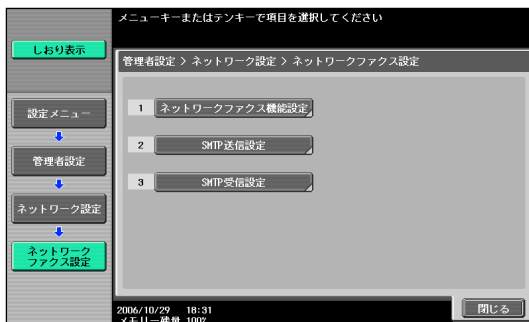
4

「ネットワークファクス設定」を押します。



5

「SMTP 送信設定」または「SMTP 受信設定」を押します。



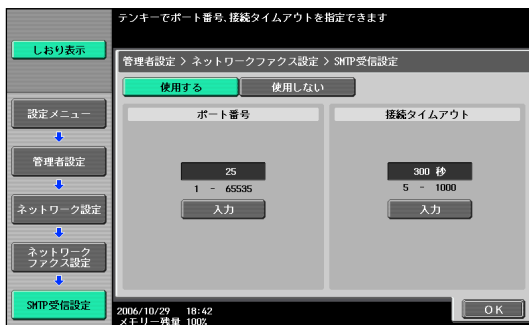
6

必要な項目を設定します。

○ [SMTP 送信設定] の場合



○ [SMTP 受信設定] の場合



7

[OK] を押します。

設定が変更されます。

8

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

9.20 発信元名とファクス ID を登録する（発信元 / ファクス ID 登録）

発信元名とファクス ID を登録します。

- 発信元：全角 15 文字（半角 30 文字）以内
 - 相手の受信文書に発信元情報として印字するための自局名称を複数登録できます。
- ファクス ID：0 ～ 9、+、スペース、*、# を使って 20 文字以内
 - 登録したファクス ID が相手側の受信文書に発信元情報として印字されます。

■ 発信元 / ファクス ID 登録するには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

「ファクス設定」を押します。



3

「発信元 / ファクス ID 登録」を押します。

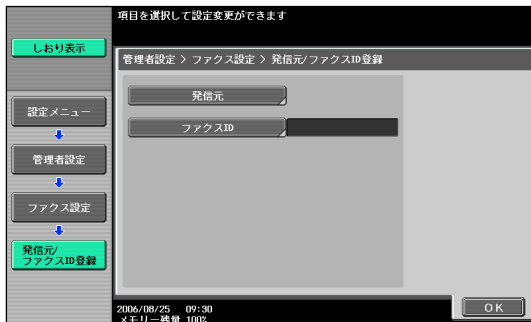


詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。
「ファクス設定」の場合は、テンキーで【8】を入力します。

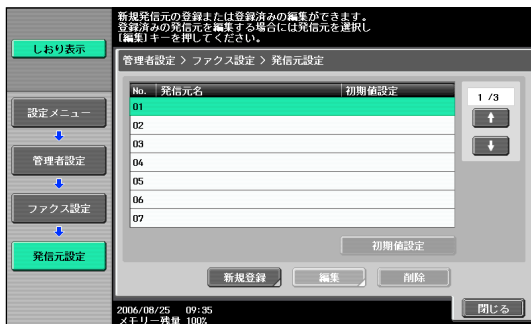
4

「発信元」を押します。



5

登録したいリストを選択して、「新規登録」を押し、発信元名を入力して「OK」を押します。



発信元名が登録されます。

6

発信元設定リストに、発信元が複数等登録されている場合は、「初期値設定」を押して、初期値を設定します。

7

「閉じる」を押します。

8

「ファクス ID」を押します。

ひとこと

- ・ 次のページまたは前のページを表示したい場合は、[↓] または [↑] を押します。
- ・ すでに登録されている発信元設定を修正する場合は、「編集」を押します。
- ・ すでに登録されている発信元設定を削除する場合は、「削除」を押します。
- ・ 発信元名は 20 件まで登録できます。
- ・ 登録した発信元名は、送信時に読込設定画面から選択できます。詳しくは、「発信元情報のつけ方を指定する（ファクス発信元設定）」(p. 6-47) をご覧ください。



文字入力の操作については、「文字を入力するには」(p. 11-3) をご覧ください。



詳しく説明します

ここで初期値に設定した発信元は、「通信設定」の「ファクス発信元設定」での初期値となります。

9

テンキー、[+]、[スペース]、[←]、[→]、を使って
ファクス ID を入力し、[OK] を押します。



- [+]：+が入力されます。
- [スペース]：スペースが入力されます。
- [←]：カーソルが左に移動します。
- [→]：カーソルが右に移動します。
- [削除]：カーソルの位置の文字が 1 文字ずつ削除されます。カーソルが右端にある場合、後端から削除されます。

ファクス ID が設定されます。

10

[OK] を押します。

11

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

ひとこと

入力した文字を全て削除する場合は、操作パネルの【C】を押します。

9.21 発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報）

発信元 / 受信情報の記録方法を設定します。

発信元情報、受信情報の記録方法には、それぞれ次の種類があります。

- 発信元情報
 - 原稿内：発信元情報が原稿に上書きして印字されます。
 - 原稿外*：原稿の外側に発信元情報が印字されます。
 - OFF：発信元情報は印字されません。

- 受信情報
 - 原稿内：受信時刻と受信番号が受信文書に上書きして印字されます。
 - 原稿外：受信文書の下部に受信時刻と受信番号が印字されます。
 - OFF*：受信情報は印字されません。

*はお買い上げ時の初期値です。

■ 発信元 / 受信情報設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

詳しく説明します

インターネットファクス / SIP ファクス / IP アドレスファクスでは、[原稿外] は使用できません。[原稿外] に設定されていても、発信元情報は原稿内に付加されます。

詳しく説明します

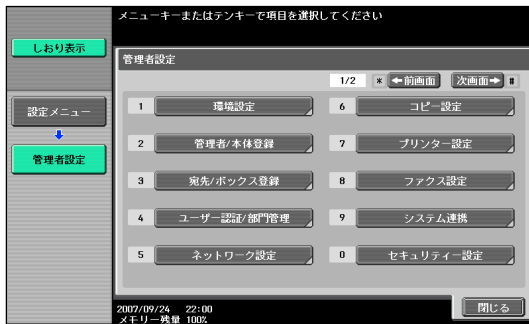
SIP ファクス / IP アドレスファクスのカラーモードでは、[原稿外] は使用できません。[原稿外] に設定されていても、受信情報は原稿内に付加されます。

詳しく説明します

- ・ 発信元情報は、相手側の受信文書に印字されます。詳しくは「発信元情報について」（p. 2-59）をごらんください。
- ・ 受信情報については、「受信情報について」（p. 3-12）をごらんください。

2

「ファクス設定」を押します。

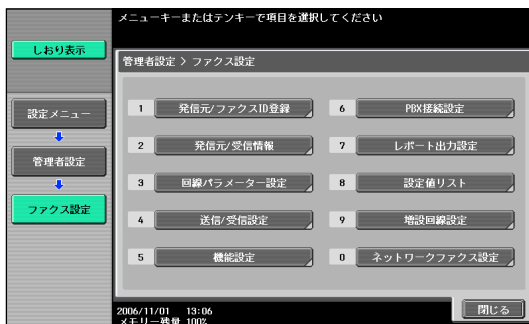


詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。
「ファクス設定」の場合は、テンキーで【8】を入力します。

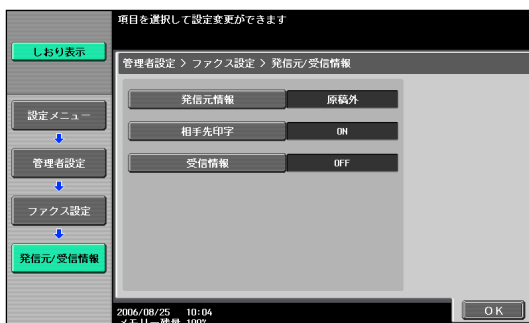
3

「発信元 / 受信情報」を押します。



4

設定したい項目を選択します。



5

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。



6

[OK] を押します。

設定が変更されます。

7

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

9.22 発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）

SIP ファクス / IP アドレスファクス使用時は、オートリダイヤル回数、オートリダイヤル間隔を設定します。

これらは通常のファクス機能と共用します。その他の設定項目は、SIP ファクス / IP アドレスファクスでは使用しません。

- オートリダイヤル回数：0 ～ 7 回（3 回*）
 - 相手が話し中などで応答できない場合にリダイヤルする回数を設定します。
- オートリダイヤル間隔：1 ～ 15 分（3 分*）
 - リダイヤルの間隔を設定します。

* はお買い上げ時の初期値です。

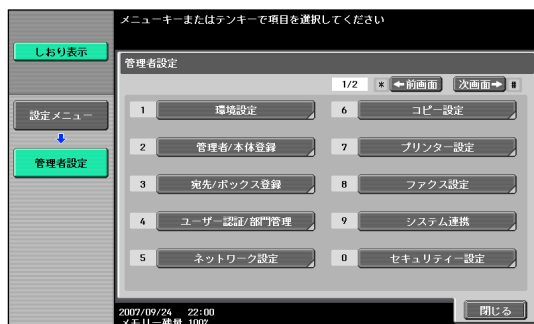
■ 回線パラメーター設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

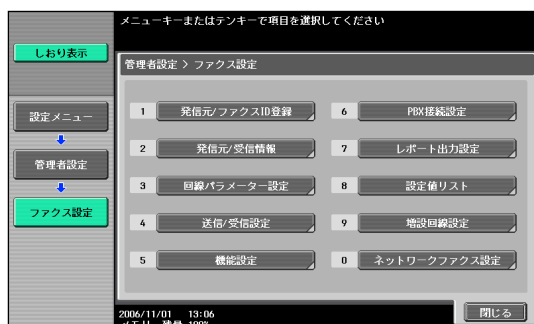
2

「ファクス設定」を押します。



3

「回線パラメーター設定」を押します。



詳しく説明します

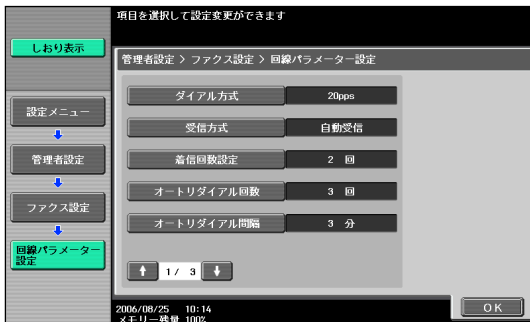
回線パラメーター設定の他の項目については、「ユーザーズガイド ファクス機能編」をごらんください。

詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。
「ファクス設定」の場合は、テンキーで【8】を入力します。

4

設定したい項目を選択します。

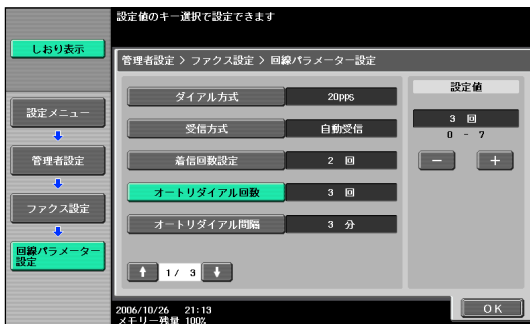


詳しく説明します

次のページまたは前のページを表示したい場合は、[↓] または [↑] を押します。

5

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。



詳しく説明します

「回線モニター音レベル」を変更するには、「回線モニター音レベル」を押して、「小さく」または「大きく」を押して、レベルを設定し、「OK」を押します。

6

[OK] を押します。
設定が変更されます。

7

ファクス / スキャン画面に戻るまで、「閉じる」を押します。

9.23 送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）

受信時のプリント方法を設定します。

- 受信原稿両面印刷：ON / OFF *
 - [ON] に設定すると、受信原稿が用紙の両面にプリントされます。
- インチ系用紙優先選択：ON / OFF *
 - [ON] に設定すると受信原稿の記録用紙にインチ系用紙を優先的に選択します。
- 記録用紙優先選択：自動選択* / サイズ固定 / サイズ優先
 - サイズ優先を設定した場合：
優先サイズに記録されます。優先サイズが設定されていない場合は、もっとも近いサイズに記録されます。
 - サイズ固定を設定した場合：
設定したサイズだけに記録されます。
- 記録用紙サイズ^{*1}：A3 / B4 / A4 * / 8¹/₂ × 11 / 8¹/₂ × 14 / 11 × 17
 - 受信文書を出力する用紙サイズを設定します。
初期設定は「インチ系用紙優先選択」の設定によって異なります。
- 給紙トレイ固定^{*2}：自動* / トレイ1 / トレイ2 / トレイ3 / トレイ4
 - 受信文書の出力に使用する用紙トレイを固定したい場合に用紙トレイを設定します。
- 縮小率^{*3}：87 ~ 96% * / 等倍
 - 受信原稿の出力倍率を設定します。
カラーモードで受信する場合は、常に等倍で記録されます。



[ページ分割記録] が [ON] の場合には表示されません。



^{*1} 「記録用紙サイズ」の設定を有効にするには、[給紙トレイ固定] を [自動] に設定してください。



^{*2} トレイの種類は、装着しているオプションにより異なります。



^{*3} 記録時の [縮小率] を [等倍] に設定した場合は、[記録用紙優先選択]、[給紙トレイ固定] 機能の設定は [自動] となります。また、ページ分割記録は [OFF] となります。

- ページ分割記録^{*4}：ON / OFF^{*}
 - [ON] に設定すると定形サイズより長い原稿を受信した場合に、ページ分割して記録されます。
カラーモードで受信する場合は、ページ分割記録は使用できません。
- 受信印刷部数：1^{*}～10
 - 受信した文書をプリントする部数を設定します。

^{*}はお買い上げ時の初期値です。

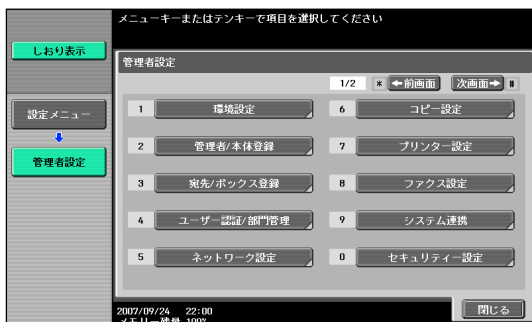
■ 送信 / 受信設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

「ファクス設定」を押します。



3

「送信 / 受信設定」を押します。



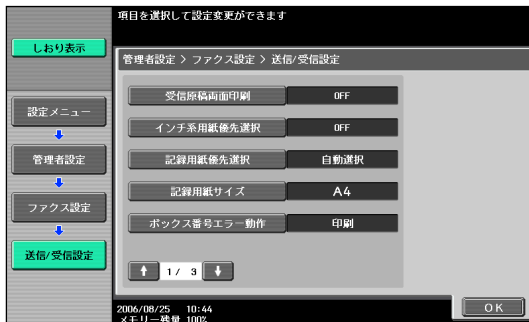
^{*4} [ページ分割記録] は、[受信原稿両面印刷] が [ON] の場合には表示されません。



・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。
[ファクス設定] の場合は、テンキーで【8】を入力します。

4

設定したい項目を選択します。

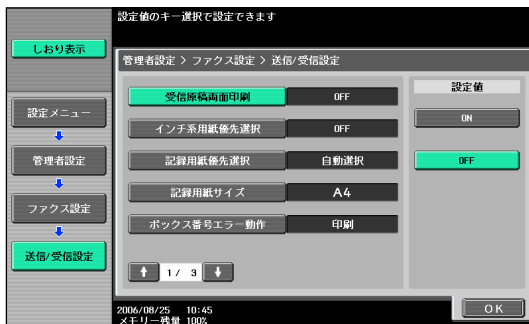


詳しく説明します

次のページまたは前のページを表示したい場合は、[↓] または [↑] を押します。

5

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。



6

[OK] を押します。
設定が変更されます。

7

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

9.24 機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）

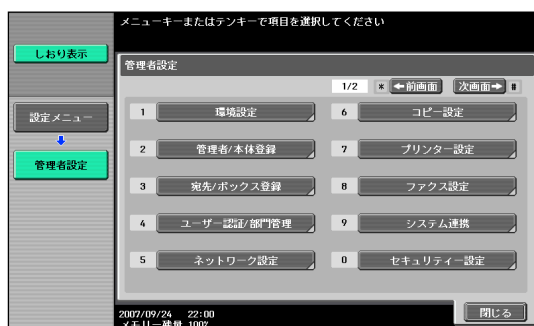
ネットワークファクスの送受信に関する機能の ON/OFF を設定します。

- 宛先確認表示機能：ON/ OFF *
 - ファクス送信時に、指定した宛先一覧を表示するかどうかを設定します。
- 宛先 2 度入力機能（送信）：ON / OFF *
 - 直接入力でファクス宛先を指定する場合、確認のため宛先をもう一度入力する画面が表示されます。2 回入力することで、宛先間違いを防ぐことができます。
- 宛先 2 度入力機能（登録）：ON / OFF *
 - 短縮宛先登録でファクス宛先を指定する場合、確認のため宛先をもう一度入力する画面が表示されます。2 回入力することで、宛先の登録間違いを防ぐことができます。

* はお買い上げ時の初期値です。

■ 機能 ON/OFF 設定をするには

- 1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。
- 2 「ファクス設定」を押します。



詳しく説明します

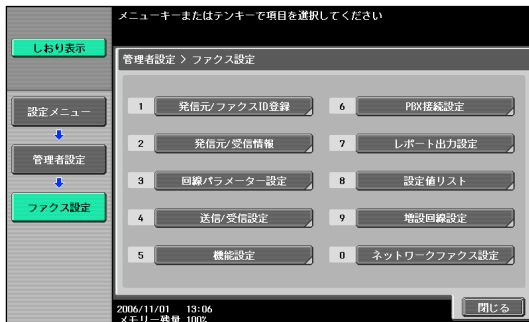
宛先確認表示機能、宛先 2 度入力機能（送信）、宛先 2 度入力機能（登録）以外の項目は、ネットワークファクスでは使用しません。詳しくは、「ユーザーズガイド ファクス機能編」をごらんください。

詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。
「ファクス設定」の場合は、テンキーで【8】を入力します。

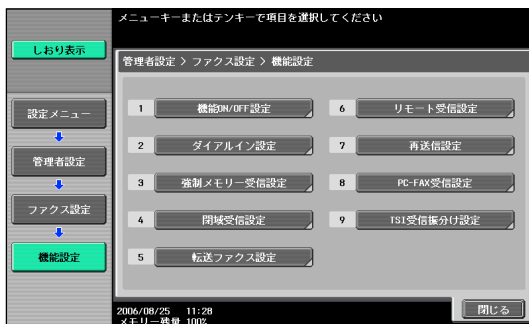
3

[機能設定] を押します。



4

[機能 ON/OFF 設定] を押します。



詳しく説明します

[強制メモリー受信設定]、
[転送ファクス設定]、[PC-
FAX 受信設定]、[TSI 受信
振分け設定] のいずれかの
機能が有効の場合、他の項
目は表示されません。

5

設定したい項目を選択します。



6

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。



7

[OK] を押します。

設定が変更されます。

8

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

9.25 強制メモリー受信を設定する（強制メモリー受信設定）

強制メモリー受信機能を使用するかどうかを設定します。有効に設定した場合は、プリント時に使用するパスワードを8桁以内で設定します。

強制メモリー受信とは、受信した文書をすぐにプリントせず、いったんメモリーに蓄積し、指示をしてからプリントする機能です。

- 強制メモリー受信設定：（パスワードを8桁以内で設定）/ しない*

*はお買い上げ時の初期値です。

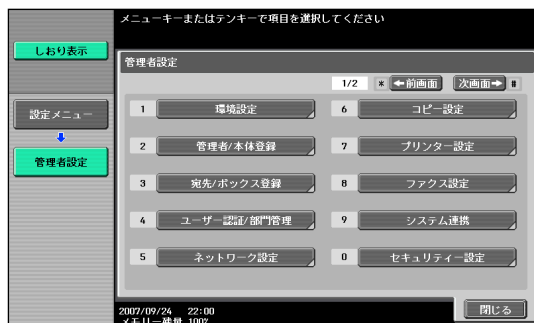
■ 強制メモリー受信設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

「ファクス設定」を押します。



詳しく説明します

- ・ [強制メモリー受信設定] を [ON] に設定した場合、[PC-FAX 受信設定]、[TSI 受信振分け設定]、[転送ファクス設定] は使用できません。
- ・ 強制メモリー受信した文書のプリント方法などについては、「強制メモリー受信した文書を取り扱う」（p. 7-2）をごらんください。

詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[ファクス設定] の場合は、テンキーで【8】を入力します。

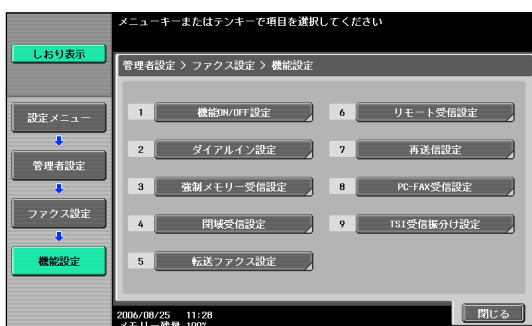
3

「機能設定」を押します。



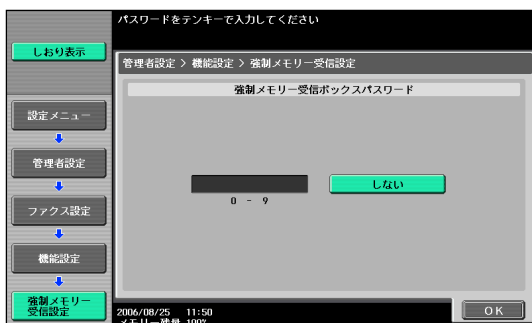
4

「強制メモリー受信設定」を押します。



5

「しない」を押し、パスワード入力欄にカーソルが表示されているのを確認してから、プリント時に入力するパスワード（8桁以内）を入力します。

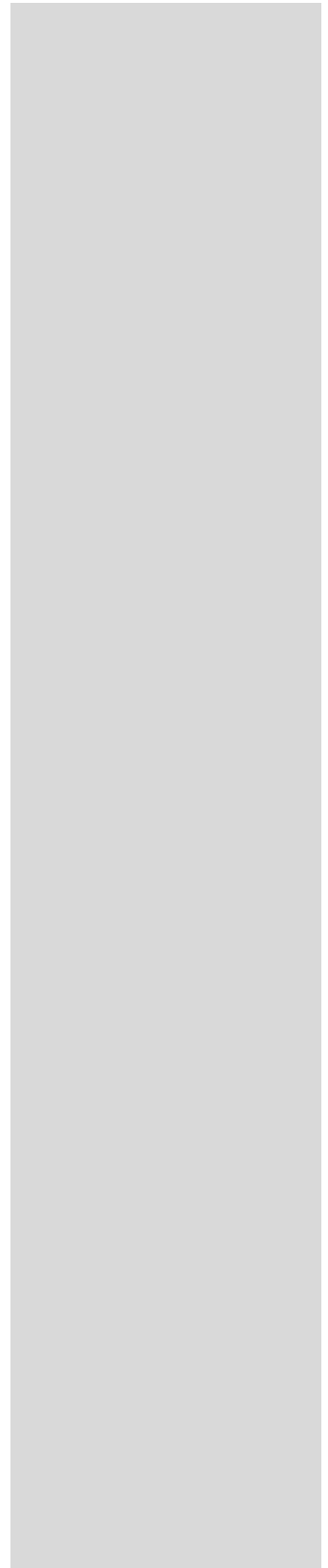


6

「OK」を押します。
設定が変更されます。

7

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。



9.26 レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）

レポートのプリント方法を設定します。

- 通信管理レポート：ON * / OFF
[ON] に設定した場合は、以下の設定をします。
出力設定：毎日 / 100 通信毎 * / 100 / 毎日
[毎日] または [100/ 毎日] に設定した場合は、以下の設定をします。
出力時刻設定：00:00 ～ 23:59 (9:00*)
 - 通信管理レポートをプリントするかどうか、また、いつプリントするかを設定します。
[毎日] に設定した場合は、毎日の定時にプリントされます。
[100/ 毎日] に設定した場合は、前回出力時から 100 通信完了時に最新の 100 通信分がプリントされます。また毎日の定時にもプリントされます。
- 送信結果レポート：常時 / エラー時のみ * / OFF
 - 送信結果レポートをプリントするかどうか、また、いつプリントするかを設定します。
- 順次通信結果レポート：ON * / OFF
 - 順次通信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。
- 同報結果レポート出力：全宛先一括 * / 一宛先毎
 - 同報送信結果レポートのプリント方法を設定します。
- 送信結果レポート画面 *¹：表示する / 表示しない *
 - 送信結果レポートの選択画面を表示するかどうかを設定します。[表示する] に設定すると、送信のたびに表示されます。
- ネットワークファクス受信エラーレポート：ON * / OFF
 - ネットワークファクス受信エラーレポートをプリントするかどうかを設定します。
- MDN メッセージ：ON * / OFF
 - MDN メッセージを自動的にプリントするかどうかを設定します。
- DSN メッセージ：ON / OFF *
 - DSN メッセージを自動的にプリントするかどうかを設定します。



詳しく説明します

レポート出力設定の他の項目については、ネットワークファクスでは使用しません。詳しくは、「ユーザーズガイド ファクス機能編」をごらんください。



詳しく説明します

[1 宛先毎] 選択時は、リダイヤルを行っても送信できない場合にのみ、同報送信結果レポートを出力します。送信が正常に終了した場合は出力しません。



詳しく説明します

*¹ [送信結果レポート画面] で [表示する] に設定した場合は、ファクス送信時に表示された画面で [はい] を押すと送信結果レポートがプリントされます。[いいえ] を押すとプリントされません。

- 正常受信メール本文印刷：ON * / OFF
 - 受信した電子メールの本文を自動的にプリントするかどうかを設定します。

* はお買い上げ時の初期値です。

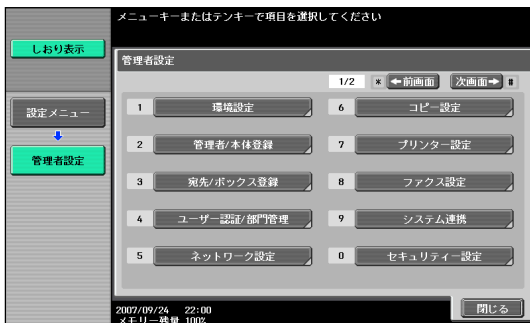
■ レポート出力設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

「ファクス設定」を押します。



詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。
「ファクス設定」の場合は、テンキーで【8】を入力します。

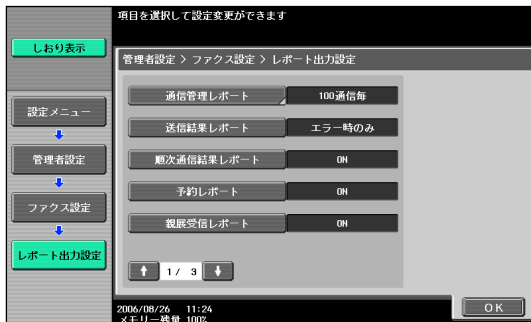
3

「レポート出力設定」を押します。



4

設定したい項目を選択します。



詳しく説明します

次の画面または前の画面を表示したい場合は、[↓] または [↑] を押します。

5

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。



6

[OK] を押します。
設定が変更されます。

7

ファクス/スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

9.27 ネットワークファクスの機能を設定する（ネットワークファクス設定）

ネットワークファクスの機能を設定します。

- 白黒 2 値圧縮方法：MMR * /MR/MH
 - モノクロ送信モード時の白黒 2 値圧縮方法を設定します。

- SIP アダプター接続確認：
 - SIP-FAX アダプタとの接続が正常かどうかを確認できます。

- インターネットファクス自機受信能力：
 - 圧縮形式：MMR/MR/MH
圧縮形式に関する受信能力を設定します。
 - 用紙サイズ：A3/B4/A4
用紙サイズに関する受信能力を設定します。
 - 解像度：200 × 100 dpi（普通） / 200 × 200 dpi（精細） / 400 × 400 dpi（高精細） / 600 × 600 dpi（超高精細）
解像度に関する受信能力を設定します。
[インターネットファクス拡張設定] > 「最高解像度」で [400 × 400 dpi（高精細）] が設定されている場合は、[600 × 600 dpi（超高精細）] は表示されません。

- インターネットファクス拡張設定：
 - MDN 要求：する * / しない
MDN 要求をするかどうかを設定します。
 - DSN 要求：する / しない *
DSN 要求をするかどうかを設定します。
 - MDN 応答：する * / しない
MDN 応答をするかどうかを設定します。
 - MDN/DSN 応答監視時間：1 ～ 99 / 監視しない（初期設定は 24 時間）
MDN/DSN の応答監視をするかどうかを設定します。
 - 最高解像度：
600 × 600 dpi（超高精細） * / 400 × 400 dpi（高精細）
最高解像度を設定します。

* はお買い上げ時の初期値です。



SIP ファクス機能が ON の場合のみ表示されます。



- ・ インターネットファクス機能が ON の場合のみ表示されます。
- ・ [インターネットファクス自機受信能力] で設定された値は、MDN 応答時に能力通知データとして相手機に送信されます。



- ・ インターネットファクス機能が ON の場合のみ表示されます。
- ・ MDN 要求、DSN 要求ともに [する] に設定されている場合は、MDN 要求のみ送信されます。

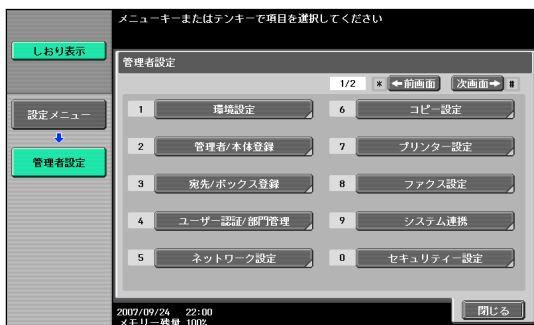
■ ネットワークファクス設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

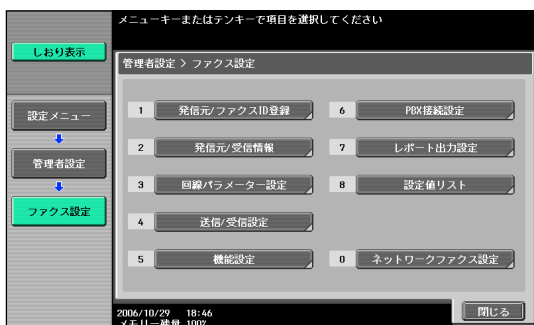
2

「ファクス設定」を押します。



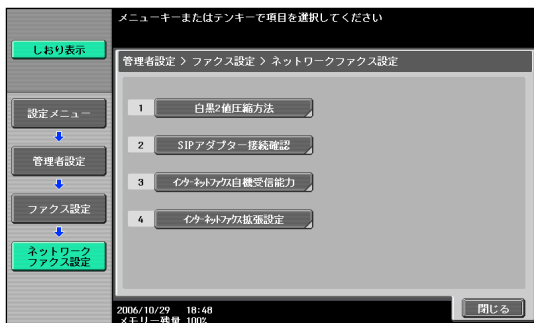
3

「ネットワークファクス設定」を押します。



4

設定したい項目を押します。



詳しく説明します

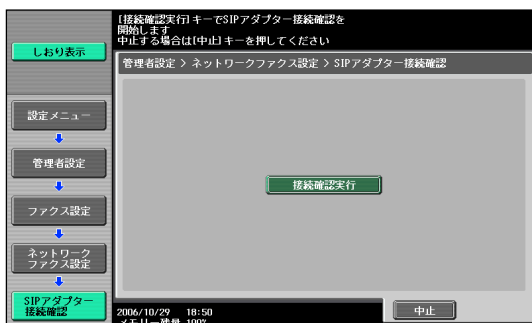
- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。
「ファクス設定」の場合は、テンキーで【8】を入力します。

○ [白黒2値圧縮方法] の場合



○ [SIP アダプター接続確認] の場合

「接続確認実行」を押して、SIP-FAX アダプタとの接続を確認します。



○ [インターネットファクス自機受信能力] の場合



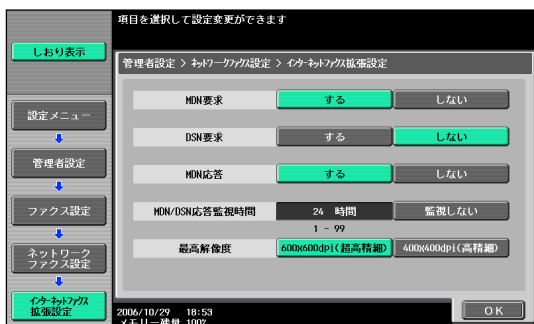
詳しく説明します

SIP-FAX アダプタとの接続確認が正常終了しなかった場合は、[SIP ファクス機能]にある SIP-FAX アダプタの IP アドレスとポート番号が正しいかどうか確認してください。
詳しくは、「ネットワークファクス機能を有効にする（ネットワークファクス機能設定）」（p. 9-55）をごらんください。

ひとこと

設定メニューの「インターネットファクス拡張設定」で「最高解像度」を「400 × 400（高精細）」に設定した場合は、「600 × 600（超高精細）」は表示されません。

○ [インターネットファクス拡張設定] の場合



5

必要な項目を設定して [OK] を押します。
設定が変更されます。

6

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

9.28 ファクス番号の直接入力を禁止する（手動宛先入力）

宛先の直接入力およびLDAP 検索を許可するかしないかを設定します。

- 手動宛先入力：許可* / 禁止

*はお買い上げ時の初期値です。

■ 手動宛先入力設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

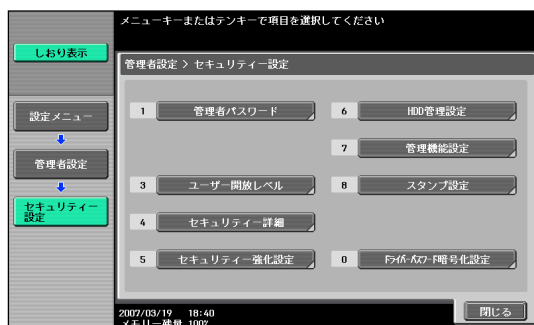
2 「セキュリティ設定」を押します。



詳しく説明します

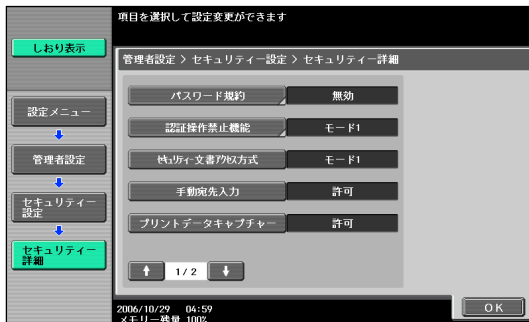
- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[セキュリティ設定]の場合は、テンキーで【0】を入力します。

3 「セキュリティ詳細」を押します。



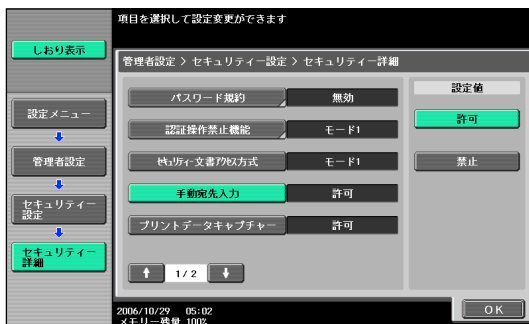
4

「手動宛先入力」を押します。



5

「禁止」を押します。



6

「OK」を押します。

ファクス番号の直接入力および宛先のLDAP検索が禁止されます。

7

ファクス/スキャン画面に戻るまで、「閉じる」を押します。

9.29 ファクス送信機能を禁止する（FAX 送信禁止）

ファクス送信を禁止するかしないかを設定します。

[FAX 送信禁止] を [ON] にすると、ファクス / スキャン画面でファクス機能が表示されなくなります。

- FAX 送信禁止：ON / OFF *

○ ファクスの送信機能を禁止します。

* はお買い上げ時の初期値です。

■ FAX 送信禁止設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」(p. 9-3) を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

[セキュリティ設定] を押します。



詳しく説明します

- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[セキュリティ設定] の場合は、テンキーで【0】を入力します。

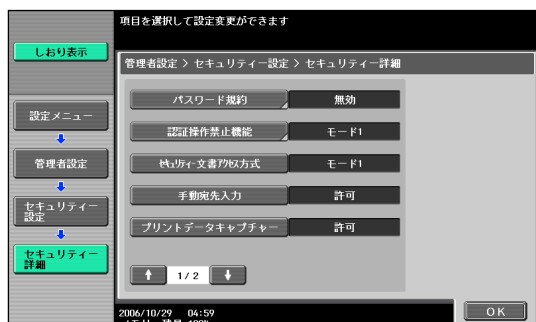
3

[セキュリティ詳細] を押します。



4

[↓] を押します。



5

[FAX 送信禁止] を押します。



6

[ON] を押します。



7

[OK] を押します。

ファクス送信機能が禁止されます。

8

ファクス/スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

9.30 ファクス番号を表示されないようにする（個人情報非表示）

ジョブ表示画面の履歴リストの宛先を表示するかしないかを設定します。

- 個人情報非表示：ON / OFF *

*はお買い上げ時の初期値です。

■ 個人情報非表示設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

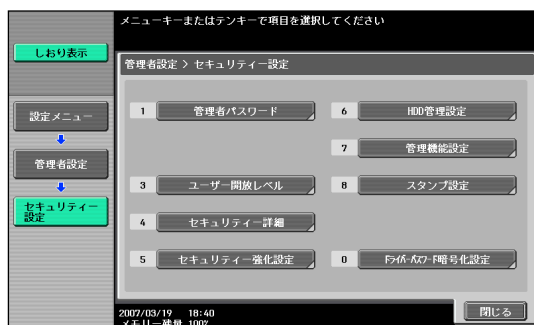
2 「セキュリティ設定」を押します。



詳しく説明します

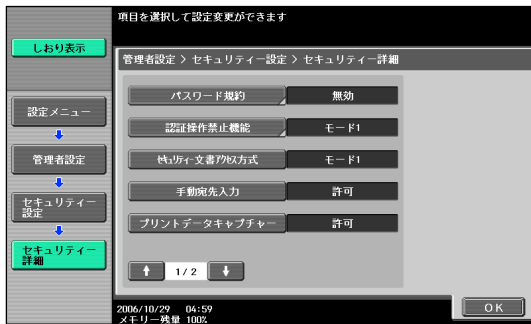
- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[セキュリティ設定]の場合は、テンキーで【0】を入力します。

3 「セキュリティ詳細」を押します。



4

[↓] を押します。



5

[個人情報非表示] を押します。



6

[ON] を押します。



7

[OK] を押します。

ファクス番号が非表示になります。

8

ファクス/スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

9.31 通信履歴を表示されないようにする（通信履歴表示）

通信履歴を表示するかしないかの設定をします。

- 通信履歴表示：ON * / OFF

*はお買い上げ時の初期値です。

■ 通信履歴表示設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 「セキュリティ設定」を押します。



詳しく説明します

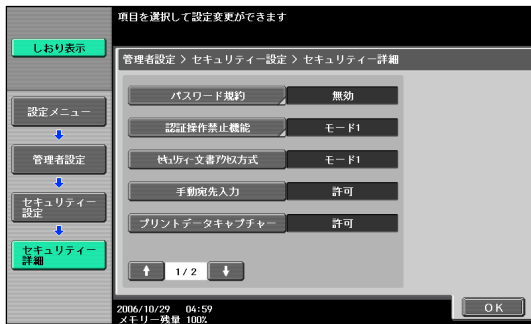
- ・ オプションの設定によって表示されない項目があります。
- ・ 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[セキュリティ設定]の場合は、テンキーで【0】を入力します。

3 「セキュリティ詳細」を押します。



4

[↓] を押します。



5

[通信履歴表示] を押します。



6

[OFF] を押します。



7

[OK] を押します。

通信履歴が非表示になります。

8

ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。



第 10 章

レポート / リストの見かた

レポート / リストのプリント方法と見かたについて説明します。

10.1	レポート / リストの種類	10-2
10.2	通信管理レポート	10-5
10.3	送信結果レポート	10-9
10.4	同報送信結果レポート	10-11
10.5	インターネットファクス受信エラーレポート	10-13
10.6	MDN メッセージ印刷	10-14
10.7	DSN メッセージ印刷	10-15
10.8	正常受信メール本文	10-16
10.9	短縮宛先リスト	10-17
10.10	グループ宛先リスト	10-20
10.11	プログラム宛先リスト	10-23
10.12	件名 / 本文リスト	10-26
10.13	設定値リスト	10-29

10.1 レポート / リストの種類

本機からプリントされるレポート / リストには、次の種類があります。

■ レポート

レポートには、自動的にプリントされるレポート、プリント方法を設定できるレポート、必要に応じてプリントの指示をするレポートがあります。

レポート名	説明
通信管理レポート	送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて最大 700 通信分が送信、受信それぞれ別のページに記録されます。通信管理レポートは自動的にプリントされるだけでなく、必要に応じて送信だけの記録、受信だけの記録、送受信の記録それぞれをプリントすることができます。 設定メニューの管理者設定で、プリントする間隔を毎日 / 100 通信毎 / 100 / 毎日から選択できます。 通信管理レポートの出力設定を [毎日] または [100 / 毎日] に設定した場合は、レポートを出力する時刻を設定できます。 [ジョブ表示] > [ジョブ詳細] > [送信] > [履歴リスト] > [通信リスト] の順に押すと、以下のレポートをプリントできます。 ・送信管理レポート ・受信管理レポート ・通信管理レポート
送信結果レポート	送信結果が自動的にプリントされます。設定メニューの管理者設定で、プリントするタイミングを、常時 / エラー時のみ / OFF から選択できます。
同報送信結果レポート	設定メニューの [レポート出力設定] で、[順次通信結果レポート] が [ON] に設定されている場合に、順次同報送信が終了したときに自動的にプリントされます。
ネットワークファクス受信エラーレポート	設定メニューの [レポート出力設定] で、[ネットワークファクス受信エラーレポート] が [ON] に設定されている場合、ネットワークファクスを正常に受信できなかったときにプリントされます。
MDN メッセージ印刷	設定メニューの [レポート出力設定] で、[MDN メッセージ] が [ON] に設定されている場合、送信側からの開封確認に相手機が応答したときに、相手機から受信した MDN メッセージが自動的にプリントされます。(MDN=Message Disposition Notifications の略)

レポート名	説明
DSN メッセージ印刷	設定メニューの〔レポート出力設定〕で、〔DSN メッセージ〕が〔ON〕に設定されている場合、受信側のメールサーバーに電子メールが到着した時に送信側に送られる DSN メッセージを受信すると、自動的にプリントされます。(DSN =Delivery Status Notifications の略)
正常受信メール本文	設定メニューの〔レポート出力設定〕で、〔正常受信メール本文印刷〕が〔ON〕に設定されている場合、受信した電子メールの本文がプリントされます。

■ リスト

リストは、必要に応じてプリントの指示をします。

リスト名	説明
短縮宛先リスト	短縮宛先の登録内容をプリントできます。
グループ宛先リスト	グループダイアルの登録内容をプリントできます。
プログラム宛先リスト	プログラム宛先の登録内容をプリントできます。
件名 / 本文リスト	E-Mail の件名 / 本文の登録内容をプリントできます。
設定値リスト	設定メニューのファクス設定の内容をプリントできます。

10.2 通信管理レポート

■ 通信管理レポートの見かた

通信管理レポートは、送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて最大 700 通信分が、送信、受信それぞれ別のページに記載されます。通信管理レポートは自動的にプリントされるだけではなく、必要に応じて送信だけの記録（送信管理レポート）、受信だけの記録（受信管理レポート）、送受信の記録（通信管理レポート）をプリントすることができます。

通信管理レポート

Serial No. 2006/09/29 06:09
TC: 752

送信

番号	宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
001	typo01	09-15 12:52	---	001/001	NG	IP宛先 OK
001	typo01	09-15 12:53	---	000/001	S OK	IP宛先 OK
002	typo01	09-15 12:54	---	001/001	OK	IP宛先 OK
003	typo01	09-16 14:38	---	001/001	NG	IP宛先 OK
003	typo01	09-16 14:38	---	001/001	OK	IP宛先 OK

備考: L1:主回線 L2:副回線 TME:タイムアウト超過 POL:ポーリング OK:接続サイズ指定 TME:検出し送信
RTE:伝搬モード送信 CALL:着信応答 CSRC:CSRC FMO:転送 PC:PC FMO
BND:回線として利用 SP:特殊接続 FCODE:フコード指定 REX:再送信 RLY:中継 MDX:検断 BUL:検断
SIP:SIPファクス IPMD:IPアドレスファクス FMO:インターネットファクス

結果: OK:通信終了 S OK:通信中止 PW OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
接続:接続 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断
LON:受信エラー FMO:受信エラー FMO:受信エラー FMO:受信エラー FMO:受信エラー FMO:受信エラー
NON:NONエラー DSN:DSNエラー

通信管理レポート

Serial No. 2006/09/29 06:09
TC: 752

送信

番号	宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
001	10addr fmo01150.17.1	---	---	001/001	OK	IP宛先
002	10addr fmo01150.17.1	---	---	001/001	OK	IP宛先

備考: L1:主回線 L2:副回線 TME:タイムアウト超過 POL:ポーリング OK:接続サイズ指定 TME:検出し送信
RTE:伝搬モード送信 CALL:着信応答 CSRC:CSRC FMO:転送 PC:PC FMO
BND:回線として利用 SP:特殊接続 FCODE:フコード指定 REX:再送信 RLY:中継 MDX:検断 BUL:検断
SIP:SIPファクス IPMD:IPアドレスファクス FMO:インターネットファクス

結果: OK:通信終了 S OK:通信中止 PW OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
接続:接続 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断 断:断
LON:受信エラー FMO:受信エラー FMO:受信エラー FMO:受信エラー FMO:受信エラー FMO:受信エラー
NON:NONエラー DSN:DSNエラー



オプションの設定によって記載されない項目があります。

- 番号：送信、受信それぞれに連番が付けられます。
- 宛先：
次のいずれかが記載されます。情報が無い場合はブランクとなります。
 - 送信管理レポート：
短縮宛先またはプログラム宛先の登録名
 - 受信管理レポート：短縮宛先の登録名
 - 相手の宛先
- 開始時刻：通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間：通信の所要時間が記載されます（SIP ファクスの場合のみ）。

- 枚数：

通信した枚数が記載されます。メモリー送信の場合は、送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記載されます。
- 結果：

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合 に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続:	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エ ラーページリダイアル）に移った場合に記載さ れます。
無応答:	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否:	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載 されます。
話中:	相手が話し中で通信できなかった場合に記載さ れます。
メモリフル:	受信中にファクスファイルメモリーが一杯に なって、受信できなかった場合に記載されま す。
LOVR:	受信長オーバー。受信原稿長が既定値 (1,000 mm) を超えた場合に記載されます。
POVR:	受信ページオーバー。受信ページ数が 3,000 ページを超えた場合に記載されます。
FIL:	ファイルエラー。受信したファイルがサポ ート外の場合に記載されます。
DC:	デコードエラー。受信したファイルのデコード でエラーが発生した場合に記載されます。
MDN:	MDN 応答がエラーの場合に記載されます。
DSN:	DSN 応答がエラーの場合に記載されます。
- 備考：ネットワークファクスでは、次のいずれかが記載さ
れます。

ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	BND	: 原稿のとじしろ
SP	: 特殊原稿	SIP	: SIP ファクス
IPADR	: IP アドレスファクス		
I-FAX	: インターネットファクス		

詳しく説明します

送信結果画面（ジョブ表示
>ジョブ詳細>送信>履歴
リスト）や通信管理レポ
ートの結果欄に [----] と表示
されても、インターネット
網の途中経路の問題により、
受信側に電子メールが到着
しない場合があります。送
信結果画面や通信管理レ
ポートに表示される [----]
は、サーバーまで正常に送
信できたことを示すもので
す。受信確認（MDN）を受
信すると送信結果画面や通
信管理レポートの結果欄に
[OK] が表示されます。重
要な内容を送受信する場
合は、受信確認（MDN）な
どによる確認をお願いします。

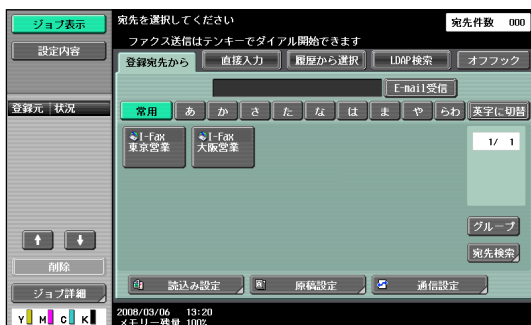
■ 自動プリント

通信管理レポートがプリントされる間隔は、設定メニューの「レポート出力設定」で設定することができます。

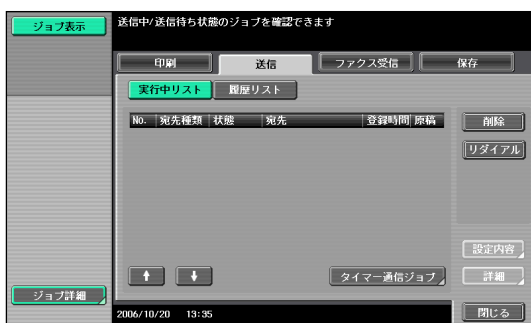
■ 手動プリント

次の操作でプリントできます。

- 1 [ジョブ表示] を押します。
- 2 [ジョブ詳細] を押します。



- 3 [送信] を押します。
- 4 [履歴リスト] を押します。



「レポート出力設定」については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」(p. 9-78)を
ごらんください。

5

「通信リスト」を押します。



6

「ファクス送信リスト」を押します。

7

「レポート指定」のいずれかのキーを押し、「出力件数」を選択して、【スタート】を押します。



レポートがプリントされます。



出力件数については、「レポート / リストの種類」(p. 10-2) をご覧ください。

10.3 送信結果レポート

■ 送信結果レポートの見かた

送信結果レポート					
			2006/09/29 06:29		
			Serial No. 1 TC: 754		
宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
2	09:29	06:29	00:00:03	000/001	NG L1 PC
備考 L1:主送線 L2:副回線 DNR:タイムアウト NG:原稿サイズ指定 FME:特消し送信 MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:転送 FME:転送 PC:PC-FAX ORG:原稿として送信 SP:特殊原稿 FQRC:コート指定 FQRC:再送信 転送中継 MDN:転送 BND:転送 SIP:SIPファクス IPFAX:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス					
結果 OK:通信終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの発信 NG:その他のエラー 出回:相手 宛:宛先 宛:宛先 宛:宛先 宛:宛先 宛:宛先 宛:宛先 宛:宛先 宛:宛先 宛:宛先 宛:宛先 LQNR:宛先オーバー PQR:送信ページオーバー FFI:ファイルエラー DC:デコードエラー NRN:NRNエラー DSN:DSNエラー					

- 宛先：次のいずれかが記載されます。
 - 短縮宛先またはプログラム宛先の登録名
 - 相手の宛先
- 開始時刻：通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間：通信の所要時間が記載されます（SIP ファクスの場合のみ）。
- 枚数：
通信した枚数が記載されます。メモリー送信の場合は、送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。
- 結果：
OK: 通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK: 通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF: 通信中に操作電源スイッチが OFF された場合
に記載されます。
NG: 通信エラーが発生した場合に記載されます。
話中：
相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
無応答：相手が応答しなかった場合に記載されます。
TEL: 電話がかかってきた場合に記載されます。
継続：
送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイヤル）に移った場合に記載されます。
MDN: MDN 応答がエラーの場合に記載されます。
DSN: DSN 応答がエラーの場合に記載されます。
- 備考：ネットワークファクスでは、次のいずれかが記載されます。
 - ORG : 原稿サイズ指定
 - MIX : 混載モード送信
 - SP : 特殊原稿
 - FME : 特消し送信
 - BND : 原稿のと同じしろ

SIP : SIP ファクス
IPADR : IP アドレスファクス
I-FAX : インターネットファクス

■ 手動プリント

設定メニューの「送信結果レポート画面」が、「表示する」に設定されている場合は、送信のたびに送信結果レポート出力確認画面が表示されます。

「はい」を押すと、送信結果レポートがプリントされます。「いいえ」を押すと、プリントされません。

■ 自動プリント

設定メニューの「送信結果レポート」で常時 / エラー時のみ / OFF を設定することができます。



「送信結果レポート画面」については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」(p. 9-78) をご覧ください。



「送信結果レポート」については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」(p. 9-78) をご覧ください。

10.4 同報送信結果レポート

順次同報送信が終了したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの「順次通信結果レポート」で ON/OFF を設定することができます。また、「同報結果レポート出力」でレポート出力タイミング（全宛先一括 / 1 宛先毎）を指定できます。

回報送信結果表						P 1	
						2005/10/27 18:18	
						Serial No.	
						IC: 087	
報告	開始時刻	時間	位置	結果	備考		
FA#1	12-07 18:18	00:00:28	001/001	OK	L1		
FA#2	12-07 18:18	00:00:17	001/001	OK	L1		
備考	L1: 主回線 L2: 回線停止 FAN: 故障発生 FAN: L1: 故障 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 MTC: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 MTC: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 SIF: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 SIF: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生						
結果	OK: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 MTC: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 MTC: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 MTC: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 MTC: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生 FAN: 故障発生						

- 宛先：次のいずれかが記載されます。
 - 短縮宛先に宛先名が登録されている相手は宛先名
 - 相手の宛先
- 開始時刻：通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間：通信の所要時間が記載されます（SIP ファクスの場合のみ）。
- 枚数：通信した枚数が記載されます。送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。
- 結果：
 - OK：通信が正常に終了した場合に記載されます。
 - S-OK：通信を中止した場合に記載されます。
 - PW-OFF：通信中に操作電源スイッチが OFF された場合
に記載されます。
 - TEL：電話がかかってきた場合に記載されます。
 - NG：通信エラーが発生した場合に記載されます。
 - 継続：送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エ
ラーページリダイアル）に移った場合に記載さ
れます。
 - 無応答：相手が応答しなかった場合に記載されます。
 - 話中：相手が話中で通信できなかった場合に記載さ
れます。
 - MDN：MDN 応答がエラーの場合に記載されます。
 - DSN：DSN 応答がエラーの場合に記載されます。



「順次通信結果レポート」および「同報結果レポート出力」については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 9-78）をごらんください。

- 備考：ネットワークファクスでは、次のいずれかが記載されます。

ORG	: 原稿サイズ指定
MIX	: 混載モード送信
SP	: 特殊原稿
IPADR	: IP アドレスファクス
I-FAX	: インターネットファクス
FME	: 枠消し送信
BND	: 原稿のとじしろ
SIP	: SIP ファクス

10.5 インターネットファクス受信エラーレポート

設定メニューの「ネットワークファクス受信エラーレポート」が「ON」に設定されている場合に、インターネットファクス / SIP ファクス / IP アドレスファクスを正常に受信できなかったときにプリントされます。

設定メニューの「ネットワークファクス受信エラーレポート」で ON/OFF を設定することができます。

インターネットファクス受信エラーレポート			
		2008/08/30 17:28	P. 1
		Serial No.	6960
		TC:	
宛先	受信日時	要因	件名
info@example.com	08/30 17:28	ファイル	test

- 宛先：次のいずれかが記載されます。
 - 短縮宛先に名前が登録されている場合は名前
 - 相手の宛先
- 受信日時： 受信した日時が記載されます。
- 要因： 受信エラーの原因が記載されます。
- 件名 / ファイル名：
インターネットファクスの場合は、件名が記載されます。SIP ファクス / IP アドレスファクスの場合は、ファイル名が記載されます。

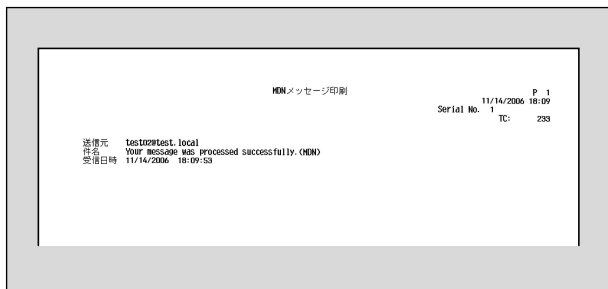


「ネットワークファクス受信エラーレポート」については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」(p. 9-78) をご覧ください。

10.6 MDN メッセージ印刷

本機から開封確認要求をおこなうと、相手機はメールを開封（印刷）した直後、MDN 応答メッセージを本機に送信します。本機は MDN 応答メッセージを受信し、自動的にプリントします。

設定メニューの「MDN メッセージ」で印刷するかどうかを設定することができます。



- 送信元： 送信元の電子メールアドレスが記載されます。インターネットファクス登録に電子メールアドレスが登録されている場合は、名前も記載されます。
- 件名： 電子メールの受信状況が記載されます。
- 受信日時： MDN を応答した日時が記載されます。

ひとこと

MDN はインターネットファクスの機能です。



「MDN メッセージ」については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 9-78）をごらんください。



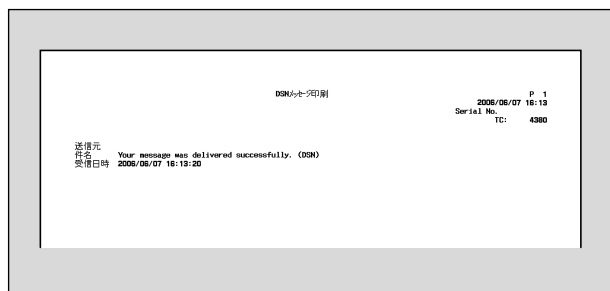
詳しく説明します

MDN メッセージは相手機により内容が異なります。

10.7 DSN メッセージ印刷

受信側のメールサーバーに電子メールが到着した時に送信側に送られる DSN メッセージを受信すると、自動的にプリントされます。(DSN=Delivery Status Notifications の略)

設定メニューの「DSN メッセージ」で印刷するかどうかを設定することができます。



- 送信元： 送信元の電子メールアドレスが記載されます。インターネットファクス登録に電子メールアドレスが登録されている場合は、名前も記載されます。
- 件名： 電子メールの配信状況が記載されます。
- 受信日時： DSN を応答した日時が記載されます。

ひとこと

DSN はインターネットファクスの機能です。



「DSN メッセージ」については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」(p. 9-78)をご覧ください。

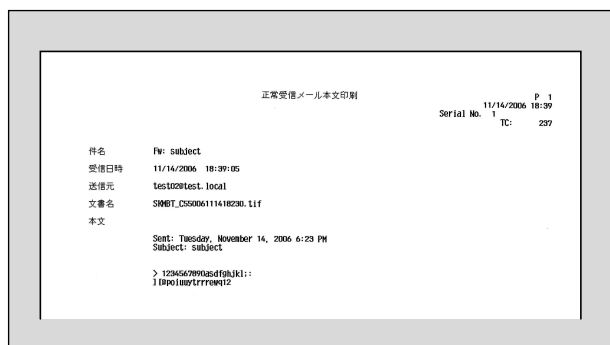


DSN メッセージの内容はメールサーバーにより異なります。

10.8 正常受信メール本文

受信した電子メールの本文を自動的にプリントするかどうかを設定します。

設定メニューの「正常受信メール本文印刷」で印刷するかどうかを設定することができます。



- 件名： 電子メールの配信状況が記載されます。
- 受信日時： 電子メールを受信した日時が記載されます。
- 送信元： 送信元の電子メールアドレスが記載されます。インターネットファクス登録に電子メールアドレスが登録されている場合は、名前も記載されます。
- ファイル名： 添付ファイルのファイル名が記載されます。
- 本文： 受信した電子メールの本文が記載されます。



「正常受信メール本文印刷」については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」(p. 9-78)をごらんください。



詳しく説明します

- ・ 電子メール本文の印刷は、受信した電子メールのヘッダに「Content-X-CIAJWNETFAX: IGNORE」が記述されている場合や、本文が無い場合は、「正常受信メール本文印刷」が[ON]に設定されていてもプリントしません。
- ・ プリント不可の添付ファイルを受信した場合、「ネットワークファクス受信エラーレポート」の設定に従います。



詳しく説明します

正常受信メール本文の内容は受信する電子メールにより異なります。

10.9 短縮宛先リスト

登録した短縮宛先のリストをプリントできます。

■ 短縮宛先リストの見かた

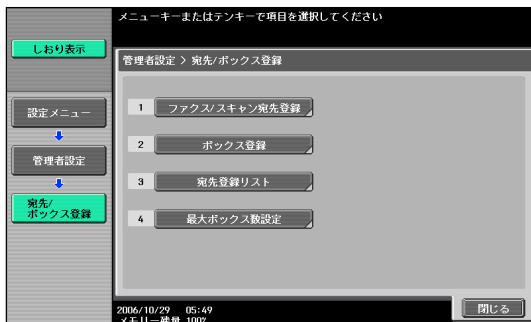
短縮宛先リスト				
			P 1	
			2007/09/25 16:16	
			Serial No. A00100100046	
			TC 3146	
ファクス				
No.	検索文字	名称	ファクス番号	回線設定
0004	た	東京営業	031234567	-
	相手先機種	ポート番号	SIPファクス送信	参照可能レベル
	モノクロ機	***	OFF	
No.	検索文字	名称	ファクス番号	回線設定
0005	あ	大阪営業	062345678	-
	相手先機種	ポート番号	SIPファクス送信	参照可能レベル
	モノクロ機	***	OFF	

- No.: 短縮番号です。
- 検索文字: 登録されている検索文字です。
- 名称: 登録されている宛先名です。
- 電話番号: 登録されているファクス番号です。
- 回線設定: 回線設定が指定されている場合に * が記載されます。
- 相手先機種: 登録されている相手先機種（モノクロ機／カラー機）です。
- ポート番号: 登録されているポート番号です。
- SIP ファクス送信: SIP ファクス宛先として登録されているかいないかが表示されます。
- 参照可能レベル: 登録されている参照可能レベルです。

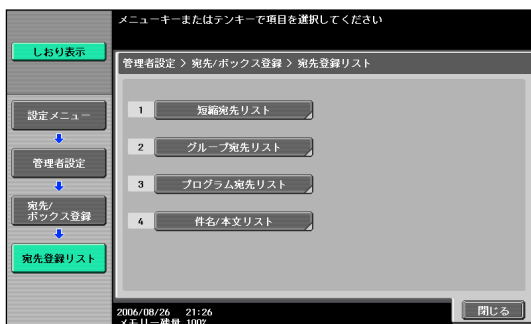
■ 短縮宛先リストをプリントするには

- 1 【設定メニュー / カウンター】を押します。
- 2 [管理者設定] を押します。
- 3 管理者のパスワードを入力し、[OK] を押します。
- 4 [宛先 / ボックス登録] を押します。

- 5 [宛先登録リスト] を押します。



- 6 [短縮宛先リスト] を押します。



詳しく説明します

管理者のパスワードは、[セキュリティ設定] で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[宛先登録リスト] の場合は、テンキーで【3】を入力します。

7

「リスト出力番号」を設定します。

- [印刷開始番号] を押し、プリントしたい短縮宛先の登録番号をテンキーで入力します。
- [出力件数] を押し、印刷開始番号から何件分プリントしたいか件数をテンキーで入力します。



詳しく説明します

100 件まで指定できます。

8

「リスト出力宛先種別」を設定します。

- 出力したいリストの宛先種別を、[E-mail]、[FTP]、[SMB]、[ボックス]、[ファクス]、[IP アドレスファクス]、[インターネットファクス]、[WebDAV] から選択します。

9

[印刷] を押します。

10

プリントに使用するトレイを選択します。

11

[実行] または【スタート】を押します。

短縮宛先リストがプリントされます。

詳しく説明します

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

10.10 グループ宛先リスト

登録したグループ宛先のリストをプリントできます。

■ グループ宛先リストの見かた

グループ宛先リスト				
		Serial No. 2007/02/23 17:07		P. 1
		TC: 000010701004		TS
No.	名称	短縮No.	参照可能レベル	登録件数
001	GROUP01	0002 0003 0004	レベル 4	003
No.	名称	短縮No.	参照可能レベル	登録件数
002	GROUP02	0002 0003	レベル 3	002

- No.: グループ番号です。
- 名称: 登録されているグループ名です。
- 短縮宛先 No.: グループに登録されている短縮 No. です。
- 参照可能レベル: 登録されている参照可能レベルです。
- 登録件数: グループに登録されている短縮 No. の数です。

■ グループ宛先リストをプリントするには

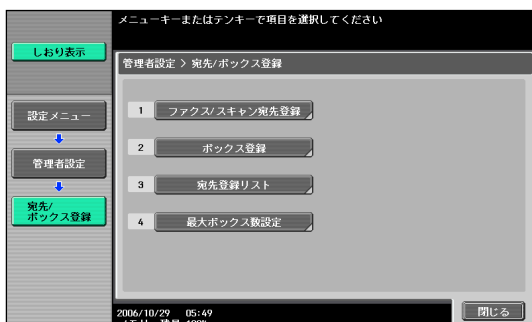
- 1 【設定メニュー / カウンター】を押します。
- 2 【管理者設定】を押します。
- 3 管理者のパスワードを入力し、[OK] を押します。
- 4 [宛先 / ボックス登録] を押します。

詳しく説明します

管理者のパスワードは、[セキュリティ設定] で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

5

「[宛先登録リスト]」を押します。

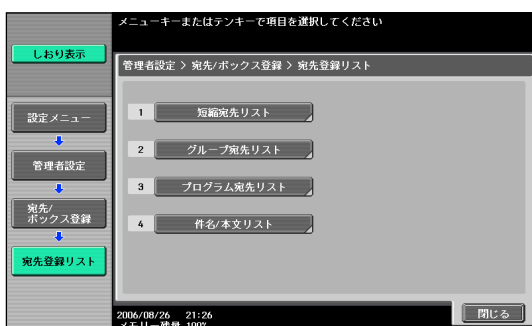


詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[宛先登録リスト]の場合は、テンキーで【3】を入力します。

6

「[グループ宛先リスト]」を押します。



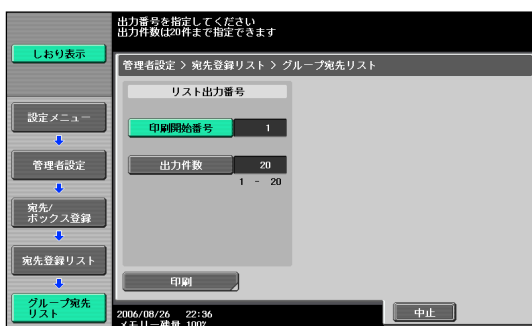
詳しく説明します

20 件まで指定できます。

7

「[リスト出力番号]」を設定します。

- [印刷開始番号] を押し、プリントしたいグループ宛先の登録番号をテンキーで入力します。
- [出力件数] を押し、印刷開始番号から何件分プリントしたいか件数をテンキーで入力します。



8

〔印刷〕 を押します。

9

プリントに使用するトレイを選択します。

10

〔実行〕 または【スタート】を押します。
グループ宛先リストがプリントされます。

 詳しく説明します

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

10.11 プログラム宛先リスト

登録したプログラム宛先のリストをプリントできます。

■ プログラム宛先リストの見かた

No.	名称	短縮表示
001	PR001/001	00002
項目		設定
SIPパス透通		OFF
音声先継続		ビブス継
参照可能/無		レベル0
ファイル形式		PRF
画面/画面		文字/写真
接続画面		0
速度		詳細
緊急度		0
下位接続		指定無し
画面聞き方前/とじ方前		指定無し
設定のみ/リス		指定無し
定数/定数		指定無し
接続設定/指定		指定無し
上位消し量		なし
下位消し量		なし
右側消し量		なし
左側消し量		なし
スクリーン		なし
消み/消み		指定無し
通信時間		指定無し
パスワード送信		指定無し
P2P		指定無し
EDM OFF		指定無し
EDM OFF		指定無し
音声通信モード		指定無し
即時選択		指定無し
既定接続設定		しない

- No.: プログラム宛先番号です。
- 名称: プログラム宛先登録名です。
- 短縮宛先: 短縮宛先 No. です。

■ プログラム宛先リストをプリントするには

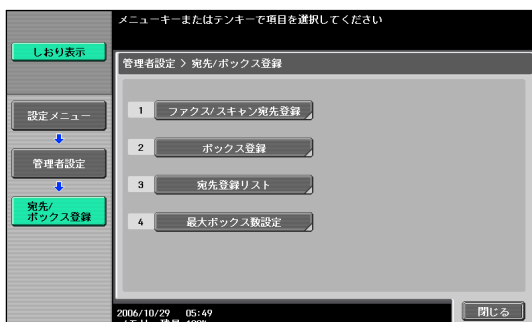
- 1 【設定メニュー / カウンター】 を押します。
- 2 [管理者設定] を押します。
- 3 管理者のパスワードを入力し、[OK] を押します。
- 4 [宛先 / ボックス登録] を押します。



管理者のパスワードは、[セキュリティ設定] で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

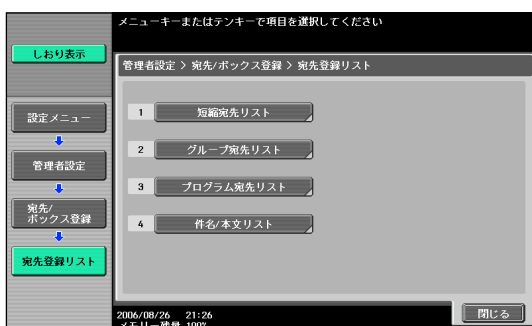
5

「[宛先登録リスト]」を押します。



6

「[プログラム宛先リスト]」を押します。



7

「[リスト出力番号]」を設定します。

- [印刷開始番号] を押し、プリントしたいプログラム宛先の登録番号をテンキーで入力します。
- [出力件数] を押し、印刷開始番号から何件分プリントしたいか件数をテンキーで入力します。



詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[宛先登録リスト]の場合は、テンキーで【3】を入力します。

詳しく説明します

50 件まで指定できます。

8

「リスト出力宛先種別」を設定します。

- 出力したいリストの宛先種別を、[短縮番号]、[グループ]、[直接入力] から選択します。
- [直接入力] を選択すると、[E-mail]、[FTP]、[SMB]、[ボックス]、[ファクス]、[IP アドレスファクス]、[インターネットファクス]、[WebDAV] を指定できます。

9

[印刷] を押します。

10

プリントに使用するトレイを選択します。

11

[実行] または【スタート】を押します。
プログラム宛先リストがプリントされます。



詳しく説明します

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

10.12 件名 / 本文リスト

登録した E-mail の件名 / 本文のリストをプリントできます。

■ 件名 / 本文リストの見かた

件名 / 本文	
No.	件名
01	Message from NFP

本文 / 本文	
No.	本文
01	Image data has been attached to this e-mail.

件名リスト

- No. : E-mail の件名の登録番号です。
- 件名 : 登録してある件名です。

本文リスト

- No. : E-mail の本文の登録番号です。
- 本文 : 登録してある本文です。

■ 件名 / 本文リストをプリントするには

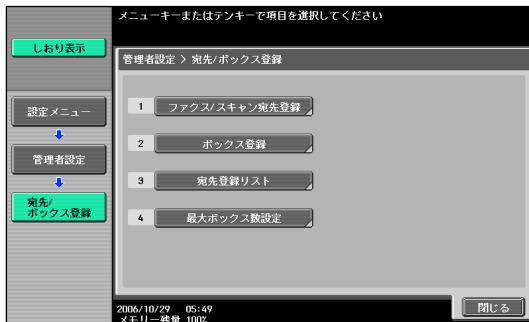
- 1 【設定メニュー / カウンター】を押します。
- 2 [管理者設定] を押します。
- 3 管理者のパスワードを入力し、[OK] を押します。
- 4 [宛先 / ボックス登録] を押します。



管理者のパスワードは、[セキュリティ設定] で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

5

[宛先登録リスト] を押します。

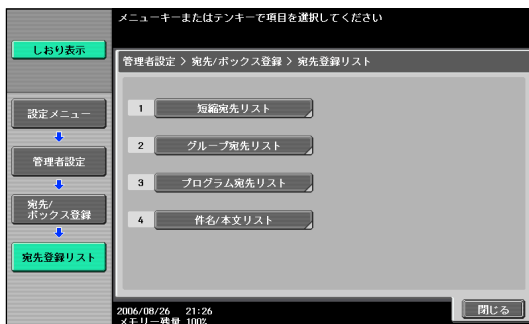


詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[宛先登録リスト] の場合は、テンキーで【3】を入力します。

6

[件名 / 本文リスト] を押します。



7

プリントに使用するトレイを選択します。



8

【スタート】を押します。

E-mail の件名 / 本文のリストがプリントされます。

 **詳しく説明します**

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

10.13 設定値リスト

本機で設定したファクスの設定値リストをプリントできます。

■ FAX 設定リストの見かた

FAX設定リスト

P. 1
 2007/06/13 19:01
 Serial No. 000001010008
 TC: 527

FAX初期画面設定			
項目	設定	項目	設定
基本画面表示 オートリセットまでの時間	登録完了から 1 分	アドレス帳初期表示 受信中画面表示 送信中画面表示	常用 しない しない
FAX初期画面設定	ON		

発信元/ファクスID登録	
項目	設定
発信元名 ファクスID	add

発信元/受信情報			
項目	設定	項目	設定
発信元情報 受信情報	添付外 OFF	相手先印字	ON

回線パラメータ設定			
項目	設定	項目	設定
ダイヤル方式 発信速度設定 オートリダイヤル間隔	200bps 2 回 3 秒	受信方式 オートリダイヤル間隔 TEL/FAX自動切替え	自動受信 3 回 OFF
留守番電話後接続設定 回線モニター音レベル	OFF 16	回線モニター音	OFF

送信/受信設定			
項目	設定	項目	設定
ボックスメールエラー動作 記録用紙後先選択 バリエーション移すファクス 記録用紙サイズ ページ数制限 ポーリング交換後文書 電送転送時の動作	印刷 自動選択 速 A4 OFF 削除する 回線切断	受信印刷出力設定 インテリジェント紙選別 縮小率 縮小レイアウト 受信転送後印刷 受信印刷部数	一括印刷 OFF 96 自動 OFF 1

レポート出力設定			
項目	設定	項目	設定
通話管理レポート 最大通話結果レポート 通話管理レポート 通話結果レポート画面 中継結果レポート PC/FAX送信エラーレポート レポートの受信レポート MENU/キャンセル	100通話毎 ON ON 表示しない OFF OFF ON ON	通話結果レポート 予約レポート 通話管理結果レポート 通話結果レポート出力 中継結果レポート 主要受信レポート印刷 DIN/レポート	エラー時のみ ON ON 省略先一括 ON ON OFF

PBX接続設定	
項目	設定
PBX接続機能	しない

- 項目：設定メニューの項目です。
- 設定：設定状態です。

FAX設定リスト

P 2
2007/09/21 16:39
Serial No. 60010100046
TC: 3047

項目	設定	項目	設定
ナンバーディスプレイ機能	OFF	Fコード送信機能	ON
宛先確認表示機能	OFF	中継受信機能	ON
中継印刷	OFF	宛先2重入力機能(送信)	OFF
宛先2重入力機能(受信)	OFF		

転送ファクス設定

項目	設定
転送ファクス設定	しない
転送条件	不審物のみ印刷
転送先	未登録

ダイヤルイン設定

項目	設定	項目	設定
ダイヤルイン設定	しない	FAX番号	未登録
発信番号	未登録	PC-FAX番号	未登録

リモート受信設定

項目	設定
リモート受信設定	しない

強制メモリー受信設定

項目	設定
強制メモリー受信設定	しない

間接受信設定

項目	設定
間接受信設定	しない

PC-FAX受信設定

項目	設定	項目	設定
PC-FAX受信設定	許可しない	受信出力先	***
受信後印刷	***	パスワードチェック	***

再送信設定

項目	設定	項目	設定
再送信設定	しない	ファイル保持時間	***

FAX設定リスト

P 3
2008/09/30 16:12
Serial No. 4218
TC: 4218

インターネット/ファクシミリ機能受信能力設定

項目	設定
伝送形式	MU/MU/MU
用紙サイズ	A4/B4/A3
解像度	標準/精細/高解像

T-Fax設定

項目	設定	項目	設定
MON表示	YES	MON表示	1.0s
MON応答	YES	MON/DSN応答監視時間	24

件名/宛

No.	件名
01	Message from MFP

本文/宛

No.	本文
01	Image data has been attached to this mail.

■ 設定値リストをプリントするには

- 1 【設定メニュー / カウンター】を押します。
- 2 [管理者設定] を押します。
- 3 管理者のパスワードを入力し、[OK] を押します。
- 4 [ファクス設定] を押します。



- 5 [設定値リスト] を押します。



詳しく説明します

管理者のパスワードは、[セキュリティ設定] で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

6

プリントに使用するトレイを選択します。



7

〔実行〕 または【スタート】を押します。
本機の設定がプリントされます。

詳しく説明します

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。



第 11 章

付録

ファクス情報サービス、メモリーの蓄積枚数、文字の入力方法について説明します。
またファクスで使用する用語の解説を記載していますので、必要に応じてお読みください。

11.1	メモリーへの蓄積枚数について	11-2
11.2	文字を入力するには	11-3
11.3	入力文字一覧	11-10
11.4	インターネットファクス用語集	11-18
11.5	ファクス用語集	11-19

11.1 メモリーへの蓄積枚数について

本機には 60 GB のハードディスクが標準搭載されており、ファクス画像は、このハードディスク中の 31 GB の領域に保存されます。

ハードディスクには、各機能（コピー、プリント、スキャン、ボックス、ファクス）から保存 / 受信した原稿（A4 判 700 文字程度の当社標準原稿）を、10000 枚程度蓄積することができます（解像度「精細」で蓄積した場合）。



詳しく説明します

原稿の読み込み中に、メモリーがいっぱいになりオーバーフローすることがあります。この場合は、途中まで読み込んだ原稿を送信するか、もう一度最初から送信するかを選択することができます。

11.2 文字を入力するには

ユーザー登録や不定形紙の登録などで名前を入力するときに表示される、文字入力画面の操作について手順を説明します。数字を入力するときはテンキーから直接入力もできます。

文字入力画面には以下のような種類があります。

例

ユーザー名入力画面：



不定形紙名称変更画面：



ひとこと

ユーザー名、プログラム名、ボックス名、グループ名、アドレス帳に「¥」や「～」を使用した場合、コンピュータから参照すると文字化けをおこすことがあります。

■ キーボードの拡大表示

キーボードを拡大して見やすく表示することができます。

1

キーボードの表示中に、[拡大 ON] を押します。
キーボードが拡大表示されます。



2

拡大表示中に [拡大 OFF] を押すと、拡大表示を解除して通常の表示に戻ります。

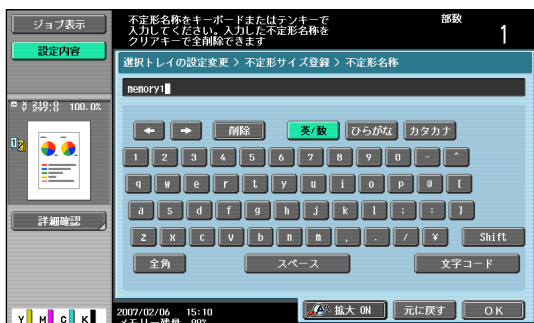
■ 英数字を入力する

→

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 大文字、記号を入力する場合は、[Shift] を押します。
- 全角の英数字を入力する場合は [全角] を押します。
- 半角数字はテンキーからでも入力できます。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。



ひとこと

拡大表示した状態でも、キーボードの操作方法は同じです。

詳しく説明します

- ・ 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・ 入力した文字を全て取消す場合は、[C] を押します。

ひとこと

- ・ [元に戻す] を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- ・ 一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

■ ひらがなを入力する

1

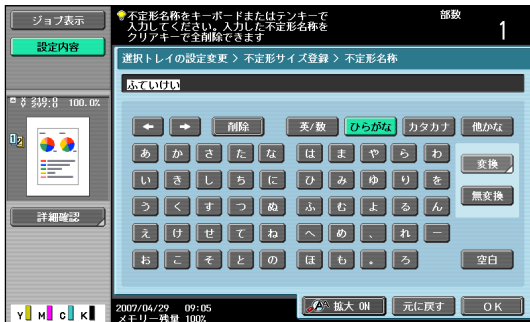
〔ひらがな〕を押します。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、〔他かな〕を押します。

文字ボックスに入力した文字が反転表示されます。



3

〔無変換〕を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。

詳しく説明します

- ・ 入力した文字や数字を修正する場合は、〔←〕、〔→〕で修正する文字にカーソルを合わせ、〔削除〕を押し、文字や数字を入力します。
- ・ 入力した文字を全て取消す場合は、〔C〕を押します。

ひとこと

一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

ひとこと

〔元に戻す〕を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。

■ カタカナを入力する

1

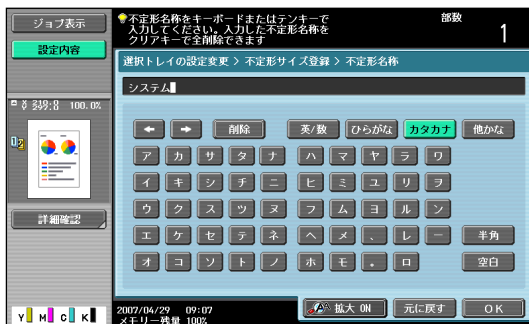
〔カタカナ〕を押します。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「ガギグゲゴ」など）や半濁音（「パピプペポ」）、拗音（「キャキュキョ」など）を入力する場合は、〔他かな〕を押します。
- 半角のカタカナを入力する場合は〔半角〕を押します。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。



詳しく説明します

- ・ 入力した文字や数字を修正する場合は、〔←〕、〔→〕で修正する文字にカーソルを合わせ、〔削除〕を押し、文字や数字を入力します。
- ・ 入力した文字を全て取消す場合は、〔C〕を押します。

ひとこと

- ・ 〔元に戻す〕を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- ・ 一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

■ 漢字を入力する

1

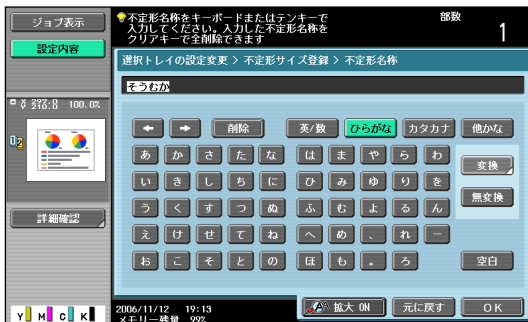
〔ひらがな〕を押します。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、〔他かな〕を押します。

文字ボックスに入力した文字が反転表示されます。



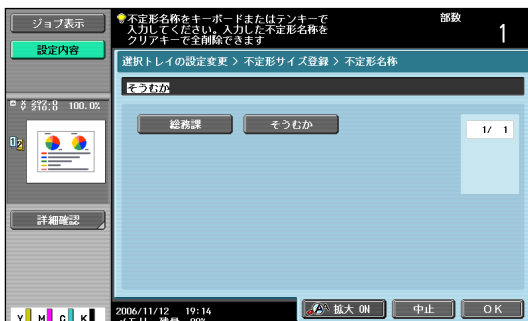
3

〔変換〕を押します。

変換候補選択画面が表示されます。

4

表示された候補の中から入力したい漢字のキーを押します。



詳しく説明します

- ・ 熟語単位で変換できます。
- ・ 入力した文字が、変換の対象になります。
- ・ 変換を中止するときは、〔中止〕を押します。

5

[OK] を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。

詳しく説明します

候補が 18 個以上ある場合に、[↑] または [↓] のキーが現れます。

- ・ [↑] を押すと前候補が表示されます。
- ・ [↓] を押すと次候補が表示されます。

詳しく説明します

- ・ 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・ 入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

- ・ [元に戻す] を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- ・ 一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

■ 文字コードで入力する

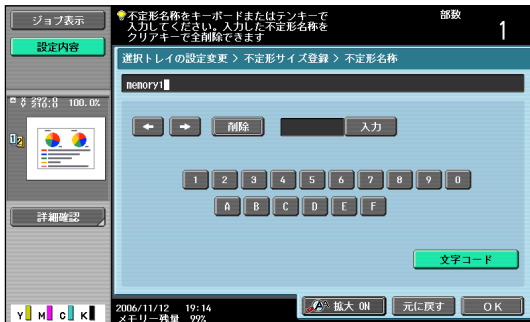
16 進数（1 ～ 0、A ～ F の組合わせ）の文字コードで、文字や記号を入力します。

1

「文字コード」を押します。

2

表示されているキーボードから、文字コードを入力し、「入力」を押します。



文字コードにしたがって、文字ボックスに文字が表示されます。

詳しく説明します

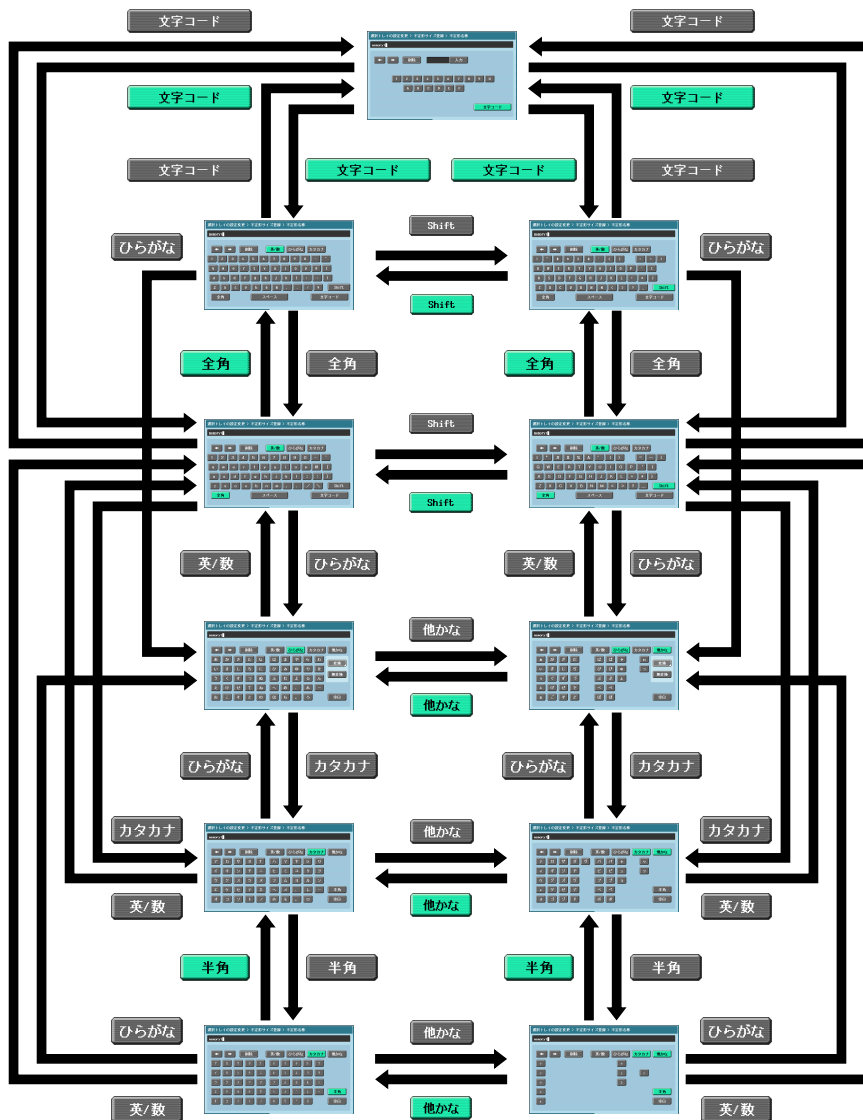
- ・ 本機の文字コードは Shift-JIS コードです。文字コードと文字の対応については、Shift-JIS コード表 (p. 11-12 ～) をご覧ください。
- ・ 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・ 入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。
- ・ 設定する項目によって、使用できない文字コードがあります。

ひとこと

- ・ [元に戻す] を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- ・ 一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

11.3 入力文字一覧

入力画面



ひらがな	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよりるれろわをんがぎぐげござじずぜぞぢぢつでとばひぶべぼばひぶべぼ あいうえおやゆよわつ ー、。
カタカナ(全角)	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワワンガギグゲゴザジズゼゾダチヅデトバビブベボバビブベボヴ アイウエオヤユヨワツ ー、。
カタカナ(半角)	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワ アイウエオヤユヨワ -°°
英数字／記号 (全角)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz [] ^ _ ' { } ~ * 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
英数字／記号	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz [] ^ _ ' { } ~ * 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

(一部入力できないものもあります)

[illegible][illegible]

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
88A0	唾	娃	阿	哀	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	
88B0	芦	鰲	梓	庄	幹	扱	宛	矩	蛇	鮫	綯	綫	鮎	或	粟	裕
88C0	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	困	夷	委
88D0	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣
88E0	謁	遄	遄	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	杏	溢	逸	稻	茨
88F0	芋	翮	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭			
8940	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鷄	窺	丑	碓
8950	臼	渦	噓	嶺	蔚	蠟	姥	厥	浦	瓜	閏	罇	云	運	雲	
8960	往	餌	鄧	嬰	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎
8970	英	衛	詠	詠	液	疫	益	駢	悅	謁	謁	閱	樓	厭	厭	厭
8980	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	緣
8990	艷	苑	藹	遠	鉛	篇	篇	於	汚	甥	凹	央	奧	忖	心	押
89A0	旺	橫	歐	毆	王	翁	橫	鶯	黃	岡	冲	荻	億	屋	憶	
89B0	臆	桶	壯	乙	俺	卸	恩	溫	穩	音	下	化	仮	何	伽	伽
89C0	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	火	珂	
89D0	禍	不	稼	箇	花	苟	茄	荷	華	菓	蝦	課	嗶	寅	迦	迦
89E0	霞	蚊	俄	峨	我	牙	臥	臥	芽	錫	雅	餓	驚	介	會	
89F0	解	回	塊	壞	迴	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改			
8A40	魁	晦	械	海	灰	界	皆	給	芥	蟹	開	階	貝	劬	劬	外
8A50	咳	害	崖	慨	慨	涯	碍	葦	街	該	鑑	散	淫	蛙	垣	
8A60	怖	妬	鈎	鈎	嚇	各	廓	抵	攬	格	核	殼	獲	確	獲	覺

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8A70	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	樂	額	額	掛	笠	慳	
8A80	樞	梔	鯀	割	喝	恰	括	活	渴	滑	膏	轄	轄	且	鯨	
8A90	叶	桡	樺	靴	株	兜	甯	蒲	釜	鏽	噓	鴨	栢	茅	萱	粥
8AA0	刈	刈	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勳	劬	卷	喚	堪	姦	完	官
8AB0	寬	干	幹	患	感	憤	憾	換	敢	柏	栢	棺	款	歡	汗	漢
8AC0	澗	淮	環	甘	監	看	竿	管	簡	綬	韃	翰	肝	艦	莞	觀
8AD0	諫	貴	還	鑑	閑	閑	閑	陷	韓	館	館	丸	含	岸	廠	玩
8AE0	癌	眼	岩	翫	鷹	雁	頑	頑	願	企	伎	危	喜	器	基	奇
8AF0	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄			
8B40	機	帛	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起	軌
8B50	輝	飢	騎	龜	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	儀	疑	祇
8B60	義	議	誼	誼	擲	菊	鞠	鞠	吉	喫	桔	橘	話	砧	杵	黍
8B70	却	客	脚	虛	逆	丘	久	休	休	及	吸	宮	弓	急	救	
8B80	朽	求	汲	汲	泣	泣	球	窮	窮	絞	糾	給	旧	牛	去	居
8B90	巨	拒	拋	渠	渠	虛	許	距	鋸	漁	鯢	魚	亨	亨	享	供
8BA0	俠	僑	兇	兇	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	強	疆	怯	
8BB0	恐	恭	扶	救	橋	況	狂	狹	矯	胸	胸	興	養	鄉	鏡	響
8BC0	贊	驚	仰	疑	疑	曉	業	局	曲	極	玉	桐	杆	僅	勤	均
8BD0	巾	錦	斤	欣	欣	琴	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟	近		
8BE0	金	吟	銀	九	俱	句	句	狗	玖	矩	苦	軀	駝	駝	駒	具
8BF0	愚	虞	喚	空	偶	寓	遇	遇	串	榔	榔	屑	屈			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8C40	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	桑	桑	線	桑	線	黝	君	薰
8C50	訓	群	軍	郡	卦	袞	袞	傾	刑	兇	啓	圭	珪	型	契	
8C60	形	怪	患	慶	慧	懇	揭	敬	景	桂	涇	畦	稽	系	經	
8C70	繼	繫	罪	荊	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	芸	迎	鯨		
8C80	劇	載	擊	激	隙	桁	傑	穴	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
8C90	侯	倦	健	兼	券	劍	喧	堅	建	憲	懇	拳	拳	揆		
8CA0	權	牽	犬	猷	研	硯	絹	梟	肩	兇	見	賢	軒	遣	鍵	險
8CB0	顛	駿	鯨	元	嚴	幻	弦	減	源	玄	現	絃	絃	言	諺	
8CC0	限	乎	個	古	呼	固	姑	狐	己	庫	戶	故	枯	湖	狐	
8CD0	糊	袴	股	胡	孤	虎	誇	誇	鉤	雇	顧	鼓	互	互	午	
8CE0	吳	吾	娛	後	御	梧	梧	橘	胡	甚	語	誤	護	餉	乞	鯉
8CF0	交	佼	候	候	倅	光	公	功	功	勾	厚	口	向			
8D40	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	瓜	庚	康	弘
8D50	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	更	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩
8D60	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紉	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔
8D70	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	鉅	鉅	鋼	閭	降		
8D80	頂	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	勳	克	刻
8D90	告	國	穀	酷	鵠	黑	獄	澀	腰	慳	慳	骨	迫	迫	此	
8DA0	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	昏	昆	棍	棍	混	痕	紺	良

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8DB0	魂	些	佐	叉	峻	嵯	左	差	查	沙	瑳	砂	詐	鎖	鎖	坐
8DC0	座	挫	債	催	催	再	最	哉	妻	宰	彩	才	採	裁	歲	濟
8DD0	災	采	犀	碎	砦	砦	祭	齋	細	菜	裁	載	劑	在	材	罪
8DE0	財	牙	坂	坂	堺	堺	肴	咲	崎	崎	崎	驚	作	削	炸	搾
8DF0	昨	朔	柵	窄	窄	策	索	錯	梭	鞋	鞋	匙	匙	冊	冊	刷
8E40	察	抄	撮	擦	札	殺	薩	雜	韋	鯖	捌	捌	絞	晒	晒	三
8E50	傘	參	山	慘	撒	散	伐	燦	珊	產	算	纂	蠶	讚	贊	酸
8E60	餐	斬	暫	殘	仕	仔	伺	使	刺	司	嗣	嗣	四	士	始	姊
8E70	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	攷	斯	施	旨	枝	止	
8E80	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
8E90	詔	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒	字	寺	慈	持	時	次
8EA0	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蔣	碎	汐	鹿	式	識
8EB0	嶋	竺	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	至	悉	濕	漆	疾	質
8EC0	実	部	篠	俣	柴	芝	屢	蕊	綿	舍	写	射	捨	赦	斜	煮
8ED0	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	那	借	勺	尺	杓	灼	爵	酌	積
8EE0	錫	若	寂	弱	慈	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣
8EF0	酒	首	儒	受	呪	呪	授	樹	綬	需	因	収	周			
8F40	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	緒	習	臬	臬	丹	菟
8F50	襲	襲	躡	躡	週	酉	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎	柔

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8F60	汁	汎	獸	縱	重	銃	叔	夙	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出	
8F70	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	
8F80	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	曙	渚	庶	緒	
8F90	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐	鋤	除	傷	償	勝	
8FA0	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	娼	宵	將	小	少	尚	庄	
8FB0	床	廠	彰	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樵		
8FC0	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	粧	
8FD0	紹	肖	莒	苒	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	齧	鉦	鍾
8FE0	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乘	冗	刺	城	場	壤	壤	常	情	擾
8FF0	条	杖	淨	狀	置	穢	蕞	蕞	蕞	釅	釅	釅	釅	釅	飾	
9040	拭	植	殖	燭	織	職	色	蝕	食	蝕	辱	尻	仲	信	侵	唇
9050	娠	復	審	心	慎	振	新	晉	森	榛	浸	深	申	珍	真	神
9060	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	刃	塵	
9070	王	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	韌	筍	須	詐	囟	厨		
9080	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	遂	酢	酢	鍾	隨	
9090	瑞	髓	崇	蒿	數	樞	趨	難	据	杉	梠	菅	頤	雀	裾	澄
90A0	摺	寸	世	瀨	畝	是	凌	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星
90B0	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請
90C0	逝	醒	青	靜	齊	稅	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
90D0	籍	績	脊	貴	赤	跡	蹟	蹟	切	拙	挾	摺	摺	設	窃	節
90E0	說	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰	扇	撰

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
90F0	柱	栢	泉	浅	洗	染	港	煎	煽	旋	穿	箭	線			
9140	織	羨	腺	舛	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	錢	銑	閃	鮮	前
9150	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糧	嚕	嚕	望	咀	措	曾	曾	狙
9160	疏	疎	礎	祖	祖	粗	素	組	蘇	訴	阻	遯	鼠	僧	創	双
9170	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	屠	匠	忽	想	搜	掃	掃	搥	
9180	操	早	曹	巢	槽	槽	灣	灣	争	瘦	相	容	糟	總	綜	聰
9190	草	莊	葬	蒼	藻	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	增	憎	臧	
91A0	藏	贈	造	促	側	則	則	即	息	捉	束	測	速	俗	屬	賊
91B0	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	汰	
91C0	訖	唾	墮	妥	恹	打	仝	舵	脩	陀	駝	駝	駝	駝	駝	駝
91D0	岱	帶	待	怠	態	戴	苔	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮
91E0	隊	黨	鯛	代	大	第	醒	題	鷹	淹	濯	卓	啄	宅	托	
91F0	扞	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	荳	夙	銷	只			
9240	叩	但	達	旦	奪	脫	巽	豎	迪	棚	谷	鯨	鱈	樽	丹	
9250	單	嘆	坦	担	担	旦	坎	淡	湛	炭	炭	端	筆	綻	耽	
9260	蛋	誕	鍛	団	墻	彈	斷	斷	壇	壇	段	男	談	他	知	弛
9270	恥	智	池	雍	雍	置	致	致	致	遲	馳	樂	築	竹	筑	蓄
9280	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	由	忠	抽	屋	柱	注	虫	衷	
9290	註	耐	銑	駐	樁	豬	猪	芋	貯	丁	兆	涸	囉	龍	帖	
92A0	帳	庁	弔	張	彫	微	邀	挑	暢	朝	潮	樺	眺	眺	脹	
92B0	腸	蝶	調	調	超	跳	跳	跳	跳	頂	烏	勅	抄	直	沈	珍

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
92C0	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	楓	楓	佃
92D0	漬	柘	辻	薦	鐸	椿	濟	坪	壘	嬌	紬	爪	吊	釣	鶴	
92E0	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	廷	弟	悌	抵	
92F0	挺	提	梯	汀	錠	禎	程	締	艇	訂	諦	諦	遞			
9340	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鐃	溺	哲	徹
9350	撤	職	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	軋	顛	点
9360	伝	殿	澁	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登
9370	菟	賭	途	都	鍬	砥	砥	砥	度	土	奴	怒	倒	党	冬	
9380	凍	刀	唐	塘	塔	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	束	桃	梲	棟
9390	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到	董
93A0	蕩	藤	討	膳	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	鬪	動	同	
93B0	堂	導	懂	撞	洞	腫	董	胸	苟	道	銅	峠	鐃	匿	得	德
93C0	洩	特	誓	禿	禿	毒	獨	詆	析	怵	凸	突	殺	屈	薦	苔
93D0	夷	酉	潯	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	吞	雲	鈍	奈	那
93E0	内	乍	皿	難	謎	灘	捺	鍋	捺	鍋	馴	繩	礙	南	柄	難
93F0	汝	二	尼	式	迓	勾	飯	肉	虹	甘	日	乳	入			
9440	如	尿	菲	妊	妊	忍	認	濡	襦	祢	寧	葱	猫	熟	年	念
9450	捻	撚	撚	粘	乃	洒	之	莖	囊	惱	濃	納	能	腦	膿	農
9460	覗	蚤	巴	把	播	霸	杷	波	派	芭	婆	芭	馬	俳		
9470	虜	拜	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	
9480	煤	煤	狼	買	売	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剎	博	拍

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9490	柏	泊	白	箔	柏	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麥	函
94A0	箱	裕	箸	箸	箸	櫨	櫨	肌	畑	富	八	鉢	浣	髒	髒	髒
94B0	伐	罰	拔	伐	閤	鳩	嘶	鳩	鳩	隼	判	判	半	反	叛	帆
94C0	搬	斑	板	汜	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎
94D0	煩	飯	挽	挽	挽	挽	挽	挽	挽	挽	挽	挽	挽	挽	挽	挽
94E0	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	秘	罷	罷	罷	罷	罷
94F0	避	非	飛	颯	颯	備	尾	微	批	毘	毘	眉	美			
9540	鼻	柁	稗	匹	疋	髭	彥	膝	麥	肘	弼	必	畢	畢	畢	畢
9550	姬	媛	紐	百	謬	儀	彪	標	水	漂	瓢	票	表	評	豹	廟
9560	描	病	秒	苗	苗	鉅	蒜	蒜	鱈	品	斌	浜	瀕	貧	貧	貧
9570	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	佈	扶	敷	
9580	芹	菩	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
9590	武	舞	葡	無	部	封	楓	風	貢	露	伏	副	復	幅	服	福
95A0	腹	複	覆	淵	非	弘	沸	仏	物	鮒	分	吻	墳	墳	扮	
95B0	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	摒	幣	平	弊	柄
95C0	並	蔽	閉	陛	米	貢	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	罷	罷	罷
95D0	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	鞭	便	鋪	鋪	鋪	鋪
95E0	步	甫	補	輔	輔	募	墓	慕	茂	暮	母	簿	菩	俶	俶	包
95F0	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	崩	抱	捧	放	方	朋			
9640	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蟻	襲	訪	豐	邦	鋒	飽
9650	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	妨	妨	帽	忘	亡	房	暴	望	某	棒

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9660	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉞	防	吠	類	北	僕	卜	墨	撲
9670	朴	牧	睦	穆	鉤	勃	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆		
9680	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	每	哩	模	幕	膜	枕	牀	枉
9690	鱗	櫛	亦	僕	又	抹	末	沫	迄	佟	磨	万	慢	滿	漫	
96A0	蔓	味	未	魅	已	貫	岬	密	蜜	衰	裋	稔	脈	妙	耗	民
96B0	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鷗	掠	婿	娘	冥	名	命	明	盟
96C0	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	麵	麵	摸	模	茂	妄
96D0	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	空	勿	餅	尤	戾
96E0	粉	貢	問	悶	紋	門	刃	又	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄
96F0	役	約	葉	詠	躍	靖	柳	敷	鏞	偷	愈	油	癒			
9740	論	輸	唯	佑	優	勇	友	有	幽	悠	憂	損	有	柚	湧	涌
9750	猶	猷	祐	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	嘗
9760	與	預	傭	幼	妖	容	庸	搖	擁	躍	楊	樣	洋	溶	熔	
9770	用	羶	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲	
9780	沃	浴	翌	翼	淀	羅	裸	來	萊	萊	雷	洛	絡	落	酪	
9790	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	吏	履	李	梨	理	璃	痢
97A0	裹	裡	里	離	陸	律	率	立	律	掠	略	劉	流	溜	琉	留
97B0	疏	粒	陸	龍	侶	慮	旅	慮	了	亮	僚	兩	潦	寮	料	
97C0	梁	涼	獠	療	瞭	稜	糧	良	詠	遼	量	陵	領	力	綠	倫
97D0	厘	林	淋	琳	臨	臨	輪	麟	麟	璿	璿	璿	璿	璿	璿	璿
97E0	伶	例	冷	勵	嶺	玲	玲	礼	苓	鈴	鈴	零	靈	齡	曆	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
97F0	歷	列	劣	烈	裂	廉	戀	憐	漣	煉	簾	練	聯			
9840	蓮	連	鍊	呂	魯	櫓	炉	路	露	劣	婁	廊	弄	朗	樓	
9850	榔	浪	漏	牢	狼	毫	老	蠶	郎	六	麓	祿	肋	錄	論	
9860	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	梓	驚	互	巨	鯢	詫	藁	蕨	槐
9870	灣	碗	腕													
9880																
9890																弌
98A0	巧	丕	个	丌	、	井	ノ	乂	乖	乘	亂	」	豫	舒	弌	弌
98B0	于	亞	亟	一	亢	京	毫	量	从	仄	仆	仆	仆	仆	仆	仆
98C0	仟	价	伉	伉	伉	估	佛	何	佗	佗	佗	佗	佗	佗	佗	佗
98D0	侑	佯	來	侖	儘	倪	俟	俚	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅
98E0	倨	倨	倪	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅
98F0	會	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕
9940	叢	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
9950	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
9960	兪	兮	冀	門	同	册	冉	岡	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓
9970	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓
9980	凰	口	吻	刀	刊	刊	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
9990	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
99A0	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
99B0	匆	匆	匆	匆	匆	匆	匆	匆	匆	匆	匆	匆	匆	匆	匆	匆

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
99C0	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅
99D0	廠	厶	參	簍	雙	曼	曼	曼	叮	叨	叭	叭	叭	叭	叭	叭
99E0	吼	吼	吼	吼	吼	吼	吼	吼	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄
99F0	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄
9A40	咫	晒	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄
9A50	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄
9A60	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄
9A70	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄
9A80	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄
9A90	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄
9AA0	國	團	團	團	團	團	團	團	團	團	團	團	團	團	團	團
9AB0	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚
9AC0	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚
9AD0	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
9AE0	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
9AF0	夸	夾	夸	夾	夸	夾	夸	夾	夸	夾	夸	夾	夸	夾	夸	夾
9B40	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪
9B50	娜	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉
9B60	媽	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗
9B70	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗
9B80	它	宦	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9B90	寔	冠	將	專	對	尔	尠	尠	尠	尸	尹	屈	屈	屈	屈	屈
9BA0	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏
9BB0	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
9BC0	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
9BD0	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠
9BE0	厝	厝	厝	厝	厝	厝	厝	厝	厝	厝	厝	厝	厝	厝	厝	厝
9BF0	幣	幫	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵
9C40	廖	廣	廩	廩	廩	廩	廩	廩	廩	廩	廩	廩	廩	廩	廩	廩
9C50	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃
9C60	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖
9C70	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕
9C80	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙
9C90	恹	恹	恹	恹	恹	恹	恹	恹	恹	恹	恹	恹	恹	恹	恹	恹
9CA0	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛
9CB0	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠
9CC0	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠
9CD0	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠
9CE0	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠
9CF0	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠
9D40	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩
9D50	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9D60	拜	拌	拊	拂	拇	拋	拉	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈
9D70	挾	捍	搜	揔	揔	揔	揔	揔	揔	揔	揔	揔	揔	揔	揔	揔
9D80	振	掾	搭	揔	揔	揔	揔	揔	揔	揔	揔	揔	揔	揔	揔	揔
9D90	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗
9DA0	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒
9DB0	攢	攢	攢	攢	攢	攢	攢	攢	攢	攢	攢	攢	攢	攢	攢	攢
9DC0	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸
9DD0	斷	旆	旆	旆	旆	旆	旆	旆	旆	旆	旆	旆	旆	旆	旆	旆
9DE0	杏	呢	邪	邪	邪	邪	邪	邪	邪	邪	邪	邪	邪	邪	邪	邪
9DF0	晰	罪	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈
9E40	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄
9E50	霸	尤	束	束	束	束	束	束	束	束	束	束	束	束	束	束
9E60	杼	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪
9E70	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝
9E80	梳	栉	栉	栉	栉	栉	栉	栉	栉	栉	栉	栉	栉	栉	栉	栉
9E90	梵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵
9EA0	棧	棕	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧
9EB0	榆	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟
9EC0	棟	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢
9ED0	框	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢	桢
9EE0	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9EF0	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖	欖
9F40	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠
9F50	藥	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠
9F60	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲
9F70	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫
9F80	魔	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈
9F90	汾	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
9FA0	泛	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
9FB0	涓	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚
9FC0	清	泮	泮	泮	泮	泮	泮	泮	泮	泮	泮	泮	泮	泮	泮	泮
9FD0	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙
9FE0	游	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾
9FF0	溟	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁
E040	漾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾
E050	潘	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾
E060	濮	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠	濠
E070	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾
E080	烙	焉	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇
E090	煩	熨	熬	熬	熬	熬	熬	熬	熬	熬	熬	熬	熬	熬	熬	熬
E0A0	燿	燿	燿	燿	燿	燿	燿	燿	燿	燿	燿	燿	燿	燿	燿	燿
E0B0	抵	梧	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
E0C0	貉	狼	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹
E0D0	獎	獾	獾	獾	獾	獾	獾	獾	獾	獾	獾	獾	獾	獾	獾	獾
E0E0	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥
E0F0	瑩	瑩	瑩	瑩	瑩	瑩	瑩	瑩	瑩	瑩	瑩	瑩	瑩	瑩	瑩	瑩
E140	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠
E150	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕
E160	畫	畚	畚	畚	畚	畚	畚	畚	畚	畚	畚	畚	畚	畚	畚	畚
E170	疳	疳	疳	疳	疳	疳	疳	疳	疳	疳	疳	疳	疳	疳	疳	疳
E180	痼	痼	痼	痼	痼	痼	痼	痼	痼	痼	痼	痼	痼	痼	痼	痼
E190	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰
E1A0	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋
E1B0	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋	𦍋
E1C0	昵	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
E1D0	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋
E1E0	矜	矜	矜	矜	矜	矜	矜	矜	矜	矜	矜	矜	矜	矜	矜	矜
E1F0	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣
E240	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪
E250	祓	祓	祓	祓	祓	祓	祓	祓	祓	祓	祓	祓	祓	祓	祓	祓
E260	校	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林
E270	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣
E280	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
E290	竦	謁	謁	謁	謁	謁	謁	謁	謁	謁	謁	謁	謁	謁	謁	謁
E2A0	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
E2B0	箍	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空
E2C0	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑
E2D0	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑	簑
E2E0	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵
E2F0	糗	糗	糗	糗	糗	糗	糗	糗	糗	糗	糗	糗	糗	糗	糗	糗
E340	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
E350	絮	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫
E360	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總
E370	縣	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫
E380	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹
E390	辦	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹	縹
E3A0	罌	罌	罌	罌	罌	罌	罌	罌	罌	罌	罌	罌	罌	罌	罌	罌
E3B0	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈
E3C0	翅	翠	翠	翠	翠	翠	翠	翠	翠	翠	翠	翠	翠	翠	翠	翠
E3D0	耙	耙	耙	耙	耙	耙	耙	耙	耙	耙	耙	耙	耙	耙	耙	耙
E3E0	聰	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾
E3F0	胙	胙	胙	胙	胙	胙	胙	胙	胙	胙	胙	胙	胙	胙	胙	胙
E440	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾
E450	膠	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾

[illegible][illegible]

11.4 インターネットファクス用語集

インターネットファクス通信で一般に使われる用語について説明します。

	用語	説明
記号・アルファベット	DSN	DSN =Delivery Status Notifications の略。受信側のメールサーバーに電子メールが到着した時に送信側に送られる配送状態通知メッセージのことです。
	MDN	MDN=Message Disposition Notifications の略。 送信側が開封確認を要求している場合に送られる開封確認メッセージのことです。
	POP3	Post Office Protocol - Version 3 の略。 電子メールの送受信で、一般的に使われている通信プロトコル（通信の約束ごと）のひとつです。メールボックスの認証、電子メールのダウンロードや一覧情報の確認、電子メールの削除などの機能を持ちます。
	SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。 電子メールの送受信で、一般的に使われている通信プロトコル（通信の約束ごと）のひとつです。
あ行	インターネットファクス	イントラネット（企業内ネットワーク）やインターネットを経由し、読込んだ原稿をインターネットファクスやコンピューターとのあいだで電子メールの添付文書（TIFF 形式）として送受信する通信形態のことです。

11.5 ファクス用語集

ファクス通信で一般に使われる用語について説明します。

本機で搭載されていない機能の用語についても説明されている場合があります。

	用語	説明
記号・アルファベット	bps	bit per second の略です。 データ伝送の単位で、1 秒間に送るデータ量を表します。
	ECM	(Error Correction Mode: 誤り訂正方式) G3 通信の誤り再送方式です。相手に正しくデータが送られたかどうかを確認し、正しく送られていない場合はそのデータを再送しながら通信します。相手側が ECM モードをもっていれば、本機では ECM オフを指定しない限り、ECM で通信されません。
	F コード	ITU-T (国際電気通信連合) で標準化された T.30 * のサブアドレスの使い方について、CIAJ (情報通信ネットワーク産業協会) が定めた通信手順のことです。F コード機能をもつファクス間の通信では、メーカーが異なる場合も、F コードを使用したいいろいろな機能を利用することができます。本機では、掲示板、中継依頼、親展通信、パスワード送信で F コードを使っています。(* 通信の規格のことです)
	G3	ITU-T (国際電気通信連合) が標準化したファクスの通信モードのひとつです。通信モードには、G3、G4 があります。G3 は、現在最も多く使われているモードです。
	LDAP	Lightweight Directory Access Protocol の略。 インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークで、ネットワークを利用するユーザーのメールアドレスや、環境に関する情報を管理できるデータベースにアクセスするためのプロトコルのこと。
	PB	ブッシュ回線のことです。
	PC-FAX	紙を使用せずに、コンピューターから直接ファクス送信できる機能のことです。
	Super G3 (SG3)	ITU-T V.34 に準拠した G3 通信のモードです。通常の G3 通信より高速 (最高 33,400bps) で通信することができます。
	TSI	Transmitting Subscriber Identification の略で、送信 (発信) ファクス端末の ID のことです。
	V34	スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式のことです。相手機又は自社機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によっては、スーパー G3 モードで通信できない場合があります。このような場合は、V34 OFF を選択することによって、スーパー G3 モードをオフにして送信することをおすすめします。
	Z 折れ原稿	折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿の場合に、いったん原稿サイズを確定してから原稿を読み込み送信する機能のことです。この機能は、原稿を ADF で読み込む場合にだけ使用できます。

	用語	説明
あ行	宛先確認送信	送信時に、指定したファクス番号と相手機のファクス番号情報（CSI）を比較して、一致した場合のみ送信する機能のことです。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止することができます。
	宛先レベル	情報のセキュリティのため、特定の宛先情報を特定の人にだけ閲覧できるように設定する機能のことです。ユーザー認証と連動して使用し、設定したユーザーレベルと一致した宛先レベルの情報だけを閲覧できます。
	一括送信	宛先、送信時刻、メモリー送信や解像度などの送信条件が同じ文書がメモリーに蓄積されると、指定した時刻にひとつの文書として自動的に送信されることです。
か行	海外通信	国外の相手と通信をすることです。海外通信モードに設定すると、ゆっくりとしたスピードで通信します。国内でも、通信状態の悪いところへ通信するときは、海外通信モードに設定しておく、確実に通信することができます。
	解像度	原稿を読み取る細かさのことです。解像度の数値が大きいほど、画質は細くなり、送信にかかる時間（電送時間）が長くなります。必要に応じた解像度を選択してください。
	加入回線	日本電信電話株式会社（NTT）グループが提供している公衆電話回線のことです。
	強制メモリー受信	受信した文書をメモリーに蓄積し、必要に応じてプリントする機能のことです。
	クイックメモリー送信	原稿を1ページ読み取ると同時にファクス送信を始める方法のことです。原稿の枚数が多い場合にもメモリーオーバーすることなく送信する機能のことです。
	グループ	複数の短縮番号をグループ化しておくことです。同じ宛先に順次同報や順次ポーリング受信をすることが多い場合に便利です。
	掲示板	閲覧したい文書を掲示したり、ポーリング送信したい文書を蓄積しておく機能のことです。
	原稿のとししろ	ADFを使って両面原稿を送信する場合に原稿のとし位置を設定する機能です。両面原稿のとし位置には、原稿の上側（または下側）にとし位置がある「上開き/とし」と、原稿の左（または右側）にとし位置がある「左開き/とし」があり、原稿の裏面の上下関係が異なります。
	原稿枚数	原稿の総ページ数を付けて送信することで、クイックメモリー送信の場合に使います。原稿が正しく届いたかを確認するのに便利です（メモリー送信の場合は、自動的に総ページ数が付けられます）。
	混載原稿	サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを検知して送信する機能のことです。

	用語	説明
さ行	再送信	メモリーに保存されている送信できなかった文書を選択して、同じ宛先か、または宛先を変更してもう一度送信する機能のことです。
	下地調整	原稿の背景色の濃さを調整して送信する機能のことです。
	シャープネス	文字のエッジを強調して送信する機能のことです。
	主走査	原稿を読み取るときの横方向のことです。
	初期値	工場出荷時に、あらかじめ設定されている値のことをいいます。初期値のいくつかは、設定メニューで変更することができます。お使いの状況に合わせ、よく使う値を初期値に設定しておくくと便利です。
	親展通信	特定の人にだけ見せたい原稿を送受信する機能です。親展送信した原稿は、受信側の親展ボックスに蓄積され、受信時には印刷されません。親展ボックスの暗証番号を入力するなどの操作をすると、受信した文書が印刷されます。
	手動送信	相手側の状態を確認しながら送信する場合の操作です。
	送信予約	送信中やプリント中に、次の送信を予約する機能のことです。
た行	ダイアルイン	ファクス用の電話番号と、電話用の電話番号を別にもつことができる機能のことです。ダイアルイン機能を使用するためには、NTT にダイアルイン機能（モデムダイアルイン）の申し込みが必要です。
	ダイアル方式	PB（プッシュ式回線）、10PPS（ダイアル式回線 / 10PPS）、20PPS（ダイアル式回線 / 20PPS）の3種類があります。
	代行転送	操作パネルの設定確認ボタンを使い、出力待ちの受信原稿を手動で転送する機能のことです。代行転送は、ファクス / スキャン画面が表示されているとき、紙なし、または紙づまりで動作が中断しているときに設定します。
	タイマー通信	指定した時刻に通信する機能のことです。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。
	短縮宛先	頻繁に送信する宛先のファクス番号を登録しておく機能のひとつです。短縮宛先を登録するときに、宛先名と検索文字を登録しておく、短縮選択の検索文字を利用して宛先を指定することもできます。
	着信	ファクスに電話がかかってきた状態をさします。
	着信拒否宛先	着信拒否したい相手の電話番号をあらかじめ登録し、迷惑ファクスを受信しないようにする機能のことです。登録されている電話番号と着信電話番号が一致した場合、「着信拒否」とメッセージを表示し受信されません。
	中継配信局	中継指示局からの中継依頼を受けて、中継配信先に同報をするファクスのことです。
	中継指示局	中継同報の指示をするファクスのことです。

	用語	説明
	中継同報	他のファクス（中継配信局と呼びます）を経由して、同報送信をする機能のことです。同報先が遠隔地に複数ある場合、同報先のひとつを中継局に設定し、中継局から同報送信をすることで、全体の通信料金を削減することができます。
	長尺原稿	A3 サイズ（420 mm）より長い、長尺サイズ of 原稿を送信する機能のことです。長い原稿を送信したい場合は、長尺原稿を指定することにより送信することができます。
	電送時間	ファクスを送る時間のことです。解像度が高く、用紙サイズが大きいほど、電送時間が長くなります。
	伝送速度	ファクスではモデムの伝送速度のことをいいます。本機では、33,600bps などの高速な伝送速度で通信できます。海外通信モードに設定しておく、7200bps や 4800bps のノイズに強い伝送速度で通信します。
	同報	ひとつの原稿を 1 回の操作で複数の相手に送信することです。
は行	パスワード送信	パスワードをつけて送信する機能のことです。相手機が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。
	発信	電話をかけることをさします。ファクスでは、原稿を送信したり、ポーリングをするためにダイヤルすることです。
	発信元名	漢字、英数カナで表す自局の名称のことです。受信側で、送信原稿の先端に発信元印字の一部として記録されます。
	発信元記録	ファクス送信をしたときに、受信側の記録紙の先端に印刷される、送信日時、名前、電話番号、ページ番号などのことです。
	ファクス ID	ファクス通信をするときに、お互いを確認するための識別コードのことです。通常は、ファクスの電話番号を登録します。
	副走査	原稿を読み取るときの縦方向のことです。
	ブック連写	本やカタログなどをファクス送信する場合に、表カバー、裏カバー、左右のページが分割され、それぞれ 1 ページとして送信できる機能のことです。
	プログラム宛先	頻繁に送受信する宛先のファクス番号や、定型で使う送信の操作手順などを登録しておく機能のことです。プログラムキーを押すだけで、宛先を指定したり、自動的に機能を設定して通信することができます。
	閉域受信	パスワードが一致する相手機からの通信のみを受け付ける機能のことです。
	ポーズ	間隔をあけてダイヤルすることです。本機ではポーズを 1 回押すと、1 秒の間隔をあけることができます。

	用語	説明
	ポーリング	相手側にセットされているか、またはメモリーに蓄積されている原稿を、受信側からの操作で送信させる機能です。
ま行	メモリー	データをいったん蓄積しておく場所です。通信の指示をするときや、代行文書を蓄積するときに使われます。
	メモリーオーバーフロー	読込んだ原稿や代行文書を蓄積しているときに、ファクス画像メモリーが一杯になった状態をいいます。
	メモリー送信	原稿を読み取り、メモリーに蓄積してからファクス送信を始める方法のことです。メモリー送信を使用すると、発信元記録のページ数に自動的に総ページ数が付けられ、送信結果レポートに送信文書の1ページ目の画像が記載されます。ただし、原稿のページ数が多い場合や、原稿の画質が細密なために情報量が多い場合はメモリーオーバーすることがあります。
	メモリー代行受信	用紙切れなどで、受信文書をプリントできない状態のとき、自動的に受信文書をメモリーに蓄積する機能です。用紙補給などの処置をすると、代行蓄積文書が印刷されます。
や行	読み込み	原稿を光学的に走査して、画像データに変換して取り込むことです。
	読み込みサイズ	原稿を読み込むサイズを指定して送信する機能のことです。受信側の用紙幅が送信原稿より小さい場合、通常は縮小して記録されます。縮小したくない場合に、原稿サイズを受信側の用紙サイズに指定すると、原寸で送信することができます。
ら行	リダイヤル	相手機が、話中のときなどに、時間をあけて再びダイヤルをすることです。 手動でリダイヤルする方法と、自動的にリダイヤルされる自動リダイヤルがあります。
	リモート受信	外部電話からリモート受信番号を使って受信の指示をする機能のことです。
わ行	枠消し	ADFを開いたまま原稿を読み取ったり、冊子になっている原稿を読み込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信する機能のことです。



第 12 章

索引

12.1	使用別索引	12-2
12.2	項目別索引	12-7

12.1 使用別索引

■ E

E-mail

- E-mail の件名や本文などを設定して送信する (E-mail 設定) 6-43
- スキャンしたデータのファイル名を設定して送る (文書名) 6-27

E-mail 件名

- 削除する 8-40
- 初期値を設定する 8-39
- 登録する 8-35
- 変更する 8-37

E-mail 本文

- 削除する 8-47
- 初期値を設定する 8-46
- 登録する 8-42
- 変更する 8-44

■ あ行

宛先レベル

- 宛先レベルを変更する (宛先レベル設定) 8-32

宛先を指定する

- 宛先を 1 箇所だけ指定する 2-30
- 直接入力で指定する 2-35
- 登録宛先から指定する 2-30
- 複数の宛先を指定する 2-41
- プログラム宛先から指定する 2-43

印刷する

- ファクス送信と同時にコピーをする (同時印刷) 6-22
- レポート / リストの種類 10-2

■ か行

確認する

- 宛先を確認 / 削除する 2-45
- 宛先を再確認して送信する (宛先確認表示機能) 6-41
- 設定状態を確認する 2-45
- 送信前に読み込み状態を確認する (仕上りプレビュー) 2-60
- 送信予約ジョブを確認する 2-55
- 通信結果を確認する 2-56
- 読み取ったことを確認する (済みスタンプ) 6-25

記録する

- 縮小して記録するとき 3-6
- 受信時の記録方法 3-11

等倍で記録するとき	3-10
用紙におさまるように縮小して記録するとき	3-6

グループ

グループ宛先を削除する	8-25
グループ宛先を登録する	8-20
グループ宛先を変更する	8-24

原稿にあわせて送る

折り目のある原稿を送る（Z 折れ原稿）	6-32
黒い影を消して送る（枠消し）	6-11
原稿のとじ位置を指定する（原稿のとじしろ）	6-36
原稿を読み込むサイズを指定して送る（読み込みサイズ）	6-19
サイズの異なる原稿を一度の操作で送る（混載原稿）	6-29
長い原稿を送る（長尺原稿）	6-34
見開き原稿を左右 1 ページずつ分けて送信する（ブック連写）	6-14

原稿をセットする

ADF/ 原稿ガラスの両方を使って原稿を送るには	2-21
ADF に原稿をセットする	2-17
原稿ガラスで複数枚の原稿を送るには	2-19
原稿ガラスに原稿をセットする	2-18
原稿をセットする	2-17

■ さ行

サービス

「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール）	4-11
---------------------------------------	------

設定しておく

E-mail 受信を設定する（E-mail 受信（POP））	9-53
E-mail 送信を設定する（E-mail 送信（SMTP））	9-50
SMTP 送受信の設定をする（ネットワークファクス設定）	9-58
TCP/IP を設定する（TCP/IP 設定）	9-48
宛先情報を保護する（参照許可設定）	9-38
宛先登録の変更禁止を設定する（登録宛先変更）	9-30
機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）	9-72
強制メモリー受信した文書を取り扱う	7-2
強制メモリー受信を設定する（強制メモリー受信設定）	9-75
スタンプを印字する設定をする（スタンプ設定）	9-36
送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）	9-69
通信履歴を表示されないようにする（通信履歴表示）	9-91
ネットワークファクス機能を有効にする（ネットワークファクス機能設定）	9-55
ネットワークファクスの機能を設定する（ネットワークファクス設定）	9-81
発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）	9-67
発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報）	9-64
発信元名とファクス ID を登録する（発信元 / ファクス ID 登録）	9-61
パワーセーブ移行条件を設定する（パワーセーブ移行）	9-28
ファクス / スキャン画面の初期状態を設定する（ファクス / スキャン設定）	9-19
ファクス機能の初期設定値を設定する（ファクス / スキャン初期設定）	9-26
ファクス送信機能を禁止する（FAX 送信禁止）	9-87
ファクス動作中の画面を設定する（ファクス動作中画面）	9-22
ファクス番号の直接入力を禁止する（手動宛先入力）	9-85

ファクス番号を表示されないようにする（個人情報非表示）	9-89
複数宛先禁止を設定する（複数宛先禁止）	9-32
本体の E-mail アドレスを登録する（本体アドレス登録）	9-46
レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）	9-78

■ た行

短縮

宛先確認 / 登録画面から短縮宛先に登録する	8-14
短縮宛先に IP アドレスを登録する	8-11
短縮宛先に SIP ファクス番号を登録する	8-7
短縮宛先に電子メールアドレスを登録する	8-4
登録宛先を検索する（宛先種類）	2-31
登録宛先を検索する（検索文字キー）	2-31
登録宛先を検索する（詳細検索）	2-33
短縮宛先を削除する	8-18
短縮宛先を指定して送信する	2-30
短縮宛先を変更する	8-16

中止する

通信中に中止する	2-54
----------------	------

調整して送る

背景色の濃度を調整して送る（下地調整）	6-5
文字のエッジを強調して送る（シャープネス）	6-8

できない

エラーメッセージが表示された	4-6
原稿サイズが検知できないときは	2-48
受信できない	3-4, 4-5
送信できない（SIP ファクス / IP アドレスファクス）	4-3
送信できない（インターネットファクス）	4-2
送信できない	2-49
メモリーオーバーしたときは	2-48

動作

原稿読み込み中の動作	2-48
------------------	------

登録する

E-mail 件名 / 本文	8-35
グループ宛先	8-20
短縮宛先	8-4
プログラム宛先	8-26

■ な行

名前とはたらきを確認する

操作パネル	1-7
ネットワークファクス機能で表示される画面	1-9

■ は行

ファクスを受ける

強制メモリー受信した文書を取り扱う	7-2
受信する (SIP ファクス /IP アドレスファクス)	3-3
受信する (インターネットファクス)	3-2

ファクスを送る

宛先を 1 箇所だけ指定する	2-30
操作の流れ (IP アドレスファクス)	2-12
操作の流れ (SIP ファクス)	2-7
操作の流れ (インターネットファクス)	2-2
送信カラーを設定する (SIP ファクス /IP アドレスファクス)	2-23
発信元情報について	2-59
発信元情報のつけ方を指定する (ファクス発信元設定)	6-47
複数の宛先を指定する	2-41
読み込み条件を設定する	2-25

プログラム

プログラム宛先で送信する	2-43
プログラム宛先を削除する	8-30
プログラム宛先を登録する	8-26

■ ま行

メモリー

メモリーオーバーしたときは	2-48
メモリーへの蓄積枚数について	11-2

文字

英数字を入力する	11-4
カタカナを入力する	11-6
漢字を入力する	11-7
入力文字一覧	11-10
ひらがなを入力する	11-5
文字コードで入力する	11-9

■ ら行

リスト

グループ宛先リスト	10-20
件名 / 本文リスト	10-26
設定値リスト	10-29
短縮宛先リスト	10-17
プログラム宛先リスト	10-23
レポート / リストの種類	10-2

レポート

DSN メッセージ印刷	10-15
-------------------	-------

MDN メッセージ印刷	10-14
インターネットファクス受信エラーレポート	10-13
正常受信メール本文	10-16
送信結果レポート	10-9
通信管理レポート	10-5
同報送信結果レポート	10-11
レポート / リストの種類	10-2

12.2 項目別索引

アルファベット

ADF	2-17, 2-21
DSN	10-15
E-mail 件名	8-35
E-mail 受信 (POP)	9-53
E-mail 設定	6-43
E-mail 送信 (SMTP)	9-50
E-mail 本文	8-42
FAX 送信禁止	9-87
MDN	10-14
SMTP 受信設定	9-58
SMTP 送信設定	9-58
TCP/IP 設定	9-48
Z 折れ原稿	6-32

あ行

宛先確認表示機能	6-41
宛先種類	2-31
宛先レベル	8-32
宛先を指定する	2-30
エラーメッセージ	4-6

か行

回線パラメーター設定	9-67
解像度	2-28
片面	2-27
片面 / 両面	2-27
管理者設定画面	9-3
機能 ON/OFF 設定	9-72
強制メモリー受信	7-2, 9-75
強制メモリー受信ボックス	8-49
グループ宛先	2-42, 8-20
グループ宛先リスト	10-20
原稿画質	2-26
原稿ガラス	2-18
原稿サイズの検知	2-48
原稿設定	6-3
原稿の自動回転	2-48
原稿のとじしろ	6-36
原稿をセットする	2-17
検索文字キー	2-31
件名 / 本文リスト	10-26
個人情報非表示	9-89
ご注意	1-2, 1-3
混載原稿	6-29

さ行

サービスコール	4-11
参照許可設定	9-38
仕上りプレビュー	2-60
下地調整	6-5
シャープネス	6-8
縮小	3-6
受信エラーレポート	10-13
受信時の記録	3-6, 7-4
受信情報	3-12
受信する	3-2, 3-3
受信できない	3-4, 4-5
手動宛先入力禁止	9-85
仕様	5-3
詳細検索	2-33
ジョブの確認	2-55
スタンプ / ページ印字	6-3
スタンプ設定	9-36
済みスタンプ	6-25
正常受信メール本文	10-16
設定状態	2-45
設定値リスト	10-29
設定メニューの操作	9-2
操作の流れ	2-2, 2-7, 2-12
操作パネル	1-7, 1-9
送信カラー	2-23
送信 / 受信設定	9-69
送信できない	2-49, 4-2, 4-3

た行

短縮宛先	8-4
短縮宛先リスト	10-17
中止	2-54
長尺原稿	6-34
直接入力	2-35
通信管理レポート	10-5
通信結果	2-56
通信設定	6-4
通信履歴表示	9-91, 10-9
同時印刷	6-22
等倍	3-10
同報送信	2-41
同報送信結果レポート	10-11
登録宛先	2-30
登録宛先変更禁止	9-30
特長	1-4, 1-5, 1-6
トラブルコード	4-11

トラブル処置 4-1

レポート出力設定 9-78

な行

ネットワークファクス機能設定 9-55

ネットワークファクス設定 9-81

濃度 2-29

わ行

枠消し 6-11

は行

はじめに設定が必要な項目 1-11

発信元 / 受信情報 9-64

発信元 / ファクス ID 登録 9-61

発信元情報 2-59

パワーセーブ移行 9-28

ファイリングナンバー 6-2

ファクス / スキャン宛先登録画面 8-2

ファクス / スキャン初期設定 9-26

ファクス / スキャン設定 9-19

ファクス動作中画面 9-22

ファクス発信元設定 6-47

複数宛先禁止 9-32

複数枚の原稿 2-19

ブック連写 6-14

部門認証 1-15

プログラム宛先 2-43, 8-26

プログラム宛先リスト 10-23

文書名 6-27

本体アドレス登録 9-46

ま行

メモリー 11-2

メモリーオーバー 2-48

メモリー代行受信 3-5

文字入力 11-3

や行

ユーザー設定画面 9-2

ユーザー認証 1-15

読み込みサイズ 6-19

読み込み条件を設定する 2-25

読み込み設定 6-2

予約 2-52

ら行

リスト 10-4

リダイヤル 2-49

両面 2-27

レポート 10-2

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》
販売店名
電話番号
担当部門
担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》
TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元

コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright